

第5節 第4面の調査

第1項 第4面の概要

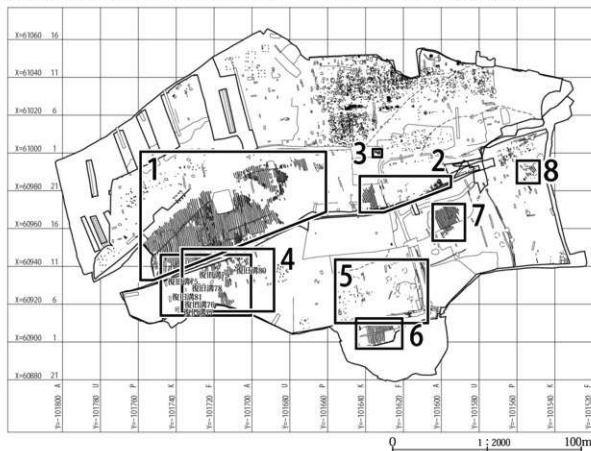
第4面は第3面下に黒褐色土を挟んで、明黄褐色～淡黄褐色の砂層およびこれを含む黄褐色土を鍵層として第3面と区分される。年代を確定するに足る資料は得られていないが、中世から近世に相当する面として調査されている。南部の傾斜地ではこの面がさらに細分されており、黄白色のシルト質砂層を挟んで下層を第4-2面として扱う。第4面では畑7区画のほか、復旧溝7、掘立柱建物20、柵列2、溝12、道1、列石2、集石15、焼石9、竪穴1、墓坑13を含む土坑320、ピット340を調査し、第4-2面では畑3区画のほか、溝10、土坑5を調査している。全体的な遺構分布を見ると、北部の調査区には土坑・ピットが集中し、中部調査区では畑痕跡が顕著であり、南部調査区では微弱な畑痕跡と溝が目立っていて、それぞれが連続しない場合が多い。

復旧溝は調査区南西部に7基がまとまって検出されて

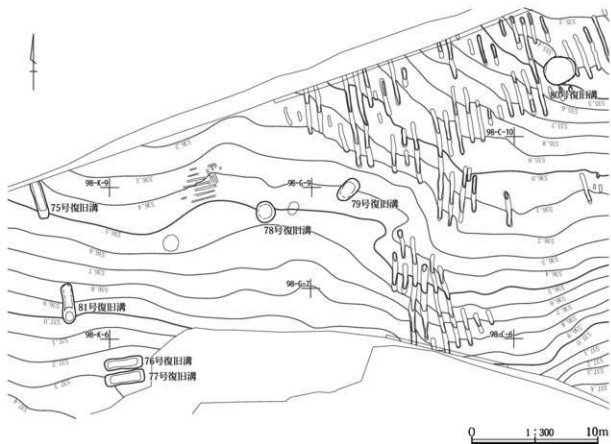
いる。畑遺構は、上位を覆う砂層の分布域に限られることもあって、部分的に見いだされるにとどまり、耕作単位の全体を把握できるような広範囲を持って確認できることはない。また旧地表面が確認されず、畝間溝内の堆積物により確認された遺構であるため、畑面の残存も良い状態ではなく、畝、畝間溝の形状を異にし、あるいは耕作痕跡のみが残された部分などがある。また、上位2面の畑と比較して、それぞれ類似する部分、様相を異にする部分がある。次項では畝、畝間溝のまとまりとして7つの区画を設定して記載を行う。

掘立柱建物、柵列、土坑ピットは畑とは対照的に、調査区北部で多く確認され、特に中央部に集中し、濃密な分布を見せる。一方、第3面では第2面の寺院相当部に土坑ピットが集中したが、第4面に帰属するものとしては一切確認されていない。

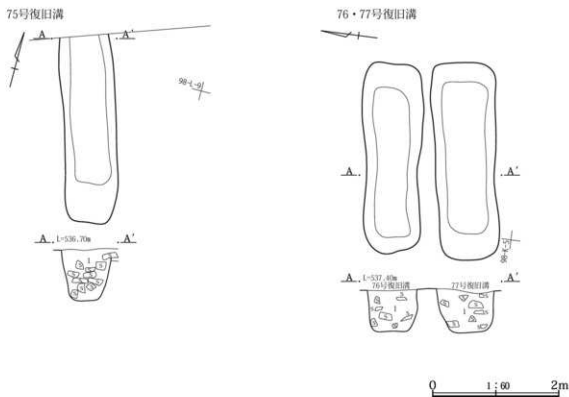
道、溝の状況を見ると、第2面1号溝の両側には複数状の溝があって、地割りとしての機能が継続されていたことが示されるが、北部には連続しない。2号水路につながる水路はなく、これと近似する方向ではあるが、より南に位置を変えた40号溝が認められる。



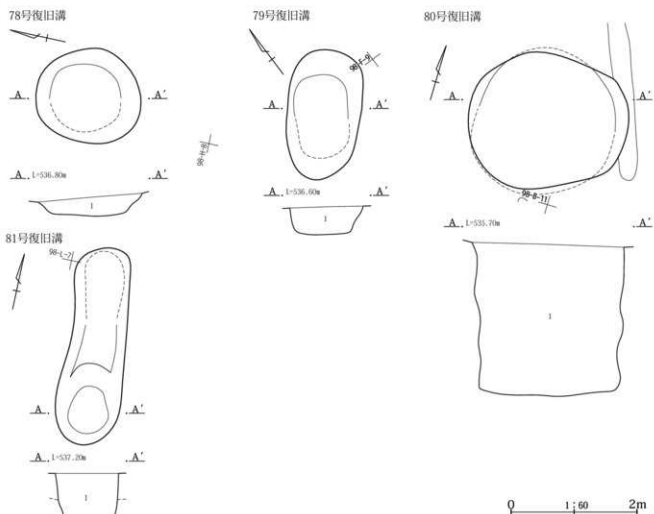
第258図 第4面復旧溝・畑位置図 1/2000



第259図 第4面復旧溝位置図 1/300



第260図 第4面復旧溝1 1/60



第261図 第4面復旧溝2 1/60

第2項 復旧溝

98-A-11グリッドからH-8グリッドにかけてある3基の円形平面を持つ土坑と、J-5からL-9グリッドにかけてある4基の長方形平面を持つ土坑を復旧溝として調査している。平面形状も断面形状も上層の復旧溝とは異なり、さらにいずれも土層観察所見を欠くため、機能の特定はためられるが、調査時の判断を採らざるを得ない。

75号復旧溝 98-L-8～9グリッドにある。幅の狭い隅丸長方形の平面形を呈すると思われるが、北部が調査区外となって全形は不明。長軸確認長2.94m、短軸長0.82～0.86m、深さ0.66～0.68mで、長軸方位はN-20°-W。断面形は深い鍋状。覆土に角礫を多く含む。

76号復旧溝 98-J・K-5グリッド、77号復旧溝の北に並んである。両上端が最も接近したところでは50cmほどの間隔しかない。幅の狭い隅丸長方形の平面形で、長軸

長2.98m、短軸長0.80～0.96m、深さ0.65～0.67mで、長軸方位はN-81°-E。断面形は深い鍋状。覆土に角礫を多く含む。

77号復旧溝 76号復旧溝と同じく98-J・K-5グリッドにある。幅の狭い隅丸長方形の平面形で、長軸長3.14m、短軸長0.96～1.01m、深さ0.56～0.70mで、長軸方位はN-81°-E。断面形は深い鍋状。覆土に角礫を多く含む。

78号復旧溝 98-G・H-8グリッドにある。東5mほどに79号復旧溝がある。径1.64mほどのゆがんだ円形の平面形で、深さ0.39m。断面形は上部が開いた鍋状を呈する。土層観察所見を欠くが、覆土中に礫等の混入表現はない。

79号復旧溝 98-F-8・9グリッドにある。長径2.02m、短径1.18mほどの長円形の平面形で深さ0.39m。断面形は上部が開いた鍋状を呈する。土層観察所見を欠くが、覆土中に礫等の混入表現はない。

80号復旧溝 98-A・B-11グリッドにある。79号復旧溝

第2章 調査された遺構と遺物

は西南17mほどにある。次項で述べる第4区画畑の畝間溝を切る。径2.6mほどのゆがんだ円形の平面形で、深さが2.44mほどもあり、断面形は深いコ字状を示す。壁は波打っていて、特に東側がやや張り出す。土層観察所見を欠くが、覆土中に礫等の混入表現はない。

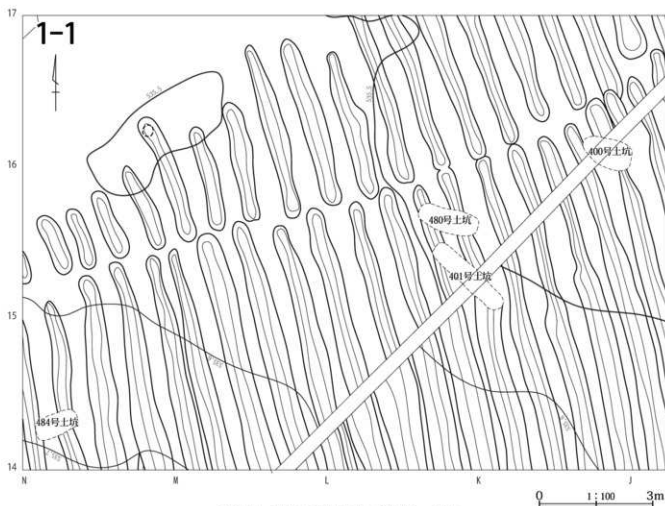
81号復旧溝 98-K-6グリッドにある。75号復旧溝の南5.4m、76、77号復旧溝の北西4.2mの位置にあたる。長軸長3.1m、短軸長0.85～1.0mほどの幅が狭く両端が丸い平面形で、北部は深さ0.4m、南端は長軸長1.2mほどのピット状に掘られ、深さ0.5mほどある。土層観察所見を欠く。75～77号とともに何らかの地割りを示すかに思えるが、これらとは違って覆土中に礫等の混入表現がない。

第3項 畑

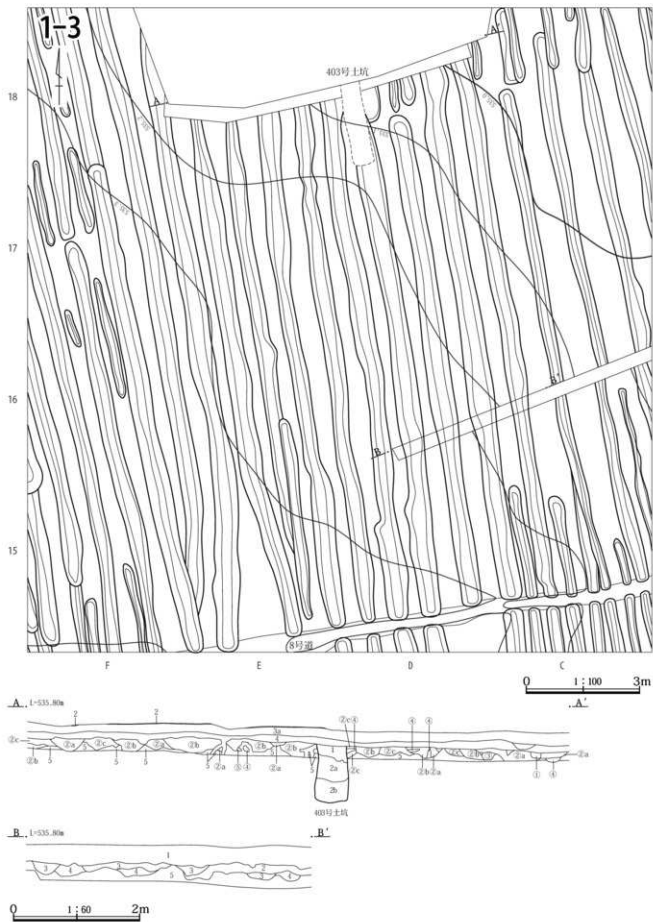
この面の畑は、第2面7号道・1号水路相当線から北の調査区北部にはなく、以南のみ確認されている。遺

構としては捉えられていないが、7号道・1号水路相当線が地割りの強い境界線として存在したことをうかがわせる。分布状況から9区画に分けて記載する。畑といっても、畝間溝やその痕跡として捉えられたものである。畝間溝は耕作具単位が把握されずに連続する溝状攪乱痕跡として捉えられるもので、第3面畑と変わらない。ごく一部を除いて、傾斜方向にかかわらず南北の畝方向を採っている。広い畑を単位として耕作する、第2面に類似した作物・営農の形態が想定される。耕作具痕は確認される場所が少ないが、幅が狭く長い、踏み鋤の使用を思わせる耕作具痕が一部で見られ、第3面にあった短く突き刺すような耕作具痕は見られない。

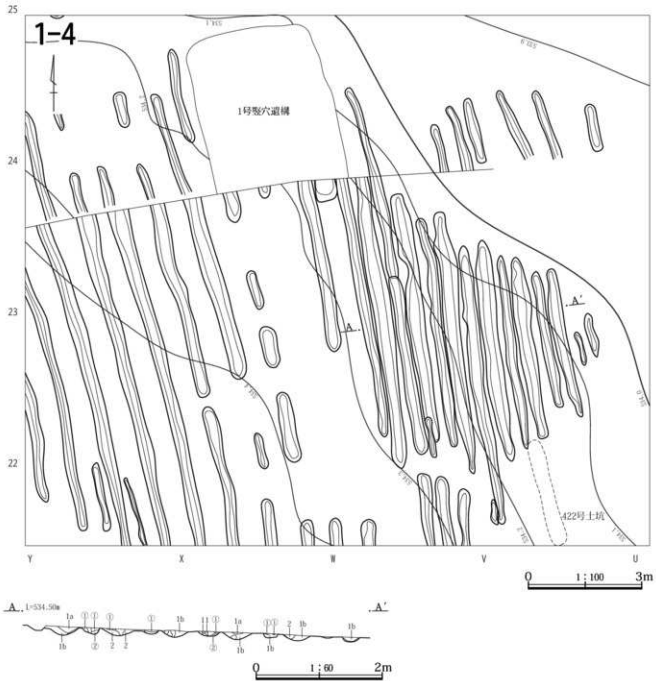
第1区画 97-P-24グリッドから98-O-9～14グリッドにかけて広がる。東西80m、南北50mに渡って、南北に走る畝間溝が100条以上確認されている。若干ぼろつきはあるものの、N-15～20°-W方向を示す。北端はそろって完結しており、上面の11号集石や7号道・1号水



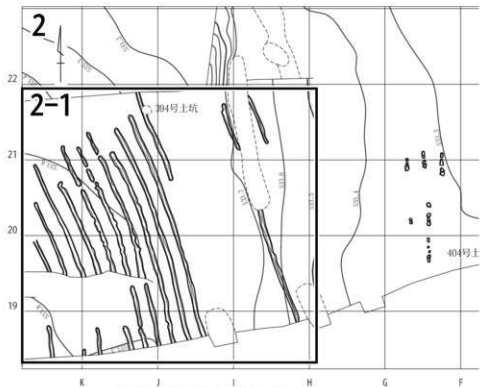
第263図 第4面畑第1区画 部分図1 1/100



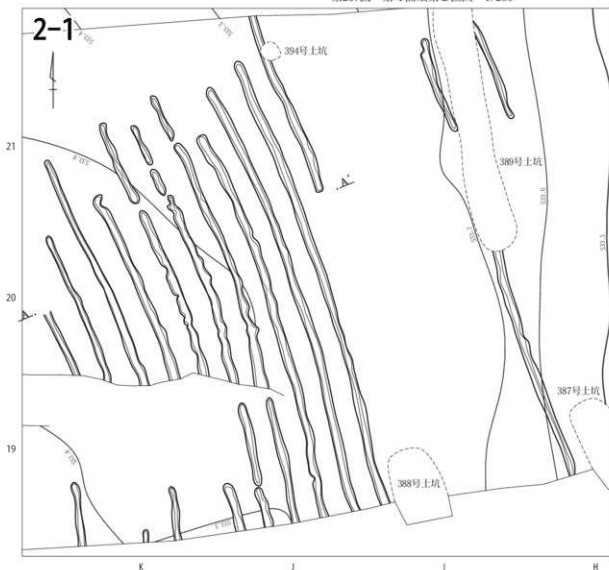
第265図 第4面畑第1区画 部分図3 平面 1/100 断面1/60



第266図 第4面畑第1区画 部分図4 平面 1/100 断面1/60

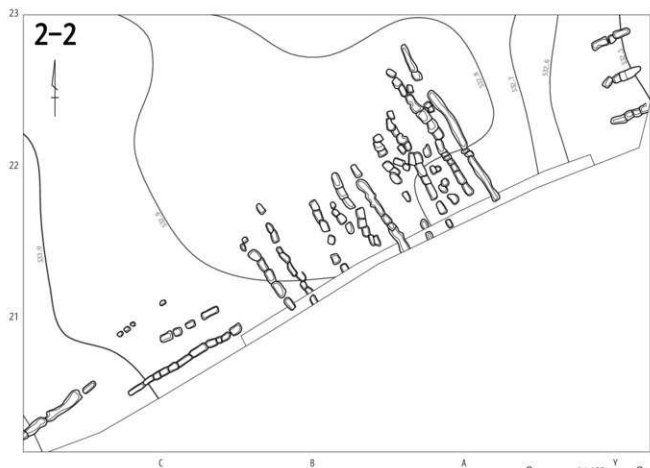
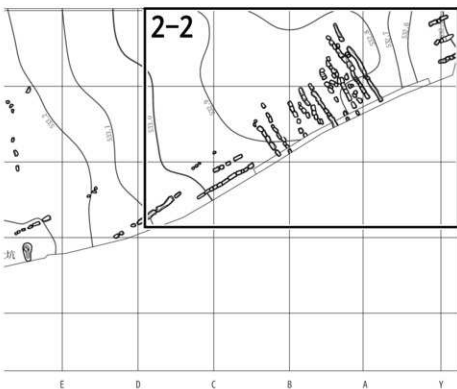


第267図 第4面畑第2区画 1/200

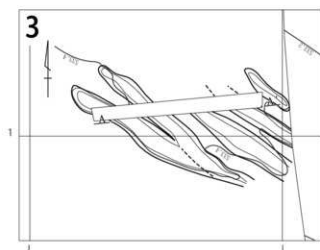


第268図 第4面畑第2区画 部分図1 1/100

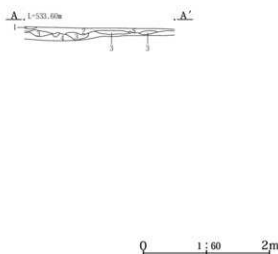
0 1:100 3m



第269図 第4面畑第2区画 部分図2 1/100



第270図 第4面畑第3区画 1/100 断面1/60

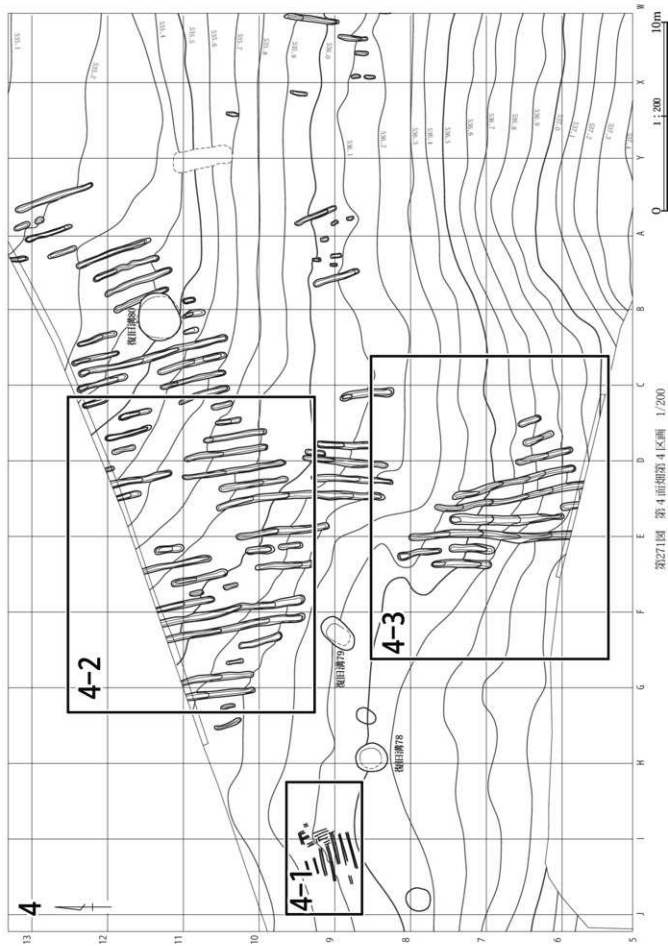


路に相当する境界が意識されたものと想定する。南端は調査区界で切れる。西部の比較密な部分の畝間溝間は40cmほど、北部および東部では90cmとなる。畝間溝の覆土にはふい黄褐色土のブロックあるいは黄色洪水砂を含む黒褐色土で、部分図2では同方向の畝間溝が3回にわたって切り合う状態も見られることから、反復された耕作行動跡が重なっているものとみられる。畝間間隔の揃う部分図1では南北の畝間溝の間が揃って途切れる部分があり、これは一連の耕作行動を想起させるのだが、畝間溝の狭い部分、重なる部分は複数の連続しない耕作行動による痕跡が重なった状態であろう。各畝間溝は上端幅20～30cmで、20cm近い深さのところもあるが、部分的に浅くなって途切れながら連続する。方向は若干の蛇行はあるもののほぼN-13°-Wで揃う。これは第3区画および第2・8区画などで痕跡的に残された畝間溝、耕作具痕を除いた大部分の畑と共通する。南部中央に8号道が東西に走り、畝間溝はこれを切るかに見える。北東部には1号竪穴遺構があるが、調査区界に当たって前後関係はわからない。

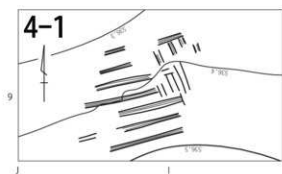
第2区画 97-H～K-18～21グリッドにある畝間溝群と、96-X-22グリッドから97-F-19～21グリッドにかけて見られる耕作具痕群を第2区画とした。畝間溝群は東西14mほどの間に13条が認められる。北部は完結するように見えるが、北に連続する溝もあってさらに広がる可能性がある。南は調査区界で切られる。最も長い畝間溝の確認長12.3m、上端幅は広いものでは40cmほどであるが、深さ3～10cm内外で、掘削底部近くのためか上

端線が波状を示す部分もある。方位はN-14°-W前後と第1区画とほぼ等しい。中間に空白区を含むが、同一の畑区画を構成したものであろう。東側の耕作痕群は、第2面の4号道・2号水路、第3面の1号溝西と北を区切られた位置に当たる。耕作具痕が連続する方向から3者に分けられる。西部E・F-19～21グリッドでは、刃部方向や覆土は不明だが、ほぼ南北方向に最長6mほど連続する耕作具痕が、東西幅4.5mの間に4条認められる。E-20グリッドからB-20・21グリッドにかけては2条ないし3条のみであるがN-60°-Eをしめす耕作具痕列が認められる。途中南北走る耕作具痕列が介在するが、東端の96-X・Y-22グリッドにある耕作具痕列に連続するかもしれない。そうすると、東西の延長は26m近くに達する。各耕作具痕は上端幅15～22cmほどで、最も長いものでは11個の耕作具痕が3.42mに渡って連続する。刃部が東を向き、西側の耕作具痕が東側のものを切るように表現されている。また、一つの耕作具痕の長さは40cmに達するものがある。断面に関する記載を欠くが、踏み跡を東から西へ後退しながら操作した様な状況が想起される。

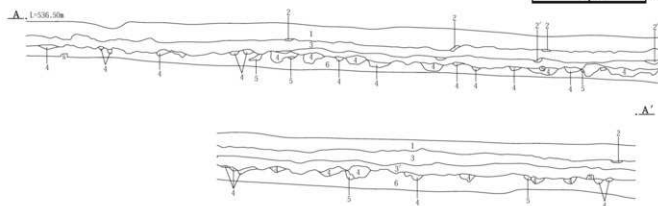
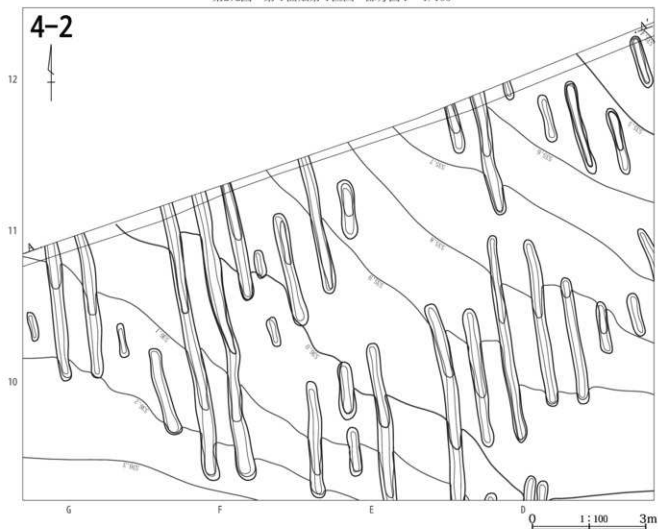
96-Y-21グリッドから97-B-21グリッドにかけては、およそN-25°-Wを示す耕作痕列が東西7mほどの範囲に11条ほど認められる。連続して畝間溝を形成するものもあり、連続する列から外れ、方向がやや異なる単独に近いものもある。各耕作具痕は各耕作具痕は上端幅15～22cmほどで、東端の溝状をなすものは長さ4.8mほどある。刃部は南にあり、北の耕作具痕が南のものを切る。



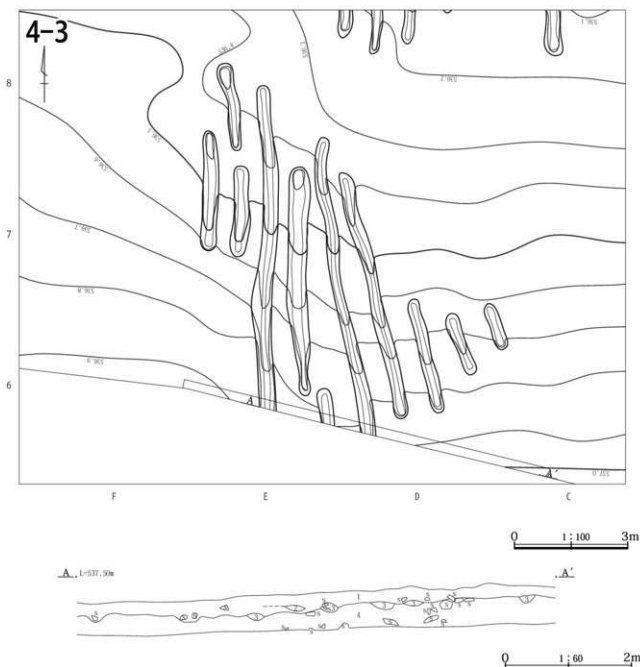
第2718号 第4面畑第4区画 1/200



第272図 第4面畑第4区画 部分図1 1/100



第273図 第4面畑第4区画 部分図2 1/100 断面1/60



第274図 第4面畑第4区画 部分図3 1/100 断面1/60

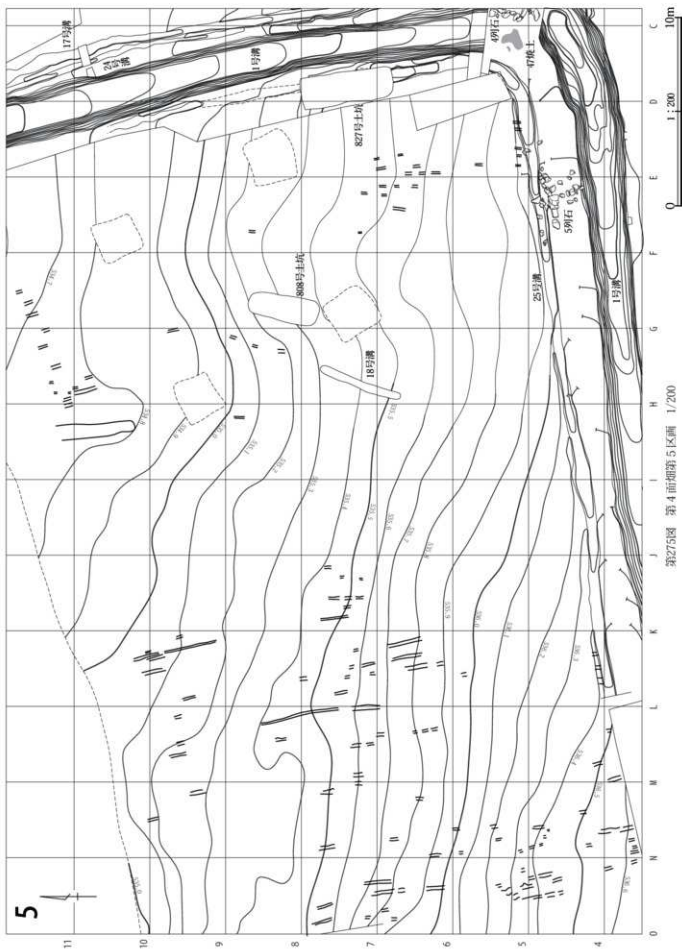
これも断面に関する記載を欠くが、長さが40cm近いものもあるため、やはり踏み鋤を北から南へ後退しながら操作した様な状況が想起される。

第3区画 96-H・1-25・97-H・1-1グリッドにある畝間溝の痕跡である。幅2mほどの間に4ないし5条があり、溝間の距離は40～55cm。方位はN-35°45'60"-Wとぼらつく。上端幅は23～30cm、最大確認長3.12m、深さは2～13cmほど。北西端は完結し、南東端は徐々に浅くなって消える。

第4区画 第1区画の南に当たる。第1区画から連続す

と思われる畝間溝群が主体だが、西部には方向を異にする2種類の微弱な畝間溝痕跡があり、東部にもやや方向が異なる断続的な畝間溝痕跡がある。

部分図1は西部の98-H・1-8・9グリッドで認められた畝間溝痕跡である。東西方向、N-75°E前後に走るものは、最長2mほどの長さで南北幅2.6mほどの間に7条分が認められる。上端幅12～18cmほど、畝間溝間距離は35～45cmである。この北東部にはN-25°-Wを示す短い畝間溝痕跡がある。東西1.5mほどの間で5条、最大でも1.5m足らずの長さしか確認できない。上端幅

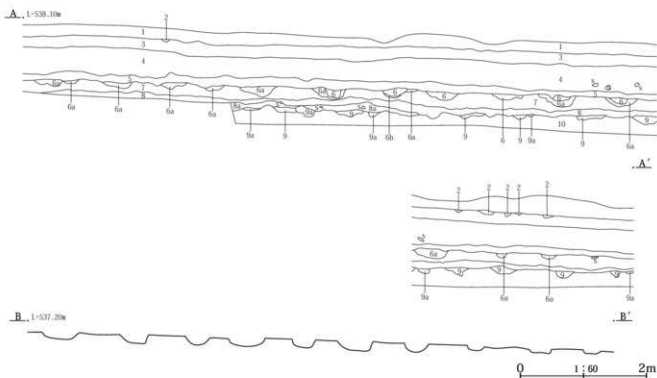


第275図 第4前面道路5区画 1/200

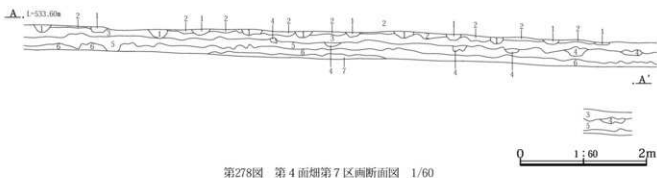


第276図 第4面畑第6区画 1/100

第2章 調査された遺構と遺物



第277図 第4面畑第6区画断面図 1/60



第278図 第4面畑第7区画断面図 1/60

10～18cm、溝間距離は30cmほどである。ともに断面に関する記載を欠き、深さや前後関係はわからない。

部分図2・3はこの区画の主体的な畝間溝群で、幅35mほどの間に長短様々に途切れ、西部ではN-10°-W、東部ではN-15°～20°-Wと徐々に走行方向を変えているが、37条ほどの溝を数えることができる。一連の耕作痕跡とみて良いものと思われる。畝間溝は長短広狭様々だが、長いもので8.6mほどあり、上端幅は35～50cm、深さ3～6cm、溝間距離0.6～1mほどを測る。断面形状は血状に表現されている。

また、東部には長いものでも3mに満たない畝間溝痕跡が東西14m、南北12mほどの範囲にN-5°-E前後とほぼ南北方向を示して散在的に並ぶ。

第5区画 97-D-O-3～11グリッドにかけて散在的

に残された畝間溝痕跡をまとめて第5区画とした。東部と南部を第2面4号道、第3面1号溝に重なる25号溝に画される。短く途切れ途切れの痕跡が南北方向に連続する。上端幅は15～20cmと狭く、4mほど連続して残されるものもあるが、多くは30～50cmほどで途切れる。西部ではN-4°～5°-W、東北部ではN-15°-W、東南部ではほぼ南北の走行を示していて、いくつかの小群に別れるか、時期の異なる耕作面を捉えている可能性がある。

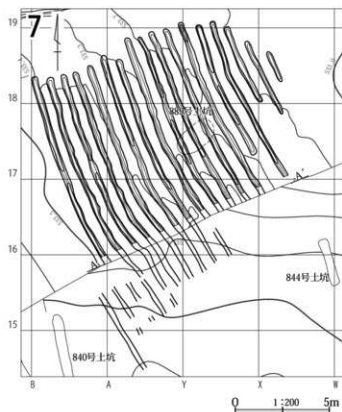
第6区画 97-F-2から87-J-25グリッドにかけて残された畝間溝群である。北は1号溝に切られているが、南は調査区内で完結し、最大確認長9.9m。東西18.2m間に18条が認められるが、東側2条がやや離れていて、西側16条では幅13.75m、溝間の平均距離は83cmほどとやや広い。各畝間溝の上端幅は30～50cm、深さは西側で

は10～15cmほどあるが東側では浅くなり、1cm以下となる部分もある。方位はN-15°-W前後を示す。畝間溝のなかには断面形状の東側が深く西側が浅いものが見られ、刃部を地表面に対して斜めに差し込んで、東側に畝を立てるような耕起が行われた痕跡であることが示唆される。

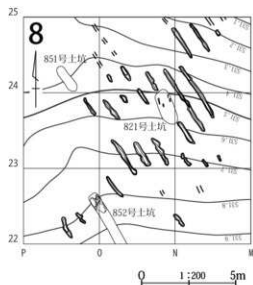
第7区画 96-W-17・18グリッドから97-A-14～18グリッドにかけて、東西13mほどの幅で17条の畝間溝が平行する。北端は40号溝に達せずにはぼ揃って完結する。南端は調査区界に達していて、調査時点の異なる以南の調査区にも痕跡が連続する。各畝の上端幅は35～45cm、4～8cmの深さがある。最も長く連続が追えるものでは14mほどの長さがある。溝間の平均距離は67cmほどで、やや南西にはらんだ弧状を呈するが、N-18～20°-Wを

示す。

第8区画 96-L～20～25グリッドにかけて畝間溝やその痕跡が散在する。比較的残りの良いL～P-20～24グリッドでは、幅6.7m間に9条の畝間溝痕跡があって、溝間平均距離は74cmほどとなる。長いものでも4m、幅は15～27cm、ごく浅いものも多く、最深部でも5cmほどしかない。方位はN-37°-Wほどで、範囲内であって復旧溝的な形態を持つ852号土坑とほぼ平行する。また、I～M-11～13グリッドにかけても畝間溝痕跡が散在する。残りの良いところでは4.9m間に7条の痕跡が認められ、平均距離は70cmほどとなる。方位はN-4°-E前後を示す。



第279図 第4面畑第7区画 1/200



第280図 第4面畑第8区画 1/200

第4項 道・溝

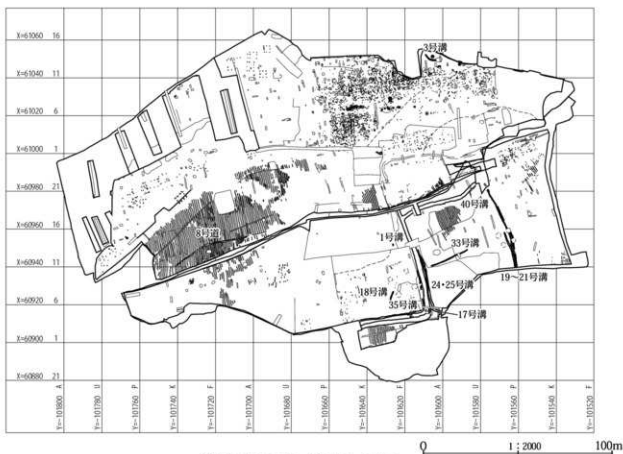
第4面では調査区西部の畑第1区画内を東西に走る8号道が確認された。幹線のな道ではなく、作業道に類するものであろう。溝は調査区南東部に集中する。北東部の3号溝は短い弧状をなしていて、他とは性格が異なるようであるが、第2面の4号道、9号道と重なる1号溝とこれから東に分岐して第2面2号水路と重なる40号溝は基幹的な水路で、この時期から土地区画の基本となっていたものであろう。また、これに平行、直交方向を示す細い溝があって、これも地境に設定されたものと推定される。

1号溝、40号溝の深さを見ると、この面での主要水路は1号溝から40号溝に続くもので、1号溝北部は支線的な位置にあるように思われる。第3面での1号溝はこの面の溝と連続すべきものと思われ、両面がほぼ同じ土地区画、水利環境であったと考えられる。第2面ではこれが大きく変化し、幹線水路であった1号溝が埋められて道となり、水路としての機能を失う。40号溝を踏襲する2号水路は4号道東辺に沿って南からの水を受けるが、

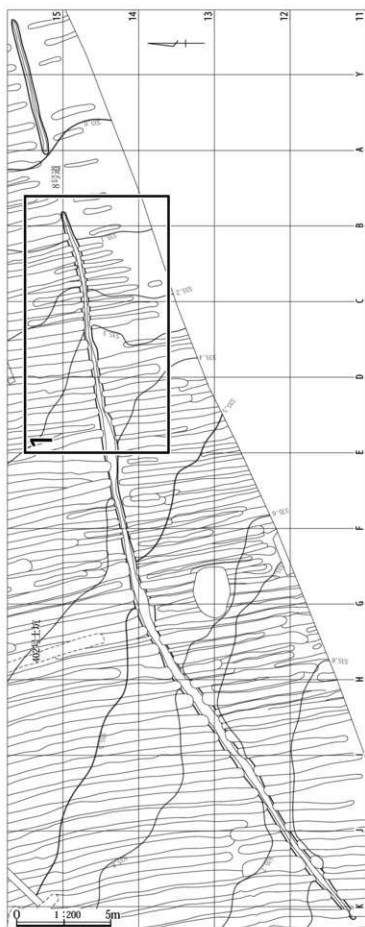
1号溝北部は西からの水を受ける1号水路に付け替えられている。第3・4面では共通点が多く、第2・3面間では畑の畝方向なども含め、土地利用、水利、耕地経営が大きく変化したことが示唆される。

8号道 97-X-15グリッドから98-K-11グリッドにかけて、幅38～96cmほどで黒褐色土が硬化した状態で認められる。黄色の洪水砂層に覆われる。やや北にはらみ出すように弓なりに湾曲しながら南西-北東方向に走る。弦の方位はN-67°-E。東部で一部切れ、両終端も明確ではないが、確認長は52.1mある。第1区画畑内にあり、畝間溝が硬化面を切る。

1号溝 第2面4号道の南部とほぼ重なる。中世段階からの主要水路と考えられる第3面1号溝はこの溝の北部に連続するものと思われる。97-F・G-18グリッドを北端とし、B-4グリッドまではN-13～18°-Wで55.6mほどに渡って南北走る。これから西に折れて、N-81°-E方向に36mほど東西走りK-3グリッドで調査区外に至る。北端では上端幅1.36m、底面標高533.61mで、東側からの深さは60cmほどある。F-17グリッドで東に向けて40号溝が分岐する。分岐部では40号溝に続く底面の



第281図 第4面道・溝位置図 1/2000



第282図 8号道 1/200

標高533.47mに対し、1号溝の連続部が一段高くなって、底面標高533.56mとなっていて、主流路は40号溝側にあるらしい。E-15グリッドでは東側に幅30cmほどの中段がある。東側上端からの深さ40～50cmほど、底部までは16～18cmほどの比高がある。D-13グリッドからは東側に24号溝が併走する。この付近では上端幅が2.46mほどと広くなる。底面標高は533.86m、深さ80cmを測る。C・D-16グリッドからは17号溝が24号溝と重なるように併走し、D-10グリッドからは西側に25号溝が併走する。屈曲部では上端幅2.8～3m、底面標高534.71～534.86mで、西・北上端からの深さ95～112cmある。屈曲部埋土上面には47号焼土、4号石列が形成される。屈曲部から西では北端から1.8～1.9mの間隔を置いて25号溝が併走し、中間が道状の平坦面を形成する。西端部では上端幅1.75m、底面が一段深く挟れるように流路が形成され、最低部の標高536.09mで北上端からの深さ74cm。屈曲部との比高1.38m、北端との比高は2.48mある。

3号溝 7-A-13グリッドからC-14グリッドにかけて、緩い弧状に延びる。覆土は褐色粒子をわずかに含む暗褐色土が主体で、上位に黒褐色土が載る。東端は深さ31cmほどあるが、568号土坑を切り、567号土坑に切られる。西端は4cmほどまで浅くなる。確認長6.7m、幅40～46cm。東端底面の標高530.79m。B-13グリッド中部まではほぼ東西に走り、以西は北に湾曲する。弦の方位N-69°-W。湾曲部の底面標高は530.80～82m、西端では530.68mとなって、弧の頂点近くから両側に向かって下がる。

17号溝 97-C・D-12グリッドから1号溝の東側を29mほど併走し、B-5グリッドで屈曲し、4.5mほど東に延びて調査区界に至る。南北走部分の方位はN-15°-W前後。第2面4号道から9号道をなぞるような位置に当たる。幅30～48cm。北端部底面標高534.43m、東端部底面標高の535.49m、東上端からの深さ12～20cmほど。24号溝を切る。4号石列が覆土上に載る。

18号溝 97-G-6・7グリッドにある。長さ4.52m、方位はN-22°-Eで南北走する。北端底部標高535.17m、南端底部標高535.32m。上端幅38～44cm、深さ12～19cm。覆土は小礫を含む。

19号溝 96-P-11グリッドからT-21グリッドにかけて断続的に、20号溝の東を平行しながら南北走する。中央南寄り東に膨らんで弱い弧状をなし、北部ではN-

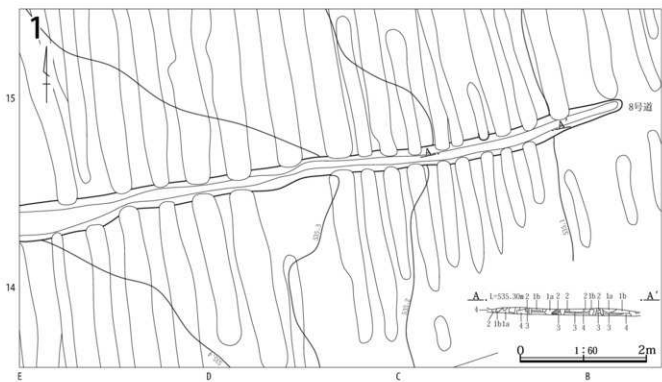
第2章 調査された遺構と遺物

30°-W、南部ではN-8°-Wを示す。総延長は44mあるが、幅は広いところでも20cm、深さも最大5cmほどしかない。北端底面標高532.23m、南端溝底標高533.87m。20号溝とは上端が接するが切り合っていない。

20号溝 96-P-10グリッドからT-21グリッドにかけて19号溝の西を平行しながら南北走る。総延長44.5m。中央南寄りて東に膨らんで弱い弧状をなし、北部では

N-30°-W、南部ではN-8°-Wを示す。北端部底面標高532.25m、南端部底面標高533.83m。深さは5~22cmほどあって19号溝のように途切れることはないが、上端幅は30~80cmと一定しない。

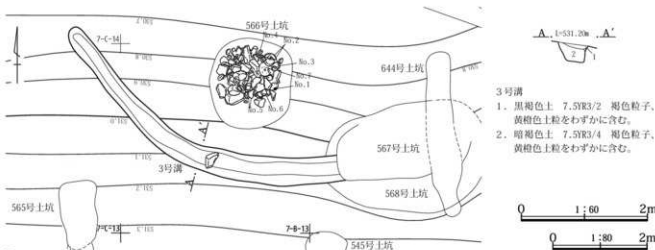
21号溝 96-P-10グリッドからQ-15グリッドにかけて、20号溝の西を平行気味に南北走る。確認長19.5m。走行は南部では19・20号溝に近いN-8°-Wを示す



8号道

- 1a. にぶい黄褐色土 10YR4/3 やや砂質、黄色細砂ブロック、黒色小ブロックをわずかに含む。
 1b. 1a層よりやや締まりあり。やや暗色。
 2. 黄色洪水砂。
 3. 黒褐色土 10YR3/2 わずかに黄色粒含む。締まりあり。硬化面。
 4. 黒ボク土(地山)。

第283図 8号道 部分図1 平面1/80 断面1/60



3号溝

1. 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒子、黄褐色土粒をわずかに含む。
 2. 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒子、黄褐色土粒をわずかに含む。

第284図 3号溝 平面1/80 断面1/60

が、中程から西に振れて、 $N-17^{\circ}-W$ となる。北端底面標高533.04m、南端底面標高533.86m、深さは8～17cm、上端幅は25～40cm。

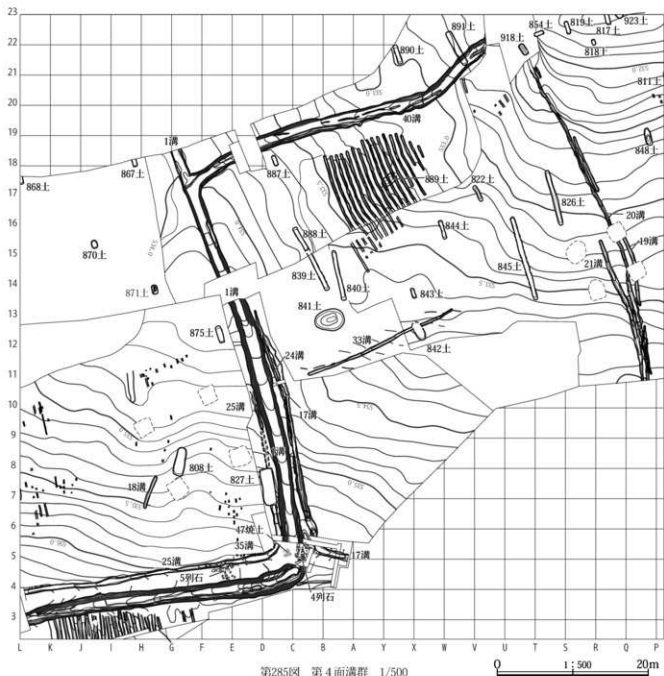
24号溝 97-C・D-13～8グリッドにかけて、18mにわたって1号溝と併走する。北部では1号溝を切るかに見える。方位は $N-15^{\circ}-W$ 前後。東に接する17号溝に切られる。上端幅18～22cmほどで、深さ4～12cmと浅い。

25号溝 97-C-4～10グリッドにかけては1号溝の西側に沿って南北走し、D-10グリッド以西は1号溝北端から1.8～1.9mの間隔を置いて東西走する。南北走部は $N-10^{\circ}-W$ 、東西走部は $N-75^{\circ}-E$ 前後。上端幅64～

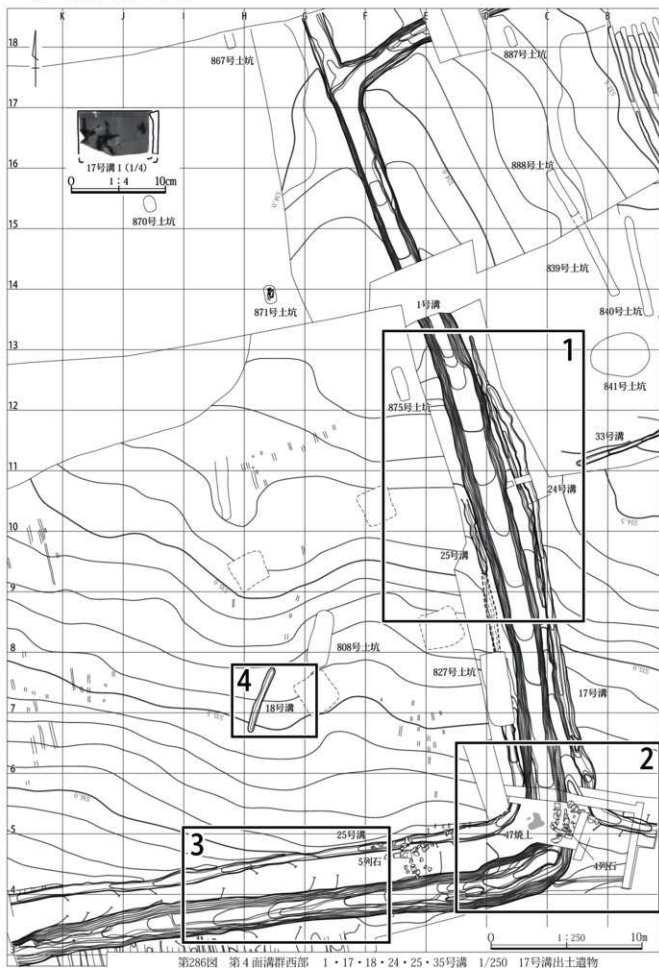
100cm、北端部溝底標高535.00m、屈曲部溝底標高535.18m西端部溝底標高536.41m。深さは西端で北上端から6cm、屈曲部で21cm、北端で西上端から4cm。覆土は黄白色のシルト質砂層を主体とする。

33号溝 96-V-13グリッドから97-B-11グリッドにかけて東西走する。確認長41.8m、方位は $N-60^{\circ}-E$ で、40号溝と平行に近く、1号溝や第7区画の畑畝間溝とはほぼ直交する。上端幅40～70cm、東端底面標高533.45m、西端底面標高534.05m、確認面からの深さは2～7cmほどと浅い。842号土坑に切られる。

35号溝 97-C・D-5グリッドで断面が確認された。上



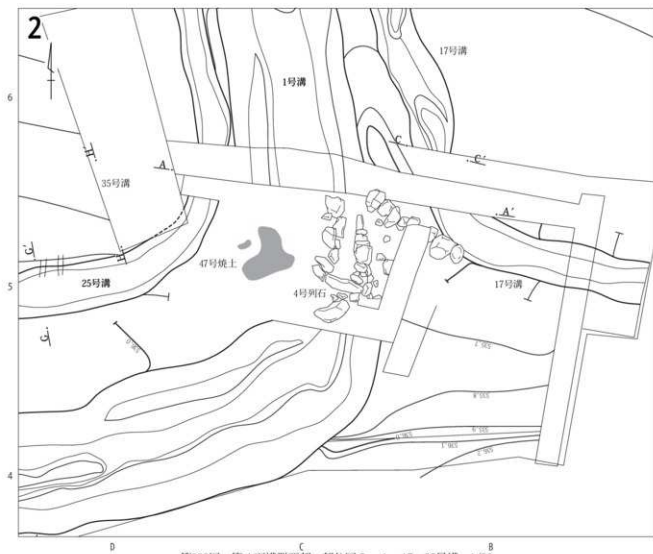
第285図 第4面溝群 1/500



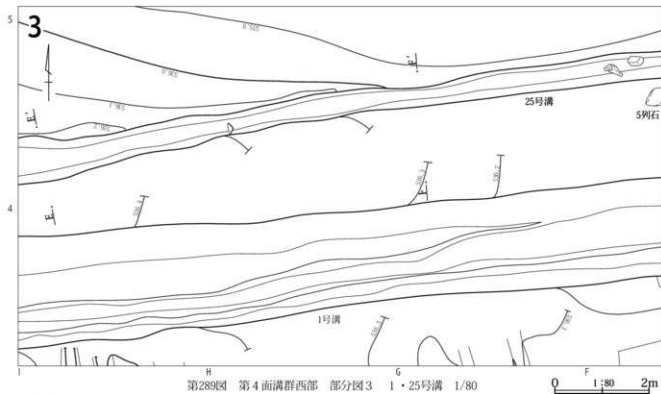
第286図 第4面溝群西部 1・17・18・24・25・35号溝 1/250 17号溝出土遺物



第287図 第4面溝群西部 部分図1 1・17・24・25号溝 1/80



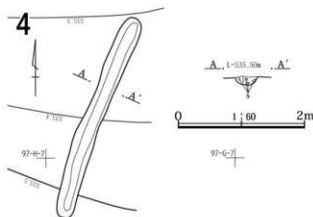
第288図 第4面溝群西部 部分図2 1・17・25号溝 1/80



第289図 第4面溝群西部 部分図3 1・25号溝 1/80

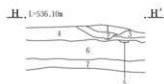
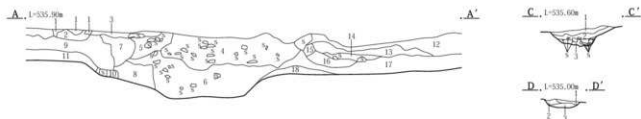
端幅1.7m、深さ44cm。

40号溝 97-F-17グリッドで1号溝から東に分岐し、96-U-22グリッドで調査区界に至る。第1面2号水路の直下に当たる。確認長44.5m、西端1号溝との接点での底面標高533.44m、確認面からの深さ61cm。接点以北の1号溝底標高は533.65mで、一段浅くなって北に続くことになる。東端での底面標高532.17m、確認面からの深さ54cm。走行方向は西部でN-65°-E、中央近くではN-78°-E、東部では北に湾曲してN-46°-Eを示す。



0 1:80 2m

第290図 第4面溝群西部 部分図4 18号溝
平面1/80 断面1/60

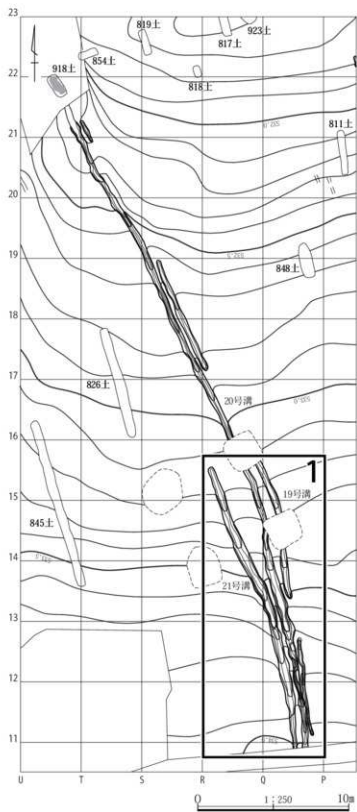


25号溝

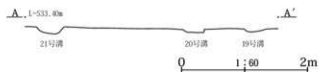
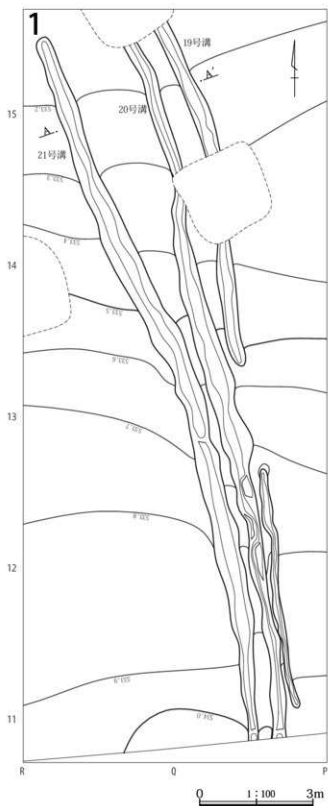
1. くすんだ黄褐色粘質土。
2. ラミナ堆積黄白色シルト砂層。
3. ラミナ堆積粗砂層。上層と下層にシルト質土。

0 1:60 2m

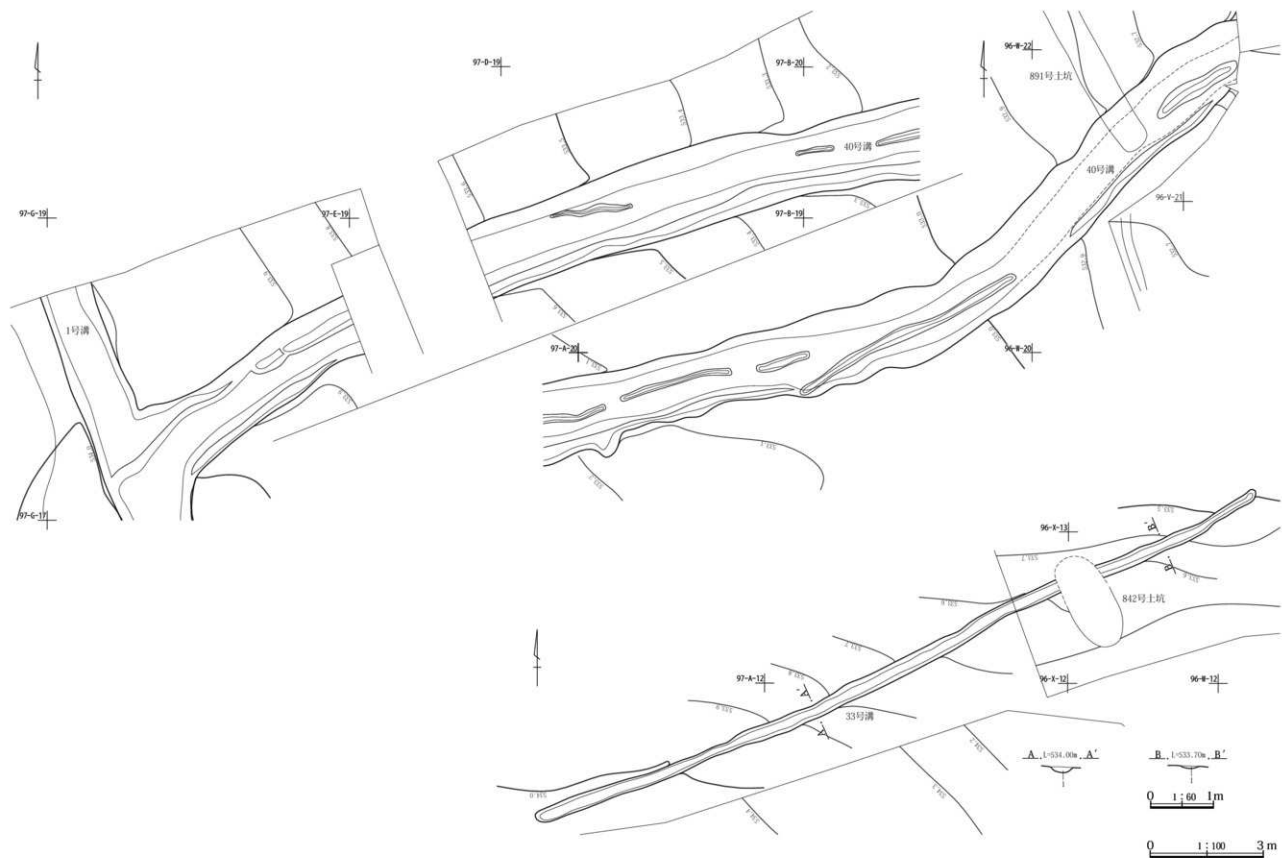
第291図 第4面西部溝断面図・高低図 1/60



第292図 第4面 19～21号溝 1/250



第293図 第4面 19～21号溝 部分図1 平面1/100 断面1/60



第29张图 33号沟·40号沟 平面1/100 断面1/60

第5項 掘立柱建物・柵列・竪穴建物

第4面北部には掘立柱建物や柵列が多数の土坑、ピットとともに認められる。特に部分図2に示した2～6号掘立柱建物と3号柵列は方位が揃って建てられていて、ひとまとまりの建物群と考えられる。部分図2に示した7～13号および15号掘立柱建物も、数棟のまとまりを持った建物群が継起的に存在したことを示すものであろう。部分図3の16～18号掘立柱建物を含め、掘立柱建物の多くは第2面の7号道、1号水路に相当するライン以北にある。一方、畑は北部には認められず、7号道以南が耕地、以北が居住域という土地利用の明確な差がある。第2・3面では北部まで畑が広がっており、村落の景観がこれ以後に大きく変化していることがわかる。部分図4の25・26号掘立柱建物はこれからは外れるが、ここには第2面でも他とは異なる畝方向を示す第8・10区画畑や19号建物が作られており、他とは異なる性格を有する場所であったことが示される。

2号掘立柱建物 7-W-14グリッドにある。標高532.67

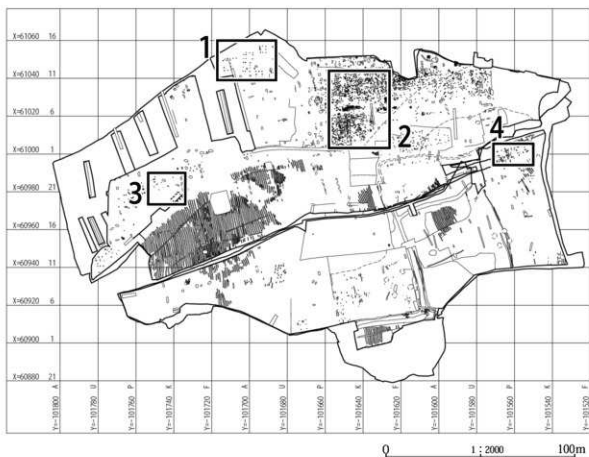
～532.46m。2間×2間の南北棟の側柱建物であるが、中央と東側の柱列はN-3°-Wで平行するものの、西側柱列がN-9°-Wと北西に傾くため、南辺より北辺が長い逆台形状の平面形を呈する。東辺長3.20m、西辺長3.24m、南辺長2.78m、北辺長3.2m。南東隅を構成するP2・3・4が深く掘られており、底面標高も揃う。他は比較的浅い。南西角のP5と東の5号掘立柱建物北東端P9まで4m、南の3号掘立柱建物北東角のP1まで10mある。北に145号土坑、南に283号土坑がある。

P1 径40cmの円形の平面形で、断面形は鍋状。底面標高532.34m、深さ14cm。覆土は締まりの弱い灰黄褐色土。

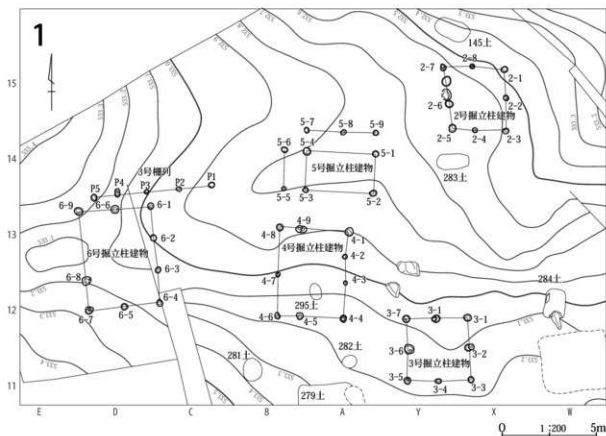
P2 径32cmの円形の平面形で、断面形はやや深いU字状。底面標高532.28m、深さ26cm。覆土の主体はにぶい黄褐色土で上位にやや締まった灰黄褐色土が載る。

P3 径35cmの円形の平面形で、断面形はU字状に近いが壁面が荒れている。底面標高532.27m、深さ34cm。覆土の主体は締まりの弱い灰黄褐色土。

P4 径28cmの円形の平面形で、断面形は上部がやや開いたU字状。底面標高532.27m、深さ39cm。覆土の主体



第295図 第4面掘立柱建物・柵列・竪穴建物位置図 1/2000



第296図 第4面掘立柱建物 部分図1 2～6号掘立柱建物・3号棚列 1/200

は締まりの弱い灰黄褐色土。

P 5 径40cmのゆがんだ円形の平面形で、断面形はやや深い皿状。底面標高532.56m、深さ11cm。覆土下層はにぶい黄褐色土、上層はやや締まった灰黄褐色土の上に締まりの弱い黄褐色土が載る。

P 6 径38cmのゆがんだ円形の平面形で、底面が乱れるが鍋状に近い断面を示す。底面標高532.54m、深さ9cm。覆土はやや締まった灰黄褐色土。

P 7 掘り方底で円礫に当たっていて、平面形は38×30cmほどの涙滴状、壁面は開かず立ち上がる。底面標高532.34m、深さ28cm。覆土は締まりの弱い黄褐色土。

P 8 径26cmの円形の平面形で、断面形はやや深い鍋状。底面標高532.37m、深さ15cm。覆土は下層が締まりのあるにぶい黄褐色土、上層がやや締まった灰黄褐色土で、中位に礫がある。

3号掘立柱建物 7-X-11グリッドにある。標高533.04～533.16m。2間×2間の側柱建物で、東西辺中間のP 2・6がやや東に寄るがほぼ方形の平面形で、方位はおよそN-3°-Wを示す。東辺長3.28m、西辺長3.28m、南辺長3.39m、北辺長3.20m。いずれの柱穴にも柱痕は

残っておらず、締まりの弱い褐色土を覆土とする。北西隅のP 7から西の4号掘立柱建物P 4まで3.4mある。P 1 径39cmの円形の平面形、断面形は上部の開いた逆台形。底面標高532.82m、深さ23cm。

P 2 径32cmの円形の平面形、断面形は浅い皿状。底面標高532.93m、深さ18cm。

P 3 径33cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたUないしV字状。底面標高532.98m、深さ19cm。

P 4 38×29cmの長円形の平面形、断面形は浅い皿状。底面標高533.00m、深さ14cm。

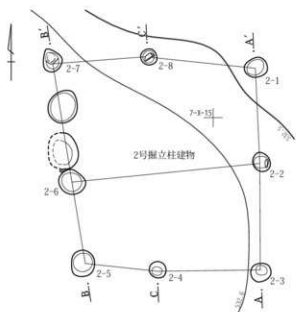
P 5 径38cmの円形の平面形、断面形は底部が波打つがおよそ鍋状。底面標高533.00m、深さ17cm。

P 6 径50cmのゆがんだ円形の平面形で、断面形は皿状。底面標高533.00m、深さ14cm。

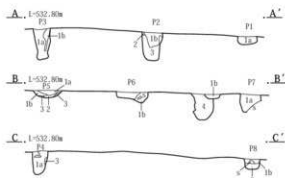
P 7 径43cmの円形の平面形で、断面形はやや深い皿状。底面標高532.97m、深さ10cm。

P 8 径48cmのゆがんだ円形の平面形で、断面形は鍋状。底面標高532.88m、深さ17cm。

4号掘立柱建物 7-Y-11～13・8-A-11～13グリッドにある。標高533.16～532.85m。1間×1間の北

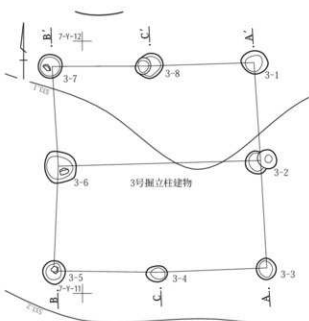


第297図 2号掘立柱建物 1/60

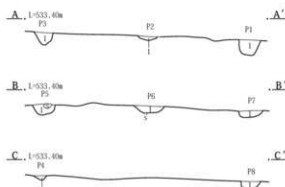


- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロックをわずかに含む。締まり弱い。
- 1b 1a層よりローム小ブロックが多い。やや締まりあり。
- 2 に深い黄褐色土 10YR5/3 くすんだローム上に1層土が混じる。締まりあり。
- 3 に深い黄褐色土 10YR5/4 くすんだローム上に中小のロームブロック、灰黄褐色土上ブロックが混じる。
- 4 くすんだローム上に大きなロームブロックが混じる。

0 1:60 2m



第298図 3号掘立柱建物 1/60



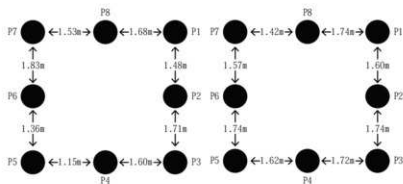
- 1 相灰色土 10YR3/1 締まり弱い。

0 1:60 2m

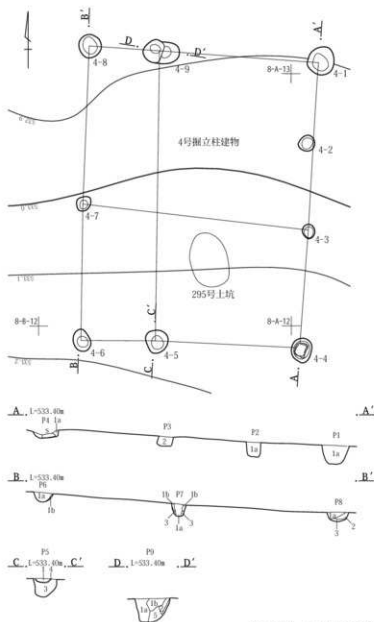
棟の側柱建物と思われるが、東辺はP1～4の4本柱による3間をとり、西にP6～8の底を持つ変則的な構成である。P1・4・5・9およびP6・8が大きく深い掘り方を持ち、P2・3・7は細い。方位はN-1°-Eでほぼ南北を示す。東辺長4.56m、西辺長4.7m、南辺長3.46m、北辺長3.66m。覆土は均質な褐灰色土を主体とするが、P3は灰黄褐色土、P5・10は下層に黒褐色土がある。P7・9の土層断面には柱痕かと思われる部分があるが、他の柱穴には柱痕はない。北に5号掘立柱建物があり、最も近いP9と5号掘立柱建物P3の間は

2mほどしかない。建物内内部に295号土坑がある。
 P1 径43cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.59m、深さ31cm。
 P2 径23cmの円形の平面形、断面形は箱状。底面標高532.71m、深さ24cm。
 P3 径20cmの円形の平面形、断面形はゆがんだ箱形。底面標高532.87m、深さ17cm。灰黄褐色土で埋まる。
 P4 38×30cmのゆがんだ長円形の平面形、断面形はやや浅い鍋状。底面標高533.01m、深さ12cm。底面中央に扁平な礎がある。

第2章 調査された遺構と遺物



第298図 2号掘立柱建物柱穴配置模式図 第300図 3号掘立柱建物柱穴配置模式図



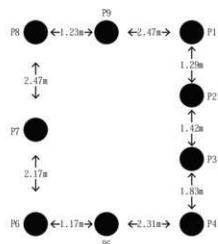
第301図 4号掘立柱建物 1/60

第6表 2号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	40	14
P 2	32	26
P 3	35	34
P 4	28	39
P 5	40	11
P 6	38	9
P 7	38×30	28
P 8	26	15

第7表 3号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	39	23
P 2	32	18
P 3	33	19
P 4	38×29	14
P 5	38	17
P 6	50	14
P 7	43	10
P 8	48	17



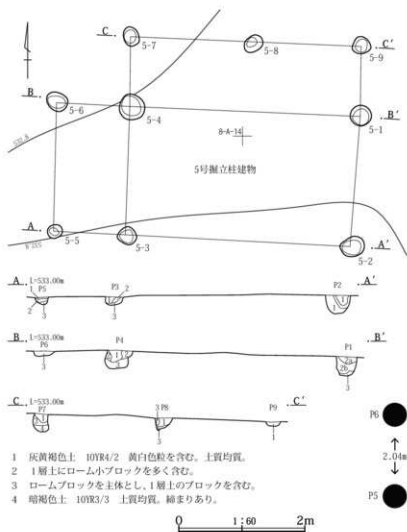
第302図 4号掘立柱建物柱穴配置模式図

第8表 4号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	43	31
P 2	23	24
P 3	20	17
P 4	38×30	12
P 5	35	30
P 6	35×26	17
P 7	27	22
P 8	36	12
P 9	56×38	37

- 1a 褐色土 10YR3/1 土質均質。
- 1b 1a層にローム粒を含む。やや稀まりあり。
- 2 灰黄褐色土 10YR4/2 くすんだロームを混する。
- 3 暗褐色土 10YR3/3 黒色土とくすんだロームの混上。ローム小ブロックを含む。
- 4 鉄分凝集層。
- 5 黒色土。

0 1:60 2m



第303図 5号掘立柱建物 1/60

P 5 径35cmの扁円形の平面形、断面形はゆがんだU字状。底面標高532.94m、深さ30cm。

P 6 35×26cmのゆがんだ扁円形の平面形、断面形は碗状。底面標高533.03m、深さ17cm。

P 7 径27cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高532.84m、深さ22cm。覆土中央に他のピットと共通する褐灰色土があり、左右両側に下層に暗褐色土、上層にローム粒を含む褐灰色土がある。

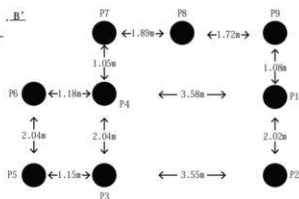
P 8 径36cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.73m、深さ12cm。覆土下層に暗褐色土があり、上位に褐灰色土が載る。

P 9 56×38cmのゆがんだ長円形の平面形、断面形はゆがんだ鍋状。底面標高532.52m、深さ37cm。掘り方西壁に寄って柱痕かと思われる褐灰色土があり、ロームを含んだ暗褐色土が掘り方を埋める。

5号掘立柱建物 7-Y-13・14～8-A-13・14グリッ

第9表 5号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	30	26
P 2	32	22
P 3	32	17
P 4	41	26
P 5	23	12
P 6	33	7
P 7	30×24	28
P 8	30×23	20
P 9	28	9



第304図 5号掘立柱建物柱・穴配置模式図

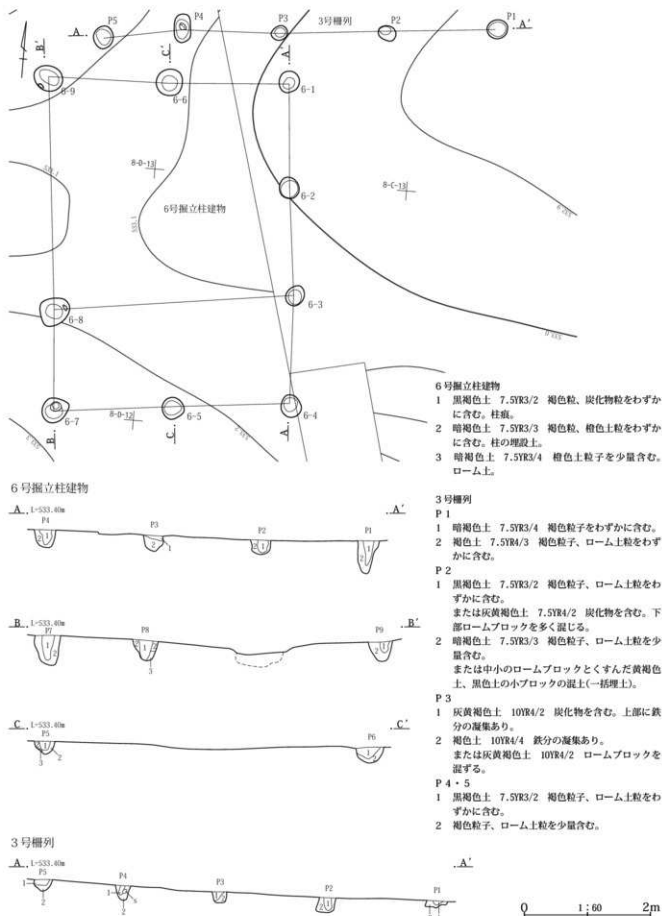
ドにある。標高532.83～532.73m。1間×1間の東西棟の母屋の西と北に底が付属する。北辺の方位はおおよそN-89°-Eを示す。母屋の東辺長2.07m、西辺長2.04m、南辺長3.56m、北辺長3.64m。西側底の出は1.14～1.16m、北側底の出は1.11～1.12m。いずれの柱穴にも柱痕は残っていない。覆土は灰黄褐色土を主体とする。

P 1 径30cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.49m、深さ26cm。覆土下層にロームブロックを含む。

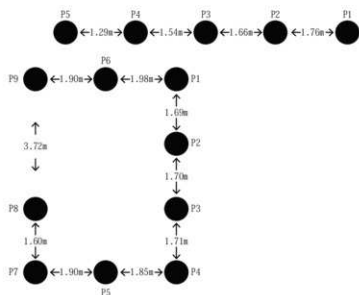
P 2 径32cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は幅の広いU字状。底面標高532.61m、深さ22cm。

P 3 径32cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.67m、深さ17cm。覆土下層にロームブロックを含む。

P 4 径41cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたやや深い鍋状。底面標高532.57m、深さ26cm。覆土下層は



第305図 6号掘立柱建物・3号欄列 1/60



第306図 6号独立柱建物・3号柵列柱穴配置模式図

ルームブロックが主体となる。

P 5 径23cmの円形の平面形、断面形はゆがんだU字状。底面標高532.68m、深さ12cm。覆土下層にルームブロックを含む。

P 6 径33cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は浅い鍋状。底面標高532.76m、深さ7cm。

P 7 30×24cmの扁円形の平面形、断面形はゆがんだU字状。底面標高532.76m、深さ28cm。覆土下層に暗褐色土、中位にルームブロック主体の層を挟んで上位に灰黄褐色土が載る。

P 8 30×23cmの扁円形の平面形、断面形はゆがんだU字状ないし鍋状。底面標高532.59m、深さ20cm。覆土下層にルームブロックが混ざる。

P 9 径28cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は浅い皿状。底面標高532.64m、深さ9cm。

6号独立柱建物 8-C-12・13グリッドにある。標高532.95～533.22m。2間×3間の南北棟の側柱建物だが、東辺P2に対応する西辺のピットが欠ける。方位は周辺独立柱建物とは異なって西に傾き、およそN-7°-Wを示す。東辺長5.1m、西辺長5.32m、南辺長3.75m、北辺長3.88m。覆土は暗褐色土を主体とし、周辺独立柱建物の柱穴における灰黄褐色土、にぶい褐色土は観察されていない。黒褐色土の柱痕が残る。北0.5mほどに、北辺と平行して3号柵列がある。北東隅のP1と東にある5号独立柱建物南西端のP5との間7m、南東端のP4と4号独立柱建物西辺との間が6.25m。

第10表 3号柵列

	径(cm)	深(cm)
P 1	30	10
P 2	27	25
P 3	25	18
P 4	45	26
P 5	32	18

第11表 6号独立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	30	38
P 2	30	24
P 3	32×28	26
P 4	32	29
P 5	34	18
P 6	40	28
P 7	38	64
P 8	47×42	36
P 9	46×40	34

P 1 径30cmの円形の平面形、断面形は丸みを帯びたV字状に近い。底面標高532.6m、深さ38cm。柱痕が残る。

P 2 径30cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.75m、深さ24cm。柱痕が残る。

P 3 32×28cmの扁円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.81m、深さ26cm。覆土上位に他の柱穴の柱痕と同じ黒褐色土が載る。

P 4 径32cmの円形の平面形、断面形はやや幅の広いU字状。底面標高532.88m、深さ29cm。柱痕が残る。

P 5 径34cmの円形の平面形、断面形はゆがんだ深い碗状。底面標高533.047m、深さ18cm。柱痕が残り、埋設土は下位にルーム土、上位に暗褐色土を用いる。

P 6 径40cmの円形の平面形、断面形は碗状。底面標高532.86m、深さ28cm。覆土上位に他の柱穴の柱痕と同じ黒褐色土が載る。

P 7 径38cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高532.65m、深さ64cm。深い柱痕が掘り方底面下まで達する。

P 8 47×42cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は深い碗状。底面標高532.84m、深さ36cm。底面に達する柱痕があり、埋土は下位にルーム土、上位に暗褐色土を用いる。

P 9 46×40cmの扁円形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高532.85m、深さ34cm。柱痕が残る。

3号柵列 8-B～D-13グリッドにある。標高532.85～533.2m。P1～5が6.25mに渡って東西に並ぶが、

第2章 調査された遺構と遺物

間隔にはややばらつきがあり、西に行くに従って柱之間距離が短くなる。方位はN-82°-E。土層観察所見に混乱があるが、暗褐色土を主体的な埋設土とし、柱痕状に黒褐色土が認められたものとみられる。6号掘立柱建物の北辺に沿い、埋土も類似するようだが、東にずれて延びている。

P 1 径30cmの円形の平面形、断面形は底面に凹凸があるが浅い箱状を呈する。底面標高532.77m、深さ10cm。埋設土は褐色土、上位に暗褐色土が載る。

P 2 径27cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は箱形。底面標高532.67m、深さ25cm。異なる土層観察所見が残されているが、一連の櫛列と捉えられているところから見て、暗褐色の埋設土中に黒褐色土が柱痕状に入るとの所見を探りたい。

P 3 径25cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.82m、深さ18cm。異なる土層観察所見が残されているが、他のピットとの共通性から、下位に暗褐色土、上位に黒褐色土があるものと見られる。

P 4 45×27cmの長円形の平面形、断面形は上部が開いたU字状。底面標高532.86m、深さ26cm。

P 5 径32cmの円形の平面形、断面形は碗状。底面標高533.02m、深さ18cm。

7号掘立柱建物 7-L-N-1~4グリッドにある。標高532.86~533.14m。1間×4間の母屋の東西と北に庇が付く。方位はおよそN-20°-Wを示す。母屋の東辺長7.49m、西辺長7.56m、南辺長4.04m、北辺は中柱がある2間構成で長1.14m。東の庇は南から3間分あって出は1.05~1.19m、西の庇は北から3間分あって出は1.04~1.27m。南端のP16がやや南に偏る。北の庇は母屋の中柱と対応して2間あり、出は1.13~1.24m。P4~9には掘り方底面に扁平な礫が置かれる。8号掘立柱建物と重複する位置にあり、7号掘立柱建物P22が8号掘立柱建物P16に切られる。また、建物範囲内には208号・235~240号土坑、233号ピットがある。

P 1 径33cmの円形の平面形。壁面、底面が乱れるが、断面形はおおよそ鍋状。底面標高532.59m、深さ26cm。

P 2 径31cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高532.52m、深さ39cm。

P 3 径28cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高532.56m、深さ40cm。

P 4 径36cmの円形の平面形、断面形は深い箱状。底面標高532.46m、深さ48cm。底面に平坦な礫が置かれ、その上に角礫が載る。

P 5 径34cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.54m、深さ45cm。底面に平坦な礫が置かれ、その上に角礫が載る。

P 6 径36cmの長円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.59m、深さ54cm。底面に平坦な礫が置かれる。

P 7 径32cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.57m、深さ50cm。底面に平坦な礫が置かれ、覆土中にも角礫がある。

P 8 径47cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.47m、深さ50cm。底面に平坦な礫が重ねて置かれる。

P 9 径35cmの長円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.59m、深さ37cm。底面に平坦な礫が置かれる。

P 10 径29cmの円形の平面形、底部中央に柱痕かと思われるくぼみがある。壁は直立する。底面標高532.59m、深さ37cm。

P 11 径40×30cmのゆがんだ扁円形の平面形、断面形はU字状だが、東壁がやや傾く。底面標高532.5m、深さ44cm。

P 12 径38cmの扁円形の平面形、断面形は鍋状だが、北が浅く南が深い。底面標高532.52m、深さ39cm。

P 13 径20cmの隅丸方形の平面形、断面形は上部がやや開くU字状。底面標高532.72m、深さ24cm。

P 14 径25cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高532.53m、深さ41cm。

P 15 径26cmの円形の平面形、壁面がやや乱れるが、断面形は深い鍋状。底面標高532.65m、深さ34cm。

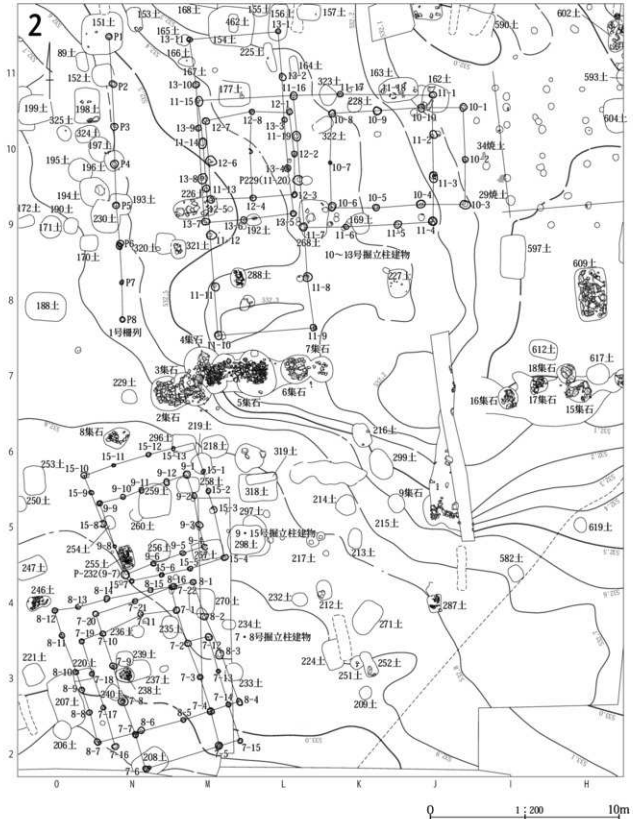
P 16 径33cmのゆがんだ扁円形の平面形、断面形はU字状だが、東壁がやや傾く。底面標高532.72m、深さ35cm。

P 17 径24cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状だが、壁面が乱れる。底面標高532.61m、深さ37cm。

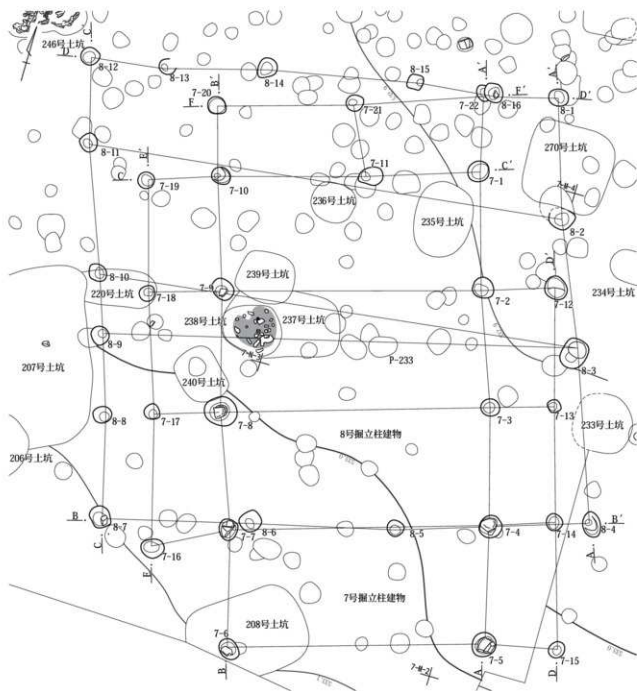
P 18 径25cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.64m、深さ32cm。

P 19 径26cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.62m、深さ34cm。

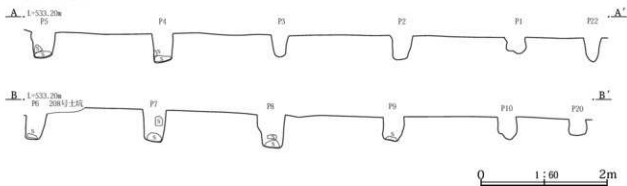
P 20 径25cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は底面が平坦な箱状。底面標高532.66m、深さ30cm。



第307図 第4面掘立柱建物 部分図2 7～13・15号掘立柱建物・1号棚列 1/200

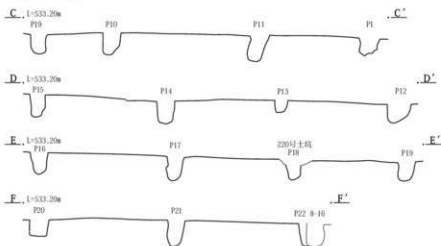


7号掘立柱建物

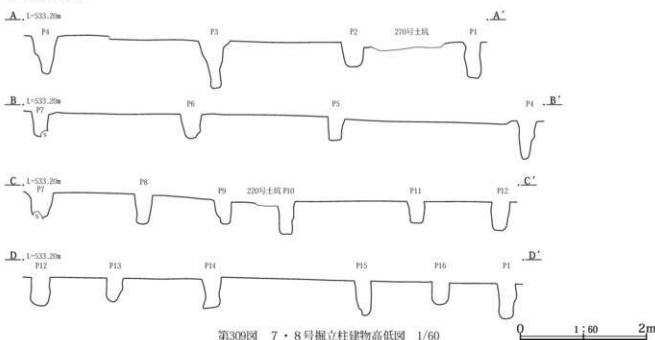


第308図 7・8号掘立柱建物 7号掘立柱建物高低図 1/60

7号掘立柱建物



8号掘立柱建物



第309図 7・8号掘立柱建物高低図 1/60

P 21 径26cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.49m、深さ45cm。

P 22 東部を8号掘立柱建物P16に切られる。径28cmの扁円形の平面形と思われる。底面標高532.48m、深さ37cm。

8号掘立柱建物 7-L~O-2~4グリッドにある。標高532.86~533.13m。東辺は4本の柱穴があって長さ6.76m、N-20°-W、西辺は6本の柱穴があって長さ7.3m、N-17°-W、南辺は4本の柱穴があって長さ7.73m、N-74°-E、北辺は6本の構成で長さ7.43m、N-79°-Eを採る。変則的な構成で、各柱穴間の距離も一定しない。

P 1 径30cmの円形の平面形、断面形は壁面が乱れるが

深い箱状。底面標高532.27m、深さ59cm。

P 2 径40cmのゆがんだ円形の平面形、断面は深い鍋状。底面標高532.32m、深さ53cm。270号土坑に接する。

P 3 48×40cmの長円形の平面形、断面は深い漏斗状。底面標高532.07m、深さ81cm。

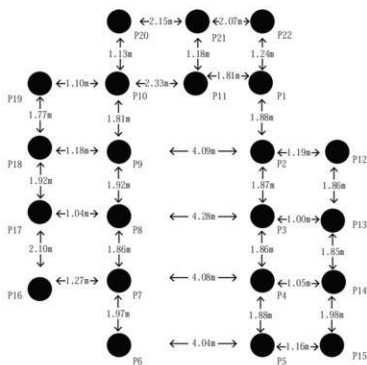
P 4 42×28cmの楕円形の平面形、断面は南側に弱い中段を持つ狭いV字状。底面標高532.33m、深さ61cm。

P 5 径25cmの円形の平面形、断面は深いU字状。底面標高532.62m、深さ39cm。

P 6 径32cmのゆがんだ円形の平面形、断面はU字状。底面標高532.65m、深さ36cm。

P 7 径30cmのゆがんだ円形の平面形、断面はU字状。

第2章 調査された遺構と遺物



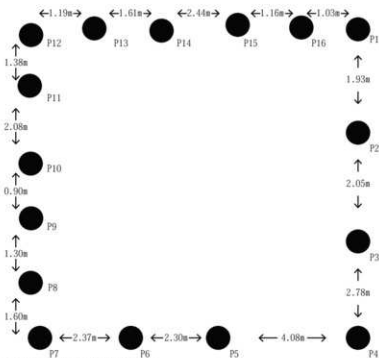
第310図 7号掘立柱建物柱穴配置模式図

第12表 7号掘立柱建物

P 1	径(cm)	深(cm)	P 12	径(cm)	深(cm)
P 2	31	39	P 13	20	24
P 3	28	40	P 14	25	41
P 4	36	48	P 15	26	34
P 5	34	45	P 16	33	35
P 6	36	54	P 17	24	37
P 7	32	50	P 18	25	32
P 8	47	50	P 19	26	34
P 9	35	37	P 20	25	30
P 10	29	37	P 21	26	45
P 11	40×30	44	P 22	28	37

第13表 8号掘立柱建物

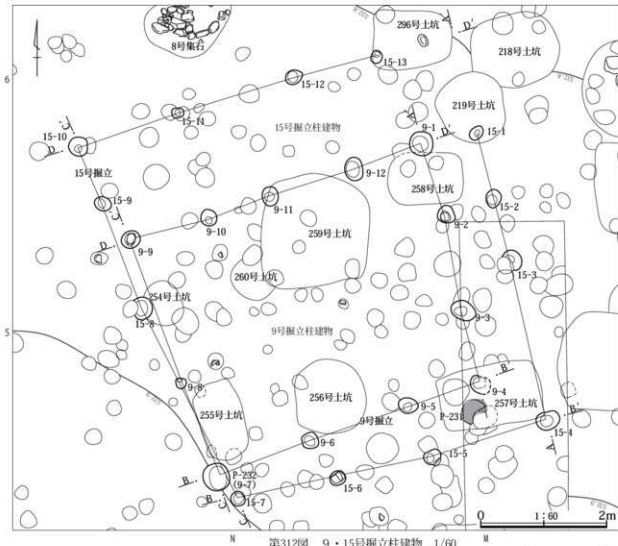
P 1	径(cm)	深(cm)	P 9	径(cm)	深(cm)
P 2	40	53	P 10	28	56
P 3	48×40	81	P 11	27	37
P 4	42×28	61	P 12	28	50
P 5	25	39	P 13	25	36
P 6	32	36	P 14	35×30	45
P 7	30	42	P 15	25	54
P 8	30	58	P 16	27	37



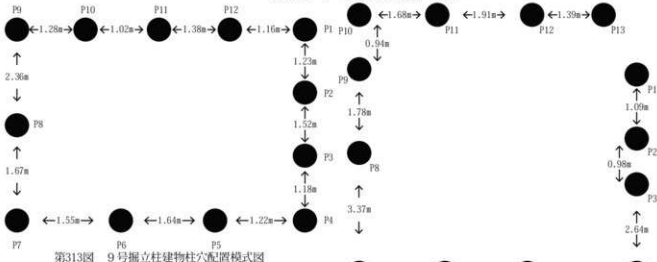
第311図 8号掘立柱建物柱穴配置模式図

底面に地山の礫がある。底面標高532.69m、深さ42cm。
 P 8 径30cmの円形の平面形、断面は深いU字状。底面標高532.55m、深さ58cm。
 P 9 径28cmの円形の平面形、断面は南側に弱い段があるが、基本的にはU字状。底面標高532.57m、深さ34cm。
 P 10 径28cmのゆがんだ円形の平面形、断面は深い箱形。底面標高532.4m、深さ56cm。220号土坑と切り合う。

P 11 径27cmのゆがんだ円形の平面形、断面は深い箱形。底面標高532.59m、深さ37cm。
 P 12 径28cmの円形の平面形、断面は深いU字状ないし箱形。底面標高532.47m、深さ50cm。
 P 13 径25cmの円形の平面形、断面はゆがんだU字状。底面標高532.52m、深さ36cm。
 P 14 35×30cmのゆがんだ扁円形の平面形、断面は掘り



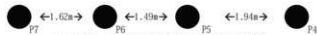
第312図 9・15号掘立柱建物 1/60



第313図 9号掘立柱建物柱穴配置模式図

第14表 9号掘立柱建物

径(cm)	深(cm)	径(cm)	深(cm)		
P 1	37	37	P 7	40	28.5
P 2	28	46	P 8	18	33
P 3	43×29	48	P 9	30	52
P 4	30×26	15	P 10	27	33
P 5	29×23	18	P 11	30×25	66
P 6	25	48	P 12	35×28	28

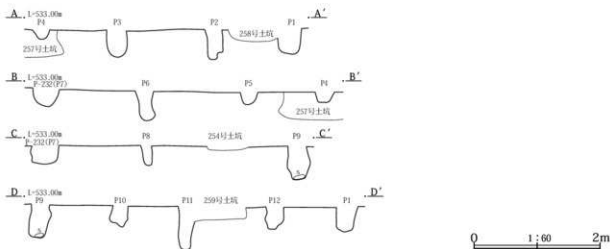


第314図 15号掘立柱建物柱穴配置模式図

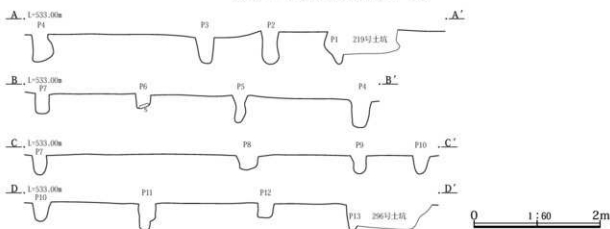
第15表 15号掘立柱建物

径(cm)	深(cm)	径(cm)	深(cm)		
P 1	23×18	51	P 8	33	24
P 2	27	51	P 9	28×23	33
P 3	33	42	P 10	29	33
P 4	35×30	44	P 11	20×13	43.5
P 5	28×20	46.5	P 12	30×23	22.5
P 6	25	25.5	P 13	20	38
P 7	28	33			

第2章 調査された遺構と遺物



第315図 9号掘立柱建物高低図 1/60



第316図 15号掘立柱建物高低図 1/60

方中位が狭い箱形。底面標高532.44m、深さ45cm。

P 15 径25cmの胴張りの強い隅丸方形の平面形、断面は底面がやや乱れるが深いU字状。底面標高532.32m、深さ54cm。

P 16 径27cmのゆがんだ偏円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.49m、深さ37cm。

9号掘立柱建物 7-L～N-4～5グリッドにある。標高532.8～532.9m。3間×3間の東西棟が基本形と思われるが、西辺は北側の中柱が確認されず、北辺は5本の構成を採る。柱間も一定しない。南北辺はN-70°-Eで揃うが、北辺が長く東に張り出すため、東辺はN-15°-W、西辺はN-20°-Wを示す。東辺長3.93m、西辺長4.03m、南辺長4.41m、北辺長4.84m。254～260号土坑と重複する。

P 1 径37cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.43m、深さ37cm。258号土坑と重複する。

P 2 径28cmのゆがんだ円の平面形、断面はU字状で南

部が一段低くなって柱痕を思わせる。底面標高532.36m、深さ46cm。

P 3 43×29cmの東西に長い長円形の平面形、断面はU字状。底面標高532.37m、深さ48cm。

P 4 30×26cmの東西にやや長いゆがんだ偏円形の平面形、断面はU字状。底面標高532.66m、深さ15cm。257号土坑を切る。

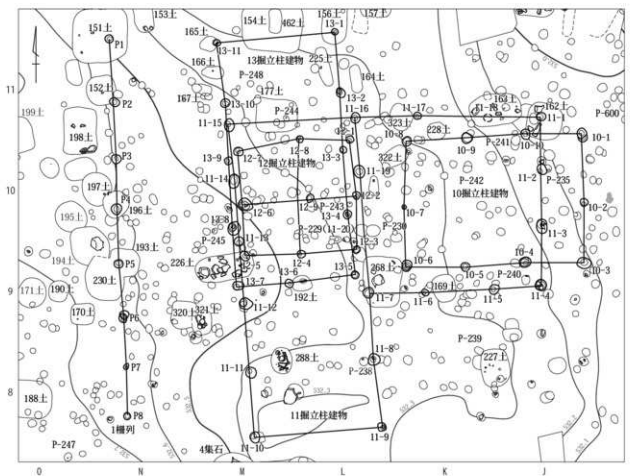
P 5 29×23cmの東西にやや長い長円形の平面形、断面は上部がやや開くU字状。底面標高532.62m、深さ18cm。

P 6 径25cmの隅丸方形に近いゆがんだ円形の平面形、断面は壁中部がはらみだした深い袋状。底面標高532.36m、深さ48cm。

P 7 径40cmの円形の平面形、断面はやや深い鍋状。底面標高532.56m、深さ28.5cm。232号ピット。

P 8 径18cmの円形の平面形、断面は狭いU字状。底面標高532.55m、深さ33cm。

P 9 径30cmの円形の平面形、断面は壁中央が広がる



第317図 10～13号掘立柱建物位置図 1/150

弱い壺形で、掘り方底面に扁平な碟がある。底面標高532.34m、深さ52cm。

P10 径27cmの円形の平面形、断面は鍋状だが中央に柱痕を思わせる凹みがある。底面標高532.51m、深さ33cm。

P11 30×25cmの南北に長い扁円形の平面形、断面は深いU字状。底面標高532.14m、深さ66cm。259号土坑と重複する。

P12 35×28cmの南北に長い扁円形の平面形、断面は深い碗状だが、底部に一段深い平坦面がある。底面標高532.54m、深さ28cm。

15号掘立柱建物 7-L～N-4～6グリッドにある。標高532.79m～533.13m。東北隅の柱穴は確認されていないがこれを東辺・北辺の交点に仮定すると、東辺は4本の柱穴があって長さ6.76m、N-12°-W、西辺は4本の柱穴があって長さ6.09m、N-24°-W、南辺は4本の柱穴があって長さ5.05m、N-70°-E、北辺は5本の柱穴があって長さ6.15m、N-72°-Eを採る。変則的な構成で、各柱穴間の距離も一定しない。9号掘立柱建物の

ほか、219号、254～260号、296号土坑と重複する。

P1 径23×18cmの扁円形の平面形、断面形は219号土坑と重複して捉えたいが、壁中位が膨らみ、底面には柱痕を思わせる凹みがある。底面標高532.28m、深さ51cm。

P2 径27cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は壁中部がくびれ底面が丸いゆるい壺状。底面標高532.28m、深さ51cm。

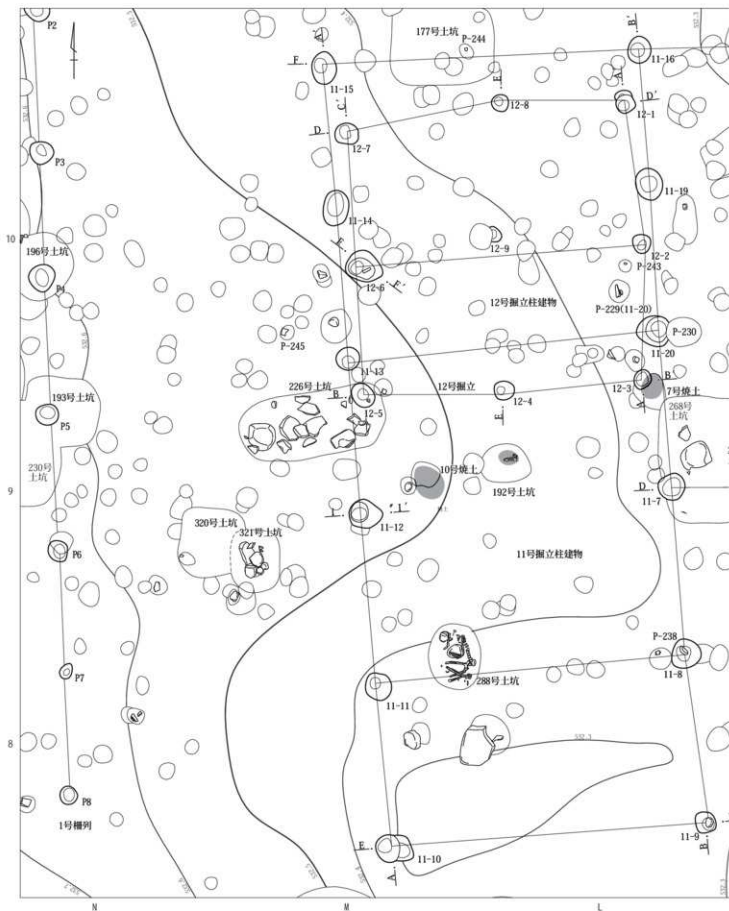
P3 径33cmのほぼ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.37m、深さ42cm。

P4 径35×30cmの東西に長い長円形の平面形、断面形は底部が広がる袋状。底面標高532.31m、深さ44cm。

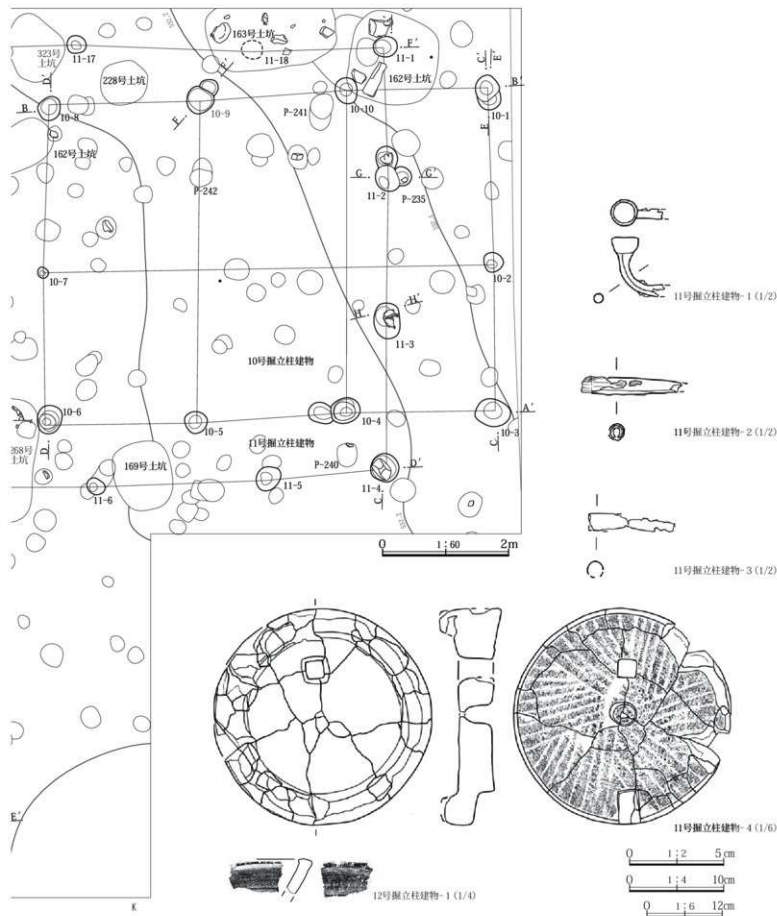
P5 28×20cmの東西に長い長円形の平面形、断面形はゆがんだU字状。底面標高532.4m、深さ46.5cm。

P6 径25cmの円形の平面形、断面形はU字状で、掘り方底面に扁平な碟が置かれる。底面標高532.61m、深さ25.5cm。

P7 径28cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標

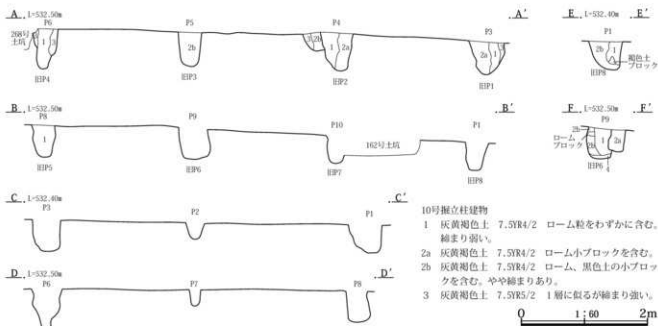


第318図 10～12号掘立柱建物 1/60

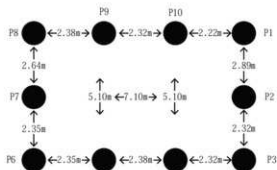


第319図 11・12号掘立柱建物出土遺物

第2章 調査された遺構と遺物



第320図 10号掘立柱建物断面図 1/60



第321図 10号掘立柱建物柱穴配置模式図

10号掘立柱建物

- 1 灰黄褐色土 7.5YR4/2 ローム粒をわずかに含む。締まり弱い。
- 2a 灰黄褐色土 7.5YR4/2 ローム小ブロックを含む。
- 2b 灰黄褐色土 7.5YR4/2 ローム、黒色土の小ブロックを含む。やや締まりあり。
- 3 灰黄褐色土 7.5YR5/2 1層に似るが締まり強い。

0 1; 60 2m

第16表 10号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)		径(cm)	深(cm)
P 1	40	45	P 6	38×43	60
P 2	30	24	P 7	17	24
P 3	57×42	57	P 8	37	48
P 4	45	57	P 9	42	50
P 5	34	62	P 10	93×34	45

高532.55m、深さ33cm。

P 8 径33cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.63m、深さ24cm。254号土坑を切る。

P 9 28×23cmの南北に長い扁円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.56m、深さ33cm。

P 10 径29cmの円形の平面形、断面形は上部が開いたU字状。底面標高532.56m、深さ33cm。

P 11 20×13cmの東西に長い長円形の平面形、断面形は中段を持つ深いU字状。底面標高532.39m、深さ43.5cm。

P 12 30×23cmの東西に長い涙滴形の平面形、断面形は鍋状。底面標高532.59m、深さ22.5cm。

P 13 径20cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上部が開いた狭いU字状。底面標高532.4m、深さ38cm。

10号掘立柱建物 7-1～K-9～10グリッドにある。標高532.28～532.35m。2間×3間の東西に長い側柱

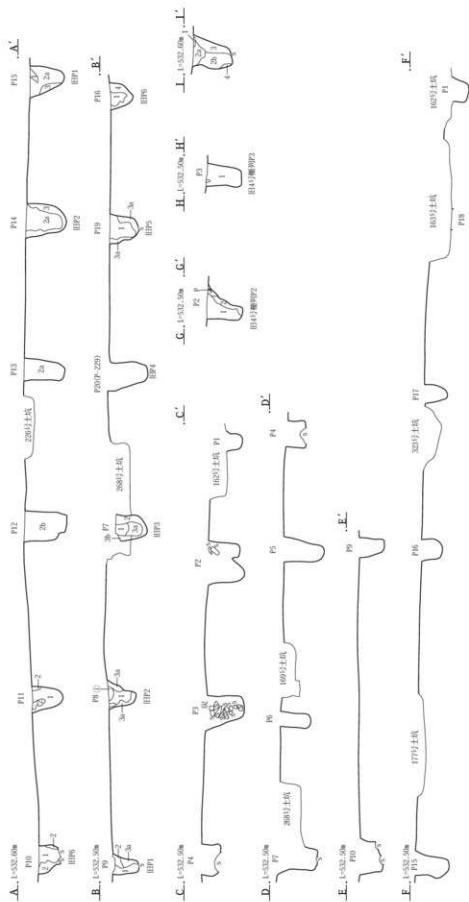
建物で、東辺の方位はN-1°-E。北辺と東辺がやや短く、東西6.87～7.05m、南北4.47～5.01m。柱穴は灰黄褐色土で埋まり、明確な柱痕は認められない。ピット、土坑の密集部にある。11号掘立柱建物と重複し、12・13号掘立柱建物西2.3mほどにある。P 6は268号土坑と接し、P 10は162号土坑と重複する。

P 1 径40cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は一方が直立し、他方が上方に開くU字状。底面標高351.58m、深さ45cm。柱痕状に締まりの弱い灰黄褐色土が入る。

P 2 径30cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上部がやや開いたU字状。底面標高531.79m、深さ24cm。

P 3 57×42cmの東西に長い扁円形の平面形、断面形は深い鍋状ないしU字状。底面標高531.61m、深さ57cm。柱痕状に締まりの弱い灰黄褐色土が入る。

P 4 径45cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上部が



P.7~9・16・19

- 1 灰黒褐色土 100%土/2 小石、ローム粒を含む、柱頭。
- 2 1層にロームブロックを多く混じる。
- 3a 1層にローム小ブロックを混に含む。
- 3b 2層より大まめのロームブロックを含む。
- 4 黒色土。

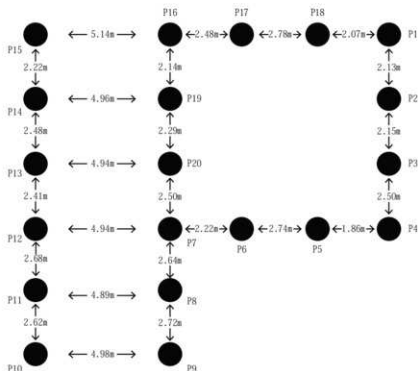
P.10・11

- 1 灰黒褐色土 100%土/2 ローム・黒色土の小ブロックをわずかに含む、柱頭が強い。
- 2 1層よりロームブロックが多く混じる。

P.12~15

- 1 褐色土 100%土/1 灰分の層状あり。
- 2a 灰黒褐色土 100%土/2 土質均質、柱頭あり。
- 2b 2層より柱頭強い。
- 3 灰黒褐色土 100%土/2 ローム・黒色土の小ブロックをわずかに含む。
- 4 ロームブロックと褐色土ブロックの混土。

第2章 調査された遺構と遺物



第17表 11号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)		径(cm)	深(cm)
P 1	37×32	45	P11	40	54
P 2	43×34	51.0	P12	53×47	65
P 3	55×39	44	P13	36	64
P 4	45	19.5	P14	56×40	63
P 5	43×37	65	P15	52×38	53
P 6	39×24	45	P16	43×35	40.5
P 7	40	64	P17	27	25
P 8	47	60	P18	30	0
P 9	31	41	P19	52×40	48
P10	43×37	48	P20	49×45	63

第323図 11号掘立柱建物柱穴配置模式図

やや開いたU字状。底面標高531.65m、深さ57cm。一方に偏して柱痕状に締まりの弱い灰黄褐色土が入る。

P 5 径34cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.71m、深さ62cm。

P 6 36×43cmの南北にやや長い偏円形の平面形、断面形は底部は一段深く、柱痕を思わせる。中位以上は碗状ないし中位が膨らむ壺状。底面標高531.67m、深さ60cm。柱痕状に締まりの弱い灰黄褐色土が入る。

P 7 径17cmの小さな円形の平面形、断面形は上部がやや開いた狭いU字状。底面標高532.05m、深さ24cm。

P 8 径37cmの扁円形の平面形、断面形は上部がやや開いたU字状。底面標高531.79m、深さ48cm。

P 9 径42cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高531.75m、深さ50cm。一方に偏して柱痕状に締まりの弱い灰黄褐色土が入る。

P 10 93×34cmの南北にやや長い偏円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.69m、深さ45cm。162号土坑と重複する。

11号掘立柱建物 7-1～L-7～10グリッドにある。標高532.06～532.4m。5間×1間の南北棟の北東に3間×3間の方形の建物が付属する。逆L字状の平面形が想定されている。西部の方位はおおよそN-7°-W、東

辺の方位はほぼN-2°-Wを示し、北辺は東辺に直行し、南辺は東西とも西辺に直行する。東辺3間で長さ6.78m、中央辺5間12.29m、西辺5間12.42m、北辺4間長さ12.34m、うち東部3間長さ7.33m、西部1間長さ5.01m、南辺東部3間長さ6.82m、南辺西部1間長さ4.98m。覆土は灰黄褐色土が主体で、締まりが弱い柱痕の痕跡が認められたものもある。10、12、13号掘立柱建物と重複する。東5mほどに1号櫓列がある。162、163、169、177、192、226、268、288、322、323号土坑などと重複し、268号土坑より新しい。

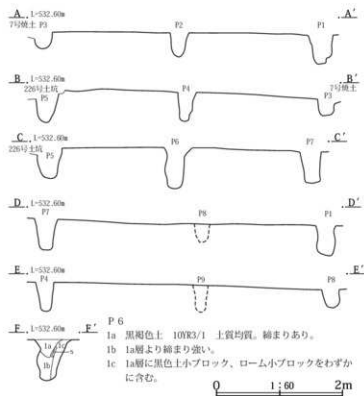
P 1 37×32cmの南北に長い扁円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.59m、深さ45cm。162号土坑と重複する。

P 2 43×34cmの南北に長い扁円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.55m、深さ51cm。235号ピットを切る。

P 3 55×39cmの南北に長い扁円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.56m、深さ44cm。中央の柱痕相当位置に礫や炭化物が重なっている。

P 4 径45cmの円形の平面形、断面形はやや深い箱状。底面標高531.92m、深さ19.5cm。底面に礫が当たる。

P 5 43×37cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上部



第324図 12号掘立柱建物断面図 1/60

がやや開くU字状。底面標高531.62m、深さ64.5cm。

P 6 39×24cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.84m、深さ45cm。

P 7 径40cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高531.75m、深さ64cm。268号土坑を切る。柱痕が残る。

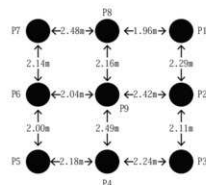
P 8 径47cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状で中段を持って上位に開く。底面標高531.8m、深さ60cm。柱痕が残る。

P 9 径31cmの円形ないし胴張りのある隅丸方形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.88m、深さ41cm。柱痕が残る。

P 10 43×37cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高531.92m、深さ48cm。覆土は灰黄褐色土を主体とする。底面は礫に当たる。

P 11 径40cmの円形の平面形、断面形は上部の開くU字状。底面標高531.85m、深さ54cm。覆土は締まりの弱い灰黄褐色土。

P 12 53×47cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は底部近くに段のある深い鍋状。底面標高531.84m、深さ65cm。覆土は灰黄褐色土を主体とする。



第325図 12号掘立柱建物柱穴配置模式図

第18表 12号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	27	45
P 2	28	39
P 3	29	24
P 4	31	48
P 5	40×31	51
P 6	57×46	63
P 7	37	50
P 8	25	29
P 9	29	44

P 13 径36cmの円形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高531.86m、深さ64cm。覆土は締まりのある灰黄褐色土を主体とする。

P 14 56×40cmの南北に長い楕円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高531.86m、深さ63cm。覆土は締まりのある灰黄褐色土を主体とする。

P 15 52×38cmの南北に長い楕円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高531.86m、深さ53cm。覆土は締まりのある灰黄褐色土を主体とする。

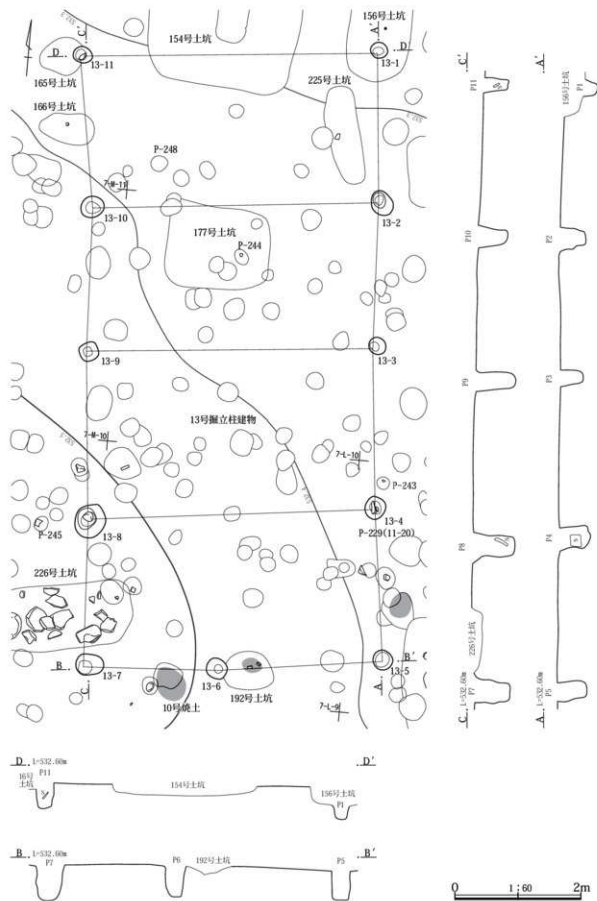
P 16 43×35cmの扁円形の平面形、断面形は南側がやや深い傾いたU字状。底面標高531.98m、深さ40.5cm。柱痕が残る。

P 17 径27cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.97m、深さ25cm。323号土坑と接する。

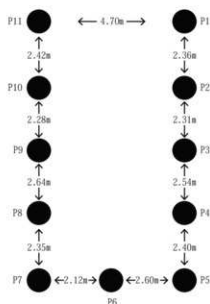
P 18 163号土坑底面に痕跡的に残る。径30cmの円形の平面形。163号土坑底面の標高531.84m。

P 19 52×40cmの南北に長い楕円形の平面形、断面形は上部がやや開くU字状。底面標高531.87m、深さ48cm。柱痕が残る。

P 20 49×45cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上部がやや開くU字状。底面標高531.74m、深さ63cm。230



第326図 13号掘立柱建物 1/60



第327図 13号掘立柱建物柱穴配置模式図

号ピットに切られる。H229号ピット。

12号掘立柱建物 7-K～M-9～10グリッドにある。標高532.3～532.5m。2間×2間の総柱建物で、東西4.96m、南北4.94m。ほぼ方形の平面形だが、北辺中央の柱穴はやや北に張り出し、東辺中央の柱はやや東に張り出している。また中央の柱は中柱を結ぶ線の交点より北西方向にずれる。P6の所見では覆土は黒褐色土を主体とする。明確な柱痕は認められていない。11、13号掘立柱建物と重複するが、新旧関係は不明。

P1 径27cmの胴張りの強い隅丸方形の平面形、断面形は底部に小さな段を持つU字状。底面標高531.85m、深さ45cm。

P2 径28cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は上方に開くU字状。底面標高532m、深さ39cm。

P3 径29cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.11m、深さ24cm。7号埴土を切る。

P4 径31cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は深く狭いU字状。底面標高532m、深さ48cm。

P5 40×31cmの長円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.99m、深さ51cm。226号土坑と切り合う。

P6 57×46cmのゆがんだ扁円形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高531.93m、深さ63cm。覆土は黒褐色土を主体とする。

P7 径37cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高531.93m、深さ49.5cm。

P8 径25cmのほぼ円形の平面形、断面形はU字状。底

第19表 13号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	25	50
P 2	40×33	40
P 3	27	36
P 4	31	54
P 5	28	49
P 6	26	52
P 7	44×32	59
P 8	51	66
P 9	29	55
P 10	35	49
P 11	29	43

面標高532.07m、深さ29cm。P1-7を結ぶ線から北にずれる。

P9 径29cm。東部をピット状の攪乱に切られるが、ほぼ円形の平面形、断面形は狭いU字状。底面標高531.98m、深さ43.5cm。P4-8を結ぶ線から西に、P2-6を結ぶ線から北にずれる。

13号掘立柱建物 7-K～M-9～11グリッドにある。標高532.2～532.5m。2間×4間の南北棟だが、北辺の中柱は54号土坑中において確認できない。東西4.7～4.72m、南北9.61～9.69m、東辺はN-6°-Wを示す。

P1 径25cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.74m、深さ50cm。156号土坑と切り合う。

P2 40×33cmの偏円形の平面形、断面形は上方に開くやや深い鍋状。壁面はやや崩れる。底面標高531.94m、深さ40cm。

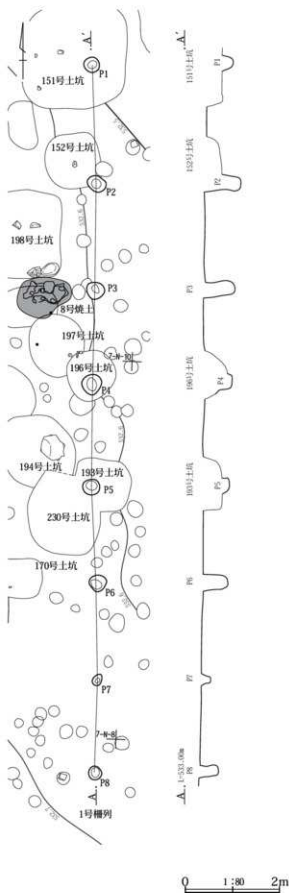
P3 径27cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.96m、深さ36cm。

P4 径31cmの円形の平面形、断面形は下部がややふくれる弱い袋状。底面標高531.83m、深さ54cm。覆土中位に角礫を含む。

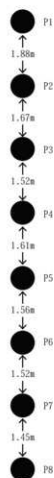
P5 径28cmの円形の平面形、断面形はやや深い鍋状。底面標高531.91m、深さ49cm。

P6 径26cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.97m、深さ52cm。192号土坑と重複する。

P7 44×32cmの東西に長い長円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高531.91m、深さ59cm。



第328図 1号櫓列 1/80



第20表 1号櫓列

	径(cm)	深(cm)
P 1	32	45
P 2	40×30	75
P 3	37	68
P 4	40	60
P 5	35	57
P 6	38	52
P 7	23×18	15
P 8	27	37

第329図 1号櫓列柱穴配置模式図

P 8 径51cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高531.83m、深さ66cm。覆土下位に角礫を含む。

P 9 径29cmの胴張りのある隅丸方形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高531.84m、深さ55cm。

P 10 径35cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.91m、深さ49cm。

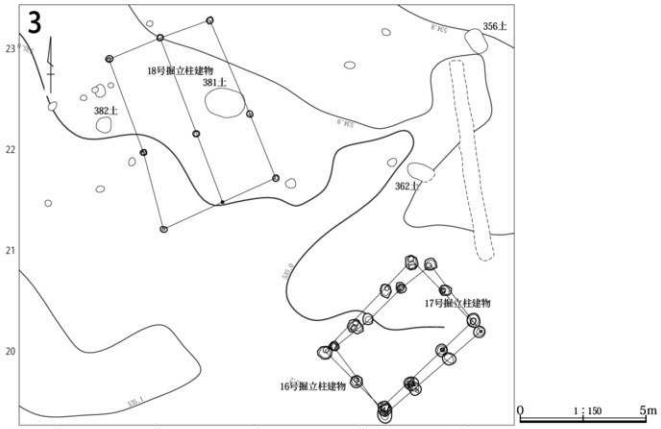
P 11 径29cmの形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.91m、深さ43cm。覆土中に角礫を含む。

1号櫓列 7-N-7～11グリッドにかけてある。標高532.4～532.7m。南北に延びる8本の柱穴列で延長9.7m、方位はN-3°-Eを示す。柱穴間距離は1.45～1.88mとややばらつく。南部P 7は小さく浅く、P 8も他に比して小さい。

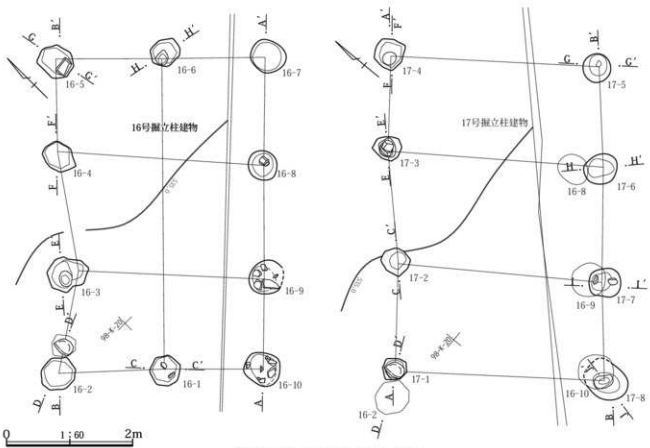
P 1 径32cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.96m、深さ45cm。151号土坑と重複する。

P 2 40×30cmの長円形の平面形、断面形はU字状。底面標高531.82m、深さ75cm。152号土坑を切る。

P 3 径37cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。



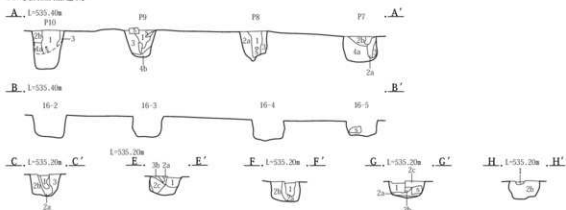
第330図 16・17・18号掘立柱建物 1/150



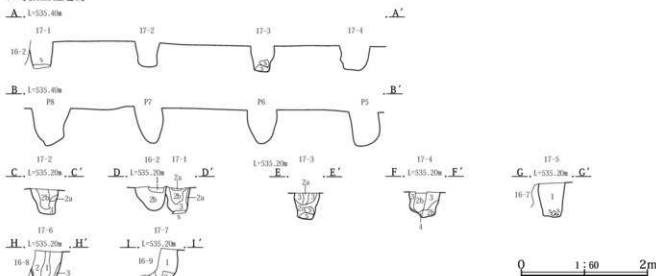
第331図 16・17号掘立柱建物 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

16号掘立柱建物



17号掘立柱建物



16号掘立柱建物

P 1～6

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 細砂、小石が混ざる。柱痕。
- 2a 黄色細砂小ブロック、灰黄褐色小ブロックの混上。やや締まりあり。一括埋上。
- 2b 2a層より各ブロックが大きい。
- 2c 2a層よりブロックが目立たない。黄色細砂に褐灰色土が混じる。
- 3 黒褐色土 10YR3/1 小石を含む。黄色砂の小ブロックをわずかに含む。締まりあり。

P 7～10

- 1 に近い黄褐色土 10YR5/4 洪水砂混じり、締まりの弱い柱痕。
- 2a 黒色土ブロックと洪水砂、黄褐色土ブロックの混上。締まりあり。
- 2b 2a層より洪水砂ブロックが多く混じる。
- 2c 黄色洪水砂を多く含む。褐色土ブロックを含む。締まりあり。
- 4a 黒褐色土 10YR3/2 洪水砂の小ブロックを含む。締まりあり。
- 4b 4a層より洪水砂が少なく、締まり強い。

17号掘立柱建物

P 1～4

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 細砂、小石が混ざる。柱痕。
- 2a 黄色細砂小ブロック、灰黄褐色小ブロックの混上。やや締まりあり。一括埋上。
- 2b 2a層より各ブロックが大きい。
- 2c 2a層よりブロックが目立たない。黄色細砂に褐灰色土が混じる。
- 3 黒褐色土 10YR3/1 小石を含む。黄色砂の小ブロックをわずかに含む。締まりあり。
- 4 明黄褐色ロームを主体とする。褐灰色土をわずかに含む。

P 5

- 1 暗褐色土 10YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色粒子、橙色土粒子をわずかに含む。

P 6

- 1 暗褐色土 10YR3/3 白色粒子を多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR3/1 褐色粒子、橙色土粒子、橙色土ブロックをわずかに含む。
- 3 暗褐色土 10YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。橙褐色土ブロックを少量含む。

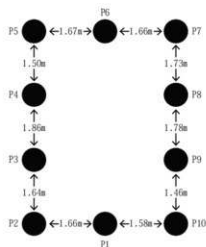
P 7

- 1 黒褐色土 10YR3/1 褐色粒子、橙色土粒子、橙色土ブロックをわずかに含む。
- 2 暗褐色土 10YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。橙褐色土ブロックを少量含む。

P 8

- 1 黒褐色土 10YR3/2 褐色粒子をわずかに含む。柱痕か。
- 2 暗褐色土 10YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。橙褐色土ブロックを少量含む。

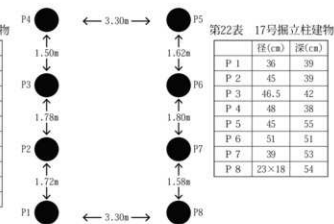
第332図 16・17号掘立柱建物柱穴断面図 1/60



第333図 16号掘立柱建物柱穴配置模式図

第21表 16号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	48	35
P 2	54	37
P 3	54×66	28
P 4	54	32
P 5	57	26
P 6	48	29
P 7	51	39
P 8	51	44
P 9	51	42
P 10	57	61



第334図 17号掘立柱建物柱穴配置模式図

第22表 17号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	36	39
P 2	45	39
P 3	46.5	42
P 4	48	38
P 5	45	55
P 6	51	51
P 7	39	53
P 8	23×18	54

底面標高531.97m、深さ68cm。

P 4 径40cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。

底面標高531.98m、深さ60cm。196号土坑と重複する。

P 5 径35cmの円形の平面形、断面形は碗状。底面標高532.04m、深さ57cm。193、230号土坑と重複する。

P 6 径38cmのゆがんだ円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.07m、深さ52cm。

P 7 23×18cmの涙滴形の平面形、断面形は浅く上方の開いた鍋状。底面標高532.44m、深さ15cm。

P 8 径27cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高532.28m、深さ37cm。

16号掘立柱建物 98-I～J-19～20グリッドにある。標高532.75～532.9m。2間×3間の東西棟の側柱建物で、標高534.95～535.04mにあり、長辺の方位はおよそN-44°-Eを示す。東北-南西方向の長辺は4.99～5.02m、短辺は2.24～2.33m。柱穴履土にはふい黄褐色土を主体とし、締まりの弱い柱痕を残すものがある。17号掘立柱建物と重なる位置にあり、16号掘立柱建物のほうが新しい。

P 1 径48cmの稜をもった六角形に近い円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高534.73m、深さ35cm。埋土は黄色細砂や灰黄褐色土ブロックの混土および黒褐色土。中央に灰黄褐色土で埋まる柱痕がある。

P 2 径54cmの稜をもった六角形に近い円形、断面形は碗状。底面標高534.67m、深さ37cm。黄色細砂や灰黄褐色土ブロックの混土を主体とする。17号掘立柱建物P 1を切る。

P 3 54×66cmの稜をもった六角形に近い円形で、中

段を持って南東に張り出す。断面形は鍋状。底面標高534.72m、深さ28cm。黄色砂や灰黄褐色土ブロックの混土および灰黄褐色土を主体とする。

P 4 長径54cmの稜をもった六角形に近い偏円形、断面形は鍋状。底面標高534.64m、深さ32cm。黄色砂や灰黄褐色土ブロックの混土および灰黄褐色土を主体とし、柱痕に灰黄褐色土が入る。

P 5 長径57cmの稜をもった六角形に近い偏円形、断面形は碗状。底面標高534.69m、深さ26cm。黄色砂や灰黄褐色土ブロックの混土を主体とする。下位に角礫が入る。

P 6 径48cmの稜をもった六角形に近い円形で、中段を持って南東に張り出す。断面形は底部に凹凸のある鍋状。底面標高534.67m、深さ29cm。黄色砂や灰黄褐色土ブロックの混土および灰黄褐色土を主体とし、柱痕に灰黄褐色土が入る。

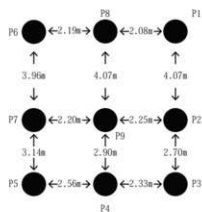
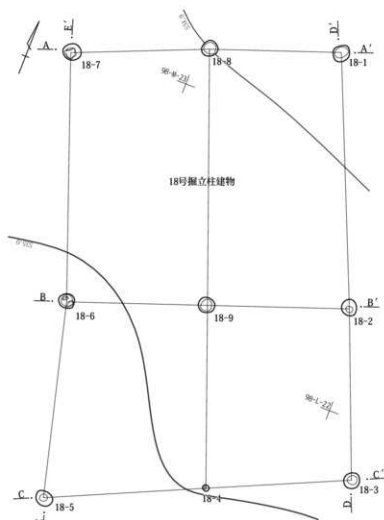
P 7 径51cmの円形の平面形、断面形は深い碗状ないし鍋状。底面標高534.7m、深さ39cm。黒色土、黄褐色土ブロックと洪水砂ブロックの混土を埋土とする。柱痕に締まりの弱いにふい黄褐色土が入る。

P 8 径51cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面に柱痕の凹みがある。底面標高534.73m、深さ44cm。黒色土、褐色土ブロックと洪水砂ブロックの混土を埋土とする。柱痕に締まりの弱いにふい黄褐色土が入る。

P 9 径51cmの円形の平面形、断面形は上部の開いたU字状。底面標高534.75m、深さ42cm。褐色土ブロックと洪水砂の混土を埋土とする。柱痕に締まりの弱いにふい黄褐色土が入る。

P 10 径57cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面

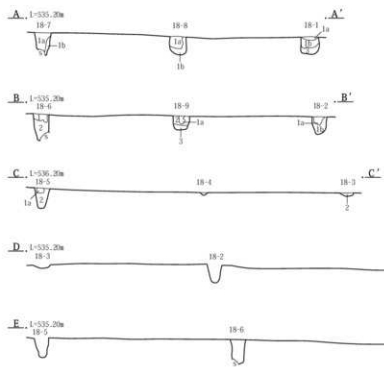
第2章 調査された遺構と遺物



第336図 18号掘立柱建物柱穴配置模式図

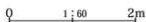
第23表 18号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1	21	25
P 2	24	21
P 3	24	5
P 4	9	7
P 5	27	29
P 6	24	39
P 7	30	37
P 8	25.5	26

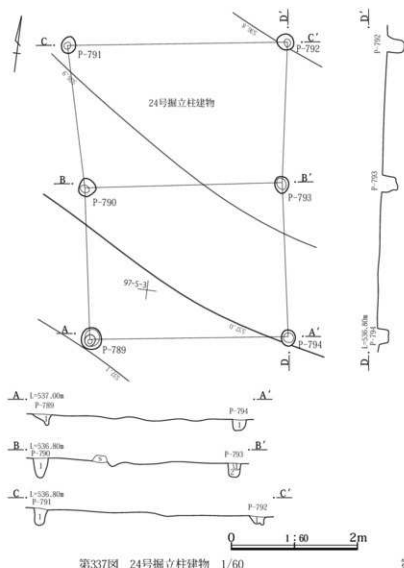


18号掘立柱建物

- 1a 黒褐色土 10YR3/2 ローム小ブロックをわずかに含む。
- 1b 1a層にわずかにロームを混じる。小石を含む。締まりあり。
- 2 ロームブロックと暗灰色土の混土。締まりあり。
- 3 黒色土 10YR2/1 粘性強い。わずかに小石を含む。

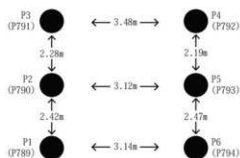


第335図 18号掘立柱建物 1/60



第24表 24号掘立柱建物

	径	深さ
P 1 (789号ビット)	33	21
P 2 (790号ビット)	27	32
P 3 (791号ビット)	21	27
P 4 (792号ビット)	27	12
P 5 (793号ビット)	22.5	22
P 6 (794号ビット)	22.5	17



標高534.59m、深さ61cm。黒色土ブロックと洪水砂ブロックの混土を埋土とする。柱痕に締まりの弱いにぶい黄褐色土が入る。

17号掘立柱建物 98-I~J-19~20グリッドに16号掘立柱建物と重複してある。標高534.95~535.04m。1間×2間の東西棟の側柱建物。東北-南西方向の長辺は5m、短辺は3.3mで、北西列が東にずれて、平面形は平行四辺形となる。柱穴覆土はにぶい黄褐色土を主体とし、締まりの弱い柱痕を残すものがある。

P 1 径36cmの稜をもった六角形に近い円形の平面形、断面形は上部のやや開くU字状。底面は礫に当たる。底面標高534.62m、深さ39cm。覆土は下層に黒褐色土があり、上層に黄色細砂、灰黄褐色土ブロックの混土がある。

P 2 径45cmの稜をもった六角形に近い円形の平面形、断面形はゆがんだ深い鍋状。底面標高534.61m、深さ39

cm。覆土は下層に黒褐色土があり、柱痕状に黄色細砂、灰黄褐色土ブロックの混土が入るが締まっており、一括埋土と判断されている。

P 3 径46.5cmの稜をもった六角形に近い円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高534.53m、深さ42cm。覆土は下層に黄色細砂、灰黄褐色土ブロックの混土があり、上層に黒褐色土が載る。底部に接して礫が入る。

P 4 径48cmの稜をもった六角形に近い円形の平面形、断面形は底部の凹凸が激しく、東側が一段深い鍋状。底面標高534.56m、深さ38cm。覆土は下層および上下に延びる柱痕状に黄色細砂、灰黄褐色土ブロックの混土が入り、上層に黒褐色土が入る。

P 5 径45cmの偏円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高534.57m、深さ55cm。覆土は暗褐色土を主体とする。

P 6 径51cmの偏円形の平面形、断面形は幅の広いU字

第2章 調査された遺構と遺物

状。底面標高534.62m、深さ51cm。覆土は黒褐色土を主体とし、柱痕状に暗褐色土が入る。16号掘立柱建物P8に切られる。

P7 径39cmの偏円形の平面形、断面形は壁中位が膨らむ弱い袋状。底面標高534.63m、深さ53cm。覆土は下層に暗褐色土、上層が黒褐色土を主体とする。16号掘立柱建物P9に切られる。

P8 23×18cmの長円形の平面形、断面形はU字形か。底面標高534.61m、深さ54cm。覆土は暗褐色土を主体とし、柱痕状に黒褐色土が入る。16号掘立柱建物P10に切られる。

18号掘立柱建物 98-K～M-21～23グリッドにある。標高534.58～535.05m。2間×2間の総柱の南北棟で、長軸はN-23°-Wを示す。東辺長6.77m、西辺長7.1m、南辺長4.89m、北辺長4.27mで北辺が短く、西辺の中柱が東に寄るためゆがんだ台形状の平面形を示す。また、中柱は南によることになるが、南辺のP3、4はごく小さく、浅いもので他の柱穴とは異なる。明確な柱痕は残っておらず、覆土は黒褐色土やロームブロックを含む褐色土を主体とする。

P1 径21cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高534.63m、深さ25cm。覆土は下位に黒色土、中位以上は黒褐色土を主体とする。

P2 径24cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高534.7m、深さ21cm。覆土は黒褐色土を主体とする。

P3 径24cmの円形の平面形、断面形は浅い皿状。底面標高534.92m、深さ5cm。覆土はロームブロックと褐色土の混土。

P4 径9cmの円形の平面形、断面形は浅い碗状。底面標高534.93m、深さ7cm。

P5 径27cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高534.74m、深さ28.5cm。覆土はロームブロックと褐色土の混土。

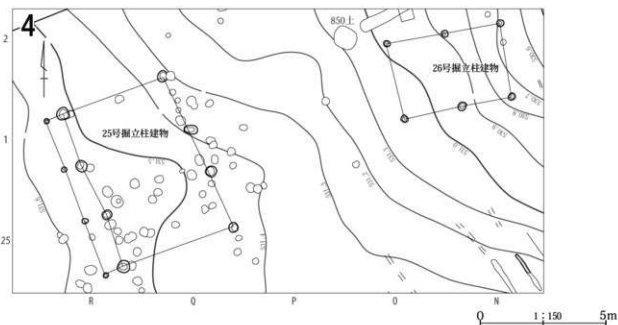
P6 径24cmの円形の平面形、断面形はU字状に近いが、底面に礫が当たる。底面標高534.61m、深さ39cm。覆土はロームブロックと褐色土の混土。

P7 径30cmの円形の平面形、断面形はU字状に近いが、底面に礫が当たる。底面標高534.58m、深さ37cm。覆土は黒褐色土を主体とする。

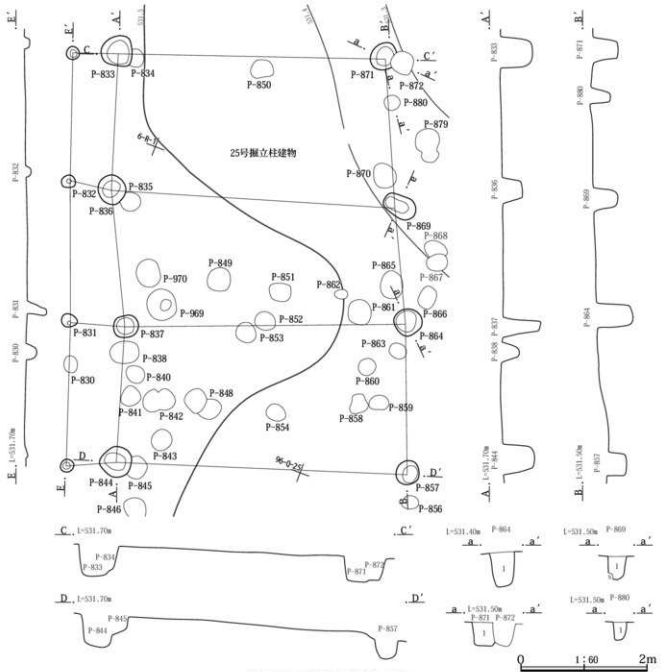
P8 径25.5cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高534.6m、深さ26cm。覆土は黒褐色土を主体とする。

P9 径24cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高534.76m、深さ23cm。覆土は下位に黒色土、中位以上はロームブロックと褐色土の混土を主体とし、中央に柱痕状に黒褐色土が入る。

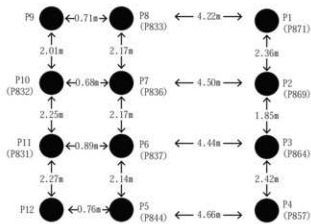
24号掘立柱建物 97-R～S-2～4グリッドにある。標高536.52～536.76m。2間×1間の側柱の南北棟で、長軸はN-8°-Wを示す。東辺長4.66m、西辺長4.70m、南辺長3.14m、北辺長3.48mではぼ長方形の平面形だが、南辺が短く、両側の中柱がやや内側に寄る。明確な柱痕



第339図 25・26号掘立柱建物位置図 1/150



第340図 25号掘立柱建物 1/60

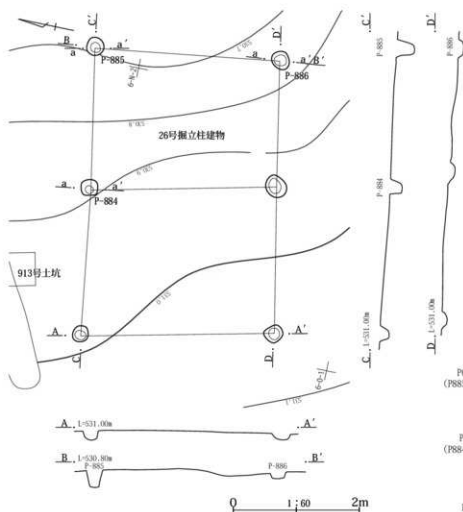


第341図 25号掘立柱建物柱穴配置模式図

第25表 25号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1 (871号ビット)	42	37
P 2 (869号ビット)	54×33	38
P 3 (864号ビット)	45	52
P 4 (857号ビット)	36	47
P 5 (844号ビット)	51	46
P 6 (837号ビット)	39	84
P 7 (836号ビット)	45	30
P 8 (833号ビット)	51	47
P 9	18	7
P10 (832号ビット)	21	7
P11 (831号ビット)	24	12
P12	18	2

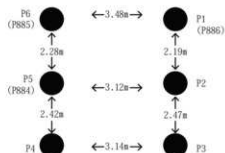
第2章 調査された遺構と遺物



第342図 26号掘立柱建物 1/60

第26表 26号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P 1 (886号ビット)	27	8
P 2	34.5	9
P 3	30	11
P 4	24.6	12
P 5 (884号ビット)	26.4	16
P 6 (885号ビット)	27	8



第343図 26号掘立柱建物柱穴配置模式図

は残っていない。

P 1 (789号ビット) 径33cmの円形の平面形、断面形は中央が柱痕状にくぼんだ鍋状。底面標高536.53m、深さ21cm。

P 2 (790号ビット) 径27cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高536.35m、深さ32cm。

P 3 (791号ビット) 径21cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高536.36m、深さ27cm。

P 4 (792号ビット) 径27cmの円形の平面形、断面形は底面に凹凸のある鍋状。底面標高536.39m、深さ12cm。

P 5 (793号ビット) 径22.5cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高536.37m、深さ22cm。

P 6 (794号ビット) 径22.5cmの円形の平面形、断面形はU字状。底面標高536.5m、深さ17cm。

25号掘立柱建物 96-P~R-24~25、6-P~R-1グリッドにある。標高531.35~531.56m。3間×1間の

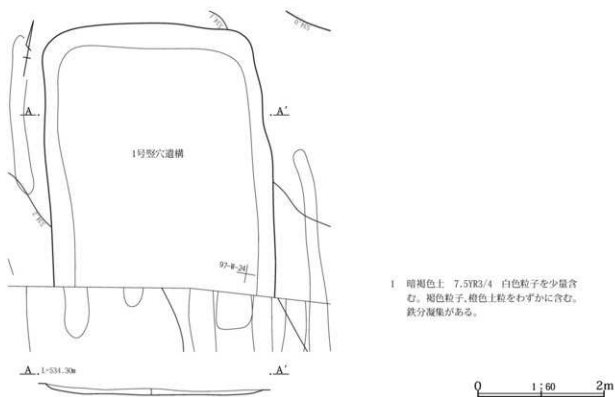
南北棟の母屋の西に庇が付属する。方位はおよそN-20~26°-Wを示す。東辺長6.63m、西辺長6.48m、南辺長4.66m、北辺長4.22m。底の出は0.68~0.89m。西側列は柱間が2.14~2.17mと揃うが、東側列では南北が2.42、2.36mなのに対し中間が1.85mと狭い。ビットの密集地に当たる。

P 1 (871号ビット) 径42cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高530.98m、深さ37cm。872号ビットと重複する。

P 2 (869号ビット) 54×33cmの東西に長い扁円形の平面形、断面形は上部がやや開く深い鍋状。底面標高530.94m、深さ38cm。

P 3 (864号ビット) 径45cmの円形の平面形、断面形は深いU字状。底面標高530.73m、深さ52cm。

P 4 (857号ビット) 径36cmの円形の平面形、断面形は深い鍋状。底面標高530.63m、深さ47cm。



第344図 1号竪穴建物 1/60

P 5 (844号ビット) 径51cmの円形の平面形、断面形は深く幅の広いU字状。底面標高531.05m、深さ46cm。845号ビットと重複する。

P 6 (837号ビット) 径39cmの円形の平面形、断面形は狭く深いコ字状。上部がやや開く。底面標高530.66m、深さ84cm。

P 7 (836号ビット) 径45cmの円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高531.2m、深さ30cm。

P 8 (833号ビット) 径51cmの円形の平面形、断面形は深く幅の広いU字状。底面標高531.07m、深さ47cm。834号ビットと重複する。

P 9 径18cmの円形の平面形、断面形は浅いコ字状。底面標高531.48m、深さ7cm。

P 10 (832号ビット) 径21cmの円形の平面形、断面形は浅い碗状。底面標高531.46m、深さ7cm。

P 11 (831号ビット) 径24cmの円形の平面形、断面形は北に傾く狭いU字状。底面標高531.21m、深さ12cm。

P 12 径18cmの円形の平面形、断面形は浅い皿状。底面標高531.52m、深さ2cm。

26号獨立柱建物 6-M-O-1・2グリッドにある。標高530.93～530.62m、2間×1間の東西棟の側柱建物。

南辺はおよそN-80°-Eを示す。東辺長2.95m、西辺長3.06m、南辺長4.35m、北辺長4.58m。

P 1 (886号ビット) 径27cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は鍋状。底面標高530.54m、深さ8cm。

P 2 径34.5cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は碗状。底面標高530.67m、深さ9cm。

P 3 径30cmのゆがんだ円形の平面形、断面形は碗状。底面標高530.8m、深さ11cm。

P 4 径24.6cmの円形の平面形、断面形は碗状。底面標高530.8m、深さ12cm。

P 5 (884号ビット) 径26.4cmの胴張りのある隅丸方形の平面形、断面形は逆台形。底面標高530.6m、深さ16cm。

P 6 (885号ビット) 径27cmの円形の平面形、断面形は逆台形。底面標高530.57m、深さ8cm。

1号竪穴建物 97-V・W-23・24グリッドにある。標高534.24～534.06m。東西長3.27m、南北確認長4.18m。南辺は調査区界で確認できなくなるが、隅丸長方形の平面形と思われる。深さ8～16cm。覆土は暗褐色土を主体とし、焼土や炭化物は見られない。第4面畑第1区画東部にあたり、畑作土の下位にあたるものと思われる。出土遺物はない。

第6項 焼土・集石・列石

焼土遺構 調査区北東部に多くある。27号、28号は周辺遺構の乏しい地区にあるが、29・34号焼土、30～33号焼土はピットや土坑の集中地点内において、それぞれ近接した場所にまとまっている。地山のロームがその場で焼土化したものと、持ち込まれたローム土が焼土化したものの、焼土ブロックが黒色土、黒褐色土の地山中に含まれるものの3形態がある。47号焼土は調査区南部において、黒色の灰の広がりとして認められるものである。

27号焼土 7-D-4グリッド 周囲に遺構の乏しい地点に孤立的にある。確認面の標高532.90m。径27～30cmほどの不整形の範囲に焼土ブロックが含まれている。浅い皿状の凹み内において、写真で見ると底面は周辺土壌より黒みが強い。焼土の最大厚みは3cmほどあるが、焼土化の度合いから見てブロックが横転した状態と思われる。

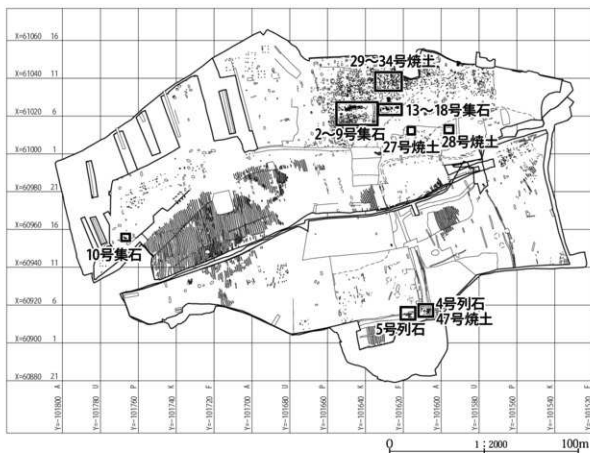
28号焼土 6-X-4グリッド 周囲に遺構の乏しい地点に孤立的にある。確認面の標高532.46m。ブロック状の焼土を中心に径50cmほどの範囲で焼土の不定形斑が含まれて

いる。ブロックの最大厚みは9cmほどあり、中央部が強く赤化する。周辺土壌には炭化物片が含まれている。

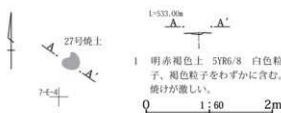
29号焼土 7-H-9グリッド ピットが集中する地点内にあり、497号ピットに切られる。北西1.2mほどに34号焼土がある。確認面の標高532.08m。全体が把握できないが、東西0.5m、南北0.45mほどの範囲にある。明確な輪郭を追うことはできず、平面形は不定形、最大厚みは7cmほどあって、上部および北部が強く赤化している。掘り込みは確認できないが、周囲の土坑は黒褐色土で、他から持ち込まれたローム土が焼土化したものと見られる。炭化物は認められていない。

30号焼土 7-F-10グリッド ピット、土坑の密集地に当たり、538号ピットの上面に乗る。また、北1mほどに31号焼土、北東1.8mに32号焼土、3mに33号焼土がある。確認面標高531.99m。径50cmほどの不定形の範囲内に焼土が分布する。分布範囲の中央に黒褐色土があり、これを取り巻くように焼土の赤化の強い部分が見られ、外側では焼土化が弱くなる。炭化物は観察されていない。

31号焼土 7-F-10グリッド ピット、土坑の密集地に

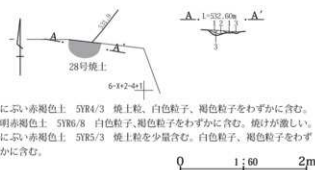


第345図 第4面焼土・集石・列石位置図 1/2000



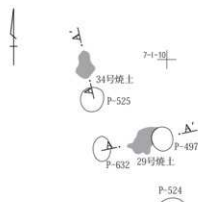
第346図 27号焼土 1/60

- 1 明赤褐色土 5YR6/8 白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。焼けが激しい。



第347図 28号焼土 1/60

- 1 にぶい赤褐色土 5YR4/3 焼土粒、白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。
2 明赤褐色土 5YR6/8 白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。焼けが激しい。
3 にぶい赤褐色土 5YR5/3 焼土粒を少量含む。白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。



第348図 29号・34号焼土 1/60

- 34号焼土
1 黄褐色土 10YR8/6 焼土粒を多く含む。褐色粒をわずかに含む。
29号焼土
1 明赤褐色土 5YR6/8 白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。焼けが激しい。
2 にぶい赤褐色土 5YR4/3 焼土粒、白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。

当たり、598号ピットに接する。また、南1mほどに30号焼土、東0.6mに32号焼土、北東1.2mに33号焼土がある。確認面標高531.85m。75×55cmほどの範囲で厚さ10cmほどに渡って地山ロームが焼土化している。上面はややくぼんで暗褐色土が堆積する。暗褐色土中に細かい炭化物片がわずかに含まれる。

32号焼土 7-F-10グリッド ピット、土坑の密集地に当たり、536号ピットに切られる。また、西0.6mに31号焼土、北1mに33号焼土がある。確認面標高531.85m。大半を536号ピットに切られるため全体は把握できないが、径35cmほどの範囲で地山ロームが焼土化していたものと思われる。炭化物は認められないが、536号ピット覆土に斑状の焼土や炭化物片が含まれる。

33号焼土 7-F-11グリッド ピット、土坑の密集地に当たり。また、南西1.2mに31号焼土、南1mに32号焼土がある。確認面標高531.98m。径40cmほどの範囲で、最大厚さ9cmほどに渡って地山ロームが焼土化している。顕著な炭化物は認められないが、周辺土壌に小さな炭化物片が含まれる。

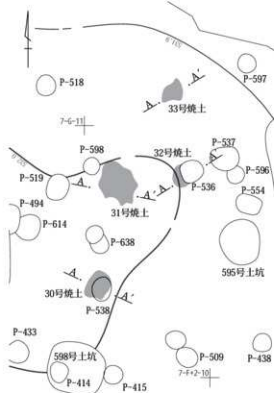
34号焼土 7-I-9・10グリッド ピットが集中する地点である。南東1.2mほどに29号焼土がある。確認面の標高532.14m。長軸長45cm、短軸長20～32cmほどの孤単形の範囲内に焼土が不定形の斑状に含まれる。最大厚

は4cmほどである。周辺土壌には細かい炭化物片が含まれている。

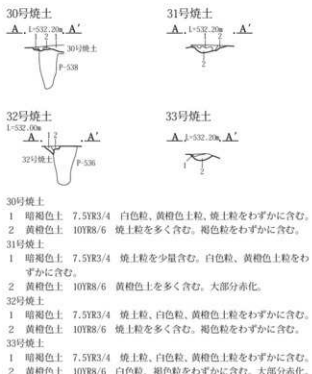
47号焼土 97-C-5グリッド 1号溝と17号溝の分岐点にあり、1号溝が埋設された後に作られた4号列石の西にある。確認面の標高536.03m。およそ1m四方の範囲に黒色の灰が認められるもので、面的に広がるあるいは塊状をなす焼土や顕著な炭化物は認められない。

集石遺構 円形掘り方内に礫が集中するもので、調査区西端近くにある10号集石を除くと、8号集石、2～7号集石、13～18号集石が7-F～N-5～7グリッドにある弱い谷状地をなぞるように、東西に並ぶ。2～7号集石は掘り方上面が接して一連の土坑状をなし、西にやや離れる8号集石とともに7～9・15号掘立柱建物と11～13号掘立柱建物の間にある。13～18号集石も接するように並んでいて、こちらは以南の遺構が極端に乏しくなる境界を形成しているかに見える。

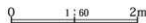
2～7号集石 7-L-6・7グリッドに東西9.7mに渡って連続する集石群。6・7号集石は5号集石の東にあり、確認面では切り合っていないが、5～6号集石間は30cmほどしかなく、一連のものとして考えて良いだろう。新旧関係は把握されていないが、3号集石が2号集石を一部壊し、4号集石の上に乗るとの所見がある。2・3号集石は谷状地の先端、谷頭部分にあたり、さらに掘り方も浅くてロー



第349図 30号～33号焼土 1/60



第350図 47号焼土 1/60



ムには達しないため、他より一段高い位置にある。4～6号集石はロームを掘り込んで深い。7号集石は浅く、内部の礫もまばらである。

2号集石 径1.96mの円形掘り方内に比較的大ぶりの垂角礫、円礫が平坦に置かれる。底面標高532.36m、深さ34cm。

3号集石 径2.1mほどの掘り方があったものと思われる、中央近くに比較的大ぶりの垂角礫が壁に立てかけられるように配される。底面標高532.29m、深さ54cm。

4号集石 3つの集石が重複している。北部(a)は径1.92mほどの円形土坑内に比較的大ぶりの円礫が入るもので、底面標高532.14m、深さ36cm。南部(b)は一段深く掘り込まれていて、底面標高531.79m、深さ71cm。小ぶりの垂角礫、円礫が集積される。掘り方の平面形は東西1.14m、南北1.5mほどの長円形を呈したと思われる。

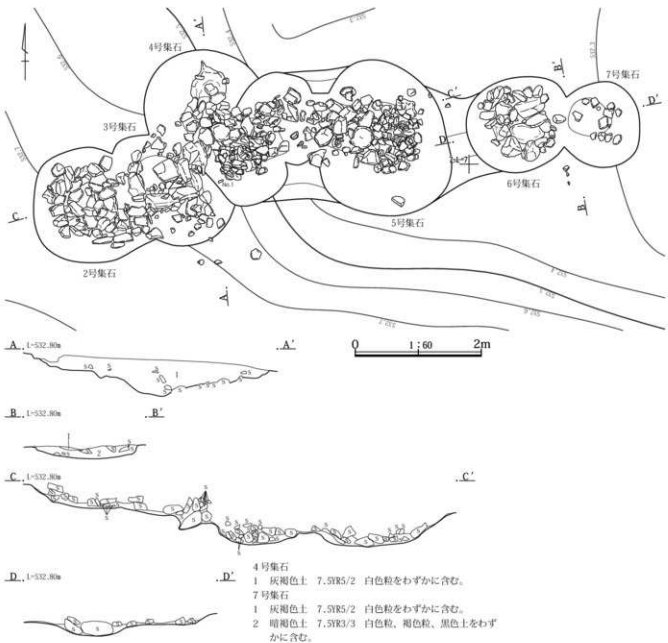
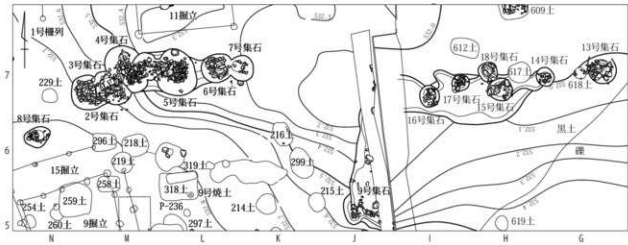
東部の5号集石との間にも径1.5mほどの掘り方があって(c)、ここでもやや小ぶりの垂角礫、円礫の集石が見られるが、密度は低い。平面的にはa→c→b→3号集石という新旧関係が考えられる。

5号集石 南北2.5m、東西2mの卵形の掘り方内に、西部にはやや大型の垂角礫、円礫、東部には小ぶりの礫が集積される。底面標高531.74m、深さ66cm。

6号集石 径1.5mほどの円形掘り方内に大ぶりの円礫や垂角礫が集積される。底面標高531.88m、深さ52cm。

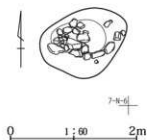
7号集石 径1.4mほどの円形掘り方内に比較的小ぶりの垂角礫が入られるが、密度は低い。底面標高532.09m、深さ21cm。

8号集石 7-N-6グリッド 2号集石の南西2mにあたり、15号掘立柱建物P1が南1mにある。径1.4mほ

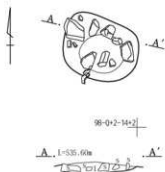


第352図 2～7号集石 1/60

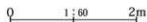
第2章 調査された遺構と遺物



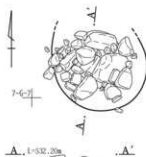
第353図 8号集石 1/60



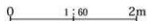
- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 ロームを含む。炭化物をわずかに含む。土質均質。



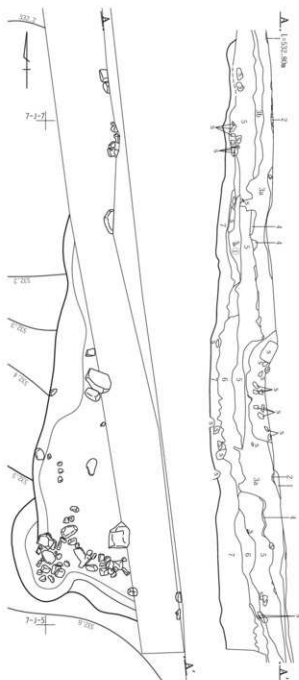
第355図 10号集石 1/60



- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 ロームを含む。炭化物をわずかに含む。土質均質。

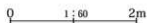


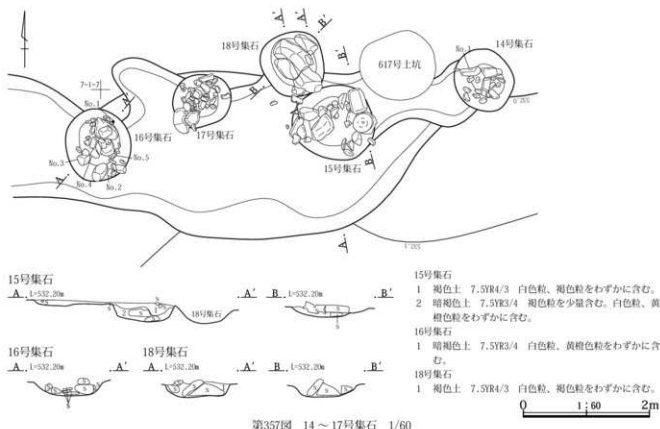
第356図 13号集石 1/60



第354図 9号集石 1/60

- 1 As-A降下軽石。
- 2 鉄分凝集。
- 3a 褐灰色土 10YR5/1 白色軽石、小石を混じる。炭化物をわずかに含む。ざらついた層。
- 3b 3a層に似るが白色軽石、小石を含まない。黄白色シルト質土(洪水砂)を含む。
- 4 黄白色洪水砂。
- 5 暗褐色土 10YR3/3 黄色小ブロック、小石をわずかに含む。炭化物が点在する。
- 6 灰黄褐色土に礫と炭化物が混じる。
- 7 青灰色粘質土。
- 8 黒褐色土 10YR2/2 白色粒を含む。細粒。土質均質。





第357図 14～17号集石 1/60

どのゆがんだ円形の掘り方内に比較的小ぶりの円礫、垂角礫が入られる。壁際の礫は壁に沿って置かれる。壁面には礫による圧縮変形が見られ、強い圧力を感じさせる。底面標高532.54m、深さ26cm。

9号集石 7-1・J-5・6グリッド 調査区界にあって全体が把握できないが、南北確認長8.9m、東西確認長2.5mほどの方形掘り込みの南西隅部が確認されている。長軸方位はN-10°-E、確認面標高は532.15～532.57m、深さ13～48cm。この中に比較的大ぶりの角礫とやや小ぶりの垂角礫、円礫が入る。土層断面の観察によるとこれらの礫は3者に分けられる。掘り込み南端に集中する礫は、覆土の中間の5層下部から6層上部に含まれるものと思われる。掘り込み北端近くにも5層下部に礫の集中が見られ、掘り込みの埋設過程で集積されたものと見られる。底面を覆う覆土7層にも確認範囲の中央近くと比較的小ぶりの礫が含まれる。また、1層As-A降下軽石を切る土坑状の掘り込み内に礫が集積される状況も確認されている。

10号集石 98-Q-14グリッド 周囲には土坑、ピットが点在し、東の345号土坑、北の249号ピットまでそれぞれ3.5mほどある。確認面標高535.41m。長径1.2m、短径

0.96m、深さ9cmの東西に長い長円形の掘り方内に比較的大ぶりの垂角礫が入るが、密度は低い。覆土は灰黄褐色土。

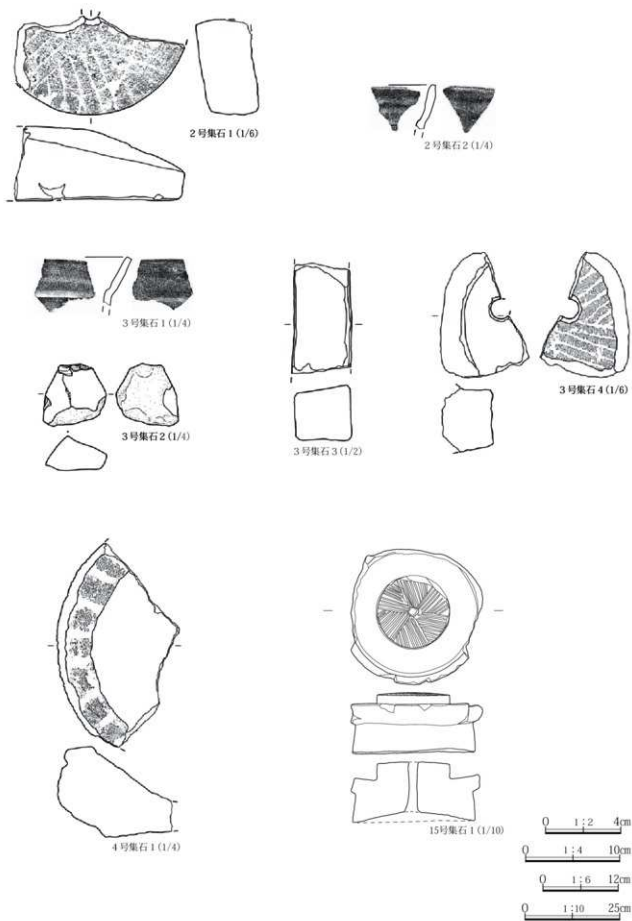
13～18号集石 7-F～1-6・7グリッドにある弱い谷状地の底部に、東西10.4mに渡って並ぶ。2～7号集石と同じく円形掘り方内に礫が入るもので、地形的にも連続しているが、7号集石と16号集石の間は8.8mほどある。また、15号、18号は接するもの他はそれぞれがやや離れている。また、16号集石以外は掘り込みも浅い。

13号集石 径1.47mほどの円形掘り方内に比較的大ぶりの垂角礫、円礫と小ぶりの垂角礫、円礫が重なって入る。底面標高531.83m、深さ25cm。覆土は暗褐色土を主体とし、炭化物をわずかに含む。西の14号集石まで1.8m。

14号集石 径1.00mほどの円形掘り方内に比較的大ぶりの垂角礫と小ぶりの垂角礫、円礫が入るが密度は低い。底面標高531.88m、深さ18cm。西1.38mに15号集石がある。中間に617号土坑があって、上端間は30cmほどしか離れていない。

15号集石 径1.29mほどの円形掘り方内に比較的大ぶりの垂角礫、加工された切り石、白などが入る。底面標高531.80m、深さ26cm。壁はあまり開かず直立する。覆土は下層が暗褐色土、上層が褐色土を主体とする。18号

第2章 調査された遺構と遺物



第358図 集石出土遺物

集石が北に接し、西1mに17号集石がある。東の617号土坑との間は20cmほどしかない。

16号集石 径1.00mほどの円形掘り方内に比較的大ぶりの円礫、垂角礫と小ぶりの垂角礫、石白片などが入る。底面標高531.81m、深さ22cm、東0.8mに17号集石がある。

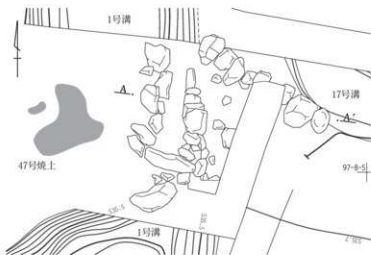
17号集石 径0.93mほどの円形掘り方内に比較的小ぶりの垂角礫、円礫が入る。他の集石より密度が高い。底面標高531.85m、深さ11cm。

18号集石 径0.96mほどの円形掘り方内に大ぶりの角礫が入る。中小の礫はない。掘り方の壁は開かず直立する。底面標高531.77m、深さ23cm。覆土は褐色土を主体とする。東の617号土坑まで60cm。

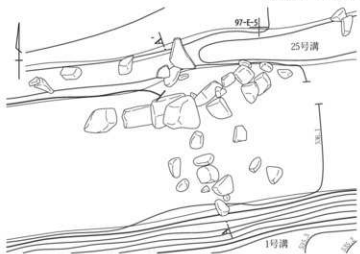
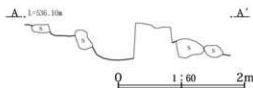
4号列石 97-B-4・5グリッド 1号溝と17号溝の分岐点にあり、1号溝が埋設された後に作られたものである。東に47号焼土が接するようにある。石列は下位の1号溝東縁を南北になぞるように南北に延びる平行する2条の

石列と、17号溝の南縁に沿う石列の2者がある。前者は長1.8m、東西石列の間は21～30cmほどで、水路の側壁を思わせる。後者は長2.4mほど確認されていて、これも17号溝の後継水路の上縁を綴ったものではないかと思われる。

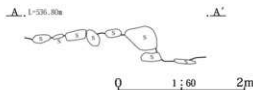
5号列石 97-D・E-4グリッド 25号溝の南縁に沿って東西方向に並べる列と、これに直交して円礫が南北方向に並ぶ列がある。前者は延長3m間に北側の面をそろえた平坦な角礫が5石並ぶもので、列西端の礫は51×36cmほどの大きさである。25号溝の壁石の一部が残ったものと思われる。後者は前者の西から3石目の上に乗る大ぶりの垂角礫を起点に、長さ20～30cmほどの円礫が5石並ぶ。各石の間は離れていて、前者のような構造は形成しない。25号溝と1号溝の間にあたり、両溝間を横断するように並んでいて、南端の礫は1号溝側に傾斜する。周辺にはやや小ぶりの礫が散在する。



第359図 4号列石 1/60



第360図 5号列石 1/60



第7項 土坑・ピット

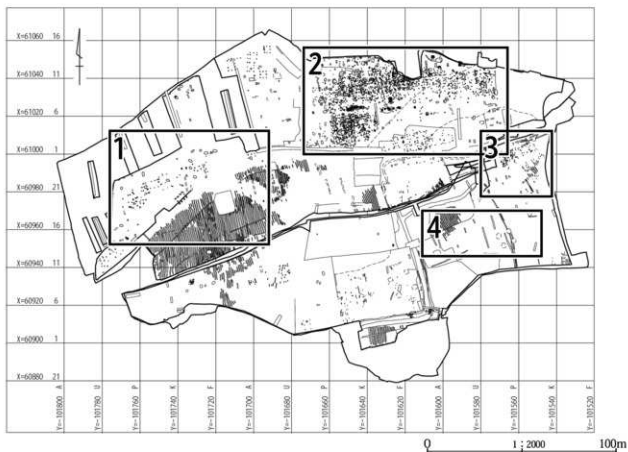
この面では墓坑を含む土坑、ピットが多数調査されている。分布は偏在的であり、下図に示した4地点に集中する。

部分図1は調査区西北部で、第3面では畑痕跡と円形土坑、狭長な溝状土坑が認められた部分である。この面では円形、楕円ないし長円形の土坑とピットが散在する。第2面の7号道・1号水路以北に限定され、以南に畑遺構が残されるのとは対照的なあり方を示す。また16号、17号掘立柱建物の周辺や18号掘立柱建物との間には分布しない。ピットはこの中でも西部に集中し、土坑はこのピット集中部を挟んで西寄りの群と東寄りの群に分かれるようである。土坑の軸方向は一定せず、配置にも明確な規則性は観取できない。

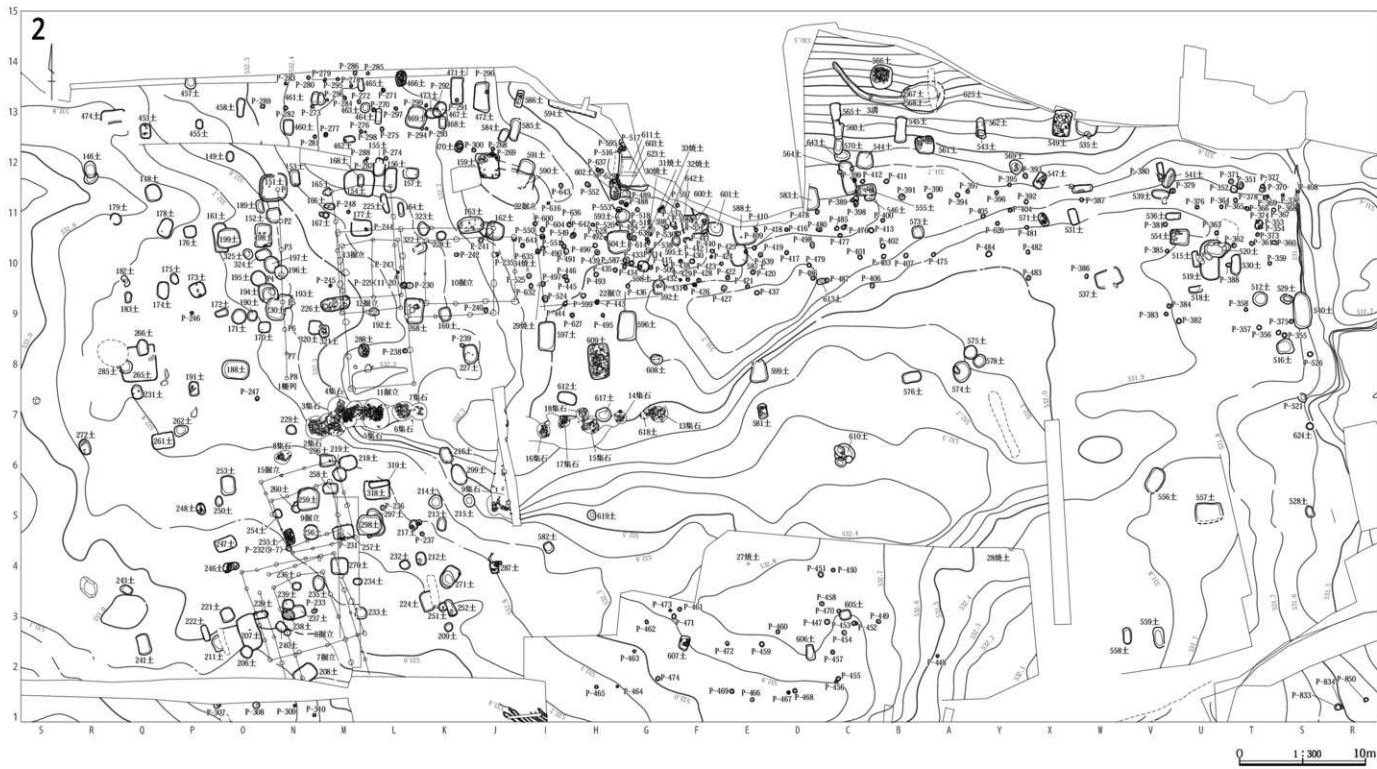
部分図2は調査区東よりで、やはり第2面7号道・1号水路以北に相当する。第2面では畑があり、第3面では微弱な畑痕跡や狭長な土坑が散在した部分であるが、この面では掘立柱建物群とともに、土坑やピットが高い

密度で認められる。土坑は長方形、方形のものが円形土坑より多い。墓坑もこの部分の西寄りに多い。一方、溝状の土坑は見られない。掘立柱建物群から離れるにつれて土坑、ピットの密度は低下し、第3面で円形土坑が多く認められた第2面寺院相当部には土坑、ピットは認められなくなる。

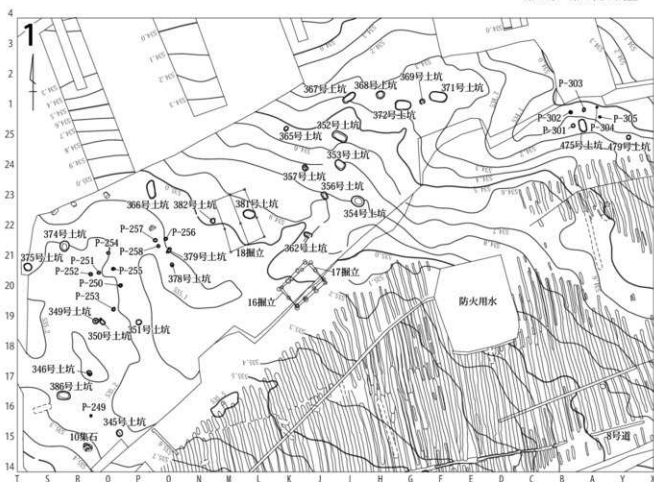
部分図3・4は調査区南東部で、第3面では畑痕跡が部分的に認められている。部分図3では特にピットの密集部分を示したが、建物として組み合わせるものは認められていない。部分図4にかけては東西方向、南北方向それぞれに長軸を持つ狭長な溝状の土坑が見られる。南北方向を示すものは畑遺構の畝間溝と方向をそろえており、畑の地割りと関係を持って掘られた土坑であるものと思われる。東西方向に長軸を持つ土坑も同様の性格を持つとすれば、部分図3の北端近くに地割りの変換線があったものとも考えられる。第2面7号道・1号水路相当位置を境に形態の異なる土坑が作られているのであり、境界の南北で土地利用が異なっていたことが改めて示される。



第361図 第4面土坑・ピット位置図 1/2000

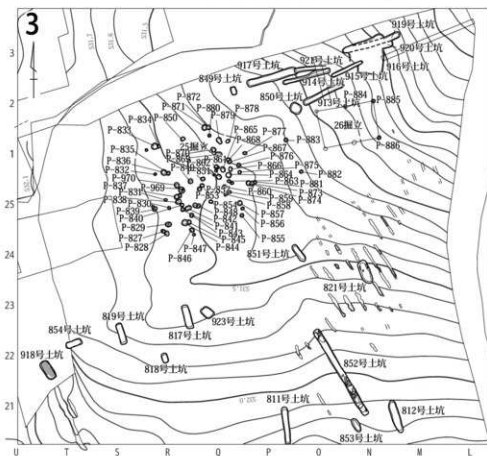


第362図 第4面土坑・ピット 部分図2 1/300



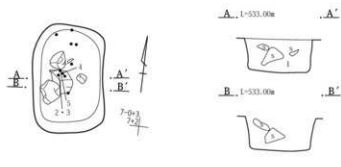
第363図 第4面土坑・ピット 部分図1 1/300

0 1:300 10m



第364図 第4面土坑・ピット 部分図3 1/300

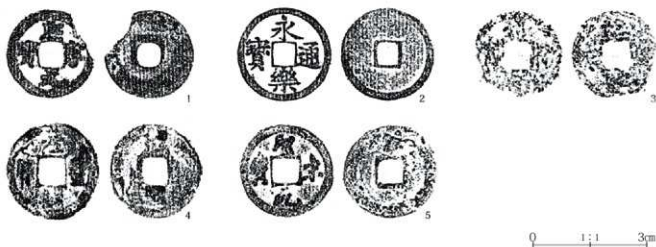
0 1:300 10m



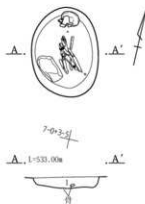
1 褐色土 7.5YR3/2 黒色土ブロックを少量含む。白色粒子をわずかに含む。

0 1:40 1m

第366図 191号土坑 1/40



第367図 191号土坑出土遺物 1/1



1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒子、褐色粒子、褐色土粒、黒色土粒をわずかに含む。

0 1:40 1m

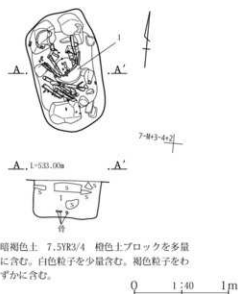


0 1:20 50cm

第368図 248号土坑 1/40

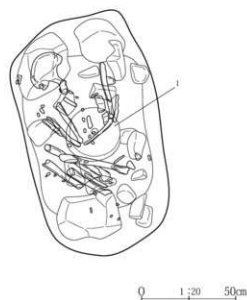
第369図 248号土坑埋葬状況 1/20

第2章 調査された遺構と遺物

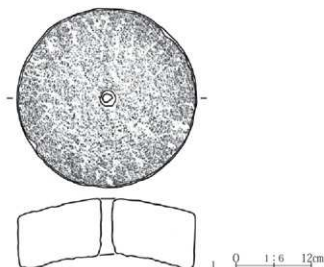


- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロックを多量に含む。白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。

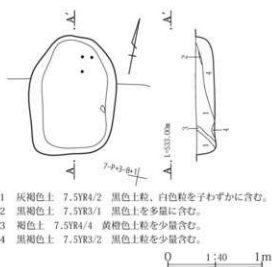
第370図 255号土坑 1/40



第371図 255号土坑埋葬状況 1/20



第372図 255号土坑出土遺物 1/6



- 1 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土粒、白色粒をわずかに含む。
 2 黒褐色土 7.5YR3/1 黒色土を多量に含む。
 3 褐色土 7.5YR4/4 黄褐色土粒を少量含む。
 4 黒褐色土 7.5YR3/2 黒色土粒を少量含む。

第373図 266号土坑 1/40

者は50歳台の男性と推定される。寛永通寶が8枚出土している。

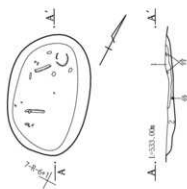
288号土坑 7-L-8グリッド 長軸長105cm、短軸長83cm、深さ39cm、長軸方位N-7°-W。平面形は楕円形。底面は凹凸があり、壁は丸みを持って立ち上がる。覆土は暗褐色土を主体とし、中に籾を抱く形でほぼ全身の骨が残る。頭位を北にし、右側を下にした側臥屈葬で埋葬される。被葬者は30～40歳台の男性と推定される。開元通寶または開禧通寶と思われる銭が出土している。

453号土坑 7-P・Q-12グリッド 長軸長118cm、短軸長83cm、深さ23cm、長軸方位N-1°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は竈状。覆土は黒褐色土を主体とし、底

面に褐色土の砂質土が入る。残存状態は悪いが、ほぼ全身骨格が出土している。頭位を北にして右側を下にした側臥屈葬で埋葬される。被葬者は老齢の女性と推定される。天聖元寶が出土している。

465号土坑 7-L-13グリッド 長軸長103cm、短軸長48cm、深さ16cm、長軸方位N-8°-W。平面形は長円形、断面形は浅い碗状。覆土は灰黄褐色土を主体とする。乳白歯および永久歯の大臼歯が出土しており、3～5歳の男児が埋葬されていたものと考えられる。天聖元寶、宋元通寶、嘉祐通寶とキセルが出土している。

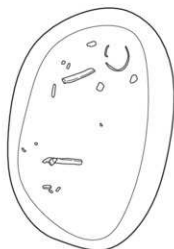
466号土坑 7-K-13グリッド 長軸長126cm、短軸長84cm、深さ51cm、長軸方位N-15°-E。平面形は小判形に



- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒、黑色土粒をわずかに含む。鉄分付着。
 2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒子をわずかに含む。黑色土粒を少量含む。

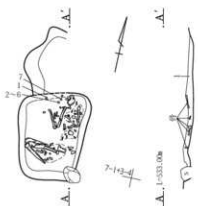
0 1:40 1m

第374図 272号土坑 1/40



0 1:20 50cm

第375図 272号土坑埋葬状況 1/20



- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土粒を少量含む。白色粒、褐色粒、黑色土粒をわずかに含む。

0 1:40 1m

第376図 287号土坑 1/40



0 1:20 50cm

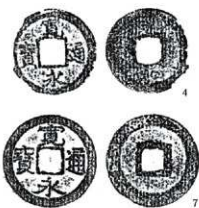
第377図 287号土坑埋葬状況 1/20



0 1:1 3cm

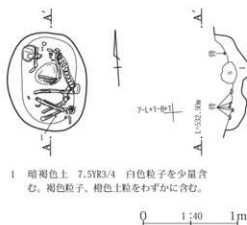
第378図 287号土坑出土遺物 1 1/1

第2章 調査された遺構と遺物



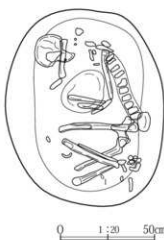
0 1:1 3cm

第379図 287号土坑出土遺物 2 1/1



1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を少量含む。褐色粒子、橙色土粒をわずかに含む。

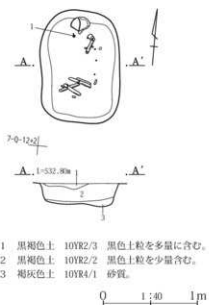
第380図 288号土坑 1/40



第381図 288号土坑埋葬状況 1/20

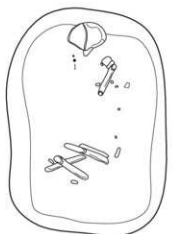


第382図 288号土坑出土遺物 1/1



1 黒褐色土 10YR2/3 黒色土粒を多量に含む。
2 黒褐色土 10YR2/2 黒色土粒を少量含む。
3 褐色土 10YR4/1 砂質。

第383図 453号土坑 1/40

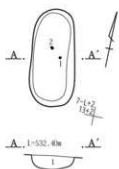


第384図 453号土坑埋葬状況 1/20



0 1:1 3cm

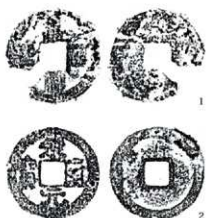
第385図 453号土坑出土遺物 1/1



1 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム粒、炭粒、粘土粒をわずかに含む。

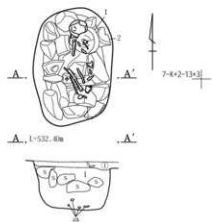
0 1:40 1m

第386図 465号土坑 1/40



0 1:1 3cm

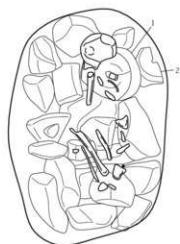
第387図 465号土坑出土遺物 1/1



① 褐色土 10YR4/1 白色粒をわずかに含む。鉄分付着。As-A下細の填作上。
1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒、褐色粒をわずかに含む。

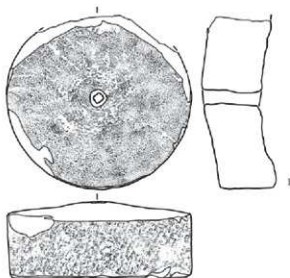
0 1:40 1m

第388図 466号土坑 1/40



0 1:20 50cm

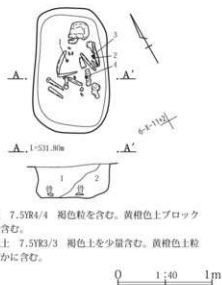
第389図 466号土坑埋葬状況 1/20



0 1:6 20cm

第390図 466号土坑出土遺物 1/6

第2章 調査された遺構と遺物



- 1 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒を含む。黄褐色土ブロックを少量含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

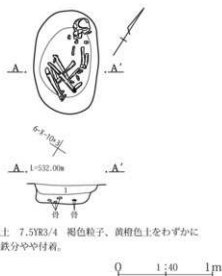
第391図 547号土坑 1/40



第392図 547号土坑埋葬状況 1/20

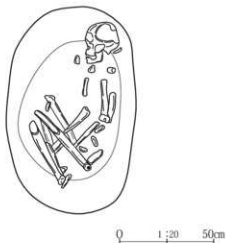


第393図 547号土坑出土遺物 1/1

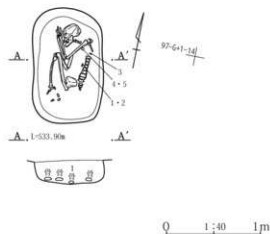


- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒子、黄褐色土をわずかに含む。鉄分やや付着。
2

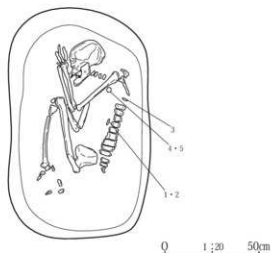
第394図 571号土坑 1/40



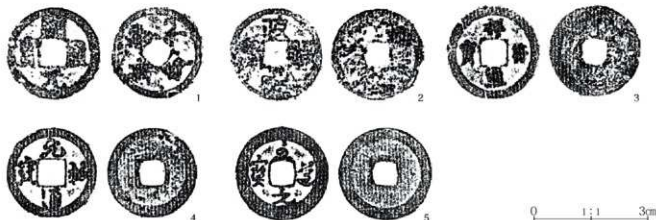
第395図 571号土坑埋葬状況 1/20



第396図 871号土坑 1/40



第397図 871号土坑埋葬状況 1/20



第398図 871号土坑出土遺物 1/1

近い隅丸長方形の墓坑。断面形は深い鍋状。覆土は下位に黒褐色土があり、礫層を挟んで上位は褐灰色土。頭蓋骨、四肢骨が出土している。頭位を北にし、右側を下にした側臥位で埋葬される。被葬者は30～40代の男性と推定される。石白2点が出土している。

547号土坑 6-X-11グリッド 長軸長132cm、短軸長79cm、深さ37cm、長軸方位N-28°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋形。覆土は暗褐色土、褐色土を主体とする。骨の残存状態は非常に悪いが、ほぼ全身が認められ、頭位を北にし、右側を下にした側臥位で埋葬された30～40代女性と推定される。元祐通寶、紹聖元寶など銭4点が出土している。

571号土坑 6-W-10、X-10・11グリッド 長軸長109cm、短軸長68cm、深さ22cm、長軸方位N-32°-W。平面形は長円形、断面形は鍋状を呈する墓坑。覆土は暗褐色土を主体とする。骨の残存状態は非常に悪いが、ほぼ全身が認

められ、頭位を北にし、右側を下にした側臥位で埋葬される。成人～老齢の女性と推定される。伴出遺物はない。

871号土坑 97-G-13・14グリッド 長軸長123cm、短軸長74cm、深さ24cm、長軸方位N-13°-W。平面形は、隅丸長方形、全身の骨が残されていたが、残存が非常に悪く、取り上げることができなかったため、鑑定分析の対象となっていない。頭位を北にし、右側を下にした側臥位で埋葬される。歯も発見されていないため、老齢者であった可能性がある。銭6枚(景德元寶、開元通寶、政和通寶、祥符通寶、元祐通寶、至道元寶)が出土している。

土坑

146号土坑 7-Q・R-11・12グリッド 長軸長130cm、短軸長91cm、深さ59cm、長軸方位N-10°-W。平面形は長円形横断面は上部がやや開いた箱状。覆土は褐灰色から灰黄褐色土と黒色土ブロックの混土。

148号土坑 7-P-11グリッド 長軸長137cm、短軸長125cm、深さ22cm、長軸方位N-19°-W。平面形は円形に近い隅丸方形。横断面は上部がやや開いた浅い鍋状。覆土は均質でややしまった灰黄褐色土。

149号土坑 7-O-12グリッド 長軸長82cm、短軸長59cm、深さ14cm、長軸方位N-9°-E。平面形は長円形に近い隅丸長方形。横断面は底面がくぼんだ皿状。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。

151号土坑 7-N-11グリッド 長軸長223cm、短軸長217cm、深さ39cm、長軸方位N-4°-E。平面形は隅丸方形。北壁西部から西壁を経て南壁にかけて壁下に溝が巡る。底面は平らで西壁は溝を介して直立するが東壁は底面から丸みをもって立ち上がる。覆土は均質でややしまった灰黄褐色土。磨石と関山式の土器片が出土している。

152号土坑 7-M・N-10・11グリッド 長軸長116cm、短軸長115cm、深さ36cm、長軸方位N-10°-W。平面形は隅丸方形。横断面は箱状。覆土は均質な灰黄褐色土。燧石と土師器片が出土している。

153号土坑 7-M・N-11グリッド 長軸長130cm、短軸長76cm、深さ63cm、長軸方位N-13°-W。平面形は隅丸長方形。横断面は箱状。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。

154号土坑 7-L-11グリッド 長軸長243cm、短軸長206cm、深さ23cm、長軸方位N-90°-E。平面形は隅丸方形。横断面は底面の平坦な浅い皿状。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。中央部を168号土坑に切られる。13号掘立柱建物と重複する。

155号土坑 7-L-11・12グリッド 長軸確認長103cm、短軸長94cm、深さ16cm、長軸方位N-6°-E。平面形は隅丸長方形。横断面は箱状だが、西壁基部がややえぐれる様に張り出す。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。

156号土坑 7-K・L-11グリッド 長軸長194cm、短軸長98cm、深さ26cm、長軸方位N-5°-E。平面形は南短辺が丸みを持った隅丸長方形。横断面は底面が丸みを持った鍋状。覆土は下部がロームや黒色土ブロックによる一括埋設土。上部は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。13号掘立柱建物P1と重複。鉄釘が出土している。

157号土坑 7-K-11グリッド 長軸長125cm、短軸長85cm、深さ28cm、長軸方位N-89°-E。平面形は西短辺が

丸みを持った隅丸長方形。横断面は上部がやや開く鍋状。覆土はロームや黒色土ブロックによる一括埋設土。158号土坑を切る。縄文土器深鉢の胴部片が出土している。

159号土坑 7-I・J-12グリッド 長軸長198cm、短軸長192cm、深さ38cm、長軸方位N-2°-W。平面形は北辺がやや広い、ゆがんだ隅丸方形。横断面は上部がやや開く箱状。覆土は下位は鈍い黄褐色土、上位は褐灰色土を主体とする。砥石が出土している。

161号土坑 7-O-10グリッド 長軸長226cm、短軸長111cm、深さ20cm、長軸方位N-3°-W。平面形は北短辺が丸みを持った隅丸長方形。覆土は黄白色粒とわずかな黒色土ブロックを含む均質な灰黄褐色土。199号土坑に切られる。

162号土坑 7-I・J-10グリッド 長軸長144cm、短軸長140cm、深さ21cm、長軸方位N-10°-E。平面形は西辺がやや短い隅丸方形。横断面は上部がやや開く鍋状の断面形を示す。覆土はロームブロックや黒色土ブロックを含む灰黄褐色土。永楽通宝が2枚出土している。

163号土坑 7-J-10・11グリッド 長軸長204cm、短軸長123cm、深さ36cm、長軸方位N-85°-E。平面形は楕円形に近い隅丸長方形。横断面は上部に開く鍋状。覆土は下位がロームを主体とし、上位は黄灰色粒を含む灰黄褐色土。内耳銅片、磨石、土師器片が出土している。

164号土坑 7-K-11グリッド 長軸長113cm、短軸長43cm、深さ23cm、長軸方位N-6°-W。平面形は幅の狭い長円形。床面中央がややくぼみ鍋状の断面形を示す。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。

165号土坑 7-M-11グリッド 長軸長72cm、短軸長60cm、深さ13cm、長軸方位N-65°-E。平面形はゆがんだ円形。横断面は上部に開く浅い皿状を示す。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。13号掘立柱建物P11に切られる。

166号土坑 7-M-11グリッド 長軸長88cm、短軸長50cm、深さ50cm、長軸方位N-87°-W。平面形は楕円形。底面西部が中段状にやや高まる。上部にやや開く箱状の断面形を示す。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。

167号土坑 7-M-10・11グリッド 長軸確認長64cm、短軸長40cm、深さ13cm、長軸方位N-66°-W。平面形は楕円形ないし涙滴状か。横断面は上部が開く鍋状を呈するかに見える。覆土はしまりの強い暗褐色土。

168号土坑 7-L-11グリッド 長軸長97cm、短軸長50

cm、深さ34cm、長軸方位N-0°。平面形は隅丸長方形、横断面はやや深い箱状。覆土は下層はしまった灰黄褐色土、上層はロームブロック、黒色土ブロックを含む灰黄褐色土による一括埋設。154号土坑を切る。

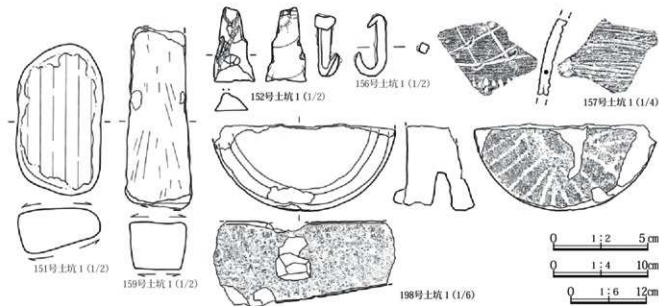
169号土坑 7-J・K-8・9グリッド 長軸長108cm、短軸長84cm、深さ24cm、長軸方位N-13°-W。平面形は円形に近い隅丸方形。横断面は底面が緩やかにくぼむやや浅い鍋形。覆土は灰黄褐色土で、下にローム小ブロックを多く含む。

170号土坑 7-N-8グリッド 長軸長95cm、短軸長83cm、深さ13cm、長軸方位N-89°-W。平面形は隅丸方形。中央

がくぼむ浅い皿状の断面形を示す。覆土は白色粒を多く含み、炭化物粒、黒色土粒などをわずかに含む暗褐色土。

171号土坑 7-N・O-8・9グリッド 長軸長120cm、短軸長112cm、深さ13cm、長軸方位N-25°-E。平面形は円形。浅い皿状の断面形を示す。覆土は白色粒、炭化物粒、焼土粒をわずかに含む暗褐色土。

172号土坑 7-O-9グリッド 長軸長104cm、短軸長57cm、深さ21cm、長軸方位N-74°-E。平面形は長円形、横断面は上部に開く鍋形。覆土は白色粒、焼土粒をわずかに含む暗褐色土。



第399図 第4面土坑出土遺物 1

146号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 土質均質 黄白色粒を含む。しまりややあり。
- 2a 灰黄褐色土と黒色土ブロックを混じる。
- 2b 2a層より黒色土を多く混じる。
- 3 褐色土 10R3/1 ロームブロック黒色土ブロックをわずかに含む。

148号・151号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 土質均質 黄白色粒混じり、しまりややあり。

149号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色土ブロックを含む。

152号土坑

- 1 暗青灰色土、As-A泥流下変質土、粘性あり。
- 2 赤茶色鉄分沈着層。
- 3 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒を含む。しまりあり、土質均質。

1b 記載なし

153号・155号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色土ブロックを含む。

156号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色土ブロックを含む。

157号土坑

- 1 ローム中小ブロック、黒色土小ブロック多く入り混じる。一括埋上。

- 1 ローム中小ブロック、黒色土小ブロック多く入り混じる。一括埋上。

159号土坑

- 1 天明泥流。
- 2 As-A降下軽石。
- 3a 天明泥流下層耕作土、還元状態と鉄分沈着混在。
- 3b 3a同様畑耕作土、黄色細砂を含む。

① 黄色細砂、シルト、褐色土小ブロック混在。

② 褐色土 10YR4/1 黄色土ブロックを含む。

③ 褐色土上ブロック、黄色土小ブロック、黒色土小ブロック混在。

④ に近い黄褐色土 10YR4/3 黄色細砂小ブロック、礫を含む。

161号土坑

- ① 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒混じり、わずかに黒色土ブロック含む。土質均質。

168号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム中、小ブロックと黒色土小ブロック混在（一括埋上）。

- 2 灰黄褐色土 10YR4/2 1層よりローム、黒色土小ブロック少ない、しまりあり。

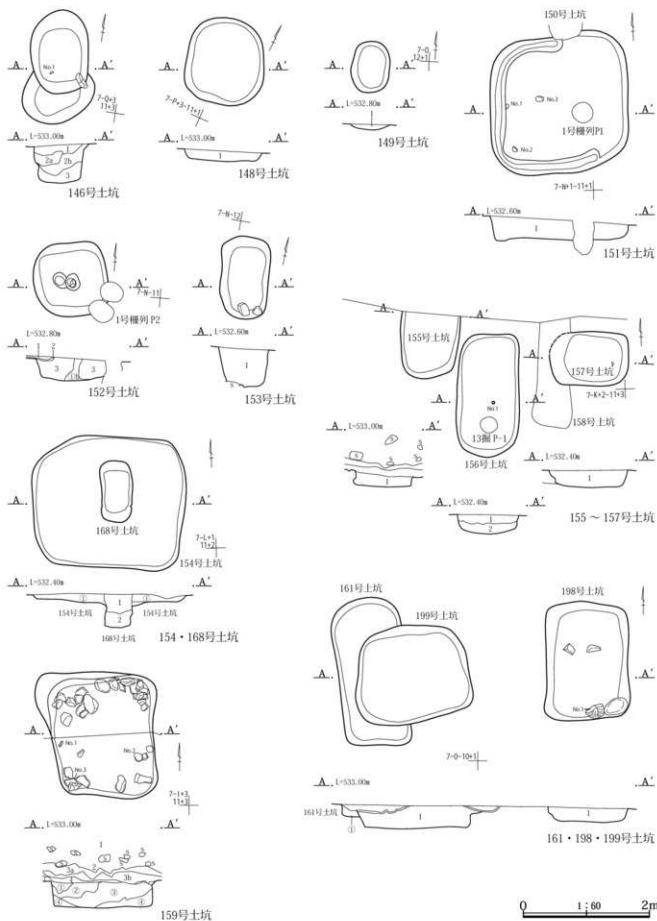
168号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒を含む。ローム粒、黒色土粒をわずかに含む。

199号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色土粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物

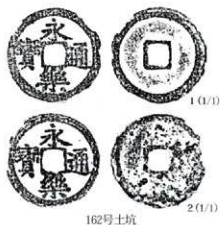


第400図 第4面土坑1 1/60

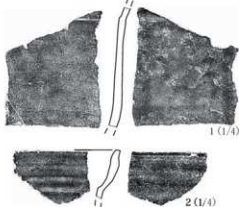
長117cm、深さ32cm、長軸方位N-65°-E。平面形は隅丸方形、横断面は上部に開く鍋形。覆土は灰黄褐色土で下層がやや締まる。

174号土坑 7-P-9グリッド 長軸長138cm、短軸長88cm、深さ11cm、長軸方位N-1°-E。平面形は隅丸長方形。浅い皿状の断面形を示す。覆土は白色粒、炭化物粒、焼土粒をわずかに含む暗褐色土。

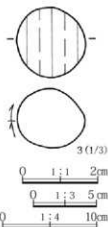
175号土坑 7-P-9グリッド 長軸長87cm、短軸長62cm、深さ19cm、長軸方位N-16°-W。平面形は楕円形、横断面は上部に開く鍋形。覆土は褐色粒、炭化物粒をわずかに含む暗褐色土。



162号土坑



163号土坑



第401図 第4面土坑出土遺物2

162号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黒色小ブロック、炭粒をわずかに含む。ローム中小ブロックを含む。
- 2 灰黄褐色土 10YR5/2 ローム中小ブロックを含む。黒色土小ブロックを含む。(一括埋土)。

163号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 わずかに黄白粒混じる。澁わずかに含む。
- 2 に近い黄褐色土 10YR4/3 くすんだロームにローム小ブロックを含む。
- 3 2層にロームブロック黒色土小ブロックを混じる。(一括埋土)。

164号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色小ブロックを含む。

165号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色小ブロックを含む。

166号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を含む。黒色小ブロックを含む。

167号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 粘性。しまり強い。鉄分沈着あり。

169号土坑

- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2。
- 1b ローム小ブロックを多量に混じる。
- 2 黒色土・ローム小ブロックをわずかに含む。地山か。

170号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒子多量に含む。炭化物粒をわずかに含む。黄色土粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。

171号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。炭化物粒を少量含む。焼土細粒をわずかに含む。

176号土坑 7-O・P-10グリッド 長軸長100cm、短軸長93cm、深さ14cm、長軸方位N-79°-E。平面形は隅丸方形、中央がくぼむ浅い皿状の断面形を示す。覆土は白色粒、褐色土、黒褐色土粒をわずかに含む暗褐色土。

177号土坑 7-L-10グリッド 長軸長163cm、短軸長137cm、深さ16cm、長軸方位N-88°-W。平面形は隅丸長方形。中央がくぼむ浅い皿状の断面形を示す。覆土は黒色土、ロームの小ブロックを含む灰黄褐色土で、一括埋設される。縄文土器片が出土している。

178号土坑 7-P-10グリッド 長軸長150cm、短軸長106cm、深さ5cm、長軸方位N-25°-E。平面形は北短辺

172号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。焼土細粒をわずかに含む。

173号土坑

- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む。
- 1b 1a層より各ブロック少なくややしまりあり。

174号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色粒をわずかに含む。炭化物細粒をわずかに含む。

175号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。炭化物細粒をわずかに含む。

176号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色、粒をわずかに含む。黒褐土粒をわずかに含む。明褐色バミスをわずかに含む。

177号土坑

- 1 灰黄褐色土に黒色土小ブロック、ローム小ブロック混土。(一括埋土)。
- 2 灰黄褐色土 10YR4/2 わずかに黒色土小ブロックを含む。

178号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色、粒をわずかに含む。炭化物細粒をわずかに含む。

179号土坑

- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む。

182号土坑

- 1 褐灰色土 10YR3/1。

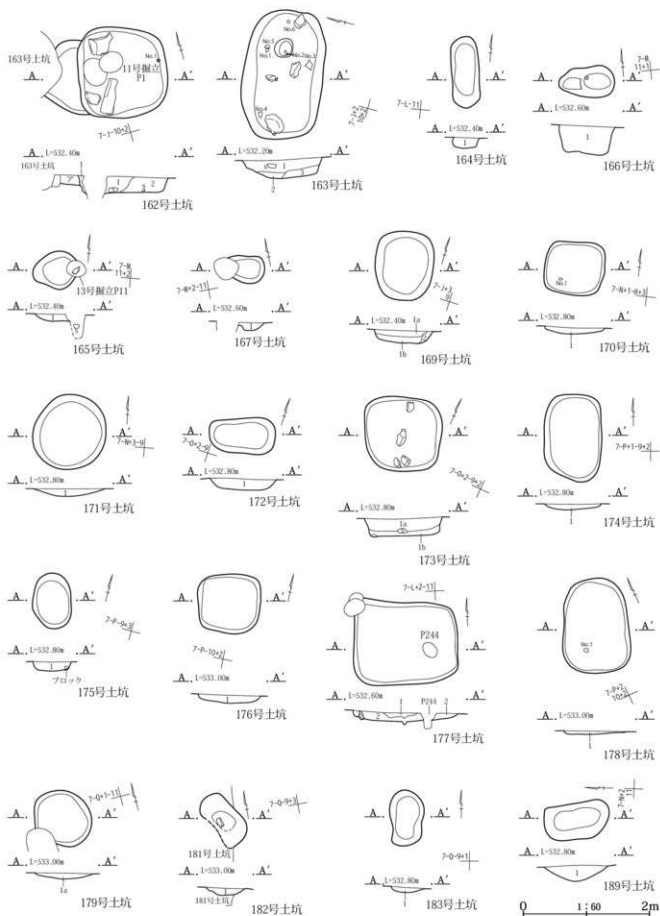
183号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色、粒をわずかに含む。炭化物細粒をわずかに含む。

189号土坑

- 1 暗褐色土 10YR3/3 黄白色粒を含む。炭化物散在する。

第2章 調査された遺構と遺物



第402図 第4面土坑2 1/60

が丸みを持つ隅丸方形。東壁はほぼ失われているが、浅い皿状の断面形を示す。覆土は白色粒、褐色土、炭化物粒をわずかに含む暗褐色土。土師器片、縄文時代中期後半の土器片が出土している。

179号土坑 7-Q-10・11グリッド 長軸長98cm、短軸確認長73cm、深さ9cm、長軸方位N-35°-W。平面形は円形、横断面は中央がぼむ浅い皿状。覆土は黒色土、ロームの小ブロックを含む灰黄褐色土。

182号土坑 7-Q-9グリッド 長軸長89cm、短軸長45cm、深さ6cm、長軸方位N-32°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は底面が乱れた皿状。覆土は褐灰色土。181号土坑を切る。

183号土坑 7-Q-9グリッド 長軸長88cm、短軸長54cm、深さ9cm、長軸方位N-3°-E。平面形は不正長円形、横断面は浅い皿状。覆土は白色粒、褐色土、炭化物粒をわずかに含む暗褐色土。181号土坑に接するが、重複関

188号土坑

- 1 黒色土 7.5YR2/1 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。
1' 鉄分(1~2cm厚) 明褐色土。
- 2 黒褐色土 7.5YR3/1 黒色土粒を少量含む。褐色土粒をわずかに含む。
- 3 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。

190号土坑

- 1 暗褐色土 10YR3/3 黄白色粒を含む。炭化物散在する。

192号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 焼土粒炭粒を含む。
- 1 灰黄褐色土 10YR4/2。
- 2a 1層上に焼土を多く含む。
- 2b 焼土層。
- 3 焼土上ブロック。
- 4 黒褐色土 10YR2/2 1層土と黒色土の混土、焼土小ブロックを混じり。

193号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒を含む。淡色ブロックを含む。(一括埋土)。

194号土坑

- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2 小石含む。ロームブロック、黒色土小ブロックを含む。ざらついた層。
- 1b 1a層より小石少ない。
- 2 ローム小ブロック、黒色土ブロック混土。

195号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 土質均質、しまりあり。
- 2 くすんだ褐色土 10YR 1層にくすんだローム混じり。
- 3 黒色土 10YR1/1 しまり粘性あり。わずかにローム小ブロックを含む。

196号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土粒多量に含む。
- 2 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。
- 3 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒をわずかに含む。黒色土ブロックわずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。

197号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒を少量含む。黄褐色粒をわずかに含む。
- 2 黒色土 7.5YR2/1 白色粒をわずかに含む。

230号土坑

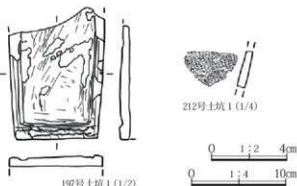
- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒を含む。淡色ブロックを含む。(一括埋土)。

係は不明。

188号土坑 7-N・O-7・8グリッド 長軸長214cm、短軸長148cm、深さ17cm、長軸方位N-86°-W。平面形は幅広の隅丸長方形、横断面は上端がやや開く幅広の鍋状。覆土下層は黒褐色土で炭化物粒をわずかに含む。上層は黒色土及び黒褐色土。

189号土坑 7-N-11グリッド 長軸長104cm、短軸長58cm、深さ27cm、長軸方位N-11°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は上端が大きく開く皿状。覆土は黄白色粒、炭化物を含む暗褐色土。

190号土坑 7-N-8・9グリッド 長軸長83cm、短軸長75cm、深さ8cm、長軸方位N-2°-E。平面形は円形、横



第403図 第4面土坑出土遺物3

- 2 灰黄褐色土(やや暗色) (10YR4/2) ローム小ブロック黒色小ブロック混土。(一括埋土)。

324号土坑

- 1 焼土層。
- 2 焼土小ブロック混じりの灰黄褐色土。
- 3 灰黄褐色土 10YR4/2 焼土粒、炭化物をわずかに含む。ややしまりあり。

206号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。

207号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒をわずかに含む。褐色土ブロックを少量含む。

220号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR 白色。褐色粒をわずかに含む。ローム粒をわずかに含む。

208号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色。褐色粒をわずかに含む。炭化物(炭化物)細粒をわずかに含む。明黄色土ブロック。

209号土坑

- 1 褐灰色土 7.5YR4/1 褐色粒をわずかに含む。

211号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2。

3 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土粒を少量含む。

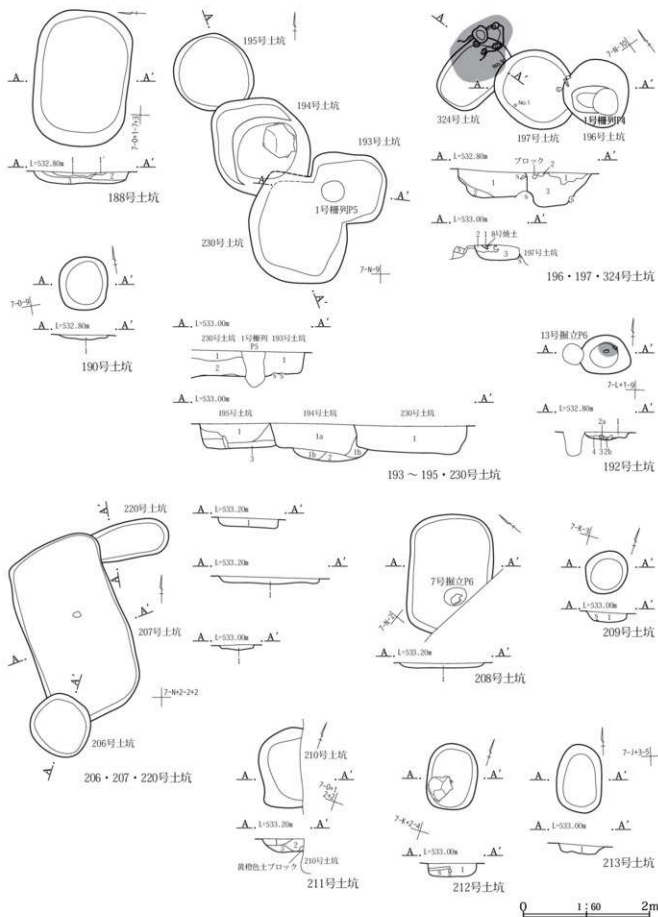
212号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 白色・黄褐色粒を少量含む。黒褐色土を少量含む。黄褐色土をわずかに含む。

213号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 白色・黄褐色粒を少量含む。黒褐色土を少量含む。黄褐色土をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第404図 第4面土坑3 1/60

断面は浅い皿状。覆土は黄白色粒、炭化物を含む暗褐色土。

192号土坑 7-L-9グリッド 長軸確認長80cm、短軸長60cm、深さ12cm、長軸方位N-82°-W。平面形は扁円形、底部に凹凸があるが、横断面はおおよそ浅い皿状。覆土は灰黄褐色を主体とするが、下層は黒褐色土で、中央底部近くに焼土がある。13号掘立柱建物P6に切られる。

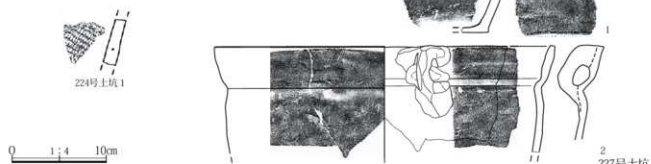
193号土坑 7-M・N-9グリッド 長軸長135cm、短軸確認長128cm、深さ37cm、長軸方位N-41°-W。平面形は隅丸方形、横断面はやや深い箱状を示す。覆土は灰黄褐色土で一括埋設されている。230号土坑と斬り合うが重複関係は把握されていない。須恵片が出土している。

194号土坑 7-N-9グリッド 長軸確認長172cm、短軸長150cm、深さ61cm、長軸方位N-42°-W。平面形は北西隅は丸みを持ちつつ屈曲し、北辺、西辺は直線形である

が南東両辺は円弧を描く。断面で見ると、上部は北西の平面形に対応して上方に開く箱状を呈するが、下位から南東辺では丸底の鍋状となる。覆土は上部は灰黄褐色土、下部はローム、黒色土ブロックの混土。195号土坑を切る。230号土坑に切られる。須恵片が出土している。

195号土坑 7-N-9グリッド 長軸長130cm、短軸長118cm、深さ40cm、長軸方位N-52°-W。平面形は円形、横断面は箱状を示す。覆土は下位は黒色土、中位はくすんだ褐色土で、上位には上から掘り込まれたような形状で灰黄褐色土が堆積する。194号土坑に切られる。

196号土坑 7-M・N-9・10グリッド 長軸長110cm、短軸長106cm、深さ61cm、長軸方位N-14°-E。平面形は円形、横断面は底面がややくぼむが上方に開く逆台形を示す。覆土は白白色粒、黒色土、炭化物粒をわずかに含む



第405図 第4面土坑出土遺物4 1/4

214号～218号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 白色・黄褐色・黒褐土粒を少量含む。黄褐色土をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒多量に含む。黒褐土粒、白色粒、褐色粒を少量含む。

219号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色、褐色粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒多量に含む。黒褐土粒をわずかに含む。

221号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 ローム粒を多量に含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色土粒をわずかに含む。

222号土坑

1 暗褐色土 7.5YR 白色、褐色粒をわずかに含む。ローム粒をわずかに含む。

224号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土粒を少量含む。褐色粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。

225号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロック黒色土小ブロックを混じり、しまり弱い。

2 灰黄褐色土 10YR4/2 土質均質、炭化物少量含む。しまりあり。

226号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。黄褐色粒をわずかに含む。

2 黒色土 7.5YR2/1 白色粒をわずかに含む。

227号・228号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 土質均質、しまりあり。

2a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを混状に含む。

2b 2a解より、各ブロック大きい。

229号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色土粒、黒褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

231号土坑

1 黒色土 7.5YR2/1 白色、褐色粒をわずかに含む。地山。

2 黒褐色土 7.5YR3/1 白色、褐色粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR2/2。

4 黒褐色土 7.5YR3/1。

232号・233号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 径1cmの黄褐色土粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。

234号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 ローム土多量に含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 ローム粒をわずかに含む。黒色土粒をわずかに含む。

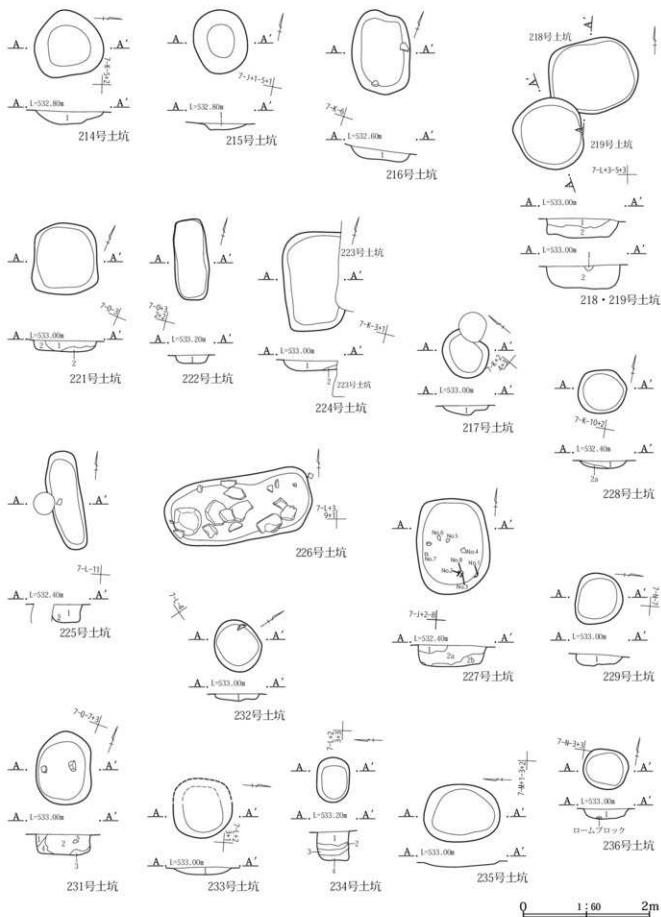
3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む。

4 褐色土 7.5YR4/4 黒色土粒をわずかに含む。ローム粒を少量含む。

236号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。ローム粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第406図 第4面土坑4 1/60

黒褐色土。197号土坑を切る。小鉄片が出土している。

197号土坑 7-N-9・10グリッド 長軸長133cm、短軸長116cm、深さ45cm、長軸方位N-3°-W。平面形は円形、横断面は弱い中段をもって上方に開く。覆土は白色粒子を含む黒色～黒褐色土。196号土坑に切られる。硯が出土している。

198号土坑 7-N-10グリッド 長軸長188cm、短軸長134cm、深さ19cm、長軸方位N-1°-W。平面形は長方形。横断面は上部にやや開く浅い鍋状。覆土は黄白色粒、ローム粒、黒色土粒を含む灰黄褐色土。石臼が出土している。

199号土坑 7-O-10グリッド 長軸長183cm、短軸長144cm、深さ36cm、長軸方位N-75°-E。平面形は北辺がやや短い隅丸長方形。底面は平らで、上部がやや開く幅広い逆台形の断面形を示す。覆土は灰黄褐色土あるいは暗褐色土。161号土坑を切る。

206号土坑 7-N・O-2グリッド 長軸長102cm、短軸長96cm、深さ14cm、長軸方位N-12°-W。平面形は円形、横断面は浅い箱状を示す。覆土は黄褐色粒、炭化物粒をわずかに含む暗褐色土。207号土坑を切る。

207号土坑 7-N・O-2・3グリッド 長軸長285cm、短軸長158cm、深さ21cm、長軸方位N-20°-W。平面形は

隅丸長方形、横断面は浅い箱状ないし皿状を示す。覆土は黒褐色土。206号土坑に切られる。220号土坑を切る。

208号土坑 7-M-1・2グリッド 長軸長188cm、短軸長132cm、深さ13cm、長軸方位N-56°-E。平面形は隅丸長方形、横断面は浅い皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

209号土坑 7-J-2グリッド 長軸長72cm、短軸長64cm、深さ15cm、長軸方位N-14°-E。平面形は円形、横断面は鍋状を示す。覆土は褐色土。

211号土坑 7-O-2グリッド 長軸長126cm、短軸確認長64cm、深さ22cm、長軸方位N-20°-W。平面形は北辺に丸みを持つ隅丸長方形、横断面は鍋状を示す。覆土は黒褐色土、暗褐色土。210号土坑に切られる。土師器小片が出土している。

212号土坑 7-K-4グリッド 長軸長104cm、短軸長78cm、深さ22cm、長軸方位N-9°-W。平面形は長円形に近い胴張りのある隅丸長方形、横断面は鍋状を示す。覆土は褐色土を主体とする。弥生土器の護脚部片が出土している。

213号土坑 7-J・K-4・5グリッド 長軸長109cm、短軸長74cm、深さ18cm、長軸方位N-5°-W。平面形は長円形、底部に凹凸があるが、横断面はおおよそ浅い皿状。

237号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 白色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒をわずかに含む。

238号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 白色、褐色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 焼土粒を少量含む。炭化物粒を少量含む。

239号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色粒を少量含む。黒色土粒をわずかに含む。

240号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロックを多量に含む。

241号土坑

1 暗褐色土 白色、褐色粒をわずかに含む。ローム粒をわずかに含む。

243号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒をわずかに含む。ローム土をわずかに含む。

246号土坑

1 白色褐色土粒、褐色土粒(焼土?)、ローム粒をわずかに含む。炭を含む。

247号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色、褐色粒をわずかに含む。黒褐色土ブロックを少量含む。

250号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒、褐色土粒をわずかに含む。

251号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 炭化物粒、褐色粒をわずかに含む。

252号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土ブロックを少量含む。

253号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色土ブロックを少量含む。

254号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。ローム粒を少量含む。

256号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒をわずかに含む。ローム土。

2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒を少量含む。ローム粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒をわずかに含む。

257号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒を少量含む。褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒を少量含む。褐色土粒をわずかに含む。

3 黄褐色土 10YR8/6 黒褐色土粒をわずかに含む。鉄片付着。

4 黄褐色土 7.5YR5/6 黒褐色土粒を少量含む。

5 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄片付着。

258号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 褐色、白色粒をわずかに含む。ローム粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 黒色土粒を少量含む。ローム粒をわずかに含む。

259号土坑

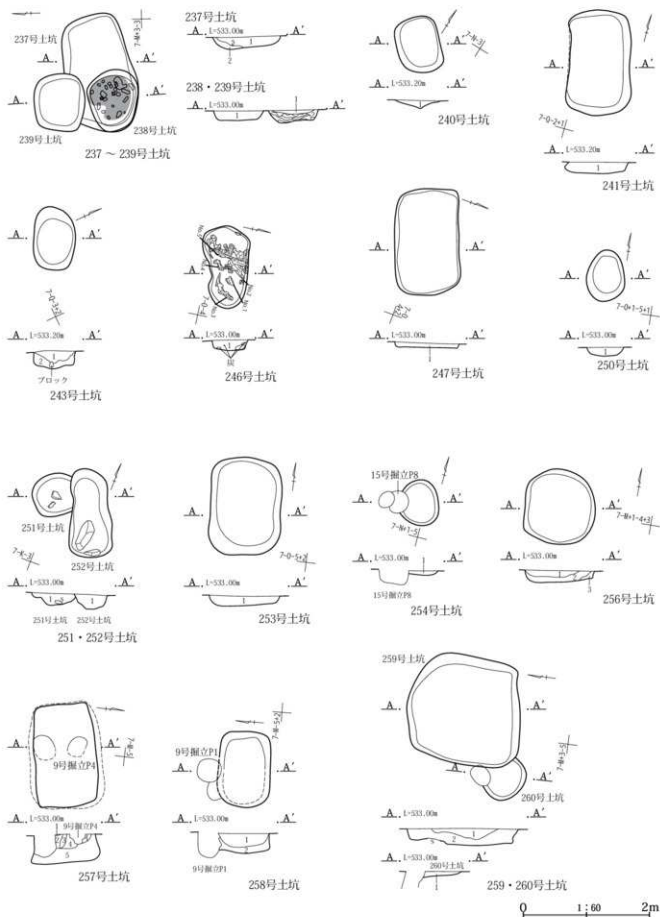
1 黒褐色土 7.5YR3/2。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 ローム粒を少量含む。

260号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒子、褐色土粒をわずかに含む。鉄片付着。

第2章 調査された遺構と遺物



第407図 第4面土坑5 1/60

鋼状に近い断面形を示す。覆土は褐色土を主体とする。

214号土坑 7-K-5グリッド 長軸長110cm、短軸長105cm、深さ23cm、長軸方位N-2°-W。平面形は円形、横断面は中央がくぼむ皿状。覆土は褐色土を主体とする。

215号土坑 7-J-5グリッド 長軸長100cm、短軸長83cm、深さ13cm、長軸方位N-24°-W。平面形はほぼ円形、断面形では西側が深い。覆土は褐色土を主体とする。

216号土坑 7-J・K-6グリッド 長軸長134cm、短軸長91cm、深さ23cm、長軸方位N-26°-W。平面形は長円形に近い脚張りのある隅丸長方形。底面は東側に傾斜し、横断面は鋼形。覆土は褐色土を主体とする。

217号土坑 7-K-4グリッド 長軸長80cm、短軸長68cm、深さ16cm、長軸方位N-17°-E。平面形は扁円形、底面中央がくぼむ。覆土は暗褐色土を主体とする。

218号土坑 7-L・M-5・6グリッド 長軸長142cm、短軸長116cm、深さ32cm、長軸方位N-83°-W。平面形は長円形に近い脚張りのある隅丸長方形、横断面は箱状から鋼形。覆土は下位は暗褐色土、上位は黒褐色土を主体とする。

219号土坑 7-L・M-5・6グリッド 長軸長114cm、短軸長109cm、深さ36cm、長軸方位N-12°-W。平面形は円形、横断面は箱状。覆土は黄褐色土粒を多量に含む暗褐色土。

220号土坑 7-N-3グリッド 長軸確認長110cm、短軸長58cm、深さ8cm、長軸方位N-79°-E。平面形は長円形、

横断面は浅い箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。

221号土坑 7-O-2・3グリッド 長軸長113cm、短軸長105cm、深さ17cm、長軸方位N-24°-W。平面形は脚張りのある隅丸長方形、横断面は鋼状を示す。覆土は下位が黒褐色土、上位がローム粒を多量に含む暗褐色土。

222号土坑 7-O-2グリッド 長軸長126cm、短軸長54cm、深さ13cm、長軸方位N-18°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は鋼状を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

224号土坑 7-K-3グリッド 長軸長155cm、短軸長63cm、深さ19cm、長軸方位N-15°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は上方に開く皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。223号土坑に切られる。縄文土器深鉢の胴部片が出している。

225号土坑 7-L-11グリッド 長軸長158cm、短軸長52cm、深さ31cm、長軸方位N-15°-W。平面形は幅の狭い長円形、横断面は箱状ないし鋼状。覆土は炭化物を少量含む灰黄褐色土。

226号土坑 7-L・M-9グリッド 長軸長232cm、短軸長100cm、深さ17cm、長軸方位N-80°-E。平面形は長円形、横断面は箱状。覆土は底部に薄い黒色土層があり、上位は黒褐色土。上位に礫を含む。柵列、掘立柱建物群中にあり、旧P4とされる柱穴を切る。

227号土坑 7-J-8グリッド 長軸長152cm、短軸長111cm、深さ32cm、長軸方位N-4°-W。平面形は脚張りのある隅丸長方形、横断面は鋼状。覆土は灰黄褐色土で

261号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒、橙色土粒をわずかに含む。

262号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土粒、褐色土粒をわずかに含む。

265号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒多量に含む。

2 暗褐色土 7.5YR4/4 白色粒、褐色土ブロックを少量含む。褐色粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、橙色土粒をわずかに含む。

268号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黒色土粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。

2 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒をわずかに含む。褐色土を多量に含む。

270号土坑

1 褐色土 7.5YR4/6 ローム粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。

271号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 白色砂少量含む。

3 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒子、褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。

274号土坑

1 灰褐色土 7.5YR5/2 褐色土粒を少量含む。白色粒、黒褐色土粒をわずかに含む。

278号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。

279号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黒色土粒をわずかに含む。

280号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色、褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

281号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色土粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。

282号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黒色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。

284号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 黒色土、褐色土粒を少量含む。

285号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色土粒、炭化物を少量含む。褐色粒、小礫をわずかに含む。

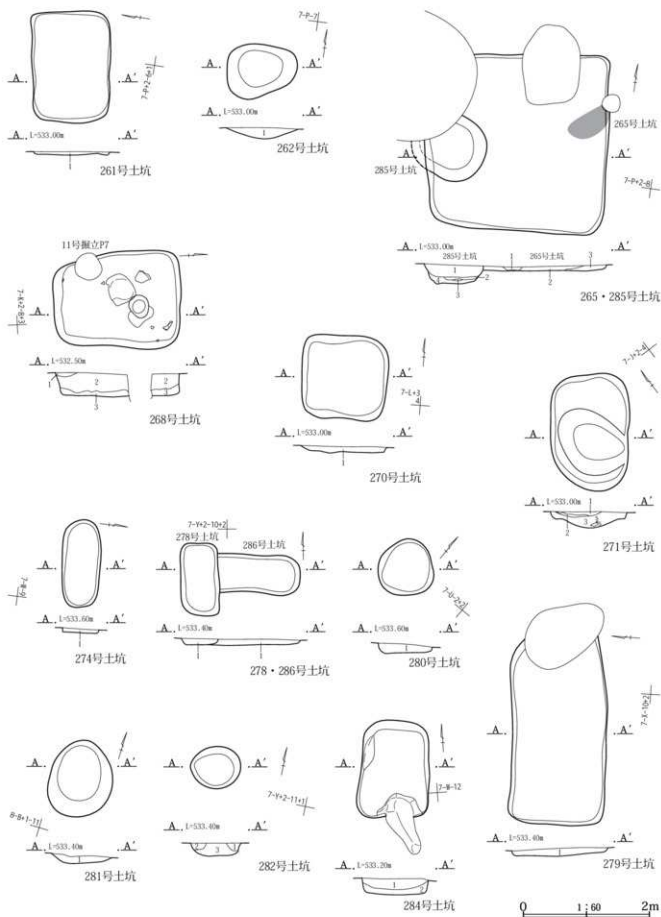
286号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒をわずかに含む。褐色土粒、炭化物を少量含む。

286号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒をわずかに含む。

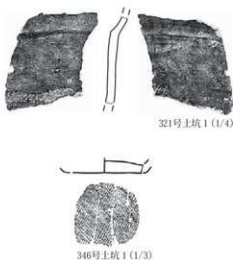
第2章 調査された遺構と遺物



第408図 第4面土坑6 1/60

下位は黒色土、ロームブロックが目立つ。内耳鍋の破片が出土している。

228号土坑 7-J・K-10グリッド 長軸長74cm、短軸長68cm、深さ9cm、長軸方位N-77°-E。平面形は円形、横断面は浅い皿状。覆土は灰黄褐色土で下位は黒色土、

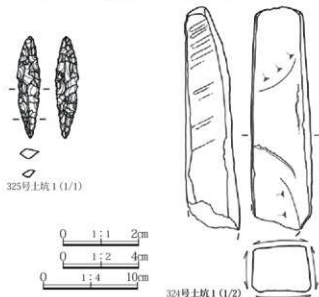


321号土坑 1 (1/4)

346号土坑 1 (1/3)

ロームブロックをわずかに含む。

229号土坑 7-M・N-6グリッド 長軸長85cm、短軸長76cm、深さ19cm、長軸方位N-50°-W。平面形はゆがんだ円形、底部に凹凸が目立ち、皿状から鍋状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。



325号土坑 1 (1/1)

323号土坑 1 (1/2)

第409図 第4面土坑出土遺物5

295号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、橙色土粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。

296号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土粒を少量含む。褐色ローム土粒をわずかに含む。

297号土坑

1 灰色土 7.5YR4/2 炭化物粒、ローム粒をわずかに含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/4 ローム粒を少量含む。

298号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 焼土焼多量に含む。ローム粒をわずかに含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/3 ローム粒ブロックを少量含む。

299号土坑

1 黒褐色土 7.5YR 白色粒を少量含む。褐色土ブロックをわずかに含む。
2 黒褐色土 7.5YR1/3 褐色土粒を少量含む。

318号・319号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒をわずかに含む。
1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。
3 褐色土 7.5YR4/6 ローム土多量含む主体。(319号土坑)
4 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロックを多量に含む。炭化物粒、焼土粒をわずかに含む。

320号土坑

1 褐灰色土 10YR4/1 わずかに砂含む。黒色土ブロックを含む。
2 黒褐色土 10YR2/2 白色細粒を含む。しまり強い。1層ブロックを含む。

321号土坑

1 褐灰色土 10YR4/1 1層に似るが、しまり弱く、砂含まない。

322号土坑

1 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム土、ローム小ブロックを含む。
2 明黄褐色ロームブロック主体、1層ブロックを含む。
3 ロームブロック、黒色土ブロック混入。
4 黒色土 10YR2/1 しまり強く、白色粒を含む。ローム小ブロックをわずかに含む。

323号土坑

1 黒色土 10YR2/1 しまり強く、白色粒含む。ローム小ブロックをわずかに含む。
2 にぶい黄褐色土 10YR5/3 くすんだローム土に、ロームブロックを多く含む。黒色土小ブロックをわずかに含む。
3 ロームブロック、黒色土ブロック、2層ブロック混入。
4 黒色土 10YR2/1 しまりあり。1層に似る。

325号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黒色土粒をわずかに含む。

342号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。小礫をわずかに含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒を少量含む。

343号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒子、褐色粒子、褐色土粒。小礫をわずかに含む。
2 黒色土 7.5YR2/1 炭化物主体。
3 褐色土 7.5YR4/6 焼土を少量含む。
4 黒褐色土 7.5YR3/1 炭化物少量含む。褐色土粒をわずかに含む。

345号土坑

1 褐色土 7.5YR4/4 褐色ローム土をわずかに含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。褐色ローム土ブロックをわずかに含む。
3 にぶい褐色土 7.5YR7/3 褐色ローム粒多量に含む。

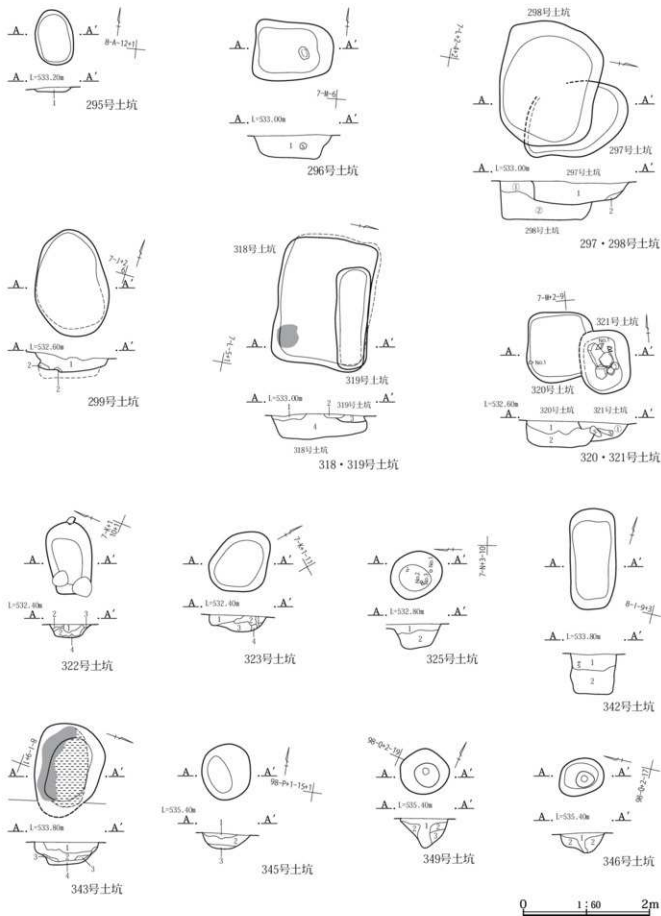
346号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む。
2 褐色土 7.5YR4/3 褐色土粒を少量含む。褐色ローム土粒を少量含む。
3 褐色ローム土主体。

349号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む。
2 褐色土 7.5YR4/3 褐色土粒を少量含む。褐色ローム土粒を少量含む。
3 褐色ローム土主体。

第2章 調査された遺構と遺物



第410図 第4面土坑7 1/60

230号土坑 7-N-8・9グリッド 長軸長194cm、短軸長154cm、深さ45cm、長軸方位N-28°-W。平面形はやや胴張りのある隅丸方形、横断面は上方にやや開く箱状。覆土は灰黄褐色土が主体で、部分的にローム、黒色土の小ブロックを含む。193号土坑と重複するが、新旧関係は不明。194号土坑を切る。縄文時代後期前半の土器片が出土している。

231号土坑 7-P・Q-7グリッド 長軸長116cm、短軸長84cm、深さ33cm、長軸方位N-17°-W。平面形は長円形、横断面は箱状。覆土は黒褐色土を主体とする。縄文時代後期前半の土器片が出土している。

232号土坑 7-K-4グリッド 長軸長84cm、短軸長72cm、深さ13cm、長軸方位N-75°-W。平面形は円形、底部に凹凸が目立ち、浅い皿状ないし鍋状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

233号土坑 7-L-3グリッド 長軸確認長94cm、短軸長92cm、深さ12cm、長軸方位N-86°-E。平面形は円形、浅い皿状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

234号土坑 7-L-3グリッド 長軸長71cm、短軸長51cm、深さ27cm、長軸方位N-89°-E。平面形は長円形、深いU字状の断面形で、底部近くはややえぐれるように張り出す。覆土は下層は褐色土、中位は暗褐色土、上位は黒褐色土を主体とする。

235号土坑 7-M-3グリッド 長軸長120cm、短軸長86cm、深さ8cm、長軸方位N-12°-W。平面形は不正長円形、浅い皿状の断面形を示す。覆土は観察所見を欠く。

236号土坑 7-M-3グリッド 長軸長69cm、短軸長62cm、深さ17cm、長軸方位N-89°-E。平面形は扁円形、横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

237号土坑 7-M・N-3グリッド 長軸長188cm、短軸長104cm、深さ18cm、長軸方位N-75°-E。平面形は隅丸長方形、底面は東側が低くなり、横断面は鍋状。覆土は底部に一部黒褐色土があり、上位は灰褐色土。238号、239号土坑に切られる。

238号土坑 7-M・N-3グリッド 長軸長100cm、短軸長80cm、深さ3cm、長軸方位N-79°-W。平面形は扁長円形に近い胴張りのある隅丸方形、横断面は上部に開いた鍋形。覆土は最上層が褐色土で、東壁際に焼土粒、炭化物粒を含む暗褐色土がある。焼土塊等も含まれるが詳細な観察所見を欠く。237号土坑を切る。

239号土坑 7-M・N-3グリッド 長軸長90cm、短軸長80cm、深さ16cm、長軸方位N-90°-E。平面形はやや胴張りのある隅丸長方形、横断面は上部に開いた鍋形。覆土は暗褐色土を主体とする。237号土坑を切る。

240号土坑 7-N-2グリッド 長軸長89cm、短軸長68cm、深さ14cm、長軸方位N-42°-W。平面形はやや胴張りのある隅丸長方形、中央にピット状の落ち込みがある。横断面は浅い皿状。覆土は橙色土ブロックを多量に含む暗褐色土。

241号土坑 7-P・Q-2グリッド 長軸長167cm、短軸長102cm、深さ22cm、長軸方位N-10°-W。平面形は隅丸長方形、西壁際がえぐれるように張り出す。覆土は暗褐色土を主体とする。

243号土坑 7-Q-3グリッド 長軸長99cm、短軸長64cm、深さ29cm、長軸方位N-65°-W。平面形は長円形、横断面は鍋形。覆土は黒褐色土を主体とする。

246号土坑 7-O-3・4グリッド 長軸長130cm、短軸長74cm、深さ18cm、長軸方位N-80°-E。平面形は不正長円形、横断面は鍋形。覆土は主体層についての記載を欠くが、焼土、繊維状の炭化物、炭化材などを多く含む。墓坑の可能性も考えられたが、東西長軸で他の墓坑が北向きであるとは異なり、骨や銭の出土もない。

247号土坑 7-O-4グリッド 長軸長167cm、短軸長100cm、深さ9cm、長軸方位N-69°-E。平面形は長方形、浅い箱状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

250号土坑 7-O-5グリッド 長軸長82cm、短軸長60cm、深さ15cm、長軸方位N-3°-W。平面形は扁円形、鍋状の断面形を示す。覆土は黒褐色土を主体とする。

251号土坑 7-J・K-3グリッド 長軸長73cm、短軸長68cm、深さ18cm、長軸方位N-32°-E。平面形は円形、底部が丸みを持つ碗状の断面形を示す。覆土は黒褐色土を主体とする。252号土坑に切られる。

252号土坑 7-J-3グリッド 長軸長140cm、短軸長68cm、深さ19cm、長軸方位N-24°-W。平面形は北短辺が丸い幅の狭いゆがんだ隅丸長方形、底部が丸みを持つ碗状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

253号土坑 7-O-5グリッド 長軸長154cm、短軸長113cm、深さ18cm、長軸方位N-5°-W。平面形は隅丸長方形、やや浅い鍋状の断面形を示す。覆土は黒褐色土を主体とする。

254号土坑 7-N-5グリッド 長軸長71cm、短軸確認長64cm、深さ8cm、長軸方位N-34°-W。平面形はゆがんだ円形、浅い皿状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

256号土坑 7-M-4グリッド 長軸長119cm、短軸長111cm、深さ20cm、長軸方位N-10°-W。平面形は不整形円形、浅い鍋状の断面形を示す。覆土は下部が黒褐色土、上部は暗褐色土を主体とする。

257号土坑 7-L・M-4グリッド 長軸長163cm、短軸長99cm、深さ46cm、長軸方位N-79°-E。平面形は隅丸長方形、底部近くがふくれた弱い袋状の断面形を示す。覆土は黄褐色土ブロックを多く含む明黄褐色土で、ロームが崩れたものように思える。上部にビット状の攪乱が重なる。

258号土坑 7-M-5グリッド 長軸長119cm、短軸確認長82cm、深さ20cm、長軸方位N-88°-E。平面形は隅丸長方形、箱状の断面形を示す。覆土は下層が暗褐色土、上層が灰褐色土を主体とする。

259号土坑 7-M-5グリッド 長軸長180cm、短軸長165cm、深さ25cm、長軸方位N-1°-E。平面形は隅丸方形に近いが、北東隅が円弧状を呈する。横断面は箱状。覆土は下層が暗褐色土、上層は黒褐色土を主体とする。間皿Ⅱ式の土器片が出土している。

260号土坑 7-M・N-5グリッド 長軸確認長70cm、短軸長70cm、深さ7cm、長軸方位N-39°-E。平面形は隅丸方形を呈するかと思われる。横断面は浅い皿状を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

261号土坑 7-P-6グリッド 長軸長176cm、短軸長124cm、深さ8cm、長軸方位N-81°-E。平面形は隅丸長方形、ごく浅く、底部はゆるく波打つ。覆土は黒褐色土を主体とする。

262号土坑 7-P-6グリッド 長軸長112cm、短軸長83cm、深さ18cm、長軸方位N-68°-E。平面形はゆがんだ長円形、横断面は浅い皿状を示す。覆土は灰褐色土を主体とする。

265号土坑 7-P・Q-7・8グリッド 長軸長291cm、短軸長282cm、深さ13cm、長軸方位N-82°-E。平面形は方形、浅く、壁の立ち上がりはやや丸みを持つ。底面は平ら。覆土は暗褐色土を主体とするが、壁際に黒褐色土が堆積する。266号土坑、285号土坑に切られる。

268号土坑 7-K-8・9グリッド 長軸長201cm、短軸長156cm、深さ39cm、長軸方位N-2°-W。平面形は南辺がやや短い台形、横断面は箱状。覆土は観察所見と断面図の整合を欠くが、褐色土が主体であるらしい。

270号土坑 7-L・M-3・4グリッド 長軸長145cm、短軸長132cm、深さ11cm、長軸方位N-90°-E。平面形は方形。浅く、底面は波打つ。覆土は褐色土を主体とする。

271号土坑 7-J-3・4、K-3グリッド 長軸長185cm、短軸長122cm、深さ24cm、長軸方位N-34°-E。平面形は南短辺が丸みを持つ隅丸長方形だが、南側は内接するように円形に落ち込む。覆土は暗褐色土を主体とする。

274号土坑 7-V・W-9グリッド 長軸長140cm、短軸長60cm、深さ8cm、長軸方位N-89°-E。平面形は長円形、横断面は浅い箱形。覆土は灰褐色土主体。

278号土坑 7-Y-10グリッド 長軸長114cm、短軸長62cm、深さ15cm、長軸方位N-77°-E。平面形は隅丸長方形、横断面は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。286号土坑を切る。

279号土坑 7・8-Y・A-10・11グリッド 長軸確認長320cm、短軸長151cm、深さ18cm、長軸方位N-87°-E。平面形は隅丸長方形。北短辺は攪乱されているが、丸みを持つかもしれない。横断面は浅い箱形。覆土は黒褐色土を主体とする。

280号土坑 7-U-2グリッド 長軸長91cm、短軸長90cm、深さ17cm、長軸方位N-14°-W。平面形は円形、横断面は浅い箱形。覆土は黒褐色土を主体とする。

281号土坑 8-B-11グリッド 長軸長122cm、短軸長99cm、深さ21cm、長軸方位N-7°-W。平面形は扁円形、横断面は皿状。覆土は黒褐色土を主体とする。

282号土坑 7-Y-11グリッド 長軸長80cm、短軸長67cm、深さ21cm、長軸方位N-77°-E。平面形は円形、横断面は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とし、上部壁際に暗褐色土が載る。

284号土坑 7-W-11・12グリッド 長軸長154cm、短軸長112cm、深さ40cm、長軸方位N-10°-E。平面形は隅丸長方形。南壁面に大きな礫がある。横断面は箱形。覆土は下位が暗褐色土、上位が褐色土を主体とする。

285号土坑 7-Q-7・8グリッド 長軸長118cm、短軸長104cm、深さ31cm、長軸方位N-87°-W。平面形は扁円形、横断面は鍋状。覆土は上下が暗褐色土主体、中位に

焼土、炭化物層を挟む。265号土坑を切る。

286号土坑 7-Y-10グリッド 長軸長128cm、短軸長63cm、深さ10cm、長軸方位N-88°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は浅い皿状ないし箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。278号土坑に切られる。

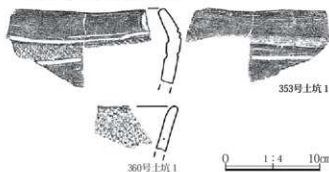
295号土坑 8-A-12グリッド 長軸長87cm、短軸長60cm、深さ10cm、長軸方位N-16°-W。平面形は扁円形、横断面は浅い皿状。覆土は黒褐色土を主体とする。

296号土坑 7-M-6グリッド 長軸長124cm、短軸長96cm、深さ35cm、長軸方位N-89°-W。平面形は東辺が丸みを持つ隅丸長方形、横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

297号土坑 7-L-4・5グリッド 長軸長220cm、短軸確認長134cm、深さ27cm、長軸方位N-19°-W。平面形は北短辺が丸みを持つ隅丸長方形、横断面は鍋状。覆土は灰色土を主体とする。298号土坑を切る。

298号土坑 7-L-4・5グリッド 長軸長222cm、短軸長152cm、深さ62cm、長軸方位N-90°-E。平面形は隅丸長方形、横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とし、上層に焼土を多量に含む。

299号土坑 7-J-5・6グリッド 長軸長169cm、短軸長117cm、深さ25cm、長軸方位N-25°-W。平面形はゆがんだ長円形、西壁が乱れるが、横断面は鍋状に近い。覆土は黒褐色土を主体とする。



第411図 第4面土坑出土遺物6

350号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 椀ローム粒を少量含む。褐色粒を少量含む。

351号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 椀ローム土を少量含む。褐色土粒を少量含む。

352号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック多く含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/1 炭化物土層を含む。褐色土粒をわずかに含む。

353号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。大小の礫多く含む。

354号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒多量に含む。黒色土をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒を少量含む。

356号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒を少量含む。

357号土坑

1 暗褐色土 10YR3/3 白色軽石粒を含み、わずかにローム粒あり。

358号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

3 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。褐色土粒を少量含む。

359号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

3 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。黒色土を少量含む。

360号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR2/2 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。

3 黒褐色土 7.5YR2/2 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒多量に含む。

4 黒褐色土 7.5YR2/2 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

361号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR7/6 褐色粒をわずかに含む。暗褐色土粒をわずかに含む。

362号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR7/6 褐色粒をわずかに含む。暗褐色土粒をわずかに含む。

365号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。小礫わずかに含む。

366号土坑

1 暗褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。小礫わずかに含む。

367号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/2 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。

2 黒色土 7.5YR2/1 白色粒を少量含む。褐色土ブロックを多量に含む。*掘り過ぎ?

368号土坑

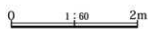
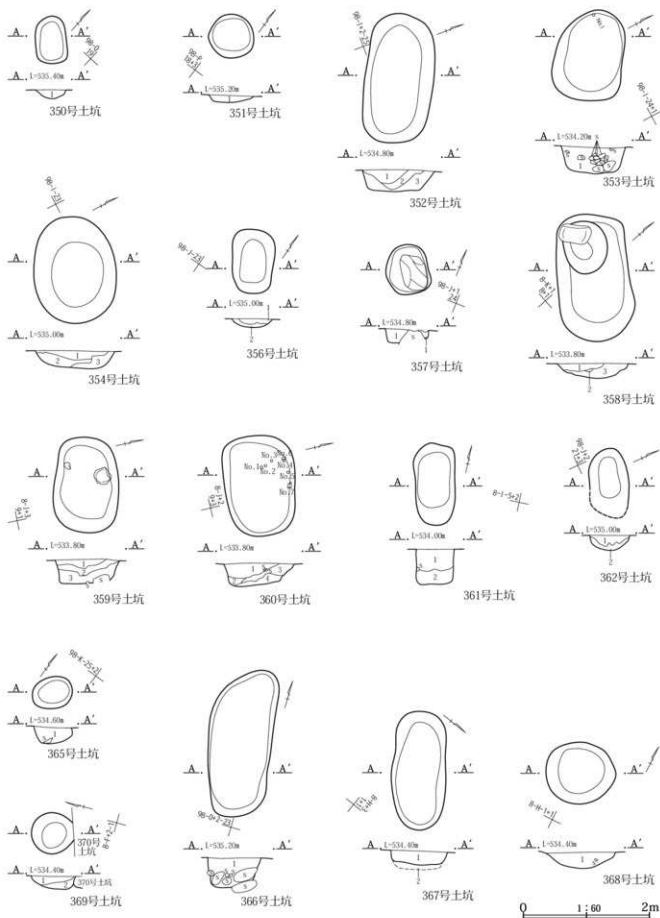
1 暗褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。小礫わずかに含む。

369号土坑

1 暗褐色土 7.5YR4/3 白色粒を少量含む。褐色土ブロックを多量に含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色土ブロックを少量含む。大小の礫を多量に含む。

第2章 調査された遺構と遺物

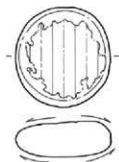


第412図 第4面土坑8 1/60

318号土坑 7-L-5グリッド 長軸長198cm、短軸長150cm、深さ43cm、長軸方位N-90°-E。平面形は隅丸方形、横断面は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。319号土坑に切られる。

319号土坑 7-L-5グリッド 長軸長160cm、短軸長54cm、深さ8cm、長軸方位N-81°-E。平面形は幅の狭い隅丸方形。覆土は褐色土を主体とする。318号土坑を切る。

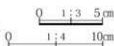
320号土坑 7-M-8グリッド 長軸長112cm、短軸確認長109cm、深さ42cm、長軸方位N-0°。平面形は隅丸方形、横断面は鍋状。覆土は下層が黒褐色土、上層は褐色土を主体とする。321号土坑に切られる。縄文時代中期後半から後期前半の土器片が出土している。



374号土坑1 (1/3)



381号土坑1 (1/4)



第413図 第4面土坑出土遺物7

371号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色土ブロックを少量含む。大小の礫を多量に含む。

372号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色土粒をわずかに含む。大小の礫を多量に含む。

373号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロックを多量に含む。

374号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量、黒色土多量に含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに、褐色粒、黒色土粒を少量含む。

375号土坑

1 暗褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量、褐色土ブロックを多量に含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒、褐色土粒を少量含む。

3 黒色土 7.5YR2/1 白色粒をわずかに、黒褐色土多量に含む。

378号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒をわずかに含む。褐色粒、褐色土粒を少量含む。

3 黄褐色土 7.5YR5/6 白色粒、褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロックを多量に含む。

379号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒、褐色土粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロックを多量に含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

381号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に、褐色土粒を少量含む。

382号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に、褐色土粒を少量含む。

321号土坑 7-M-8グリッド 長軸長100cm、短軸確認長76cm、深さ27cm、長軸方位N-0°。平面形は隅丸長方形、横断面は鍋状。覆土は褐色土を主体とする。中に礫を含む。320号土坑を切る。

322号土坑 7-K-10グリッド 長軸長114cm、短軸長68cm、深さ20cm、長軸方位N-67°-E。平面形は東短辺が丸みを持つ隅丸長方形、横断面は上方が開く鍋状。覆土は下層に黒色土があるが、上位はロームブロックが多く含まれる。

323号土坑 7-K-10グリッド 長軸長110cm、短軸長89cm、深さ22cm、長軸方位N-12°-W。平面形はゆがんだ円形、底面中央がくぼみ、西壁は小さな丸みを持って立

386号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色土粒、黄褐色、褐色土ローム粒をわずかに含む。

2 にぶい黄褐色土 7.5YR6/3 褐色粒、黒褐色土ブロックを少量含む。褐色土ロームブロックを多量に含む。

455号土坑

1 褐色土 10YR6/1 黒色土粒をわずかに含む。

2 灰白色土 10YR7/1 黒色土粒、白色粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 10YR3/1 黒色土多量に含む。

457号土坑

1 にぶい黄褐色土 7.5YR 黒色粒、褐色、白色粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 黒色土粒、褐色粒を少量含む。

3 暗褐色土 7.5YR3/4 黒色土多量に、褐色粒をわずかに含む。

4 暗褐色土 10YR3/3 黄褐色土粒を少量含む。

5 黄褐色土 10YR8/6 ロームブロック主体。

458号土坑

1 暗褐色土 10YR3/4 褐色粒、黄褐色土ブロックをわずかに含む。

2 黒褐色土 10YR2/2 褐色・白色粒、黒色土粒を少量含む。

460号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 黒色土粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックを少量含む。ローム上。

461号・464号・467号土坑

1 にぶい黄褐色土 10YR4/3 くすんだローム上にロームブロック、黒色土小ブロック混入。一括埋土。

2 にぶい黄褐色土。

③ にぶい黄褐色土、2層よりしまりあり。ロームブロック大粒。

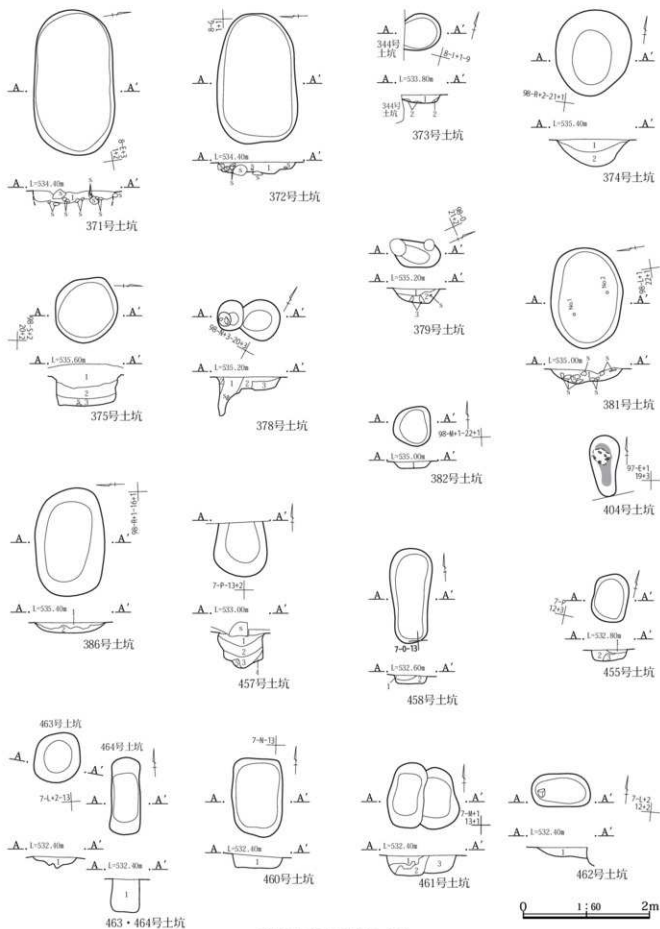
462号土坑

1 にぶい黄褐色土 10YR4/3 くすんだローム上にロームブロック、黒色土小ブロック混入。一括埋土。

463号土坑

1 暗褐色土 10YR3/4 褐色粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第414図 第4面土坑 9 1/60

ち上がり、東壁は大きく開く。覆土は下位にロームブロック、黒色土ブロックやにぶい黄褐色土があり、上位に黒色土が載る。

324号土坑 7-N-10グリッド 長軸長126cm、短軸長85cm、深さ25cm、長軸方位N-78°-E。平面形は扁円形、横断面は碗状。覆土は灰黄褐色土を主体とする。上位に8号焼土が載る。砥石のほか、関山Ⅱ式の土器片が出土している。

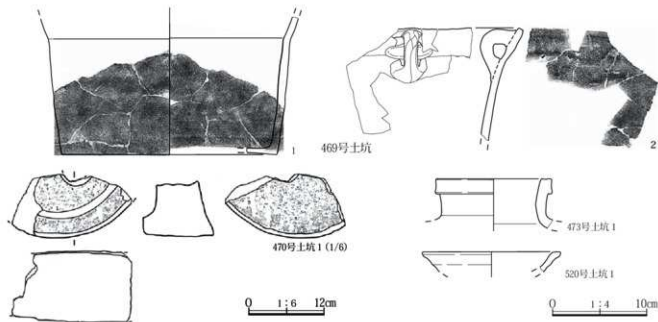
325号土坑 7-N-10グリッド 長軸長84cm、短軸長70cm、深さ50cm、長軸方位N-25°-W。平面形は円形、横断面はゆがんだ碗状。覆土は下層が暗褐色土、上層が黒

褐色土を主体とする。石錐が出土している。

342号土坑 8-1-9・10グリッド 長軸長160cm、短軸長72cm、深さ67cm、長軸方位N-13°-W。平面形は隅丸長方形、断面は箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。関山Ⅱ式の土器片が出土している。

343号土坑 8-H・1-9グリッド 長軸確認長150cm、短軸長106cm、深さ30cm、長軸方位N-87°-E。平面形は偏長円形、断面はやや深い鍋状で南部に弱い中段を持つ。覆土は最下層に黒褐色土があり、中に焼土、炭化物集中層がある。上位は暗褐色土を主体とする。

345号土坑 98-P-15グリッド 長軸長90cm、短軸長74



第415図 第4面土坑出土遺物 8

468号土坑

- 1 にぶい黄褐色土、2層よりしまりあり。ロームブロック大粒。

469号土坑

- 1 黒褐色土 10YR2/3 棕色土粒、炭化物粒をわずかに含む。
2 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。
3 暗褐色土 10YR3/3 黄褐色土ブロックを少量含む。
4 褐色土 10YR4/6 やや砂質、黄褐色土多量に含む。

470号土坑

- 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒を少量含む。
2 黒色土 10YR2/1 黄褐色土粒をわずかに含む。

471号土坑

- ① 褐色土 10YR4/1 鉄分付着、白色粒を少量含む。As-A下の礫作上。
1 黒褐色土 10YR3/2 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。

472号土坑

- 1 褐色土 10YR4/1 As-A下の礫の礫作上。鉄分付着、白褐色粒をわずかに含む。

473号土坑

- 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒、黒色土粒多量に含む。

474号土坑

- 1 黒褐色土 10YR3/2 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒を少量含む。
2 黒色土 10YR2/1 黄色土粒をわずかに含む。

475号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に、褐色粒、棕色土粒をわずかに含む。

470号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒多量に、褐色粒をわずかに含む。
2 黄褐色土 10YR8/8 洪水砂主体。

506号土坑

- 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒、褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土混入。

512号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。炭化物多く含む。
2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土塊少量含む。黒褐色土、炭化物粒をわずかに含む。

515号・516号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/3 黄褐色粒、黄褐色土、炭化物粒をわずかに含む。イモ穴。

519号土坑

- 2 にぶい褐色土 7.5YR5/4 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。

519号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒を少量含む。

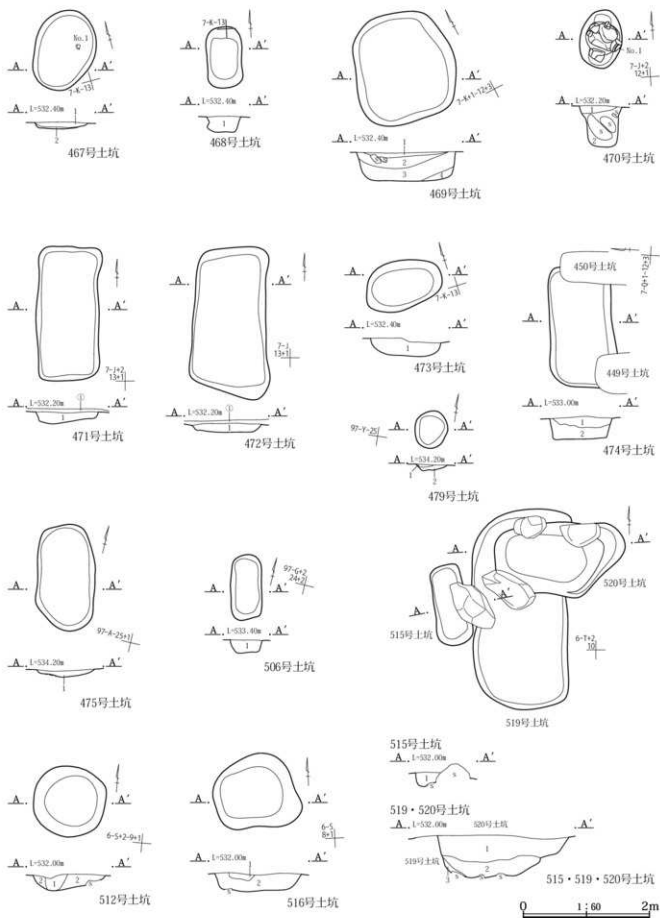
520号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。
2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

520号土坑

- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第416図 第4面土坑10 1/60

cm、深さ26cm、長軸方位N-4°-W。平面形はゆがんだ円形、横断面は深い皿状。覆土は下層がにぶい黄褐色土、中層は暗褐色土、上層は褐色土が載る。

346号土坑 98-Q-17グリッド 長軸長74cm、短軸長56cm、深さ33cm、長軸方位N-37°-W。平面形はゆがんだ円形、底部が乱れるが横断面は鍋状ないし深い皿状。覆土は褐色土を主体とする。阿玉台1b式の深鉢底部片が出土している。

349号土坑 98-Q-18・19グリッド 長軸長80cm、短軸長71cm、深さ46cm、長軸方位N-59°-E。平面形は円形、横断面は鍋状を呈するかと思われるが、中央部が深く、五角形に近い。覆土は下層がロームを主体とし、中層は褐色土、上層から下層にかけて暗褐色土が陥入するが、攪乱か柱痕か不明。

350号土坑 98-Q-18・19グリッド 長軸長76cm、短軸長51cm、深さ14cm、長軸方位N-43°-W。平面形は北西短辺が丸みをもつ隅丸方形、横断面は碗状。覆土は暗褐色土を主体とする。

351号土坑 98-O・P-18・19グリッド 長軸長72cm、短軸長69cm、深さ14cm、長軸方位N-52°-E。平面形は円形、横断面はやや浅い皿状だが北東部は壁を持たない。覆土は暗褐色土を主体とする。

352号土坑 98-I-24・25グリッド 長軸長206cm、短軸長108cm、深さ34cm、長軸方位N-64°-W。平面形は長円形、横断面は鍋状。覆土は下層は黒褐色土、中位以上は

暗褐色土を主体とする。

353号土坑 98-I-23・24グリッド 長軸長144cm、短軸長106cm、深さ43cm、長軸方位N-53°-W。平面形は北西短辺が丸みをもつ隅丸方形、横断面は深い鍋形。覆土は暗褐色土を主体とし、大小の礫を多く含む。関山式の土器片が出土している。

354号土坑 98-H-22・23グリッド 長軸長170cm、短軸長130cm、深さ27cm、長軸方位N-64°-W。平面形は長円形、横断面は碗状。覆土は下層は黒褐色土、中位以上は暗褐色土を主体とする。

356号土坑 98-I-23グリッド 長軸長102cm、短軸長65cm、深さ16cm、長軸方位N-34°-W。平面形は両転変が丸みを帯びる隅丸長方形、横断面は碗状ないしやや深い皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

357号土坑 98-J-23・24グリッド 長軸長78cm、短軸長67cm、深さ22cm、長軸方位N-29°-W。平面形はゆがんだ円形ないし隅丸方形だが、地山の角礫が確認面まで達していて、覆土は暗褐色土を主体とするが、人工により掘削されたものとして良いものか疑問を持つ。

358号土坑 8-J・K-8グリッド 長軸長203cm、短軸長120cm、深さ23cm、長軸方位N-56°-W。平面形は南東短辺が丸みを持つ隅丸長方形、横断面はやや深い皿状。覆土は下層が暗褐色土を主体とし、上層が黒褐色土を主体とする。五領ケ台式の土器片が出土している。

359号土坑 8-J・K-9グリッド 長軸長150cm、短軸

518号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR2/2 黄褐色土ブロック、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土を少量含む。イモ穴。

528号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、白色粒、炭化物粒をわずかに含む。

529号土坑

- 1 褐色土 7.5YR 鉄分付着。
- 2 暗褐色土 7.5YR 黄褐色粒をわずかに含む。鉄分付着。やや固い。
- 3 褐色土 7.5YR/3 黄褐色土を少量含む。

530号土坑

- 1 褐色土 7.5YR/3 褐色粒を少量含む。黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。

531号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

534号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。

535号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR/4 褐色粒をわずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色粒、褐色粒をわずかに含む。

536号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR/4 褐色粒をわずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色粒、褐色粒をわずかに含む。

537号土坑

- 1 褐色土 7.5YR/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

- 2 暗褐色土 7.5YR/3 褐色土粒をわずかに含む。

539号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR/3 黄褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。

- 2 暗褐色土 7.5YR/3 黄褐色粒を少量含む。

540号土坑

- 1 褐色土 7.5YR/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。イモ穴？

- 2 暗褐色土 7.5YR/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロック少量含む。

541号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

543号土坑

- 1 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。

- 2 褐色土 7.5YR/3 黄褐色土粒をわずかに含む。

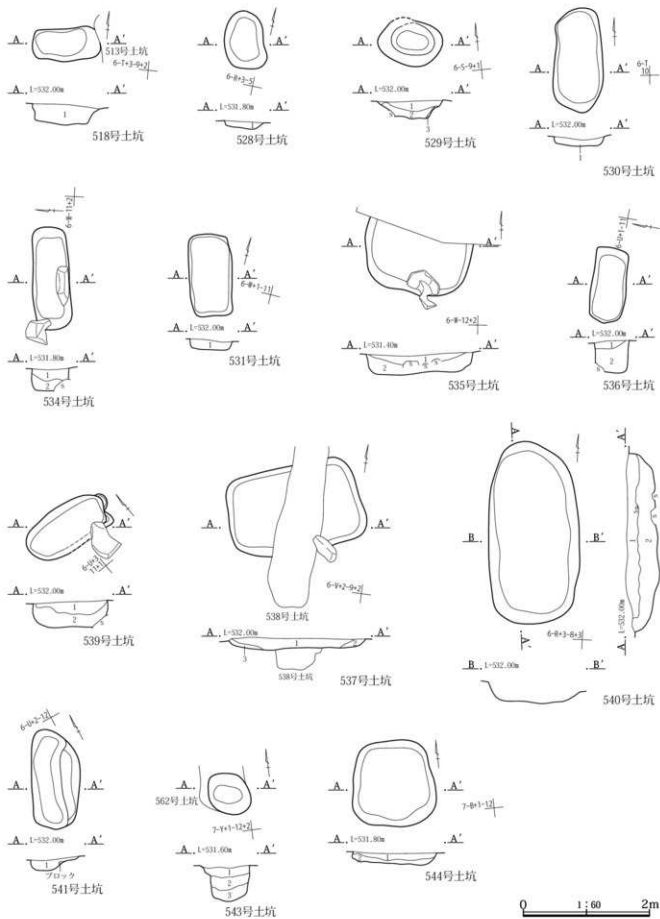
- 3 暗褐色土 7.5YR/3 黄褐色土粒を少量含む。

544号土坑

- 1 褐色土 7.5YR/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

- 2 暗褐色土 7.5YR/3 黄褐色土粒を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第417図 第4面土坑11 1/60

長98cm、深さ39cm、長軸方位N-79°-W。平面形は長円形ないし丸みを持った隅丸長方形、横断面は箱状ないしやや深い鍋状。覆土は中央に黒褐色土を挟んで、上下に暗褐色土がある。縄文時代前期末葉の土器片が出土している。

360号土坑 8-J-9・10グリッド 長軸長159cm、短軸長108cm、深さ35cm、長軸方位N-82°-W。平面形は長円形ないし隅丸長方形、横断面はやや深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。関山Ⅱ式の土器片が出土している。

361号土坑 8-I-5グリッド 長軸長130cm、短軸長66cm、深さ56cm、長軸方位N-14°-W。平面形は南北に長い長円形、横断面は深い箱状。覆土は下層が橙色土、上層は暗褐色土を主体とする。

362号土坑 98-J-21グリッド 長軸確認長109cm、短軸確認長62cm、深さ29cm、長軸方位N-70°-W。平面形は東西に長い扁楕円形、断面は碗状。覆土は下層が橙色土、上層は暗褐色土を主体とする。

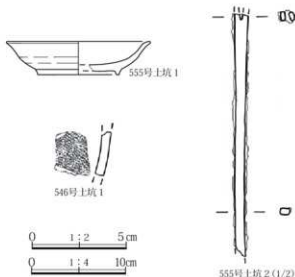
365号土坑 98-K-25グリッド 長軸長65cm、短軸長51cm、深さ17cm、長軸方位N-30°-E。平面形はやや長い扁円形、横断面は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

366号土坑 98-O-23グリッド 長軸長234cm、短軸長100cm、深さ31cm、長軸方位N-8°-W。平面形は長円形。横断面は深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。底面近くに円礫が多く入る。

367号土坑 8-H・I-1グリッド 長軸長188cm、短軸長86cm、深さ21cm、長軸方位N-53°-E。平面形は長円形。やや浅い鍋状の断面形。覆土は黒褐色土を主体とする。

368号土坑 8-G・H-1グリッド 長軸長110cm、短軸長97cm、深さ26cm、長軸方位N-65°-E。平面形は円形、横断面は皿状。覆土は黒褐色土を主体とする。

369号土坑 8-F-1グリッド 長軸長69cm、短軸長65cm、深さ24cm、長軸方位N-1°-W。平面形は円形、横断面は鍋状。覆土は上層が黒褐色土、下層が暗褐色土を主体とし、大小の礫を多く含む。370号土坑に切られる。



第41図 第4面土坑出土遺物9

545号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 淡黄色土 2.5YR7/8 褐色粒をわずかに含む。黒褐色土粒、黄褐色土粒を少量含む。
- 3 黄色土 2.5YR6/6 褐色粒をわずかに含む。黒褐色土粒を少量含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 4 黄色土 2.5YR6/8 褐色粒、黒褐色土粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 5 黄色土 2.5YR6/8 黄褐色土粒を多く含む。

546号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

549号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。褐色土を少量含む。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 焼土多く含む。炭化物多く含む。礫少量含む。
- 3 褐色土 7.5YR4/6 褐色土主体。

554号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒、黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

555号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。やや鉄分付着。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 4 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 5 暗褐色土 7.5YR4/6 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 6 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土粒主体。褐色粒、暗褐色土をわずかに含む。礫を含む。

に含む。礫を含む。

556号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。礫多く含む。

557号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。礫わずかに含む。鉄分付着。

558号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

559号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。

560号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロック多く含む。

564号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。鉄分やや付着。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 黄褐色土ブロック少量含む。褐色粒をわずかに含む。

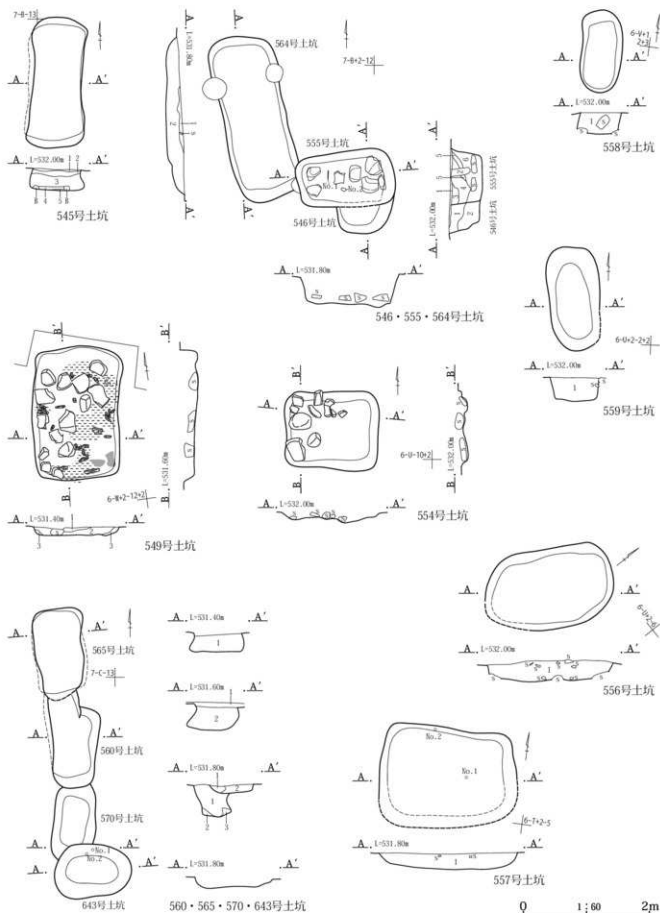
565号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックわずかに含む。

570号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。砂礫少量含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土をわずかに含む。土粒を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第419図 第4面土坑12 1/60

371号土坑 8-E・F-1グリッド 長軸長231cm、短軸長128cm、深さ23cm、長軸方位N-82°-W。平面形は長円形、浅く幅の広い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とし、大小の礫を多く含む。

372号土坑 8-G-25・1グリッド 長軸長207cm、短軸長124cm、深さ17cm、長軸方位N-85°-W。平面形は長円形、横断面は浅く幅の広い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とし、大小の礫を多く含む。

373号土坑 8-I-8・9グリッド 長軸確認長80cm、短軸長58cm、深さ14cm、長軸方位N-52°-E。平面形は円形、横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。344号土坑に切られる。

374号土坑 98-R-21グリッド 長軸長136cm、短軸長119cm、深さ43cm、長軸方位N-1°-E。平面形は扁円形、横断面は上部に開く皿状。覆土は上層が黒褐色土、下層が暗褐色土を主体とする。磨石が出土している。

375号土坑 98-S-20グリッド 長軸長110cm、短軸長99cm、深さ43cm、長軸方位N-66°-W。平面形は円形、横断面は深い箱形。覆土は最下層に黒色土があり、中位は暗褐色土、上位は橙色土ブロックを多く含む黒褐色土を主体とする。

378号土坑 98-N-20グリッド 長軸確認長68cm、短軸長65cm、深さ21cm、長軸方位N-62°-E。平面形は円形土坑が二つ連なったように見えるが、攪乱を受けている。横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。中央に深く入る黒褐色土と東壁部の黄褐色土は植物性の攪乱を思

わせる。

379号土坑 98-N・O-21グリッド 長軸長79cm、短軸長40cm、深さ24cm、長軸方位N-32°-E。平面形はゆがんだ長円形、横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

381号土坑 98-L-22グリッド 長軸長160cm、短軸長112cm、深さ22cm、長軸方位N-79°-W。平面形は長円形、横断面は皿状。覆土は暗褐色土を主体とし、礫を多く含む。勝坂1式の土器片が出土している。

382号土坑 98-M-22グリッド 長軸長66cm、短軸長62cm、深さ14cm、長軸方位N-54°-E。平面形はゆがんだ円形、横断面は皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

386号土坑 98-R-16グリッド 長軸長170cm、短軸長110cm、深さ18cm、長軸方位N-90°-W。平面形は長円形、横断面は浅い皿状。覆土は下層にぶい褐色土、上層は黒褐色土を主体とする。

404号土坑 97-E-19グリッド 長軸長97cm、短軸長47cm、深さ1cm、長軸方位N-5°-W。平面形は丸みを持った涙滴状。覆土は焼土を多く含む。

455号土坑 7-O-12グリッド 長軸長77cm、短軸長54cm、深さ19cm、長軸方位N-1°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は褐色土、灰白色土が主体。

457号土坑 7-O・P-13グリッド 長軸確認長86cm、短軸長84cm、深さ45cm、長軸方位N-1°-W。平面形は長円形と思われるが、北部が調査区外となって全形が把握できない。底部、壁面共に荒れているが、断面形は深

粒を少量含む。

574号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

575号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒を少量含む、褐色粒をわずかに含む。

576号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、黄褐色土ブロック少量含む。炭化物粒をわずかに含む。

578号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

581号土坑

1 褐色土 7.5YR4/1 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。やや還元気味。

582号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

583号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

3 褐色土 10YR4/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を多く含む。

561号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、黄褐色土粒を少量含む。褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

562号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、黄褐色土をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

3 浅黄褐色土 7.5YR8/6 黄褐色土ブロック多く含む。

566号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

567号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。やや鉄分付着。

568号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を少量含む。

2 褐色土 7.5YR4/6 褐色粒をわずかに含む、黄褐色土粒を多く含む。

3 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土粒主体、褐色粒、暗褐色土をわずかに含む。

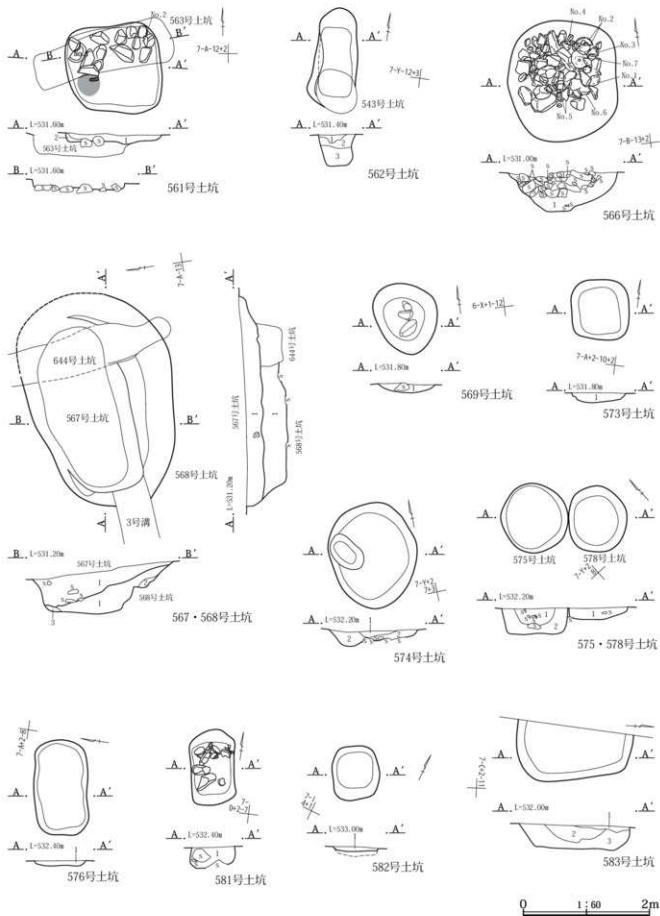
569号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒をわずかに含む。

573号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土

第2章 調査された遺構と遺物



第420図 第4面土坑13 1/60

い鍋状に近い。覆土は下位は暗褐色土、中位は褐色土を主体とし、上位にぶい褐色土が載る。

458号土坑 7-N-13、O-12・13グリッド 長軸長149cm、短軸長66cm、深さ16cm、長軸方位N-3°-E。平面形は幅の狭い長円形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土、暗褐色土を主体とする。

460号土坑 7-M・N-12グリッド 長軸長123cm、短軸長78cm、深さ22cm、長軸方位N-1°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

461a号土坑 7-M-13グリッド 長軸長104cm、短軸長58cm、深さ33cm、長軸方位N-13°-E。平面形は隅丸長方形、やや深い鍋状の断面形を示す。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。461b土坑を切る。

461b号土坑 7-M-13グリッド 長軸長97cm、短軸確認長78cm、深さ27cm、長軸方位N-2°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形。やや深い鍋状の断面形を示す。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。461a土坑に切られる。

462号土坑 7-L-12グリッド 長軸長91cm、短軸長51cm、深さ18cm、長軸方位N-86°-E。平面形は長円形、断面形は皿状。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

463号土坑 7-L-13グリッド 長軸長85cm、短軸長74cm、深さ19cm、長軸方位N-36°-E。平面形は胴張りのある隅丸方形、底面が荒れるが、碗状ないし鍋状の断面形。覆土は暗褐色土を主体とする。

464号土坑 7-L-12・13グリッド 長軸長122cm、短軸長49cm、深さ56cm、長軸方位N-2°-E。平面形は細長い隅丸長方形、断面形は深い箱形。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

467号土坑 7-J・K-13グリッド 長軸長130cm、短軸長97cm、深さ9cm、長軸方位N-36°-E。平面形は扁円形、断面形は浅い皿状。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

468号土坑 7-J・K-12・13グリッド 長軸長96cm、短軸長55cm、深さ26cm、長軸方位N-0°。平面形は隅丸長方形、断面形はやや深い鍋状。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

469号土坑 7-K-12・13グリッド 長軸長176cm、短軸長159cm、深さ48cm、長軸方位N-16°-E。平面形は胴張りのある隅丸方形、断面形はやや深い鍋状。覆土は下層は暗褐色土、上層は黒褐色土を主体とする。内耳銅片が2点出土している。

470号土坑 7-J-12グリッド 長軸長92cm、短軸長67cm、深さ65cm、長軸方位N-8°-E。平面形は楕円形、断面形はやや深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とし、大振りの円礫がある。石白が出土している。

471号土坑 7-J-13グリッド 長軸長211cm、短軸長101cm、深さ24cm、長軸方位N-1°-E。平面形は長方形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

472号土坑 7-J-13グリッド 長軸長232cm、短軸長128cm、深さ15cm、長軸方位N-3°-E。平面形はゆがんだ長方形、断面形は浅い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

473号土坑 7-K-12・13グリッド 長軸長126cm、短軸長77cm、深さ31cm、長軸方位N-84°-E。平面形はゆがんだ楕円形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。壺かと思われる陶器片が出土している。

474号土坑 7-Q-12・13グリッド 長軸長182cm、短軸長104cm、深さ36cm、長軸方位N-86°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は弱い逆台形。覆土は下層が黒色土、上層は黒褐色土を主体とする。

475号土坑 98-A-25グリッド 長軸長168cm、短軸長91cm、深さ11cm、長軸方位N-15°-W。平面形はゆがんだ長円形、断面形は浅い皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

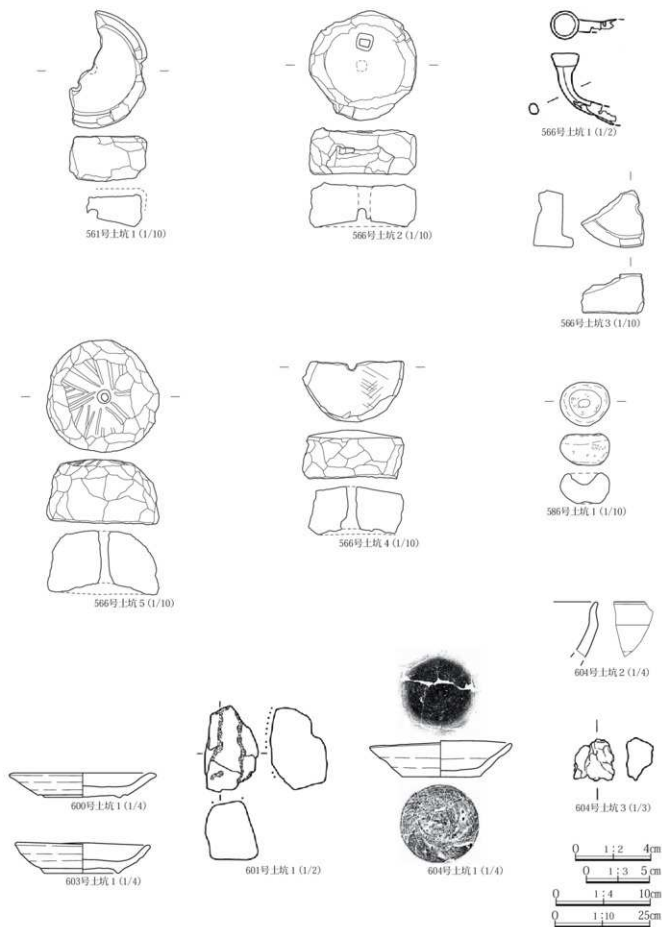
479号土坑 97-X-24・25グリッド 長軸長60cm、短軸長50cm、深さ6cm、長軸方位N-13°-E。平面形は円形、断面形はゆがんだ皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

506号土坑 97-G-24グリッド 長軸長104cm、短軸長49cm、深さ20cm、長軸方位N-12°-W。平面形は長円形、断面形は鍋状。覆土はにぶい褐色土を主体とし、炭化物粒をわずかに含む。

512号土坑 6-S-9グリッド 長軸長120cm、短軸長115cm、深さ19cm、長軸方位N-66°-E。平面形は円形、底部が礫にあたり、断面形はゆがんだ碗状を呈す。覆土は黒褐色土、暗褐色土を主体とする。炭化物粒を少量含む。

515号土坑 6-T・U-10グリッド 長軸長127cm、短軸長58cm、深さ21cm、長軸方位N-9°-W。平面形は隅丸長方形、断面形はコ字状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

516号土坑 6-S-8グリッド 長軸長143cm、短軸長127cm、深さ29cm、長軸方位N-70°-W。平面形はゆがんだ



第421図 第4面土坑出土遺物10

だ隅丸方形、断面形は鍋状。覆土はにぶい褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

518号土坑 6-T-U-9グリッド 長軸長109cm、短軸長51cm、深さ33cm、長軸方位N-85°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

519号土坑 6-T-9・10グリッド 長軸長317cm、短軸長149cm、深さ23cm、長軸方位N-1°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は幅の広い箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。520号土坑に切られる。

520号土坑 6-T-10グリッド 長軸長207cm、短軸長120cm、深さ64cm、長軸方位N-81°-E。平面形は隅丸長方形だが、東部が乱れる。断面形は深い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。519号土坑を切る。陶器の皿片が出土している。

528号土坑 6-R-5グリッド 長軸長95cm、短軸長62cm、深さ12cm、長軸方位N-28°-W。平面形はゆがんだ扁円形、断面形は浅い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

529号土坑 6-S-9グリッド 長軸長101cm、短軸長77cm、深さ24cm、長軸方位N-90°-W。平面形は楕円形、

584号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。やや鉄分付着。

585号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

586号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロック少量含む。

587号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒、炭化物わずかに含む。

588号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

589号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒、黄褐色土砂少量含む。

3 明黄褐色土 10YR7/6 黄褐色土砂多量含む。

590号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黒色ブロック、黄褐色土粒をわずかに含む。

591号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黒色土粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黒色土粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

592号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黒色土粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

断面形は上部が大きく開く鍋状。覆土は下位が暗褐色土、上位は褐色土を主体とする。

530号土坑 6-T-9・10グリッド 長軸長165cm、短軸長80cm、深さ19cm、長軸方位N-1°-W。平面形は丸みの強い隅丸長方形、断面形は浅い鍋状。覆土は褐色土を主体とする。

531号土坑 6-W-10・11グリッド 長軸長130cm、短軸長78cm、深さ17cm、長軸方位N-15°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。

534号土坑 6-W-11グリッド 長軸長163cm、短軸長58cm、深さ38cm、長軸方位N-85°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。

535号土坑 6-W-12グリッド 長軸長170cm、短軸確認長101cm、深さ36cm、長軸方位N-89°-E。平面形は北部が調査区外のため全形が把握できないが、隅丸長方形と推定される。断面形は鍋状。覆土は上層が暗褐色土、上層が黒褐色土を主体とし、中に礫を含む。

536号土坑 6-U-10・11グリッド 長軸長120cm、短軸長55cm、深さ50cm、長軸方位N-89°-E。平面形は幅の

593号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 黒色土粒、黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。

594号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

3 黄褐色土ブロック

4 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

5 明褐色土 7.5YR5/6 褐色粒をわずかに含む。暗褐色土粒を少量含む。黄褐色土粒を多く含む。

6 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

7 黄褐色土ブロック

8 褐色土 7.5YR4/6 黄褐色土粒主体。

9 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

10 黄褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土粒主体。粘性強い。

595号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

596号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

597号土坑

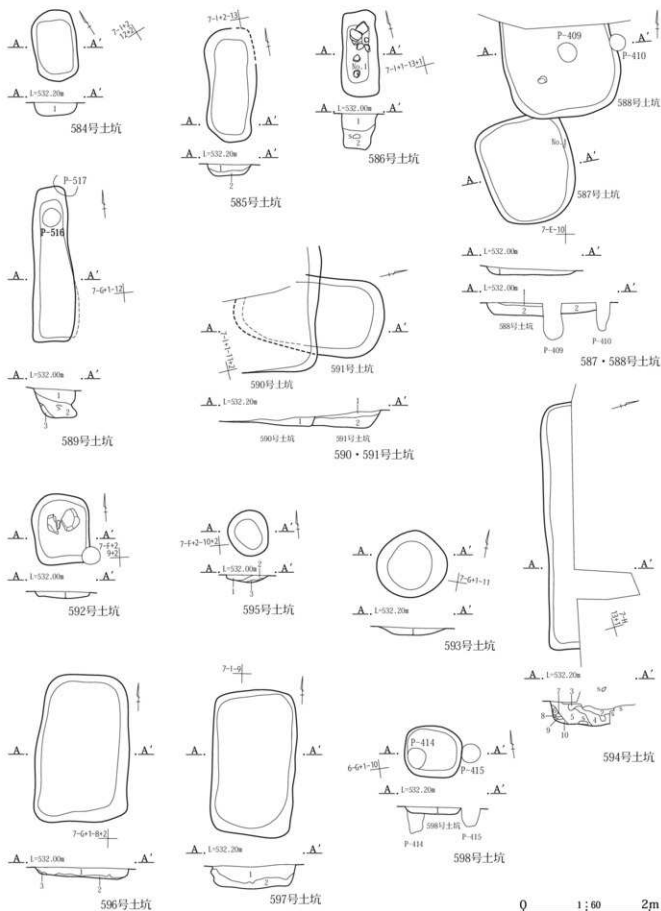
1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

598号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



0 1:60 2m

第422図 第4面土坑14 1/60

狭い隅丸長方形、断面形は深い鋼状。覆土は下層が暗褐色土、上層が黒褐色土を主体とする。

537号土坑 6-V-9・10、W-9グリッド 長軸長214cm、短軸長71cm、深さ17cm、長軸方位N-71°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は鋼状。覆土は褐色土を主体とする。538号土坑に切られる。

539号土坑 6-U-11グリッド 長軸長142cm、短軸長66cm、深さ37cm、長軸方位N-81°-W。平面形は楕円形、断面形は深い鋼状。覆土は暗褐色土を主体とする。

540号土坑 6-R・S-8・9グリッド 長軸長289cm、短軸長142cm、深さ47cm、長軸方位N-3°-W。平面形は長円形、断面形は深い鋼状。覆土は下層が暗褐色土、上層が褐色土を主体とする。

541号土坑 6-U-11グリッド 長軸長159cm、短軸長78cm、深さ23cm、長軸方位N-20°-E。平面形は長円形だが東壁が崩れる。断面形は鋼状。覆土は暗褐色土を主体とする。

543号土坑 6-Y-12グリッド 長軸長76cm、短軸長63cm、深さ58cm、長軸方位N-41°-W。平面形は幅の狭い、ゆがんだ長円形。断面形は深い鋼状で上位が開く。覆土は下層が暗褐色土、中位が褐色土、上位は明褐色土を主体とする。

599号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

600号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに、黄褐色土粒を多く含む。

601号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに、黄褐色土粒を多く含む。

602号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

603号・611号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR2/1 白色粒、褐色粒をわずかに含む。

4 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

5 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土主体。褐色土粒をわずかに含む。やや粘性強い。

6 褐色土 7.5YR4/6 褐色粒をわずかに、黄褐色土粒を多く含む。

7 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

8 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土主体。暗褐色土粒をわずかに含む。

9 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

10 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

11 褐色土 7.5YR4/6 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

12 暗褐色土 7.5YR7/8 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。粘性強い。

13 明褐色土 7.5YR5/8 黄褐色土主体。暗褐色土粒をわずかに含む。8層に類似。

544号土坑 7-B-11・12グリッド 長軸長138cm、短軸長133cm、深さ19cm、長軸方位N-0°。平面形は扇張りのある隅丸方形、断面形は鋼状。覆土は下層が暗褐色土、上位が褐色土を主体とする。

545号土坑 7-A-12・13、B-12グリッド 長軸長206cm、短軸長90cm、深さ47cm、長軸方位N-4°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は底部近くが膨らむ弱い袋状。覆土は黄色土、黄褐色土を主体とする。

546号土坑 7-B-1グリッド 長軸長87cm、短軸確認長43cm、深さ55cm、長軸方位N-89°-E。平面形は555号土坑に切られて全形が把握できないが、円形ないし長円形と思われる。断面形は深い鋼形ないし逆台形。覆土は暗褐色土を主体とする。陶器の皿、縄文土器片が出している。

549号土坑 6-W-12・13グリッド 長軸長212cm、短軸長138cm、深さ14cm、長軸方位N-10°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い鋼形。覆土は褐色土を主体とする。炭化材、焼土、礫を多く含む。

554号土坑 6-U-10グリッド 長軸長150cm、短軸長126cm、深さ7cm、長軸方位N-89°-E。平面形は隅丸方形。南壁部に大きな礫がある。断面形は浅く、底面に凹

604号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。黄褐色土を少量含む。

3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに、黄褐色土を少量含む。

605号土坑

1 黒褐色土 7.5YR 褐色粒を、黒色土粒をわずかに含む。

606号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 黄褐色土ブロック、褐色粒を少量含む。炭化物粒をわずかに含む。還元状態。

2 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。鉄分付着。

3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

607号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックを少量含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/ 白色粒、黄褐色土粒を少量含む。

608号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。

2 鉄分付着層。

3 黒褐色土 白色粒を少量含む。褐色粒、黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

609号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

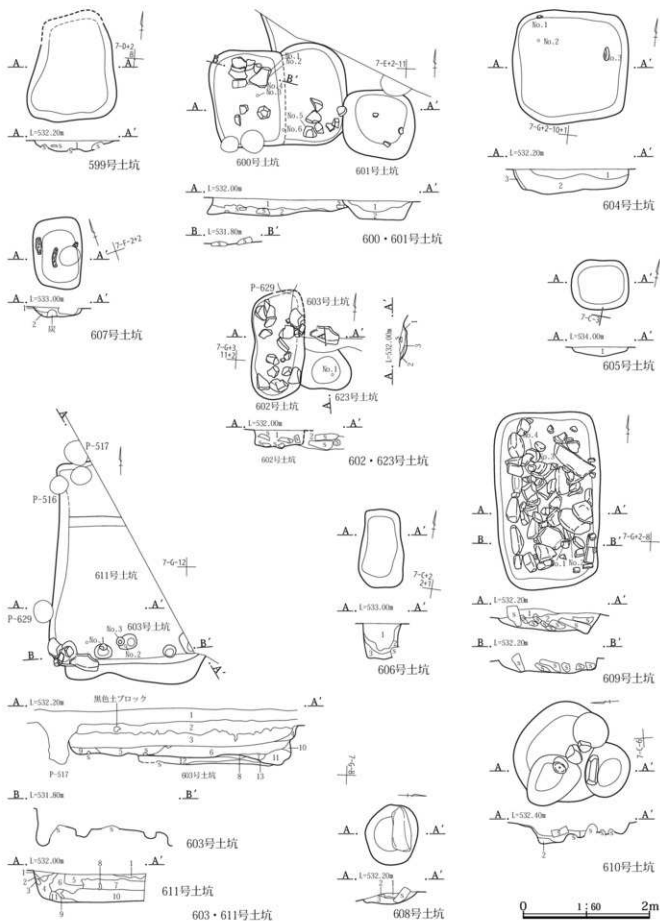
2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。黄褐色土を少量含む。

610号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。軟質。

2 黄褐色土粒を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第423図 第4面土坑15 1/60

凸が多い。覆土は暗褐色土を主体とする。

555号土坑 7-B-11グリッド 長軸長156cm、短軸長87cm、深さ48cm、長軸方位N-87°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は深い鍋状。覆土下位は明褐色土を主体とし、礫を含む。中位は褐色土、上位は暗褐色土を主体とする。棒状の鉄製品が出土している。

556号土坑 6-U-5・6、V-5グリッド 長軸長202cm、短軸長128cm、深さ28cm、長軸方位N-31°-E。平面形はゆがんだ長円形、断面形は鍋状。覆土は礫を多く含む暗褐色土を主体とする。

557号土坑 6-T・U-4・5グリッド 長軸長218cm、短軸確認長161cm、深さ26cm、長軸方位N-86°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

558号土坑 6-V-2グリッド 長軸長132cm、短軸長60cm、深さ34cm、長軸方位N-4°-W。平面形は長円形、断面形は箱形。覆土は褐色土を主体とする。礫を含む。

559号土坑 6-U-2グリッド 長軸長166cm、短軸長79

cm、深さ38cm、長軸方位N-9°-W。平面形は長円形、断面形は箱形。覆土は褐色土を主体とする。

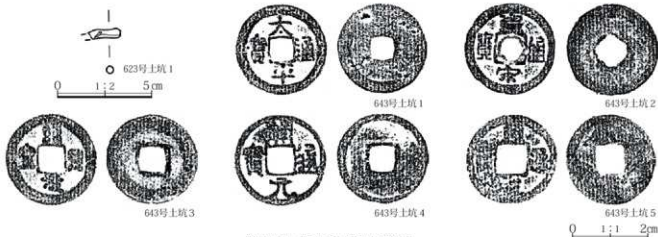
560号土坑 7-C-12グリッド 長軸長130cm、短軸長76cm、深さ43cm、長軸方位N-12°-E。平面形は隅丸長方形、断面形はゆがんだ鍋状で底部がやや広がる。覆土は黄褐色土ブロックを多く含む黒褐色土を主体とする。

561号土坑 7-A-12グリッド 長軸長152cm、短軸長142cm、深さ19cm、長軸方位N-68°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。礫を多く含む。563号土坑を切る。石白が出土している。

562号土坑 6-Y-12グリッド 長軸長158cm、短軸確認長76cm、深さ50cm、長軸方位N-2°-E。平面形は長円形、断面形は深い鍋状。覆土は下位が黄褐色土ブロックを多く含む浅黄褐色土、中位以上は暗褐色土、褐色土を主体とする。

564号土坑 7-B・C-11・12グリッド 長軸長266cm、短軸長106cm、深さ28cm、長軸方位N-90°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は褐色土を主体とする。

565号土坑 7-C-12・13グリッド 長軸確認長146cm、



第424図 第4面土坑出土遺物11

612号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色粒、黄褐色土粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

613号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 白色粒、褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土粒少量含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

617号土坑

- 1 灰褐色砂 7.5YR5/2 やや鉄分付着。
- 2 灰褐色土 7.5YR4/2 褐色粒をわずかに含む。やや砂質。やや鉄分付着。
- 3 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒、褐色粒をわずかに含む。やや粘質。やや鉄分付着。

618号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

619号土坑

- 1 にぶい褐色土 7.5YR5/4 やや鉄分付着。
- 2 褐色土 7.5YR6/6 黄褐色砂多く含む。
- 3 にぶい赤褐色土 5YR5/4 黄褐色砂わずかに含む。やや鉄分付着。

623号土坑

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや硬く締まっている。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

624号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。礫わずかに含む。

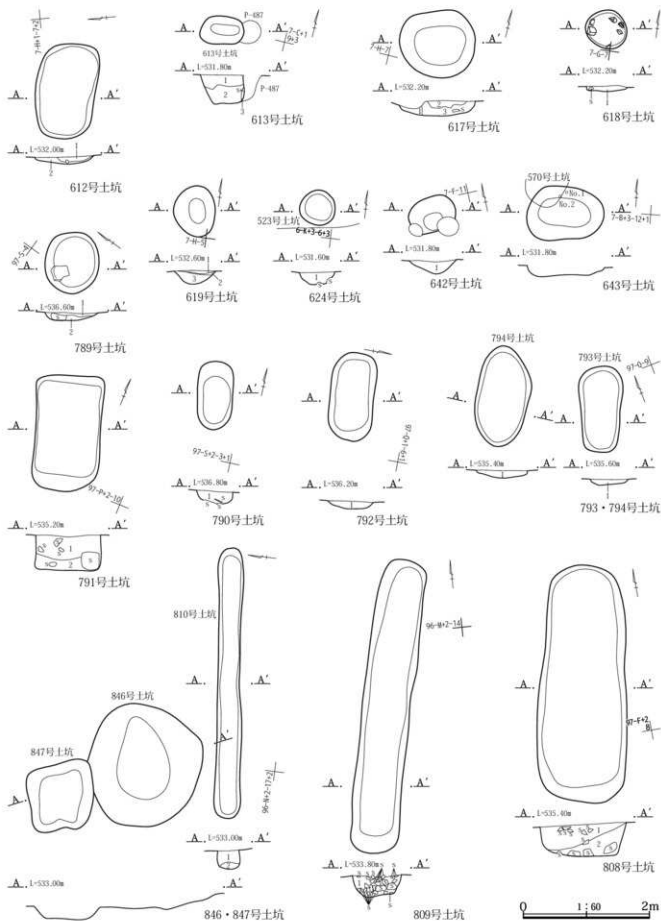
642号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

643号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土を少量含む。
- 3 浅黄褐色土 7.5YR8/6 黄褐色土主体。

第2章 調査された遺構と遺物



第425図 第4面土坑16 1/60

短軸長78cm、深さ30cm、長軸方位N-3°E。平面形はゆがんだ隅丸長方形、断面形は底部がやや広がる弱い袋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

566号土坑 7-B-13グリッド 長軸長191cm、短軸長176cm、深さ61cm、長軸方位N-15°E。平面形はゆがんだ円形、断面形は深い碗状。覆土は暗褐色土を主体とする。石臼5点(上2点、下3点)とキセル雁首が出土している。

567号土坑 7-A-13グリッド 長軸長336cm、短軸長223cm、深さ78cm、長軸方位N-87°E。平面形は長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。下に礫を含む。568号、644号土坑を切る。

568号土坑 7-A-13グリッド 長軸確認長340cm、短軸長236cm、深さ68cm、長軸方位N-75°E。平面形は幅の広い長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

569号土坑 6-X-11・12グリッド 長軸長116cm、短軸長98cm、深さ13cm、長軸方位N-15°W。平面形はゆがんだ円形、断面形は碗状。覆土は暗褐色土を主体とする。

570号土坑 7-C-12グリッド 長軸確認長135cm、短軸長68cm、深さ52cm、長軸方位N-5°E。平面形は長円形、断面形は浅い鍋状。覆土は褐色土、暗褐色土を主体とする。643号土坑を切る。

573号土坑 7-A-10グリッド 長軸長91cm、短軸長90cm、深さ29cm、長軸方位N-82°E。平面形は隅丸方形、断面形は皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

574号土坑 6-Y-7・8グリッド 長軸長168cm、短軸長140cm、深さ20cm、長軸方位N-14°E。平面形はゆがんだ円形、底部が礫層にあたり、一部がピット状に深く掘られる。覆土は暗褐色土、黒褐色土を主体とする。

575号土坑 6-Y-8グリッド 長軸長109cm、短軸長103cm、深さ40cm、長軸方位N-0°。平面形は円形、断面形はやや深い鍋状。覆土は黒褐色土、暗褐色土を主体とする。578号土坑と接する。

576号土坑 7-A-7グリッド 長軸長150cm、短軸長86cm、深さ8cm、長軸方位N-81°E。平面形は隅丸長方形。断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

578号土坑 6-Y-8グリッド 長軸長104cm、短軸長92cm、深さ17cm、長軸方位N-45°E。平面形は円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

581号土坑 7-D-7グリッド 長軸長120cm、短軸長70cm、深さ31cm、長軸方位N-5°W。平面形は長方形、

断面形は鍋状。底部が礫に当たる。覆土は褐灰色土を主体とする。礫を多く含む。

582号土坑 7-H・I-4グリッド 長軸長83cm、短軸長74cm、深さ8cm、長軸方位N-27°W。平面形はやや脚張りのある方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

583号土坑 7-C-11グリッド 長軸長185cm、短軸長93cm、深さ39cm、長軸方位N-5°W。平面形はやや脚張りのある方形と思われる。断面形はやや深い鍋状。覆土は褐色土、暗褐色土を主体とする。

584号土坑 7-I-12グリッド 長軸長114cm、短軸長68cm、深さ21cm、長軸方位N-25°E。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

585号土坑 7-I-12グリッド 長軸長178cm、短軸確認長79cm、深さ19cm、長軸方位N-4°E。平面形はやや長い隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は下位が暗褐色土、上位が黒褐色土を主体とする。

586号土坑 7-I-13グリッド 長軸長135cm、短軸長58cm、深さ56cm、長軸方位N-11°E。平面形は長方形、断面形は深いコ字状。覆土下位は暗褐色土を主体として礫を含む。上位は黒褐色土を主体とする。石製の鍋蓋白が出土している。

587号土坑 7-D・E-10グリッド 長軸長170cm、短軸長145cm、深さ14cm、長軸方位N-17°W。平面形はゆがんだ隅丸方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。内耳鍋の破片が出土している。

588号土坑 7-D・E-10グリッド 長軸長188cm、短軸確認長144cm、深さ21cm、長軸方位N-89°W。平面形は幅の広い隅丸長方形と思われる。断面形は鍋状。覆土下位は暗褐色土を主体として礫を含む。上位は黒褐色土を主体とする。409号・410号ピットに切られる。

589号土坑 7-G-11・12グリッド 長軸長245cm、短軸長67cm、深さ51cm、長軸方位N-6°E。平面形は幅の

827号土坑

- 1 淡灰褐色土。天明記遺下郷の順土。
- 2 黄色砂礫層。地山土のブロックを含む。
- 3 暗黒褐色土。しまりあり。軽石粒を少量含む。

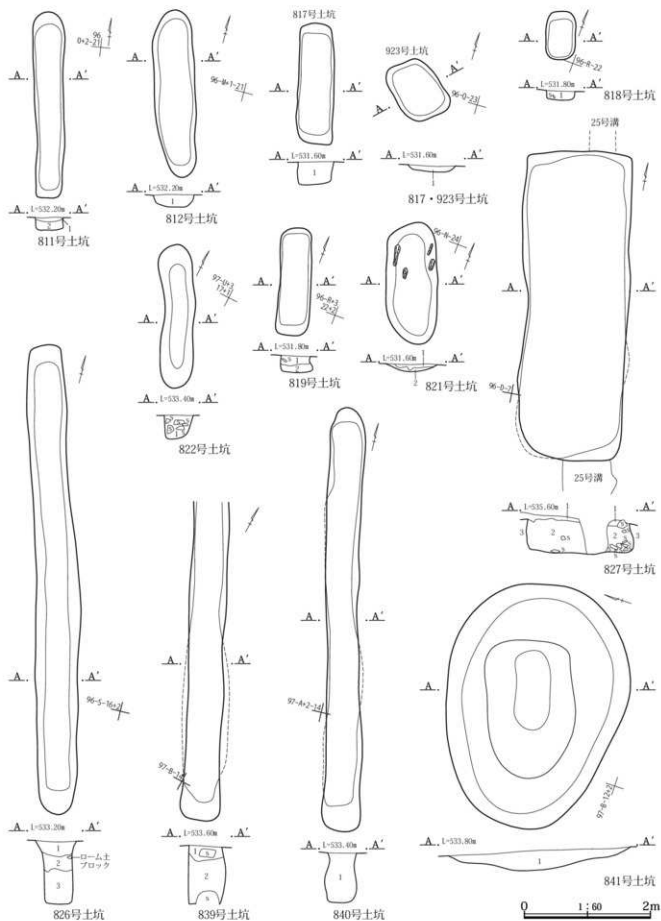
830号土坑

- 1 黒褐色土 7.5R3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着多量。炭化粒をわずかに含む。

840号土坑

- 1 黒褐色土 7.5R3/4 白色粒・褐色粒やや多く含む。鉄分付着多量。炭化粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第426図 第4面土坑17 1/60

狭い隅丸長方形、断面形は深い鍋状で、底面が一部張り出す。覆土は下位は暗褐色土を主体として礫を含む。上位は黒褐色土を主体とする。

590号土坑 7-1-11グリッド 長軸確認長159cm、短軸確認長135cm、深さ12cm、長軸方位N-5°-E。平面形は隅丸方形と思われる。断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。591号土坑を切る。

591号土坑 7-1-11・12グリッド 長軸確認長238cm、短軸長122cm、深さ28cm、長軸方位N-18°-E。平面形はやや幅広い隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。590号土坑に切られる。

592号土坑 7-F-9グリッド 長軸長112cm、短軸長88cm、深さ14cm、長軸方位N-0°。平面形はゆがんだ隅丸方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。角礫を含む。

593号土坑 7-G-10・11グリッド 長軸長113cm、短軸長106cm、深さ16cm、長軸方位N-83°-E。平面形は円形、断面形は浅い皿状。覆土は黒褐色土を主体とする。

594号土坑 7-G・H-12・13グリッド 長軸長390cm、短軸確認長49cm、深さ41cm、長軸方位N-76°-W。平面形は長い隅丸長方形、断面形はやや深い鍋状。覆土は明黄褐色土が南側から流入し、上位に暗褐色土が載る。

843号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒多め含む。鉄分付着少量。炭化粒やや多め含む。焼土粒をわずかに含む。

844号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着多量。炭化粒をわずかに含む。

845号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒多量に含む。

846号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着少量。焼土粒・炭化粒をわずかに含む。

847号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒含む。褐色粒多量に含む。炭化粒大きめ含む。

848号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒多め含む。鉄分付着少量。炭化粒やや多め含む。焼土粒をわずかに含む。

849号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着少量。焼土粒・炭化粒をわずかに含む。

850号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒やや径大きい。褐色粒含む。鉄分付着少量。焼土粒・炭化粒をわずかに含む。

851号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒やや多く、褐色粒を少量含む。鉄分付着少量。

852号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量、褐色粒をやや多く含む。炭化

595号土坑 7-F-10グリッド 長軸長72cm、短軸長64cm、深さ11cm、長軸方位N-19°-W。平面形は扁円形、断面形は皿状。覆土は黒褐色土、暗褐色土を主体とする。

596号土坑 7-G-8・9グリッド 長軸長232cm、短軸長148cm、深さ32cm、長軸方位N-1°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

597号土坑 7-H・I-8グリッド 長軸長234cm、短軸長130cm、深さ64cm、長軸方位N-0°。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土下位は暗褐色土を主体とし、上位は黒褐色土を主体とする。

598号土坑 7-F・G-9・10グリッド 長軸長90cm、短軸長81cm、深さ11cm、長軸方位N-75°-W。平面形は胴張りのある隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。414号ピットを切る。415号ピットと接する。

599号土坑 7-D-7・8グリッド 長軸長179cm、短軸長140cm、深さ15cm、長軸方位N-9°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形。断面形は浅い碗状を呈するが、底面が礫層に当たって乱れる。覆土は黒褐色土を主体とする。

600号土坑 7-E・F-10・11グリッド 長軸長214cm、短軸長148cm、深さ24cm、長軸方位N-86°-E。隅丸長方形土坑が二基並列したかに見える。西壁は底面が膨らむ。覆土は下層が褐色土、上層が暗褐色土を主体とする。上

粒をわずかに含む。

- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒とも1層より少なく、やや暗い。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒、褐色粒ブロックを含む。一抱えほどの礫を含む。

853号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒わずかに含む。

854号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒やや多く、褐色粒、炭化粒をわずかに含む。

867号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着。白色粒やや多くやや灰色。

888号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着。白色粒やや多くやや灰色。

869号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。炭化粒をわずかに含む。鉄分付着少量。

870号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒・褐色粒含む。鉄分付着少量。炭化粒をわずかに含む。

875号土坑

1 黒灰色粘質土。地上土ブロックを多く含む。

887号土坑

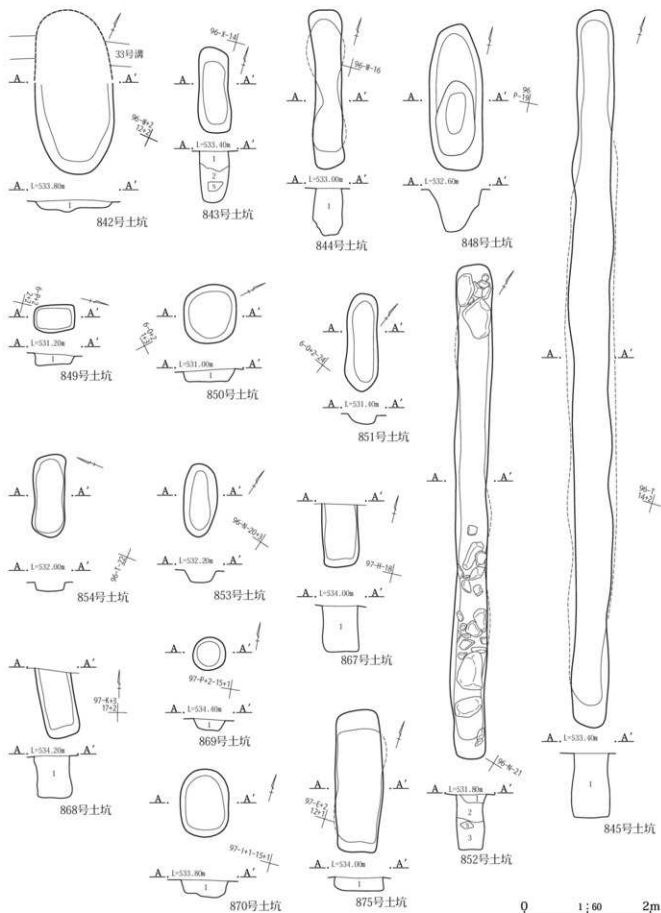
1 黒灰色粘質土。地上土ブロックを多く含む。

889号土坑

1 淡褐色粘質土。炭化物を多く含む。

890号土坑

2 1層と地山の混土。



第427図 第4面土坑18 1/60

層に炭化物が含まれる。601号土坑に切られる。陶器の皿片が出土している。

601号土坑 7-E-10グリッド 長軸長113cm、短軸長101cm、深さ31cm、長軸方位N-89°-E。平面形は胴張りのある隅丸方形、断面形は鍋状。覆土下層は褐色土、上層は暗褐色土を主体とする。600号土坑を切る。燧石が出土している。

602号土坑 7-G-11グリッド 長軸確認長176cm、短軸長81cm、深さ18cm、長軸方位N-11°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は褐色土を中心とし、角礫を多く含む。603号土坑を切る。

603号土坑 7-F-11、G-11・12グリッド 長軸確認長240cm、短軸確認長230cm、深さ34cm、長軸方位N-88°-E。平面形は幅広い隅丸長方形と思われる。断面形は浅い鍋状。壁際にはビット状に深い掘り込みが見られるが、この土坑に伴うものかは不明。覆土は土層断面図下位の12層・14層がこの土坑の覆土かと思われる。および明褐色土で、12層の横褐色土は地山ロームと同質。14層は地山ロームと暗褐色土の混土で、土坑隅のビット状落ち込みに続く。599号、602号土坑に切られる。611号土坑の下にあるものと判断されているが、動物性の糞粒を含む土層の混認かとも思われる。陶器皿が出土している。

604号土坑 7-G-10グリッド 長軸長185cm、短軸長181cm、深さ31cm、長軸方位N-86°-E。平面形は隅丸方形、断面形はゆがんだ鍋状。覆土は褐色土、暗褐色土を主体とする。鉄滓、天目碗の破片が出土している。

605号土坑 7-B・C-3グリッド 長軸長91cm、短軸長78cm、深さ16cm、長軸方位N-82°-E。平面形は隅丸方形、断面形は浅い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

606号土坑 7-C-2グリッド 長軸長124cm、短軸長70cm、深さ56cm、長軸方位N-8°-W。平面形はやや長いゆがんだ隅丸長方形断面形は深いコ字状。覆土は底部近くが暗褐色土、中に褐色土があり、上位は黒褐色土を主体とする。

607号土坑 7-F-2グリッド 長軸長113cm、短軸長74cm、深さ19cm、長軸方位N-15°-E。平面形は隅丸長方形。断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とし、炭化材を含む。

608号土坑 7-F-8グリッド 長軸長95cm、短軸長82cm、深さ19cm、長軸方位N-80°-W。平面形はゆがんだ楕円形、断面形は浅い鍋状ないし皿状。覆土は黒褐色土

を主体とし、大ぶりの亜角礫が1個入る。骨片が出土しているが、残りが悪く人骨か獣骨かの判別もできない。他の遺物もない。

609号土坑 7-G・H-7・8グリッド 長軸長282cm、短軸長167cm、深さ25cm、長軸方位N-2°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は褐色土主体で、礫を多く含む。

610号土坑 7-B・C-6グリッド 長軸長160cm、短軸確認長150cm、深さ14cm、長軸方位N-81°-E。平面形は複数の円形掘り込みが重なる。底面が地山の礫層に当たる。壁はやや上方に開く。覆土は黒褐色土を主体とする。やや大ぶりの礫とともに石白が出土している。

611号土坑 7-G-11・12グリッド 長軸長397cm、短軸確認長230cm、深さ32cm、長軸方位N-1°-W。平面形は幅広い隅丸長方形と思われる。断面形は鍋状。覆土は下位にロームブロックを多く含む暗褐色土があり、この上層は平坦に切れる。中位以上が黒褐色土、暗褐色土を主体としており、掘り直しがあったものかと思われる。599号、602号土坑、517号ビットに切られる。603号と重複する。

612号土坑 7-H-7グリッド 長軸長152cm、短軸長95cm、深さ15cm、長軸方位N-80°-W。平面形はゆがんだ隅丸長方形、断面形は浅い鍋状ないし皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

613号土坑 7-C-9グリッド 長軸長70cm、短軸長43cm、深さ46cm、長軸方位N-74°-E。平面形は長円形、断面形は深い鍋状。覆土は下層が暗褐色土、上層が褐色土を主体とする。487号ビットを切る。

617号土坑 7-G-6・7グリッド 長軸長120cm、短軸長105cm、深さ22cm、長軸方位N-73°-E。平面形はゆがんだ円形、断面形は鍋状を呈する。覆土は下位にふい褐色土、上位に灰褐色土があり、東部には灰褐色の砂が入る。

618号土坑 7-F・G-7グリッド 長軸長66cm、短軸長60cm、深さ8cm、長軸方位N-55°-W。平面形は円形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

619号土坑 7-G・H-5グリッド 長軸長81cm、短軸長66cm、深さ19cm、長軸方位N-9°-W。平面形はゆがんだ円形、断面形は碗状。覆土はふい赤褐色土を主体とする。

623号土坑 7-G-11グリッド 長軸確認長82cm、短軸確認長80cm、深さ11cm、長軸方位N-48°-W。平面形は

ゆがんだ円形、断面形は浅い鍋状。覆土は褐色土、暗褐色土を主体とし、上位の褐色土中に礫を含む。キセルの吸い口が出土している。

624号土坑 6-R-6グリッド 長軸長56cm、短軸長55cm、深さ21cm、長軸方位N-80°-E。平面形は円形、断面形は碗状。覆土は黒褐色土を主体とする。523号土坑を切る。

642号土坑 7-F-10・11グリッド 長軸長75cm、短軸長52cm、深さ22cm、長軸方位N-83°-E。平面形は長方形、断面形は碗状。覆土は暗褐色土を主体とし、切り石を含む比較的大きな礫が入る。

643号土坑 7-B・C-12グリッド 長軸長123cm、短軸長83cm、深さ17cm、長軸方位N-80°-E。平面形は長方形、断面形は鍋状。土層観察所見を欠く。大平通寶、皇太通寶、紹聖元寶、開元通寶など銭5枚が出土している。

789号土坑 97-R・S-3グリッド 長軸長95cm、短軸長84cm、深さ13cm、長軸方位N-40°-W。平面形は楕円形、断面形は皿状。土層観察所見を欠く。

790号土坑 97-S-3グリッド 長軸長108cm、短軸長57cm、深さ70cm、長軸方位N-9°-W。平面形は長円形、断面形は鍋状。土層観察所見を欠く。底面にやや大ぶりの角礫が入る。

791号土坑 97-P-9・10グリッド 長軸長184cm、短軸長108cm、深さ61cm、長軸方位N-23°-W。平面形は長方形、断面形はやや深い箱形。覆土は底面に大ぶりの垂角礫があり、覆土中位にも礫を含む。

792号土坑 97-Q-5・6グリッド 長軸長140cm、短軸長71cm、深さ15cm、長軸方位N-85°-E。平面形は長円形、断面形は浅い皿状。土層観察所見を欠く。

793号土坑 97-Q-8・9グリッド 長軸長136cm、短軸長70cm、深さ10cm、長軸方位N-20°-E。平面形は丸みの強い隅丸長方形、断面形は皿状。土層観察所見を欠く。

794号土坑 97-Q-8・9グリッド 長軸長157cm、短軸長84cm、深さ19cm、長軸方位N-32°-E。平面形はゆがんだ長円形、断面形は皿状。土層観察所見を欠く。

808号土坑 97-F-7・8グリッド 長軸長373cm、短軸長143cm、深さ61cm、長軸方位N-13°-E。平面形は丸みの強い隅丸長方形、断面形はやや深い鍋状。覆土は下位は暗褐色土、上位は褐色土が主体で、底部近くにやや大ぶりの角礫、覆土中・上位に小ぶりの角礫が入る。

809号土坑 96-M・N-13・14グリッド 長軸長467cm、短軸長79cm、深さ45cm、長軸方位N-13°-E。平面形は幅の

狭い溝状、断面形は鍋状。覆土は角礫、垂角礫が多量に入る。

810号土坑 96-M・N-17グリッド 長軸長430cm、短軸長42cm、深さ33cm、長軸方位N-84°-E。平面形は幅の狭い溝状、断面形はU字状。覆土は中位以上にロームブロックが含まれるが、礫はほとんど入らない。

811号土坑 96-O-20・21グリッド 長軸長294cm、短軸長51cm、深さ37cm、長軸方位N-7°-W。平面形は幅の狭い溝状、断面形は箱形。覆土はローム小ブロックを含むが、礫はほとんど入らない。

812号土坑 96-M-20・21グリッド 長軸長266cm、短軸長65cm、深さ25cm、長軸方位N-17°-W。平面形はやや幅広の乱れた溝状、断面形は碗状。土層観察所見を欠く。

817号土坑 96-Q-22・23グリッド 長軸長192cm、短軸長58cm、深さ41cm、長軸方位N-16°-W。平面形は長い隅丸長方形、断面形は箱形。土層観察所見を欠く。地山ローム由来の円形斑を含む。

818号土坑 96-R-22グリッド 長軸長76cm、短軸長47cm、深さ16cm、長軸方位N-19°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い箱形。土層観察所見を欠く。地山ローム由来の円形斑を含む。

819号土坑 96-R・S-22グリッド 長軸長170cm、短軸長52cm、深さ35cm、長軸方位N-16°-W。平面形はやや長い隅丸長方形、断面形は箱形。土層観察所見を欠く。

821号土坑 96-M・N-23・24グリッド 長軸長192cm、短軸長83cm、深さ20cm、長軸方位N-22°-W。平面形はゆがんだ長方形、断面形は皿状。覆土は土層観察所見を欠くが、炭化物片が多く含まれる。

822号土坑 96-U・V-16・17グリッド 長軸長226cm、短軸長52cm、深さ40cm、長軸方位N-27°-W。平面形は狭い長円形、断面形は狭い鍋状。被熱したように赤化したものを含む角礫を詰めた上を、黄褐色ロームで覆覆する。

826号土坑 96-S-16・17グリッド 長軸長746cm、短軸長72cm、深さ122cm、長軸方位N-16°-W。平面形は狭長な溝状、深いU字状で上端が開く。覆土は中位にロームブロックを含むが、礫等は見られない。

827号土坑 97-C・D-6~8グリッド 長軸長492cm、短軸長174cm、深さ77cm、長軸方位N-8°-W。平面形は長方形、断面形は箱形を基本とするが、底部がやや膨らみ気味となる。覆土は黄色砂礫層を主体とし、東壁寄りに礫を多く含む。復旧溝的な機能が想定される。

839号土坑 97-A・B-13～15グリッド 長軸確認長500cm、短軸長64cm、深さ90cm、長軸方位N-27°-W。平面形は狭長な溝状、断面形は箱形。覆土は暗褐色土を主体とする。

840号土坑 97-A-13～15グリッド 長軸長672cm、短軸長62cm、深さ112cm、長軸方位N-13°-W。平面形は狭長な溝状、断面形は深く狭い箱状を基本とするが、壁の中位がややえぐれる。覆土は暗褐色土を主体とする。

841号土坑 97-A・B-12・13グリッド 長軸長388cm、短軸長290cm、深さ37cm、長軸方位N-80°-E。平面形は扁円形、断面形は皿状。土層観察所見を欠く。植物性の土壌攪乱と思われる。

842号土坑 96-W・X-12グリッド 長軸確認長260cm、短軸長124cm、深さ18cm、長軸方位N-29°-W。平面形は長円形と思われる。断面形は底面が乱れた皿状。土層観察所見を欠く。写真記録は未完掘状態で撮影されたものと思われ、平断面ともに形状が把握できない。還元的な土壌環境を思わせる色調で、人工物か否かの判断もできない。

843号土坑 96-W・X-13グリッド 長軸長136cm、短軸長52cm、深さ80cm、長軸方位N-16°-W。平面形は長円形ないし隅丸長方形、断面形は深いU字状。覆土は暗褐色土を主体とする。下にやや大型の角礫が入る。

844号土坑 96-V・W-15・16グリッド 長軸長252cm、短軸長52cm、深さ90cm、長軸方位N-17°-W。平面形は狭い隅丸長方形、断面形は深いU字状を基本とするが部分的に壁が崩れる。覆土は暗褐色土を主体とする。

845号土坑 96-S・T-13～16グリッド 長軸長1138cm、短軸長66cm、深さ141cm、長軸方位N-16°-W。平面形は狭長な溝状、深い箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。

846号土坑 96-N-17・18グリッド 長軸長190cm、短軸長170cm、深さ27cm、長軸方位N-63°-W。平面形はゆがんだ円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

847号土坑 96-N-18グリッド 長軸長108cm、短軸長106cm、深さ20cm、長軸方位N-73°-E。平面形は長円形土坑が2基並列したように見える。断面形は箱形。覆土は暗褐色土を主体とする。中位以上に白色の軽石粒を含む。

848号土坑 96-P-18・19グリッド 長軸長232cm、短軸長74cm、深さ75cm、長軸方位N-13°-W。平面形は幅の狭い長円形で、上端が北に広がる。断面形は上位が開いたゆるいV字状。覆土は暗褐色土を主体とする。中位以上に白色の軽石粒を含む。円礫、垂角礫が入る。

849号土坑 96-P-2グリッド 長軸長64cm、短軸長44cm、深さ19cm、長軸方位N-17°-W。平面形は長方形で南辺が丸みを持つ。断面形は箱形。覆土は暗褐色土を主体とする。

850号土坑 6-O-1・2グリッド 長軸長93cm、短軸長83cm、深さ22cm、長軸方位N-62°-W。平面形は胴張りのある隅丸方形ないし円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

851号土坑 96-O-24グリッド 長軸長155cm、短軸長53cm、深さ17cm、長軸方位N-36°-W。平面形は幅の狭い長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

852号土坑 96-N・O-20～22グリッド 長軸長785cm、短軸長57cm、深さ121cm、長軸方位N-31°-W。平面形は狭長な溝状、断面形は深い箱状。覆土は暗褐色土を主体とする。両端部に比較的大物の円礫がまとまる。

853号土坑 96-N-20グリッド 長軸長116cm、短軸長53cm、深さ20cm、長軸方位N-24°-W。平面形は長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

854号土坑 96-S・T-22グリッド 長軸長132cm、短軸長52cm、深さ14cm、長軸方位N-69°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

867号土坑 97-H-17・18グリッド 長軸確認長100cm、短軸長57cm、深さ24cm、長軸方位N-16°-W。平面形は隅丸方形と思われるが、北部が調査区界に切られる。断面形は箱形。覆土は暗褐色土を主体とする。

868号土坑 97-K・L-17グリッド 長軸確認長112cm、短軸長55cm、深さ19cm、長軸方位N-12°-W。平面形は隅丸方形と思われるが、北部が調査区界に切られる。断面形は箱形。覆土は暗褐色土を主体とする。

869号土坑 97-Q-15グリッド 長軸長52cm、短軸長52cm、深さ19cm、長軸方位N-11°-W。平面形は円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

870号土坑 97-I-15グリッド 長軸長108cm、短軸長76cm、深さ26cm、長軸方位N-16°-W。平面形は長円形、断面形は底面がやや乱れた鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

875号土坑 97-E-12グリッド 長軸長226cm、短軸長77cm、深さ35cm、長軸方位N-18°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形、断面形は浅い箱形。覆土は黒灰色粘質土を主体とする。

887号土坑 97-C-18グリッド 長軸長142cm、短軸長54

cm、深さ30cm、長軸方位N-21°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は黒灰色粘質土を主体とする。

888号土坑 97-B・C-15グリッド 長軸長338cm、短軸長62cm、深さ84cm、長軸方位N-33°-W。平面形は狭長な溝状、断面形は深い箱状。土層観察所見を欠く。

889号土坑 96-X・Y-17グリッド 長軸確認長226cm、短軸長120cm、深さ42cm、長軸方位N-49°-E。平面形は長円形、断面形は碗状。覆土は炭化物を含む淡褐色粘質土を主体とする。

890号土坑 96-X-21グリッド 長軸長258cm、短軸長64cm、深さ74cm、長軸方位N-18°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形、断面形は鍋状。土層観察所見を欠く。

891号土坑 96-V-21・22グリッド 長軸長496cm、短軸長86cm、深さ74cm、長軸方位N-28°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形、断面形は鍋状。土層観察所見を欠く。

913号土坑 6-N・O-2グリッド 長軸長351cm、短軸長48cm、深さ49cm、長軸方位N-64°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状、断面形は箱形。土層観察所見を欠く。

914号土坑 6-N・O-2グリッド 長軸長388cm、短軸長46cm、深さ44cm、長軸方位N-74°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状、断面形は箱形。土層観察所見を欠く。

915号土坑 6-N-2グリッド 長軸長274cm、短軸長32cm、深さ28cm、長軸方位N-64°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状、断面形は浅い鍋状。土層観察所見を欠く。

916号土坑 6-M・N-2・3グリッド 長軸確認長208cm、短軸長200cm、深さ28cm、長軸方位N-6°-E。平面形は幅の広い隅丸長方形でごく浅い。土層観察所見を欠く。

917号土坑 6-O・P-2グリッド 長軸確認長413cm、短軸長65cm、深さ29cm、長軸方位N-74°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状、断面形は浅い鍋状。土層観察所見を欠く。

918号土坑 96-T-21・22グリッド 長軸長160cm、短軸長75cm、深さ7cm、長軸方位N-34°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い皿状。覆土の土層観察所見を欠くが、炭化物を多く含む。

919号土坑 6-M・N-3グリッド 長軸長473cm、短軸

長50cm、深さ29cm、長軸方位N-72°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状。土層観察所見を欠く。

920号土坑 6-M・N-3グリッド 長軸長358cm、短軸長103cm、深さ26cm、長軸方位N-73°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状。土層観察所見を欠く。

921号土坑 6-N・O-2グリッド 長軸確認長230cm、短軸長37cm、深さ28cm、長軸方位N-85°-E。平面形は狭長な隅丸長方形ないし溝状、断面形は箱形。土層観察所見を欠く。

923号土坑 6-Q-22・23グリッド 長軸長98cm、短軸長74cm、深さ12cm、長軸方位N-48°-W。平面形はゆがんだ長方形、断面形は浅い鍋状。土層観察所見を欠く。

ビット

229号ビット 7-K-9グリッド 長軸確認長54cm、短軸長49cm、深さ64cm。覆土は黒褐色土が主体。230号ビットを切る。

230号ビット 7-K-9グリッド 長軸長54cm、短軸長46cm、深さ61cm。覆土は暗褐色土・黒褐色土が主体。ロームブロックを多く含む。229号ビットに切られる。

231号ビット 7-L・M-4グリッド 長軸長40cm、短軸確認長26cm、深さ7cm。覆土は暗褐色土とされるが、写真記録ではロームブロックのように見える。

232号ビット 7-N-4グリッド 長軸長44cm、短軸長41cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

233号ビット 7-M-3グリッド 長軸長43cm、短軸長32cm、深さ49cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕状に褐色土が入る。

235号ビット 7-I-10グリッド 長軸長30cm、短軸確認長27cm。断面に関する記載を欠く。内耳鍋の破片が出土している。

236号ビット 7-L-5グリッド 長軸長40cm、短軸長34cm。断面に関する記載を欠く。砥石が出土している。

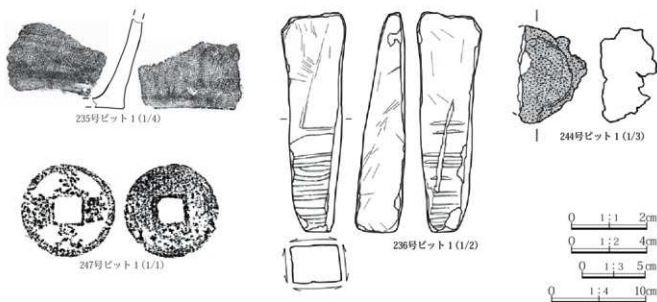
237号ビット 7-K-4グリッド 3ないし4基のビットの集合として表現される。最大のもので長軸長58cm、短軸長37cm。最上位のものは径30cmほど。断面および覆土に関する記載を欠く。天聖元寶が出土している。

238号ビット 7-K-8グリッド 長軸長35cm、短軸長33cm。断面に関する記載を欠く。

239号ビット 7-J-8グリッド 長軸長36cm、短軸長

第2章 調査された遺構と遺物

- 26cm。断面に関する記載を欠く。
- 240号ビット** 7-J-9グリッド 長軸長38cm、短軸長30cm。断面に関する記載を欠く。
- 241号ビット** 7-J-10グリッド 長軸長56cm、短軸長36cm。断面に関する記載を欠く。
- 242号ビット** 7-J-10グリッド 長軸長46cm、短軸長34cm。断面に関する記載を欠く。
- 243号ビット** 7-K-9グリッド 長軸長20cm、短軸長19cm。断面に関する記載を欠く。
- 244号ビット** 7-L-10グリッド 長軸長26cm、短軸長19cm。覆土は灰黄褐色土が主体。177号土坑を切る。碗型鍛冶滓が出土している。
- 245号ビット** 7-M-9グリッド 長軸長25cm、短軸長21cm。断面に関する記載を欠く。内耳竈の破片が出土している。
- 246号ビット** 7-O・P-9グリッド 長軸長25cm、短軸長24cm。断面に関する記載を欠く。碗型鍛冶滓が出土している。
- 247号ビット** 7-N-7グリッド 長軸長33cm、短軸長29cm。断面に関する記載を欠く。天壇元膏が出土している。
- 248号ビット** 7-L-11グリッド 長軸長28cm、短軸長24cm。断面に関する記載を欠く。
- 249号ビット** 98-Q-15グリッド 長軸長33cm、短軸長28cm、深さ48cm。覆土は暗褐色土が主体。
- 250号ビット** 98-P-20グリッド 長軸長48cm、短軸長42cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。
- 251号ビット** 98-Q-20グリッド 長軸長44cm、短軸長37cm、深さ23cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。
- 252号ビット** 98-Q-20グリッド 長軸長44cm、短軸長42cm、深さ20cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。
- 253号ビット** 98-P-19グリッド 長軸長51cm、短軸長40cm、深さ19cm。覆土は暗褐色土が主体。
- 254号ビット** 98-P・Q-21グリッド 長軸長43cm、短軸長33cm、深さ21cm。覆土は暗褐色土が主体。
- 255号ビット** 98-P-20グリッド 長軸長48cm、短軸長39cm、深さ47cm。覆土は褐色土が主体。
- 256号ビット** 98-O-21グリッド 長軸長48cm、短軸長39cm、深さ53cm。覆土は上位が褐色土、下位がふい黄褐色土が主体。
- 257号ビット** 98-O-21グリッド 長軸長51cm、短軸長44cm、深さ40cm。土層観察所見を欠く。
- 258号ビット** 98-O-21グリッド 長軸長40cm、短軸長38cm、深さ29cm。覆土は黒褐色土・暗褐色土が主体。
- 268号ビット** 7-I・J-12グリッド 長軸長29cm、短軸長27cm、深さ20cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 269号ビット** 7-I・J-12グリッド 長軸長34cm、短軸長26cm、深さ44cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 270号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長31cm、短軸長24cm、深さ42cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 271号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長34cm、短軸長29cm、深さ25cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 272号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長31cm、短軸長28cm、深さ38cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 273号ビット** 7-M-13グリッド 長軸長29cm、短軸長25cm、深さ31cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 274号ビット** 7-L-12グリッド 長軸長30cm、短軸長29cm、深さ32cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 275号ビット** 7-L-12グリッド 長軸長33cm、短軸長29cm、深さ41cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 276号ビット** 7-L-12グリッド 長軸長28cm、短軸長23cm、深さ24cm。覆土は黒褐色土が主体。
- 277号ビット** 7-M-12グリッド 長軸長36cm、短軸長29cm、深さ40cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。柱痕が残る。
- 278号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長25cm、短軸長23cm、深さ17cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 279号ビット** 7-M-13グリッド 長軸長36cm、短軸長18cm、深さ18cm。覆土は黒色土が主体。
- 280号ビット** 7-M-13グリッド 長軸長29cm、短軸長28cm、深さ33cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 281号ビット** 7-M-12グリッド 長軸長29cm、短軸長27cm、深さ17cm。覆土は黒褐色土・黒色土が主体。
- 282号ビット** 7-N-13グリッド 長軸長25cm、短軸長24cm、深さ21cm。覆土は黒色土が主体。
- 283号ビット** 7-N-13グリッド 長軸長17cm、短軸長16cm、深さ18cm。覆土は黒色土が主体。
- 284号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長30cm、短軸長27cm、深さ14cm。覆土は黒色土が主体。
- 285号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長25cm、短軸長22cm、深さ17cm。覆土は黒褐色土が主体。
- 286号ビット** 7-L-13グリッド 長軸長36cm、短軸長28cm、深さ36cm。覆土は黒褐色土が主体。



第429図 第4面ビット出土遺物1

229号ビット

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 黄褐色土粒、白色粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 7.5YR3/1 黄褐色土粒少量含む。

230号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土多く含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒少量含む。
- 3 黒褐色土 7.5YR3/2 黄褐色土粒をわずかに含む。

231号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック多量に含む。

232号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/4 焼土粒を少量含む。炭化物粒、褐色土わずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 黒色土、褐色粒をわずかに含む。褐色土粒少量含む。

233号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/4 焼土粒を少量含む。炭化物粒、褐色土わずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒少量含む。黒色土わずかに含む。

244号ビット

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 わずかに黒色土小ブロック、ローム小ブロック含む。

249号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 白色粒少量含む。
- 2 黒褐色土 7.5YR2/2 炭化材が主体。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

250号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒少量含む。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色ローム土粒を少量含む。

251号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色褐色粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 7.5YR4/3 褐色ローム土粒、褐色粒をわずかに含む。

252号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色ローム土粒を少量含む。

253号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色ローム土粒、褐色粒をわずかに含む。

254号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に含む。褐色粒少量含む。褐色土ブロック少量含む。黒褐色土粒多量に含む。

255号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 白色粒、黒褐色土を少量含む。褐色土ブロック多量に含む。

256号ビット

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 細砂、ローム粒含む。
- 2 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム小ブロック、小石混じり。
- 3 ロームブロックと灰黄褐色土ブロック混じり。

257号ビット

- 1 黒褐色土 7.5YR4/3 白色粒、褐色土ブロック、黒褐色土粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色土ブロック多く含む。

258号ビット

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色土粒を少量含む。炭化物わずかに含む。黒褐色土粒多量に含む。

268号・270号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1 黄褐色土をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土を少量含む。

269号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1。
- 2 黒褐色土 10YR2/2 黄褐色土をわずかに含む。
- 3 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒を少量含む。

271号ビット

- 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土を少量含む。
- 2 黒色土 10YR2/1 黄褐色土をわずかに含む。

272号・273号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1。
- 2 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒をわずかに含む。

274号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒を少量含む。

275号ビット

- 1 黒褐色土 10YR3/2 炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土少量含む。
- 2 黒褐色土 10YR2/1 黄褐色土粒をわずかに含む。

276号ビット

- 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒を少量含む。

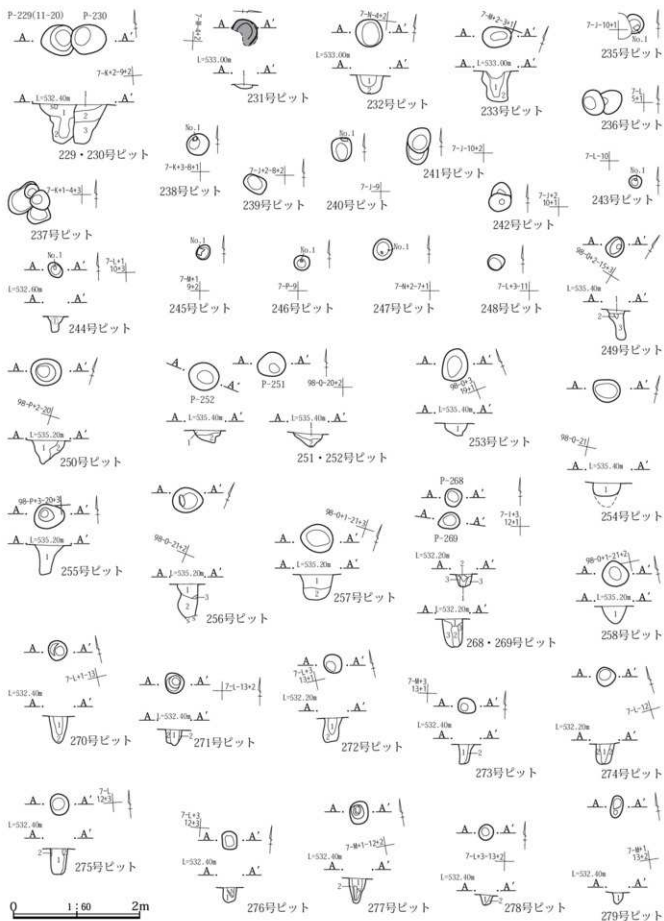
277号・278号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR2/1 黄褐色土粒を少量含む。

279号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第430図 第4面ビット1 1/60

287号ビット 7-L-12グリッド 長軸長29cm、短軸長27cm、深さ15cm。覆土は黒色土が主体。

288号ビット 7-L-12グリッド 長軸長22cm、短軸長16cm、深さ7cm。覆土は黒色土が主体。

289号ビット 7-N-13グリッド 長軸長26cm、短軸長20cm、深さ19cm。覆土は暗褐色土が主体。

290号ビット 7-J-13グリッド 長軸長25cm、短軸長22cm。断面に関する記載を欠く。

291号ビット 7-J-13グリッド 長軸長28cm、短軸長24cm。断面に関する記載を欠く。

292号ビット 7-K-13グリッド 長軸長20cm、短軸長15cm。断面に関する記載を欠く。

293号ビット 7-K-12グリッド 長軸長23cm、短軸長21cm。断面に関する記載を欠く。

294号ビット 7-K-12グリッド 長軸長21cm、短軸確認長17cm。断面に関する記載を欠く。

295号ビット 7-M-13グリッド 長軸長25cm、短軸長24cm、深さ19cm。土層観察所見を欠く。

296号ビット 7-M-13グリッド 長軸長20cm、短軸長16cm、深さ10cm。土層観察所見を欠く。

297号ビット 7-K-13グリッド 長軸長29cm、短軸長25cm。断面に関する記載を欠く。

298号ビット 7-L-12グリッド 長軸長17cm、短軸長14cm、深さ4cm。土層観察所見を欠く。

299号ビット 7-K-13グリッド 長軸長30cm、短軸長21cm、深さ38cm。覆土は暗褐色土が主体。

300号ビット 7-J-12グリッド 長軸長32cm、短軸長31cm、深さ12cm。土層観察所見を欠く。

301号ビット 98-A-25グリッド 長軸長49cm、短軸長47cm、深さ32cm。覆土は上位に洪水砂が入る。黒褐色土が主体。柱痕が残る。

302号ビット 98-A-25グリッド 長軸長45cm、短軸長42cm、深さ22cm。覆土は暗褐色土、黒褐色土が主体。

303号ビット 98-A-25/8-A-1グリッド 長軸長52cm、短軸長36cm、深さ8cm。覆土は黒褐色土が主体。

304号ビット 98-Y-1グリッド 長軸長27cm、短軸長21cm、深さ15cm。覆土は暗褐色土、黒褐色土が主体。

305号ビット 98-Y-25グリッド 長軸長36cm、短軸長27cm、深さ44cm。覆土は暗褐色土が主体。

306号ビット 98-W-25グリッド 長軸長38cm、短軸長

31cm、深さ8cm。覆土は暗褐色土が主体。

307号ビット 7-O-1グリッド 長軸長67cm、短軸確認長32cm、深さ35cm。覆土は暗褐色土が主体。

308号ビット 7-N-1グリッド 長軸長57cm、短軸長47cm、深さ16cm。覆土は暗褐色土が主体。

309号ビット 7-M-1グリッド 長軸長22cm、短軸長21cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。

310号ビット 7-M-1グリッド 長軸長26cm、短軸長24cm、深さ26cm。覆土は暗褐色土が主体。

312号ビット 98-S・T-13グリッド 長軸長70cm、短軸長58cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土が主体。

313号ビット 97-A-24・25グリッド 長軸長30cm、短軸長26cm、深さ19cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

314号ビット 97-B-24グリッド 長軸長33cm、短軸長29cm、深さ34cm。覆土は褐色土が主体。

315号ビット 97-B-25グリッド 長軸長29cm、短軸長28cm、深さ20cm。覆土は暗褐色土が主体。礎が出土している。

316号ビット 97-C-24・25グリッド 長軸長29cm、短軸長27cm、深さ24cm。覆土は黒褐色土が主体。

317号ビット 97-C・D-24グリッド 長軸長22cm、短軸長19cm、深さ15cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

318号ビット 97-D-24グリッド 長軸長29cm、短軸長24cm、深さ27cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

319号ビット 97-D-24グリッド 長軸長31cm、短軸長25cm、深さ30cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

320号ビット 97-E-24グリッド 長軸長22cm、短軸長18cm、深さ14cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

321号ビット 97-E-24グリッド 長軸長22cm、短軸長21cm、深さ15cm。覆土はにぶい褐色土が主体。

351号ビット 6-T-11グリッド 長軸長57cm、短軸長54cm、深さ43cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

352号ビット 6-T-11グリッド 長軸長60cm、短軸長52cm、深さ55cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

353号ビット 6-S-10グリッド 長軸長79cm、短軸長55cm、深さ19cm。覆土は暗褐色土が主体。

354号ビット 6-S-10グリッド 長軸長32cm、短軸長23cm、深さ31cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

355号ビット 6-S-8グリッド 長軸長40cm、短軸長36cm、深さ26cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

356号ビット 6-S-8グリッド 長軸長40cm、短軸長

35cm、深さ23cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

357号ビット 6-S-8グリッド 長軸長39cm、短軸長38cm、深さ19cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

358号ビット 6-T-9グリッド 長軸長29cm、短軸長28cm、深さ24cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

359号ビット 6-S-10グリッド 長軸長31cm、短軸長30cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

360号ビット 6-S-10グリッド 長軸長38cm、短軸長30cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

361号ビット 6-S・T-10グリッド 長軸長34cm、短軸長30cm、深さ34cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

362号ビット 6-T-10グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ35cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

363号ビット 6-T-10グリッド 長軸長37cm、短軸長28cm、深さ20cm。覆土は暗褐色土が主体。

364号ビット 6-T-11グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm、深さ26cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

365号ビット 6-T-11グリッド 長軸長36cm、短軸長28cm、深さ21cm。覆土は褐色土が主体。

366号ビット 6-T-11グリッド 長軸長35cm、短軸長29cm、深さ38cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

367号ビット 6-S-10グリッド 長軸長21cm、短軸長19cm、深さ22cm。覆土は褐色土が主体。

368号ビット 6-S-11グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

369号ビット 6-S-11グリッド 長軸長31cm、短軸長28cm、深さ19cm。覆土は褐色土が主体。

370号ビット 6-S-11グリッド 長軸長48cm、短軸長35cm、深さ40cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

371号ビット 6-T-11グリッド 長軸長41cm、短軸長38cm、深さ53cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

372号ビット 6-S-11グリッド 長軸長23cm、短軸長21cm、深さ34cm。覆土は褐色土が主体。

373号ビット 6-S-10グリッド 長軸長29cm、短軸長27cm、深さ20cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

374号ビット 6-S-10グリッド 長軸長26cm、短軸長23cm、深さ17cm。覆土は褐色土が主体。

375号ビット 6-S-8グリッド 長軸長31cm、短軸長29cm、深さ26cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

376号ビット 6-U-11グリッド 長軸長30cm、短軸長

28cm、深さ29cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

377号ビット 6-S-11グリッド 長軸長33cm、短軸確認長28cm、深さ34cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

378号ビット 6-T-11グリッド 長軸長21cm、短軸確認長8cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

379号ビット 6-U-11グリッド 長軸長46cm、短軸長38cm、深さ47cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

380号ビット 6-U-11グリッド 長軸長48cm、短軸長42cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

381号ビット 6-U-10グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

382号ビット 6-U-8・9グリッド 長軸長43cm、短軸長38cm、深さ29cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

383号ビット 6-U-9グリッド 長軸長32cm、短軸長29cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

384号ビット 6-U-9グリッド 長軸長36cm、短軸長33cm、深さ33cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

385号ビット 6-U-10グリッド 長軸長31cm、短軸長26cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

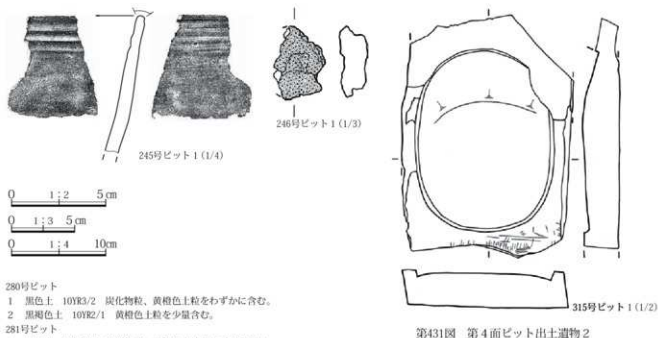
386号ビット 6-W-9グリッド 長軸長36cm、短軸長26cm、深さ29cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

387号ビット 6-W-11グリッド 長軸長32cm、短軸長28cm、深さ26cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

388号ビット 6-T-10グリッド 長軸長44cm、短軸長31cm、深さ24cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

389号ビット 7-B-11グリッド 長軸長50cm、短軸長44cm、深さ45cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

390号ビット 7-A-11グリッド 長軸長43cm、短軸長



第431図 第4面ビット出土遺物2

280号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR2/1 黄褐色土粒を少量含む。

281号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黒褐色土 10YR2/1 黄褐色土粒を少量含む。

282号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

283号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

284号ビット

- 1 黒色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

285号ビット

- 1 黒褐色土 10YR3/2 炭化物粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

286号ビット

- 1 黒褐色土 10YR3/2 炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックを少量含む。

287号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1 黄褐色土粒をわずかに含む。

288号ビット

- 1 黒色土 10YR2/1 黄褐色土粒をわずかに含む。

289号ビット

- 1 暗褐色土 10YR3/3 黄褐色土を含む。

299号ビット

- 1 暗褐色土 10YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

301号ビット

- 1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。柱痕。

302号ビット

- 2 洪水砂主体。

303号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒少量含む。褐色粒、褐色土ブロックをわずかに含む。柱痕。

304号ビット

- 2 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

303号ビット

- 1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒、黒色土少量含む。褐色粒、褐色土ブロックをわずかに含む。

304号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色土ブロック少量含む。褐色粒をわずかに含む。

305号ビット

- 2 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒、褐色土ブロック少量含む。褐色粒をわずかに含む。

305号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

306号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄分付着。

307号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

308号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

309号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

310号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

312号ビット

- 1 暗褐色土 10YR3/4 均質。わずかにローム小ブロック含む。

- 2 ロームブロック・暗褐色土ブロック混上。一括理上。

351号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。柱痕。

302号ビット

- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、褐色土を少量含む。

303号ビット

- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに、褐色土を少量含む。

352号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。鉄分付着。柱痕。

302号ビット

- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、褐色土を少量含む。

353号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 黄褐色土ブロックわずかに含む。褐色土を少量含む。

354号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。

302号ビット

- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、褐色土を少量含む。

355号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。柱痕。

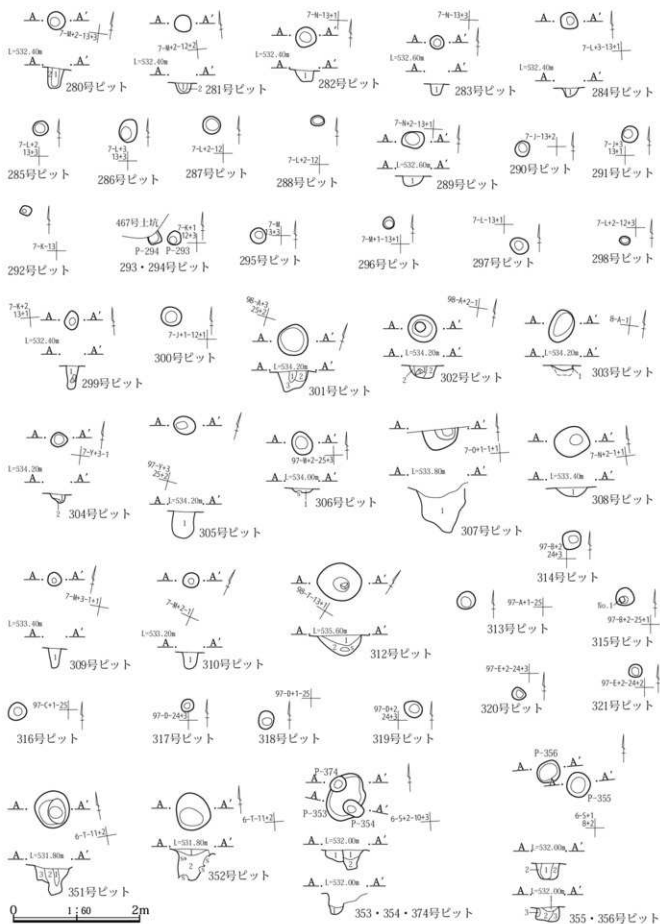
302号ビット

- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、褐色土を少量含む。

303号ビット

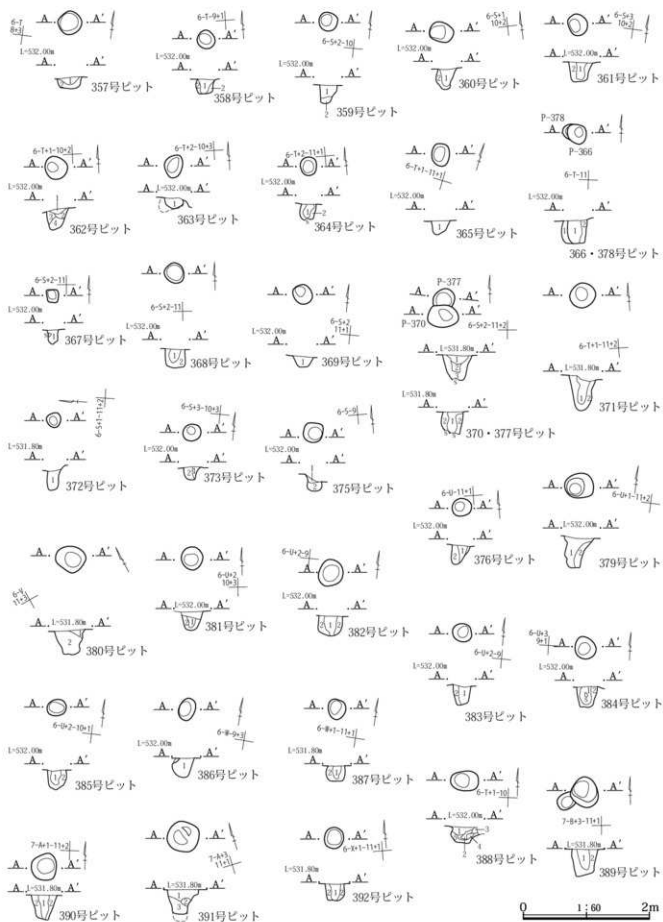
- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



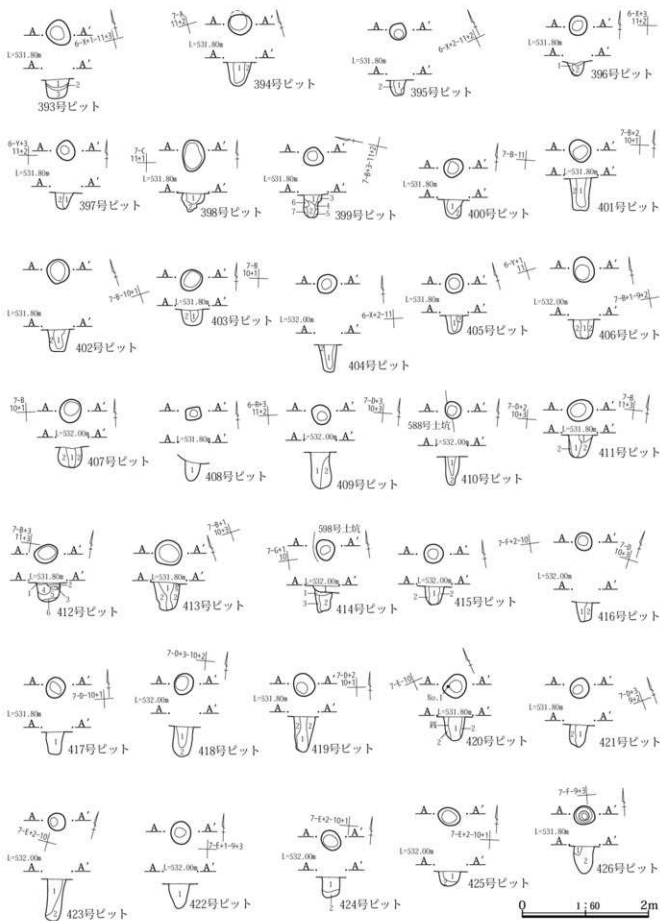
第432図 第4面ビット2 1/60

第2章 調査された遺構と遺物



第433図 第4面ビット3 1/60

第2章 調査された遺構と遺物



第435図 第4面ビット4 1/60

40cm、深さ40cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

391号ピット 7-A-11グリッド 長軸長48cm、短軸長47cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

392号ピット 6-X-11グリッド 長軸長34cm、短軸長30cm、深さ27cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

393号ピット 6-X-11グリッド 長軸長40cm、短軸長34cm、深さ31cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

394号ピット 6-Y-11グリッド 長軸長37cm、短軸長32cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

395号ピット 6-X-11グリッド 長軸長26cm、短軸長24cm、深さ25cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

396号ピット 6-Y-11グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ23cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

397号ピット 6-Y-11グリッド 長軸長34cm、短軸長28cm、深さ25cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

398号ピット 7-B-11グリッド 長軸長50cm、短軸長35cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

399号ピット 7-B-11グリッド 長軸長31cm、短軸長29cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

400号ピット 7-B-10グリッド 長軸長32cm、短軸長28cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

401号ピット 7-B-10グリッド 長軸長36cm、短軸長32cm、深さ52cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

402号ピット 7-B-10グリッド 長軸長38cm、短軸長34cm、深さ35cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

403号ピット 7-B-10グリッド 長軸長36cm、短軸長32cm、深さ25cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

404号ピット 6-X-11グリッド 長軸長34cm、短軸長

29cm、深さ42cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

405号ピット 6-Y-11グリッド 長軸長31cm、短軸長28cm、深さ29cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

406号ピット 7-B-9グリッド 長軸長40cm、短軸長32cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

407号ピット 7-A-10グリッド 長軸長38cm、短軸長33cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

408号ピット 6-S-11グリッド 長軸確認長24cm、短軸長20cm、深さ31cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

409号ピット 7-D・E-10グリッド 長軸長32cm、短軸長26cm、深さ58cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

410号ピット 7-D-10グリッド 長軸長27cm、短軸長25cm、深さ45cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

411号ピット 7-B-11グリッド 長軸長42cm、短軸長33cm、深さ36cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

412号ピット 7-B-11グリッド 長軸長38cm、短軸長29cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

413号ピット 7-B-10グリッド 長軸長42cm、短軸長38cm、深さ45cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

414号ピット 7-G-9・10グリッド 長軸長33cm、短軸長28cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

415号ピット 7-F-9・10グリッド 長軸長31cm、短軸長29cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

416号ピット 7-D-10グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

417号ピット 7-D-10グリッド 長軸長33cm、短軸長30cm、深さ36cm。覆土は褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

418号ピット 7-D-10グリッド 長軸長34cm、短軸長

30cm、深さ49cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

419号ビット 7-D-10グリッド 長軸長36cm、短軸長32cm、深さ57cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

420号ビット 7-D-9グリッド 長軸長38cm、短軸長32cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。紹聖元寶が出土している。

421号ビット 7-D・E-9グリッド 長軸長32cm、短軸長29cm、深さ35cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

422号ビット 7-E-9グリッド 長軸長35cm、短軸長31cm、深さ39cm。覆土は褐色土が主体。

423号ビット 7-E-10グリッド 長軸長28cm、短軸長26cm、深さ67cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

424号ビット 7-E-10グリッド 長軸長34cm、短軸長28cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

425号ビット 7-E-10グリッド 長軸長36cm、短軸長28cm、深さ24cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

426号ビット 7-E・F-9グリッド 長軸長33cm、短軸長30cm、深さ44cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

427号ビット 7-E-9グリッド 長軸長45cm、短軸長39cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

428a号ビット 7-E-9グリッド 長軸長34cm、短軸長29cm、深さ49cm。土層観察所見を欠く。

428b号ビット 7-E-9グリッド 長軸長27cm、短軸長18cm、深さ21cm。土層観察所見を欠く。

429号ビット 7-F-9グリッド 長軸長28cm、短軸長26cm、深さ28cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

430号ビット 7-F-10グリッド 長軸長38cm、短軸長36cm、深さ53cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

431号ビット 7-F-9グリッド 長軸長35cm、短軸長27cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央

に柱痕が残る。

432号ビット 7-F-9グリッド 長軸長21cm、短軸長19cm、深さ50cm。覆土は褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

433号ビット 7-G-10グリッド 長軸長39cm、短軸長36cm、深さ55cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

434号ビット 7-G-9・10グリッド 長軸長34cm、短軸長27cm、深さ64cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

435号ビット 7-G-9グリッド 長軸長34cm、短軸長30cm、深さ34cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

436号ビット 7-G-9グリッド 長軸長33cm、短軸長29cm、深さ55cm。覆土は暗褐色土が主体。

437号ビット 7-D-9グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

438号ビット 7-F-10グリッド 長軸長31cm、短軸長29cm、深さ53cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

439号ビット 7-G-10グリッド 長軸長41cm、短軸長35cm、深さ69cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱材および柱痕が残る。

440号ビット 7-E-10グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

441号ビット 7-F-10グリッド 長軸長34cm、短軸長26cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

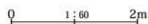
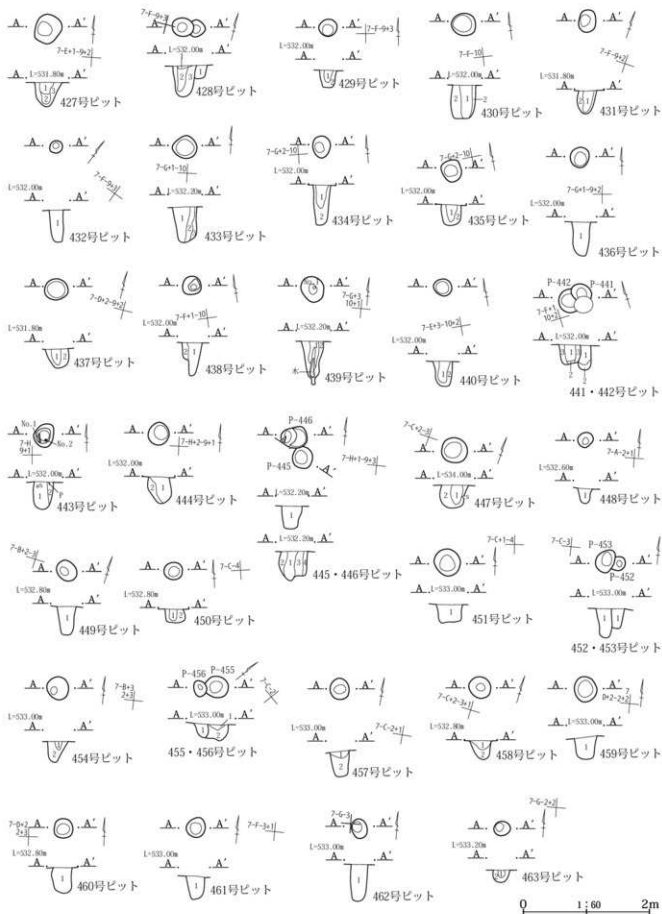
442号ビット 7-F-10グリッド 長軸長37cm、短軸長26cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

443号ビット 7-G-9グリッド 長軸長38cm、短軸長30cm、深さ44cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

444号ビット 7-H-9グリッド 長軸長36cm、短軸長33cm、深さ42cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

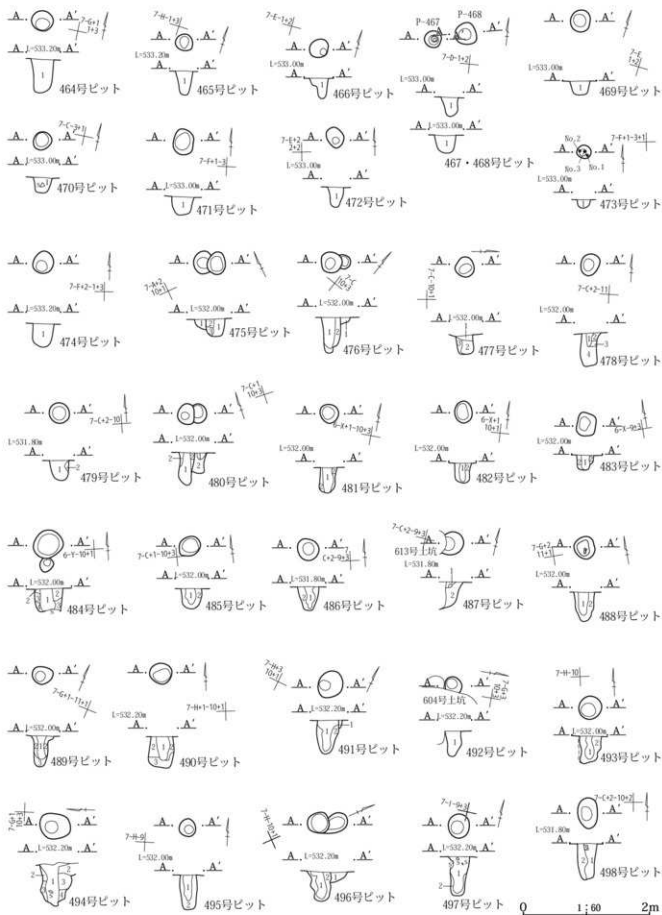
445号ビット 7-H-9グリッド 長軸長34cm、短軸長31cm、深さ36cm。覆土は暗褐色土が主体。

第2章 調査された遺構と遺物



第436図 第4面ビット5 1/60

第2章 調査された遺構と遺物



0 1:60 2m

第437図 第4面ビット6 1/60

500号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

516号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒を少量含む。

517号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

518号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

519号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒を少量含む。

520号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

521号ビット

- 1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

524号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

525号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黒色土粒を多く含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

526号ビット

- 1 黒褐色砂壤土 10YR2/3 地山の明褐色砂粒小～大を30%含む。
 - 2 地山の明褐色砂小塊を主体とし、黒褐色砂壤土小塊を40%含む。
 - 3 黒褐色砂壤土 10YR2/3 地山の明褐色砂粒小を20%含む。
 - 4 地山の明褐色砂小塊と黒褐色砂壤土の混上。
 - 5 黒褐色砂壤土 10YR2/3 地山の明黄褐色砂小粒を10%含む。
- 地山の混ざり具合や堆積状態から人為堆積の可能性高いと考えられる。

536号ビット

- 1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒を少量含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

537号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 4 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

538号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 2 黄褐色土ブロック。
- 3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 4 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

549号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
 - 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
 - 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- ① 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

550号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。炭化物をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

551号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

552号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 3 褐色土 7.5YR4/6 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

553号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土ブロックをわずかに含む。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。
- 3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

554号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

604号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。炭化材残存。柱状。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

614号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

614号ビット

- 3 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 4 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

627号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。
- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

627号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多く含む。

643号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。柱状。
- 2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

827号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄分凝集が見られる。

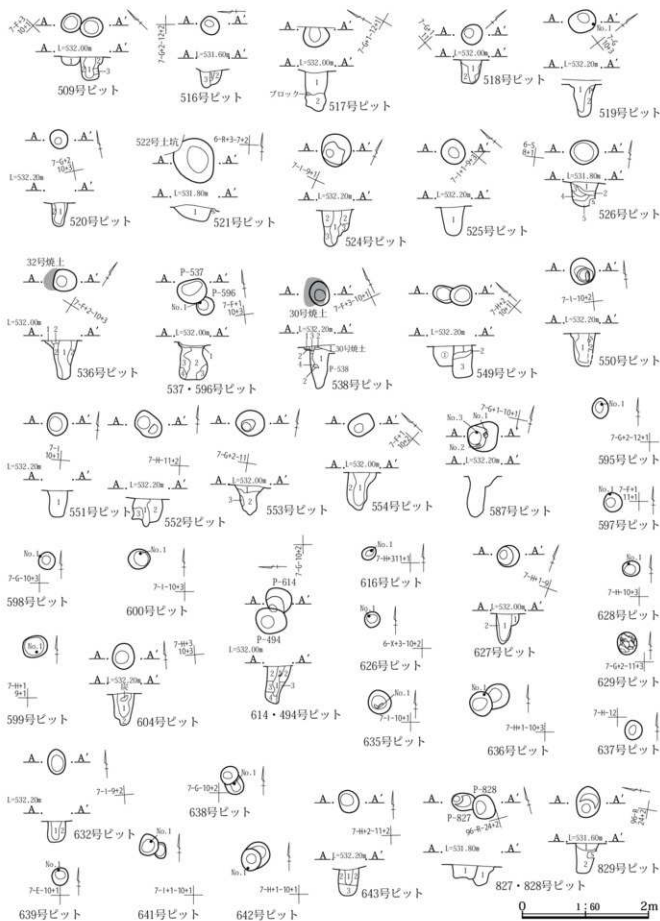
828号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、炭化物粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄分凝集が見られる。

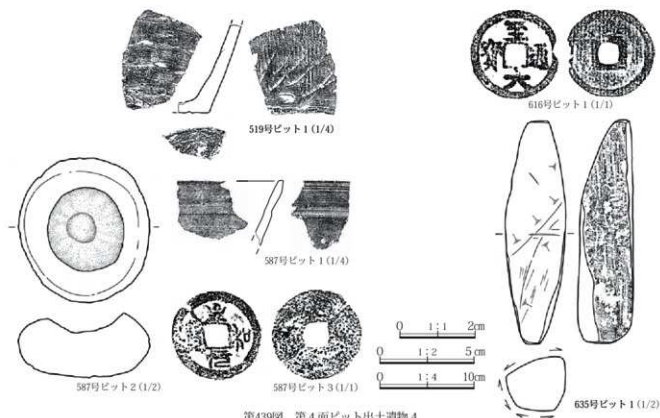
829号ビット

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、炭化物粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄分凝集が見られる。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒やや多く含む。褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分凝集が見られる。

第2章 調査された遺構と遺物



第438図 第4面ビット7 1/60



第439図 第4面ビット出土遺物4

446号ビット 7-H-9グリッド 長軸長41cm、短軸長34cm、深さ46cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

447号ビット 7-C-2・3グリッド 長軸長42cm、短軸長40cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

448号ビット 7-A-2グリッド 長軸長25cm、短軸長21cm、深さ25cm。覆土は暗褐色土が主体。

449号ビット 7-B-2・3グリッド 長軸長35cm、短軸長29cm、深さ46cm。覆土は暗褐色土が主体。

450号ビット 7-C-3・4グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm、深さ22cm。覆土は暗褐色土が主体。

451号ビット 7-C-3グリッド 長軸長42cm、短軸長37cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。

452号ビット 7-B-2グリッド 長軸長21cm、短軸確認長18cm、深さ32cm。覆土は暗褐色土が主体。

453号ビット 7-B-2グリッド 長軸長38cm、短軸長28cm、深さ48cm。覆土は暗褐色土が主体。

454号ビット 7-B・C-2グリッド 長軸長36cm、短軸長34cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

455号ビット 7-C-1グリッド 長軸長37cm、短軸長

33cm、深さ26cm。覆土は暗褐色土が主体。

456号ビット 7-C-1グリッド 長軸長26cm、短軸長20cm、深さ23cm。覆土は暗褐色土が主体。

457号ビット 7-C-2グリッド 長軸長33cm、短軸長30cm、深さ42cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

458号ビット 7-C-3グリッド 長軸長36cm、短軸長32cm、深さ30cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

459号ビット 7-D-2グリッド 長軸長40cm、短軸長36cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。

460号ビット 7-D-2グリッド 長軸長31cm、短軸長29cm、深さ41cm。覆土は暗褐色土が主体。

461号ビット 7-F-3グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。

462号ビット 7-F-2・3、G-2グリッド 長軸長30cm、短軸長24cm、深さ58cm。覆土は暗褐色土が主体。

463号ビット 7-G-2グリッド 長軸長27cm、短軸長22cm、深さ20cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

464号ビット 7-G-1グリッド 長軸長36cm、短軸長32cm、深さ55cm。覆土は暗褐色土が主体。

465号ビット 7-G・H-1グリッド 長軸長30cm、短軸長26cm、深さ39cm。覆土は暗褐色土が主体。

第2章 調査された遺構と遺物

466号ビット 7-D-1グリッド 長軸長32cm、短軸長28cm、深さ32cm。覆土は暗褐色土が主体。

467号ビット 7-D-1グリッド 長軸長27cm、短軸長26cm、深さ31cm。覆土は暗褐色土が主体。

468号ビット 7-C・D-1グリッド 長軸長36cm、短軸長34cm、深さ29cm。覆土は暗褐色土が主体。

469号ビット 7-E-1グリッド 長軸長36cm、短軸長31cm、深さ22cm。覆土は暗褐色土が主体。

470号ビット 7-C-3グリッド 長軸長30cm、短軸長27cm、深さ25cm。覆土は暗褐色土が主体。

471号ビット 7-F-3グリッド 長軸長41cm、短軸長33cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。

472号ビット 7-E-2グリッド 長軸長31cm、短軸長27cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土が主体。

473号ビット 7-F-3グリッド 長軸長23cm、短軸長20cm、深さ14cm。覆土は暗褐色土が主体。

474号ビット 7-F-1グリッド 長軸長35cm、短軸長31cm、深さ38cm。覆土は暗褐色土が主体。

475a号ビット 7-A-10グリッド 長軸長36cm、短軸確認長22cm、深さ14cm。土層観察所見を欠く。

475b号ビット 7-A-10グリッド 長軸長34cm、短軸長28cm、深さ29cm。土層観察所見を欠く。

476a号ビット 7-C-10グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ57cm。土層観察所見を欠く。

476b号ビット 7-C-10グリッド 長軸長22cm、短軸確認長14cm、深さ13cm。土層観察所見を欠く。

477号ビット 7-C-10グリッド 長軸長32cm、短軸長29cm、深さ34cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

478号ビット 7-C-11グリッド 長軸長34cm、短軸長29cm、深さ53cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

479号ビット 7-C-10グリッド 長軸長33cm、短軸長31cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

480a号ビット 7-C-10グリッド 長軸長31cm、短軸長27cm、深さ53cm。土層観察所見を欠く。

480b号ビット 7-C-10グリッド 長軸長30cm、短軸確認長20cm、深さ33cm。土層観察所見を欠く。

481号ビット 6-X-10グリッド 長軸長30cm、短軸長

29cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

482号ビット 6-X-10グリッド 長軸長35cm、短軸長28cm、深さ32cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

483号ビット 6-X-9グリッド 長軸長36cm、短軸長30cm、深さ24cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

484号ビット 6-Y-10グリッド 長軸長48cm、短軸長42cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

485号ビット 7-C-10グリッド 長軸長37cm、短軸長30cm、深さ31cm。覆土は黒褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

486号ビット 7-C-9グリッド 長軸長36cm、短軸長33cm、深さ38cm。覆土は黒褐色土が主体。

487号ビット 7-C-9グリッド 長軸長40cm、短軸長34cm、深さ43cm。覆土は暗褐色土が主体。

488号ビット 7-G-11グリッド 長軸長35cm、短軸長32cm、深さ47cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

489号ビット 7-G-11グリッド 長軸長33cm、短軸長28cm、深さ48cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

490号ビット 7-H-10グリッド 長軸長35cm、短軸長33cm、深さ50cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

491号ビット 7-H-10グリッド 長軸長44cm、短軸長38cm、深さ53cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

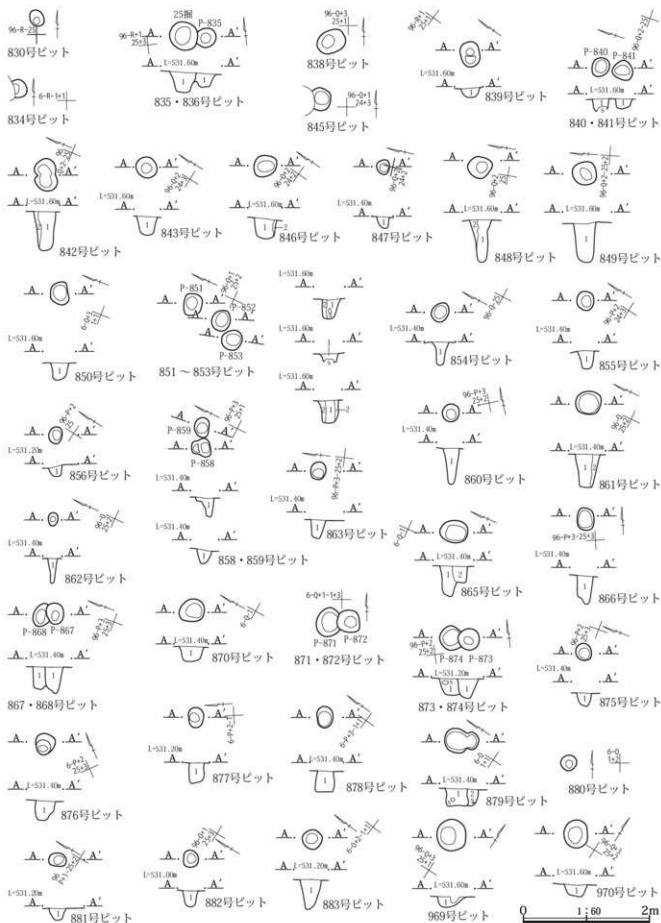
492号ビット 7-G-10グリッド 長軸長27cm、短軸確認長22cm、深さ39cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

493号ビット 7-G・H-9グリッド 長軸長37cm、短軸長35cm、深さ44cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

494号ビット 7-G-10グリッド 長軸長50cm、短軸長40cm、深さ65cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

495号ビット 7-G-9グリッド 長軸長28cm、短軸長26cm、深さ55cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央

第2章 調査された遺構と遺物



第440図 第4面ピット8 1/60

に柱痕が残る。

496号ビット 7-G・H-10グリッド 長軸長35cm、短軸長34cm、深さ49cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

497号ビット 7-H・I-9グリッド 長軸長39cm、短軸長33cm、深さ63cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

498号ビット 7-C-10グリッド 長軸長48cm、短軸長31cm、深さ58cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

509a号ビット 7-F-10グリッド 長軸長33cm、短軸長28cm、深さ15cm。覆土は暗褐色土が主体。

509b号ビット 7-F-10グリッド 長軸長36cm、短軸長30cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

516号ビット 7-G-12グリッド 長軸長30cm、短軸長27cm、深さ28cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

517号ビット 7-G-12グリッド 長軸長41cm、短軸長31cm、深さ25cm。覆土は暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

518号ビット 7-G-11グリッド 長軸長34cm、短軸長31cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

519号ビット 7-G-10グリッド 長軸長41cm、短軸長34cm、深さ51cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。須恵器の裏片が出土している。

520号ビット 7-G-10グリッド 長軸長30cm、短軸長27cm、深さ37cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

521号ビット 6-R・S-7グリッド 長軸長71cm、短軸長64cm、深さ22cm。覆土は黒褐色土が主体。

524号ビット 7-H・I-9グリッド 長軸長51cm、短軸長46cm、深さ58cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

525号ビット 7-I-9グリッド 長軸長39cm、短軸長36cm、深さ46cm。覆土は褐色土が主体。

526号ビット 6-R-8グリッド 長軸長45cm、短軸長38cm、深さ37cm。覆土は黒褐色土と地山土のブロックが主体。人為的に一括埋設されたものと思われる。

536号ビット 7-F-10グリッド 長軸長37cm、短軸長

34cm、深さ61cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

537号ビット 7-F-10グリッド 長軸長47cm、短軸長37cm、深さ60cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。

538号ビット 7-F-10グリッド 長軸長38cm、短軸長30cm、深さ65cm。覆土は褐色土・暗褐色土が主体。ロームブロックを含む。

549a号ビット 7-H-10グリッド 長軸長34cm、短軸長27cm、深さ31cm。土層観察所見を欠く。

549b号ビット 7-H-10グリッド 長軸長34cm、短軸長32cm、深さ51cm。土層観察所見を欠く。

550号ビット 7-H・I-10グリッド 長軸長42cm、短軸長38cm、深さ53cm。覆土は暗褐色土が主体。

551号ビット 7-H・I-10グリッド 長軸長35cm、短軸長32cm、深さ43cm。覆土は暗褐色土が主体。

552号ビット 7-H-11グリッド 長軸長47cm、短軸長34cm、深さ44cm。覆土は暗褐色土・褐色土を主体とする。

553号ビット 7-G-11グリッド 長軸長43cm、短軸長41cm、深さ48cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。

554号ビット 7-F-10グリッド 長軸長41cm、短軸長30cm、深さ59cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。

587号ビット 7-G-10グリッド 長軸長53cm、短軸長47cm。土層観察所見を欠く。至和元寶、石皿が出土している。

595号ビット 7-G-12グリッド 長軸長33cm、短軸長25cm。土層観察所見を欠く。

596号ビット 7-35-6-F-10グリッド 長軸長28cm、短軸長27cm。土層観察所見を欠く。

597号ビット 7-F-11グリッド 長軸長30cm、短軸長29cm。土層観察所見を欠く。

598号ビット 7-F-10グリッド 長軸長35cm、短軸長29cm。土層観察所見を欠く。

599号ビット 7-H-9グリッド 長軸長39cm、短軸長33cm。土層観察所見を欠く。

600号ビット 7-I-10グリッド 長軸長34cm、短軸長31cm。土層観察所見を欠く。

604号ビット 7-H・I-10グリッド 長軸長41cm、短軸長35cm、深さ49cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。炭化した柱材、柱痕が残る。

614号ビット 7-G-10グリッド 長軸長40cm、短軸長33cm、深さ60cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。

中央に柱痕が残る。

616号ビット 7-H-11グリッド 長軸長25cm、短軸長18cm、深さ3cm。覆土は褐色土が主体。至大通竇が出土している。

626号ビット 6-X-10グリッド 長軸長25cm、短軸長24cm。断面および土層観察所見を欠く。

627号ビット 7-H-9グリッド 長軸長35cm、短軸長33cm、深さ48cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。

628号ビット 7-H-10グリッド 長軸長28cm、短軸長23cm、深さ34cm。土層観察所見を欠く。

629号ビット 7-G-11グリッド 長軸長36cm、短軸長31cm、深さ23cm。土層観察所見を欠く。

632号ビット 7-I-9グリッド 長軸長39cm、短軸長28cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。

635号ビット 7-I-10グリッド 長軸長38cm、短軸長36cm、深さ25cm。土層観察所見を欠く。砥石が出土している。

636号ビット 7-H-10グリッド 長軸長38cm、短軸長34cm。断面および土層観察所見を欠く。

637号ビット 7-G-11グリッド 長軸長30cm、短軸長28cm。断面および土層観察所見を欠く。

638a号ビット 7-F-10グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm。土層観察所見を欠く。

638b号ビット 7-F-10グリッド 長軸長28cm、短軸確認長20cm。土層観察所見を欠く。

639号ビット 7-D・E-10グリッド 長軸長28cm、短軸長25cm、深さ34cm。土層観察所見を欠く。

641号ビット 7-I-10グリッド 長軸長34cm、短軸長28cm。断面および土層観察所見を欠く。

642号ビット 7-H-10グリッド 長軸長35cm、短軸長30cm。断面および土層観察所見を欠く。

643号ビット 7-H-11グリッド 長軸長36cm、短軸長31cm、深さ48cm。覆土は暗褐色土・褐色土が主体。中央に柱痕が残る。

827号ビット 96-R-24グリッド 長軸確認長34cm、短軸長28cm、深さ21cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

828号ビット 96-R-24グリッド 長軸長38cm、短軸長34cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

829号ビット 96-Q・R-24グリッド 長軸長49cm、短軸長38cm、深さ47cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

830号ビット 96-Q・R-25グリッド 長軸長27cm、短軸

長22cm、深さ15cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

834号ビット 6-R-1グリッド 長軸長29cm、短軸長20cm、深さ37cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

835号ビット 96-Q・R-25グリッド 長軸確認長30cm、短軸長30cm、深さ20cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

838号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長46cm、短軸長37cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

839号ビット 96-R-25グリッド 長軸長40cm、短軸長30cm、深さ16cm。覆土はにぶい褐色土が主体。鉄分が凝集する。

840号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長31cm、短軸長27cm、深さ20cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

841号ビット 96-Q-24・25グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ16cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

842号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長52cm、短軸長34cm、深さ61cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

843号ビット 96-Q-24グリッド 長軸長35cm、短軸長32cm、深さ31cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

845号ビット 96-Q-24グリッド 長軸長36cm、短軸確認長26cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

846号ビット 96-Q-24グリッド 長軸長36cm、短軸長33cm、深さ35cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

847号ビット 96-Q-24グリッド 長軸長23cm、短軸長21cm、深さ19cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

848号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長35cm、短軸長34cm、深さ66cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

849号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長37cm、短軸長37cm、深さ62cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

850号ビット 6-Q-1グリッド 長軸長36cm、短軸長29cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

851号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長35cm、短軸長29cm、深さ32cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

852号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長34cm、短軸長29cm、深さ14cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

853号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長33cm、短軸長31cm、深さ37cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

854号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長31cm、短軸長26cm、深さ36cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

855号ビット 96-P-24グリッド 長軸長31cm、短軸長27

cm、深さ30cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

856号ビット 96-P-25グリッド 長軸長27cm、短軸長21cm、深さ19cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

858号ビット 96-P-25グリッド 長軸長30cm、短軸長29cm、深さ31cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

859号ビット 96-P-25グリッド 長軸長32cm、短軸長23cm、深さ24cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

860号ビット 96-P-25グリッド 長軸長28cm、短軸長26cm、深さ56cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

861号ビット 96-P・Q-25グリッド 長軸長40cm、短軸長36cm、深さ53cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

862号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長21cm、短軸長15cm、深さ40cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

863号ビット 96-P-24グリッド 長軸長28cm、短軸長23cm、深さ30cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

865号ビット 96-P-25グリッド 長軸長44cm、短軸長35cm、深さ50cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

866号ビット 96-P-25グリッド 長軸長35cm、短軸長27cm、深さ44cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

867号ビット 96-P-25・6-P-1グリッド 長軸長34cm、短軸長27cm、深さ42cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

868号ビット 96-P-25・6-P-1グリッド 長軸長34cm、短軸確認長22cm、深さ36cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

870号ビット 6-Q-1グリッド 長軸長41cm、短軸長36cm、深さ24cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

872号ビット 6-Q-1グリッド 長軸長36cm、短軸長35cm、深さ34cm。覆土は黒褐色土が主体。鉄分が凝集する。

873号ビット 96-P-25グリッド 長軸長34cm、短軸長34cm、深さ31cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

874号ビット 96-P-25グリッド 長軸長39cm、短軸長36cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土が主体。

875号ビット 96-P-25グリッド 長軸長28cm、短軸長24cm、深さ22cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

876号ビット 96-P-25グリッド 長軸長33cm、短軸長32cm、深さ32cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

877号ビット 6-P-1グリッド 長軸長32cm、短軸長24cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

878号ビット 6-P-1グリッド 長軸長34cm、短軸長25cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

879号ビット 6-P・Q-1グリッド 長軸長54cm、短軸長39cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

880号ビット 6-Q-1グリッド 長軸長25cm、短軸長24cm、深さ29cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

881号ビット 96-P-25グリッド 長軸長28cm、短軸長21cm、深さ18cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

882号ビット 96-O-25グリッド 長軸長29cm、短軸長24cm、深さ27cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

883号ビット 6-O-1グリッド 長軸長32cm、短軸長31cm、深さ46cm。覆土は暗褐色土が主体。鉄分が凝集する。

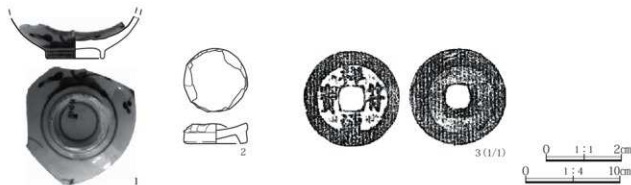
937号ビット 97-F-4グリッド 長軸長48cm、短軸長32cm、深さ27cm。土層観察所見を欠く。

938号ビット 97-E-4グリッド 長軸長60cm、短軸長36cm、深さ23cm。土層観察所見を欠く。

969号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長49cm、短軸長45cm、深さ17cm。土層観察所見を欠く。

970号ビット 96-Q-25グリッド 長軸長44cm、短軸長37cm、深さ21cm。土層観察所見を欠く。

第8項 第4面遺構外出土遺物



第441図 第4面遺構外出土遺物

第9項 第4-2面の畑・溝

平成28年度に調査が行われた調査区南部には、部分的にはあるが第4面遺構のさらに下面に洪水砂層があって、これを確認面とする畑や溝、土坑を独立した面に属する遺構として調査している。下の図1に示した第1区画には位置的にも、各畝間溝の示す方位も第4面第1区画畑とほぼ重なる畝間溝群がある。第2区画では、上面の40号溝の前身をなす溝群があり、土地境界が維持されていたことが示される。上位の1号溝と40号溝の分岐点周辺には第4面7区画畑と同方向を示す畝間溝群と、同方向に長軸を持つ土坑がある一方で、前後関係は把握されていないものの、これに直交するような数条の畝間溝が確認されていて、耕作の単位や様態に変化があったことともうかがわせる。第3区画は調査区南端にあって1号溝東西走部の前身となる31号溝があり、ここから南に4面畑とほぼ重なるような畝間溝がより残されていた。また、東端部ではこれと直交する東西方向の畝を持つ畑が一部ではあるが認められている。限られた範囲の残存ではあるが、この時点においても主体的には第4面とほぼ同じ土地利用がなされていたことが示されるとともに、作物の異なる畑も作られていたことが示される。

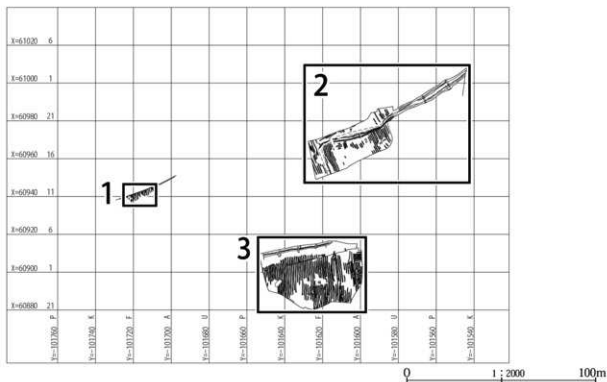
第1区画 調査区西南部にある。上位の第4面第1区画畑と類似する畝間溝群および土坑1基が調査された。

畑 98-C-G-10 ~ 12グリッドに畝間溝群がある。東西16m間に20条以上があって、切り合うものはないものの、溝間距離は一定せず、上端がほぼ接するものがある一方で、1mを越えるものもある。北端は調査区界で切られ、長いものでも3.54mほどしか残っていない。幅20 ~ 40cm、深さ2 ~ 13cmで。方位はおおよそN-8 ~ 10°-Wを示し、等高線にほぼ並行する。上位の第4面第1区画の畑と近い。

93号土坑 98-C-11・12グリッド 長軸長111cm、短軸長64cm、深さ63cm、長軸方位N-12°-W。平面形は北部が膨らんだ長円形、断面形は深い箱ないし鍋状。

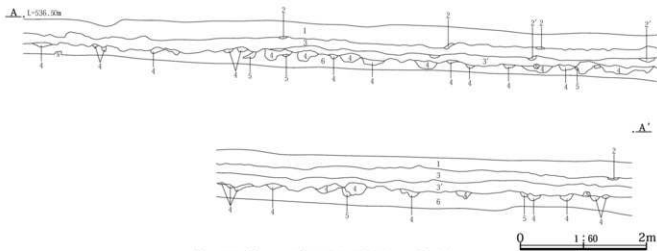
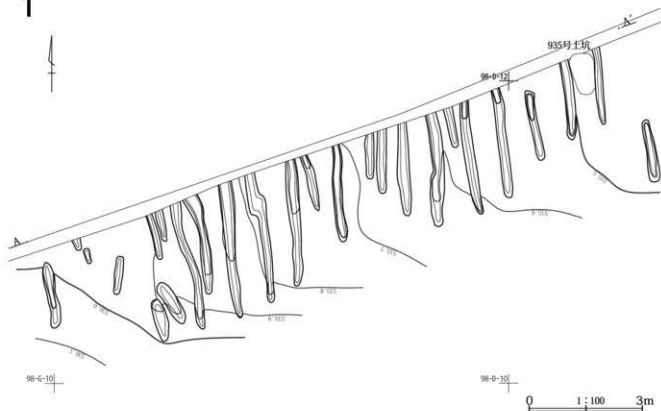
第2区画 調査区中部東よりにあって、上位の1号溝と40号溝の分岐点周辺にあたる。畑、溝、土坑が調査された。

畑 96-V-97-G-13 ~ 22グリッドに畝間溝群がある。確認面標高は532.39 ~ 533.98m。東西約50mに渡るが、主体的な畝間方向はN-15 ~ 20°-Wを示しており、等高線にほぼ並行する。42・43号溝の南北、あるいは第4面1号溝の東西でも比較的揃った方向を示す。各畝間溝は上端幅25 ~ 40cm、確認面からの深さ3 ~ 8cm。溝間距離には粗密があるものの70 ~ 80cmが多く、切り合うも



第442図 第4-2面遺構位置図 1/2000

1

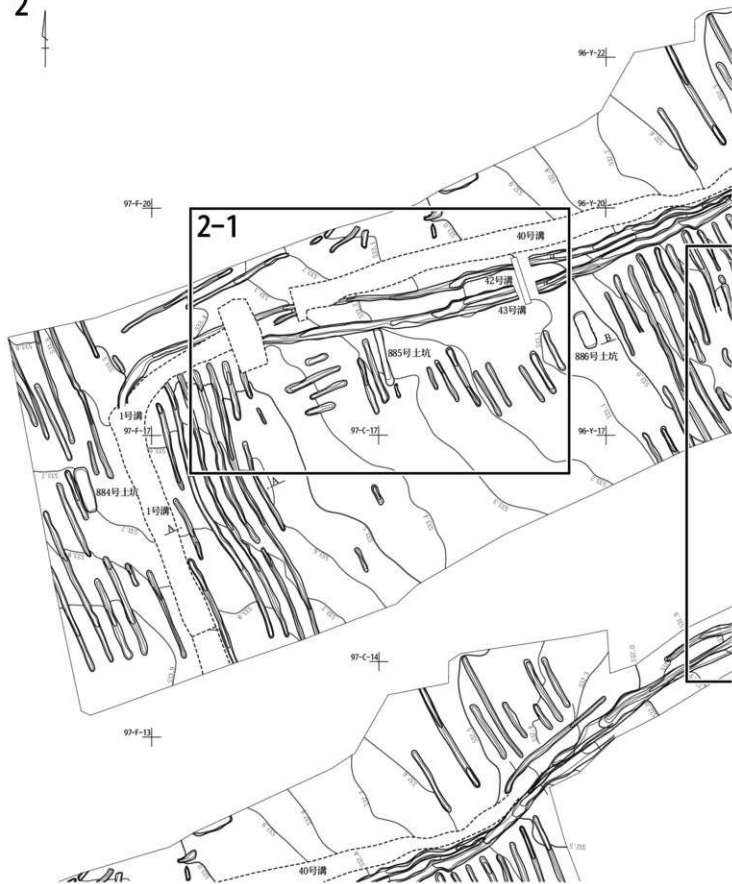


第443図 第4-2面第1区画 平面1/100 断面1/60

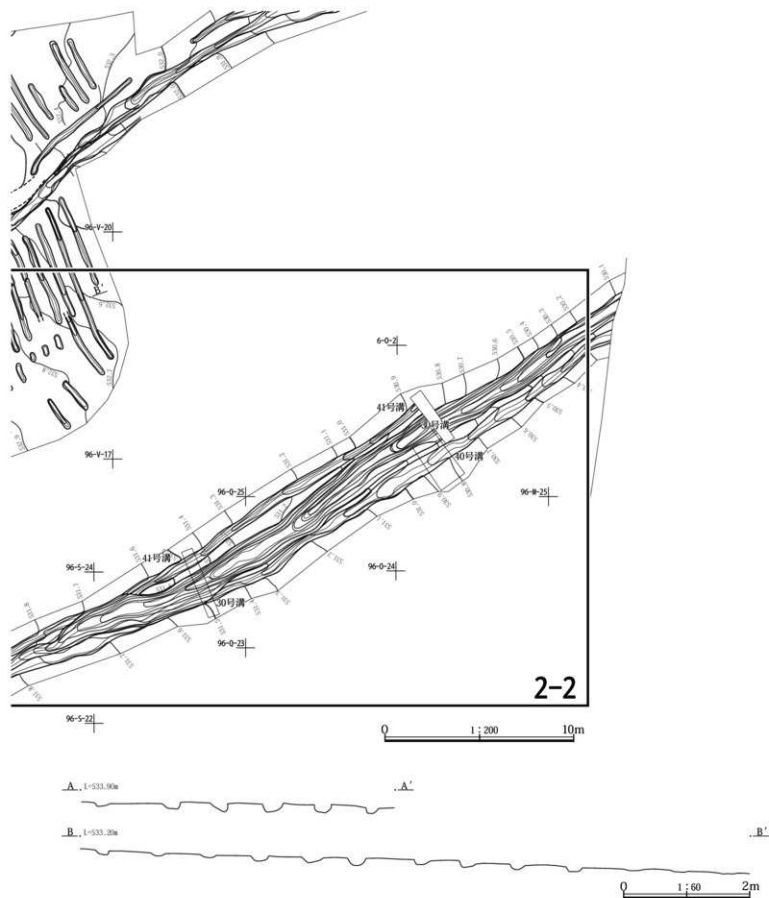


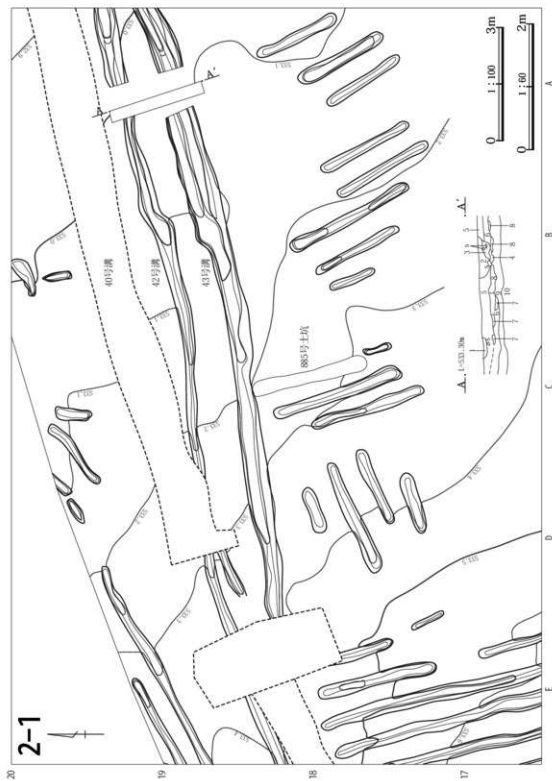
第444図 935号土坑 1/60

2



第445図 第4-2面第2区画 平面1/200 断面1/60

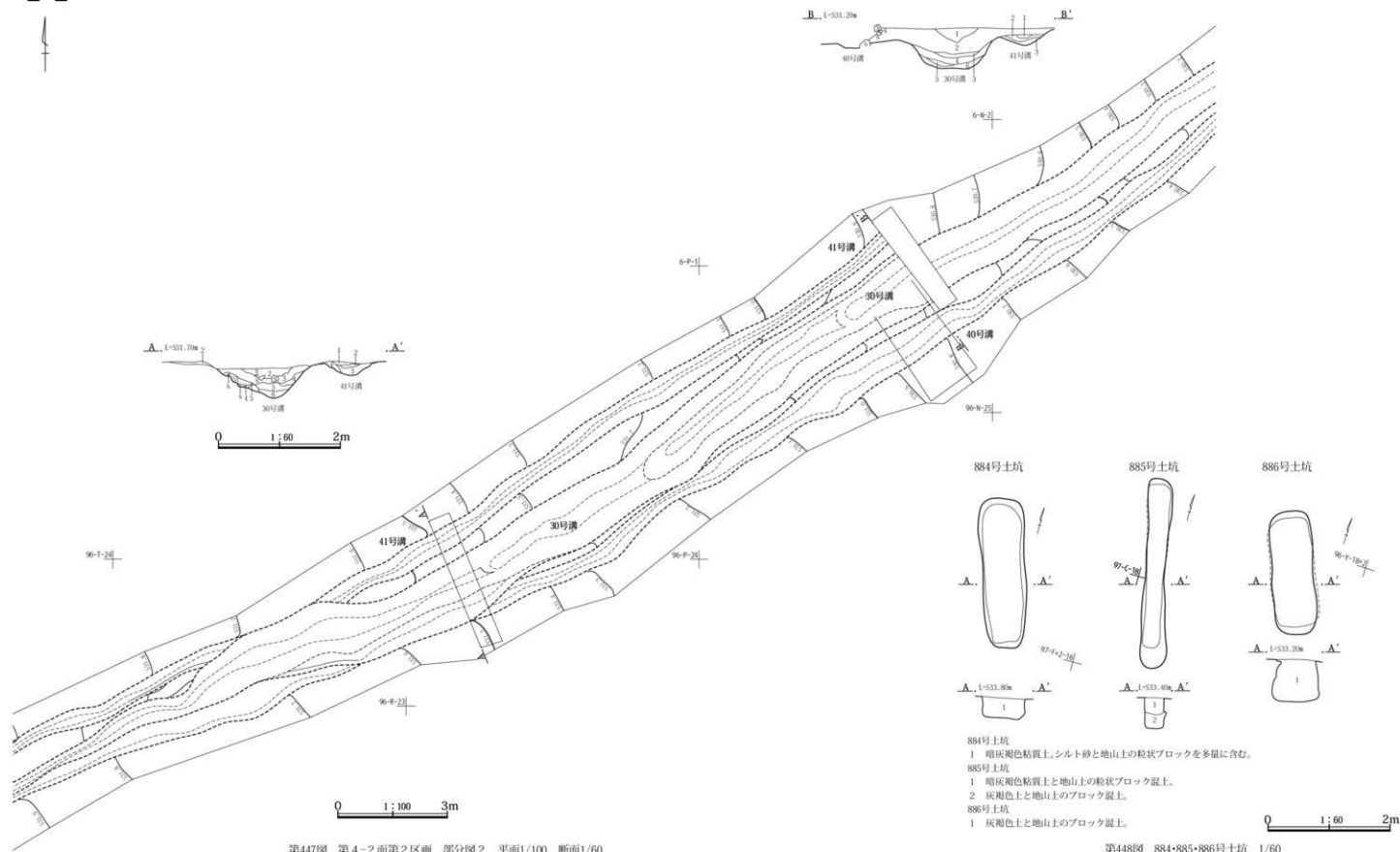




- 1 暗灰褐色砂混じり土。(42号溝)
- 2 ラミナ層状シルト砂層。(43号溝)
- 3 暗灰褐色土とラミナ層状砂層の互層。(43号溝)
- 4 ラミナ層状砂層。(43号溝)
- 5 暗灰褐色土粘質土。
- 6 暗灰褐色粘質土。
- 7 粗砂ブロック。
- 8 灰白色シルト質土。
- 9 淡灰褐色シルト質土。
- 10 黄褐色粘質土。

第46図 第4-2面第2区画 部分図1 平面1/100 断面1/60

2-2



第447図 第4-2面第2区画 部分図2 平面1/100 断面1/60

第448図 884-885-886号土坑 1/60

- 884号土坑
1 暗灰褐色粘質土、シルト砂と地山上の粒状ブロックを多量に含む。
- 885号土坑
1 暗灰褐色粘質土と地山上の粒状ブロック混上。
2 灰褐色土と地山上のブロック混上。
- 886号土坑
1 灰褐色土と地山上のブロック混上。

のではない。長短様々に途切れて、断続的に確認されるが、単独で延長が追えるものは最長15m以上あり、上面の畑と同じく広い畑を単位として耕作する、第2面に類似した作物・営農の形態が想定される。

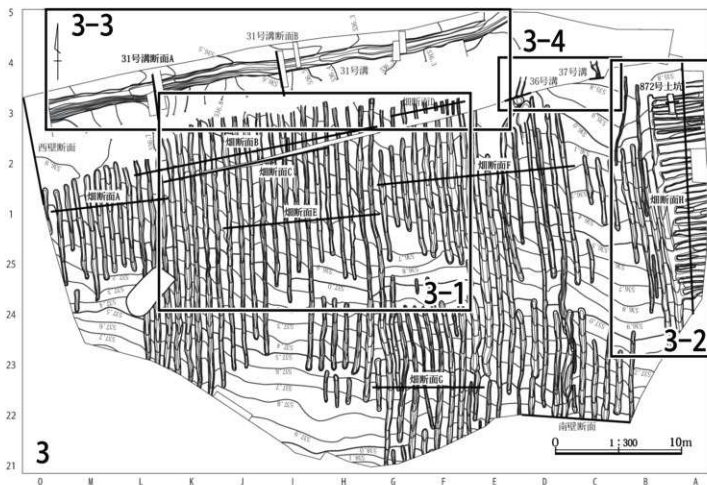
D～F-17・18グリッドにはN-62°-Eほどを示す畝間溝が2条ある。こちらは等高線に直交する方向である。長さ6.2m、最大深7cm、上端幅25～35cm、溝間距離70cm。42号溝に沿うような方向であり、畑外縁で地境線に沿う畝の痕跡とも考えられる。97-C-17グリッドでも、およそN-65°-Eを示す東西方向の畝間溝が4条のみではあるが調査された。最も長いものでも3.2mほどしかなく、深さも5cmと浅いが、上端幅35～38cm、溝間距離80cmは他の畝間溝と変わらない。これは地境からは離れていて、先の2条とは異なり、前後関係はわからないものの東西方向の畝を持つ畑があったことを示すものであろう。

30号溝 東端は6-L-2グリッドで調査区界に切られる。西端は96-V-20グリッドで43号溝と重複し、以西

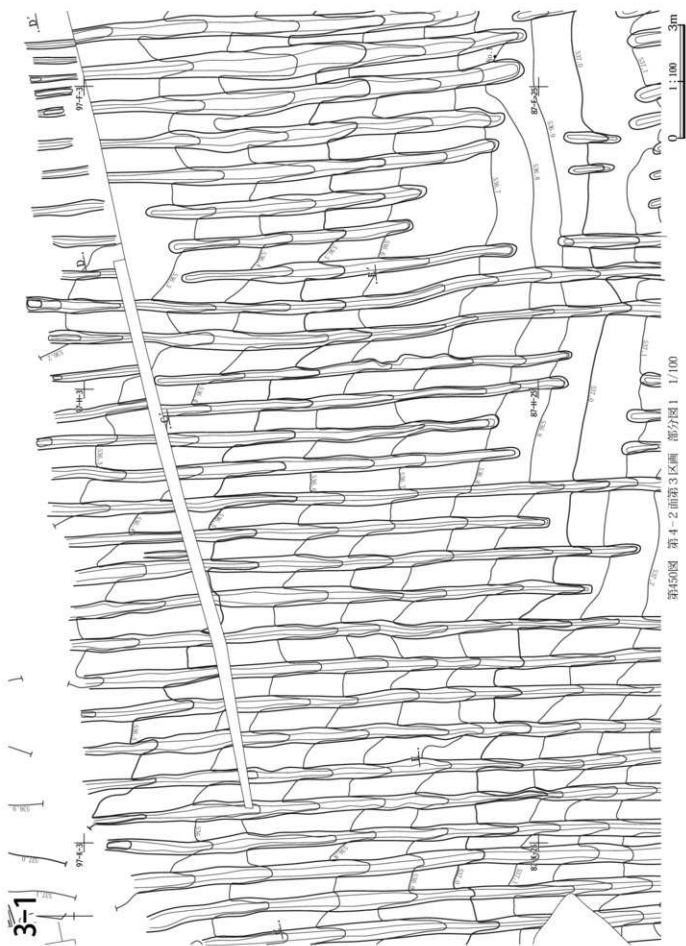
が確認できなくなる。確認長51.5m、方位はおおよそN-53°-Eを示す。上端幅1.0～1.4m、底面標高は西端で532.16m、東端で529.92m、ローム面からの深さは38～60cmほどである。断面形は上部の大きく開いた碗状ないし深い鍋状を呈する。41号溝を切り、40号溝に切られる。

41号溝 西端は6-N-1グリッドでの断面観察トレンチにあり、以东では認められない。96-R-23グリッドで30号溝に切られ、96-T-22でいったん途切れた後、U-22～W-20グリッドにかけて浅い痕跡がたどれる。総延長40.3m、方位はおおよそN-55°-Eを示す。上端幅は最大で46cmほど。底面標高は西端で532.18m、東端で530.77m、ローム面からの深さは最大で20cmほどである。

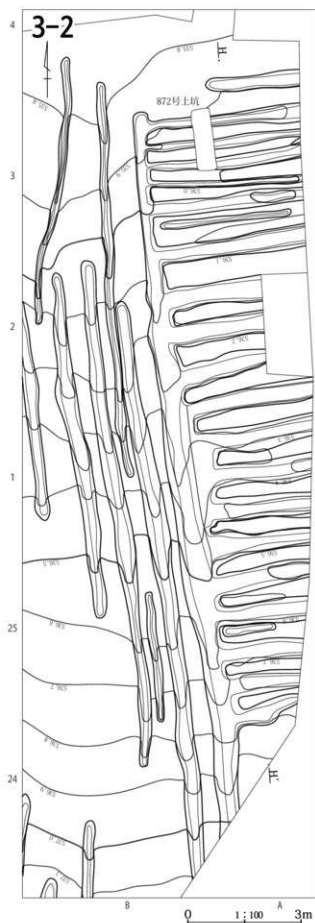
42号溝 東端は96-V-20グリッドで43号溝に切られる。97-C-18グリッドで40号溝に切られるが、F-18グリッドまで西に延び、ここで南に方向を変える。F-17グリッド内で上面の1号溝に切られる。総延長34.5m、東西走部はおおよそN-85°-Eを示す。上端幅は最大で56cmほど。



第449図 第4-2面第3区画 1/300



第450図 第4-2面第3区画 部分図1 1/100



第451図 第4-2面第3区画 部分図2 1/100

底面標高は西端で533.48m、東端で532.43m、ローム面からの最大深さ10cmほどで断面形は浅い皿状をなす。覆土は砂を混じた暗灰褐色土。

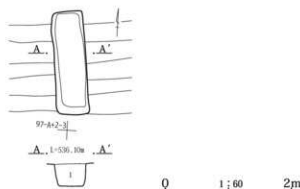
43号溝 東端は96-U-21グリッドで30号溝と重複して確認できなくなる。西端は97-D-18グリッド。延長35m、方位は西部でN-85°-E、東部では北に湾曲してN-45°-Eを示す。上端幅は55~60cm、底面標高は西端で533.48m、東端で532.16m、ローム面からの最大深さは14cmほどで、断面形は碗状。覆土にはシルト質砂土および砂土のラミナ状堆積が見られる。

884号土坑 97-F・G-15・16グリッド 長軸長245cm、短軸長76cm、深さ37cm、長軸方位N-19°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形で、断面形は深い鍋状を呈す。畝間溝と同方向を探る。

885号土坑 97-B・C-17・18グリッド 長軸長310cm、短軸長44cm、深さ54cm、長軸方位N-15°-W。平面形は南北に延びる狭長な溝状。断面形は深い鍋状で上部が大きく開き、陥穴と類似した形態である。部分的に下位が膨らむ。畝間溝と同方向を探る。

886号土坑 96-Y-18グリッド 長軸長202cm、短軸長69cm、深さ69cm、長軸方位N-21°-W。平面形は南北に長い隅丸長方形、断面形は底部が膨らむ弱い袋状を呈す。

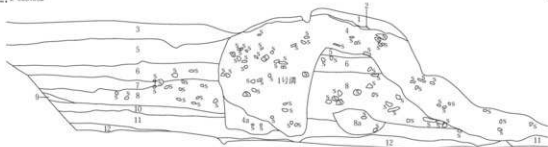
第3区画 調査区の南端にある。北辺を画す31号溝は、第4面の1・25号溝、第3面の22・23号溝を経て第2面の4号道に受け継がれる基本的な地割り境界をなすものであろう。この南には第4面と同じ南北方向の畝間溝群が広がり、東端ではごく部分的ながら東西方向に延びる、方向も形態も異なる畑がある。東部にはこの畑を切る、形の整った長方形土坑があるが、これは南北の長軸方向を探る。



第452図 872号土坑 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

A. 1-538.60m



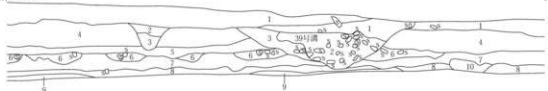
32号溝

- 1 淡褐色土。シルト質。
- 2 淡褐色砂混じり土。砂礫を少量含み、特に下層に認められる。
- 3 淡黄灰色土と地上土と砂礫層の互層。5～10cm大の礫を多量に含む。洪水堆積層であろう。
- 3a 地上土とラミナ堆積砂礫層の互層。3層の一部か？
- 4 黒褐色シルト質土。大きな炭化物和軽石粒を多く含む。
- 5 暗褐色砂混じり土。大きな炭化物和軽石粒を少量含む。
- 6 黒褐色砂混じり土。炭化物和軽石粒を多く含む。
- 7 暗褐色砂混じり土。砂礫を多く含む。特に北側では15cm大の礫を多量に含む。
- 7a 暗褐色土とラミナ堆積砂礫層の互層。
- 8 淡褐色砂混じり土。
- 9 淡褐色シルト質土と砂礫層の互層。
- 10 黒灰褐色シルト質土。均質。
- 11 明褐色粘質土。

0 1:60 2m

第453図 第4-2面第3区画西壁断面図 1/60

A. 1-538.60m



南壁断面

39号溝

- 1 淡灰褐色土。1面畑耕土。
- 2 暗褐色土。シルト・砂礫を多量に含む。
- 3 ラミナ堆積黄白色シルト砂。下層に砂礫を多く含む。
- 4 暗褐色土。砂礫を多く含む。
- 5 灰褐色土。砂礫を多く含む。
- 6 砂礫層。
- 7 暗灰褐色土シルト質土。3-2面畑耕土。
- 8 黒褐色粘質土。
- 9 黄褐色粘質土。
- 10 7層とラミナ堆積シルト・砂礫の混土。溝か？

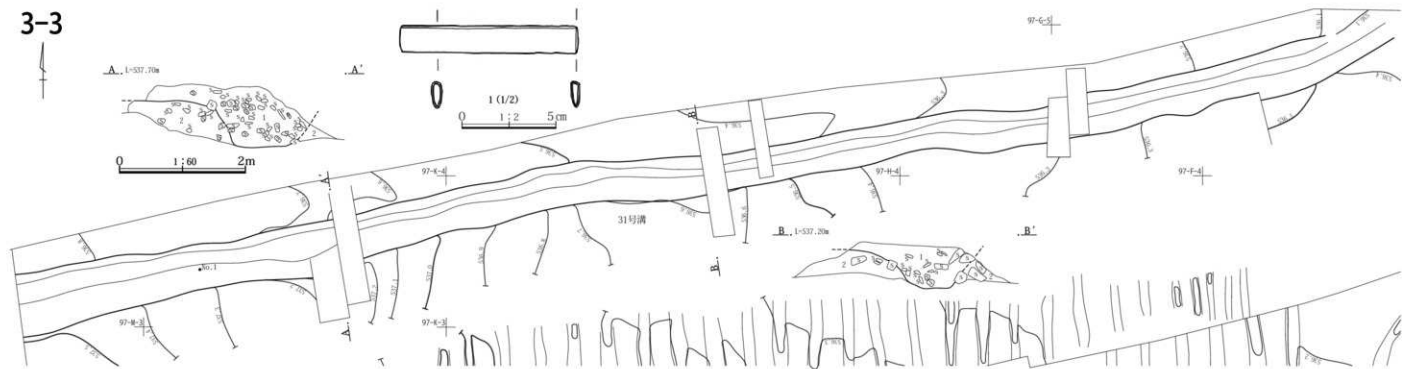
0 1:60 2m

第454図 第4-2面第3区画南壁断面図 1/60

畑 87-A～M-21～25・97-A～M-1～3グリッドにかけて。東西52.5m、南北29mに渡って広がる。南端の確認面最高位では標高538.2m、北端の最低位では535.76m。西部に大きく広がる南北方向の畝間溝群と、調査区東端部で確認された東西方向の畝を持つ畑の二者がある。前者は東西48.5m間にN-3～5°-Wとほぼ南北方向に延びる畝間溝が50条以上残されるもので、途切れたり、蛇行して切り合う部分も見られるものの、一連

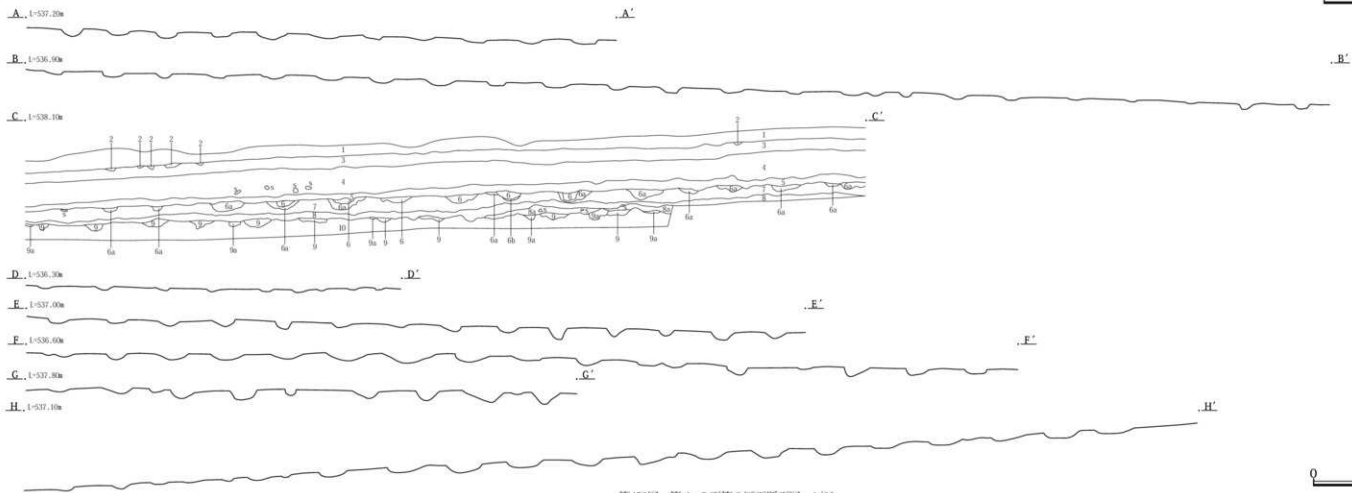
の耕作行動の結果と見られる。西端、南端は調査区界で切られ、東端は後者の畝間溝群に達する。各畝間溝は上端幅32～35cmで比較的良好に揃い、確認面からの最大深さは13cmほどである。東部では湾曲・蛇行して数条が切り合うものもあるが、西部では途切れつつも南北境界までの連続をたどることができるものが多く、確認最大長は29mに達する。畝間溝間距離は部分図1で示した範囲で平均102cmである。

3-3



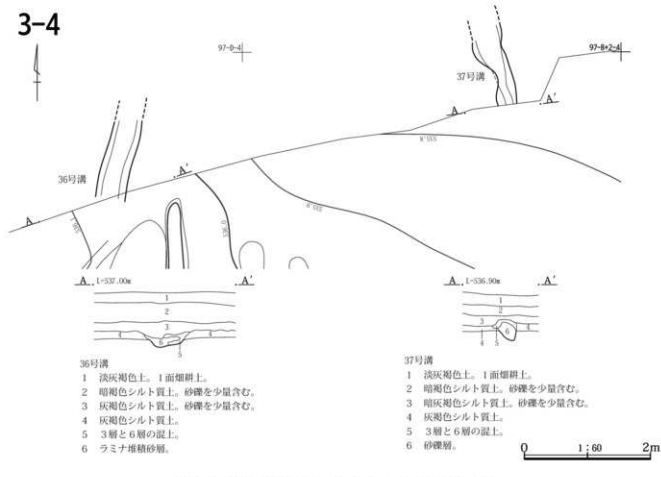
第455图 第4-2面第3区画 部分图3 31号沟 平面1/100 断面1/60·同出土文物1/2

0 1:100 3m



第456图 第4-2面第3区画断面图 1/60

0 1:60 2m



第457図 第4-2面第3区画 部分図4 36号・37号溝 1/60

東端の畑は作付け面である幅広の畝と畝間溝および畝間溝の西端を繋ぐように切られた南北方向の溝で構成される。東部は調査区外に延びる。南北32m間に18条の畝、19条の畝間溝がある。北にやや離れて1条の畝間溝があるが、南の畝間溝との間は明確な畝としては捉えられない。南端部では畝が作られない部分でも南北方向の溝が調査区外まで連続する。畝は等高線とほぼ平行して作られ、 $N-80^{\circ}-E$ ほどを示す。各畝の広狭には35～80cmほどとややばらつきがあるが、北部が広く、畝中央で播種に関わるかと思われる狭い溝が観察されるものもある一方、南部では狭く、畝の肩部が崩れるものが多い。畝間溝底部から確認までの深さは最大で13cmほどである。

31号溝 97-D-M-2～4にかけて東西走る。東西ともに調査区界に達する。確認長37m、方位は $N-80^{\circ}-E$ を示す。上端幅は西端が一番広く1.8mほど。確認面標高は西端が536.78m、東端が536.35m、底面標高は西端で536.68m、東端で536.14m。深さは西端で100cm。断面形は上部が開く深い竪状で、覆土には礫を多く含む。

36号溝 97-D-3グリッドにある。上端幅45cm、確認長12.5m、確認面標高536.14m、確認面からの最大深さ13cm。断面形は碗状を呈し、底面をラミナ構造を持つ砂礫の堆積が覆う。走行は $N-17^{\circ}-E$ を示す。南北ともに調査区界にあって、延長は確認されていない。

37号溝 97-B-C-3・4グリッドにある。上端幅33～50cm、確認長1.3m、方位はおおよそ $N-18^{\circ}-W$ 。確認面標高536.15～536.10m、確認面からの最大深さ23cm。断面形はややゆがんだU字状を呈し、底面の砂礫層が盛り上がって、その上面を砂礫を含む暗灰褐色シルト質土が覆うとの調査所見がある。写真記録による形態、覆土からは動物生痕内に砂礫が流入したものように見える。

872号土坑 97-A-3グリッド 長軸長164cm、短軸長51cm、深さ43cm、長軸方位 $N-8^{\circ}-W$ 。平面形は南北に長い長方形。やや深い箱形ないし弱い逆台形。西側畑の畝間溝と近い方向を採り、周囲の畝間溝とは直交する。

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

第27表 遺構一覧表

第1面					
平坦面 No	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	挿図	Pl.
1	8-O-P-5・6	610×106×43/N-62°-E			12 3
2	8-O-P-4・5	640×105×44/N-65°-E			12 3
3	8-N-O-4	383×160×50/N-65°-E			12 3
4a	8-N-O-P-3・4	330×90×52/N-68°-E			12 3
4b	8-N-O-P-3・4	335×105×46/N-63°-E			12 3
5	8-N-O-2・3	670×103×46/N-64°-E			12 3
6	8-N-O-2・3	625×105×58/N-64°-E			12 3
7	8-M-N-O-1・2	665×120×64/N-64°-E			12 2
8	98-N-25, 8-M-N-O-1	673×120×39/N-64°-E			12 2
9a	98-M-N-25, 8-M-1	340×120×65/N-68°-E			13 2
9b	98-M-N-25, 8-M-1	755×145×58/N-64°-E			13 2
9c	98-M-N-25, 8-M-1	675×140×57/N-63°-E			13 2
10	98-M-N-24・25	755×145×58/N-64°-E			13 2
11	98-L-N-23・24	675×140×57/N-63°-E			13 2
12	8-M-O-6・7	802×100×41/N-65°-E			14 3
13	8-M-N-6・7	705×90×42/N-64°-E			14 3
14	8-M-N-5・6	665×88×35/N-64°-E			15 2
15a	8-L-N-5	253×105×42/N-71°-E			15 2
15b	8-L-N-5	255×95×48/N-63°-E			15 2
16	8-L-M-4・5	532×90×47/N-66°-E			15 2
17	8-L-4	263×110×42/N-67°-E			15 2
18	8-L-3	282×95×36/N-67°-E			15 2
19a	8-L-2・3	120×130×42/N-60°-E			15 2
19b	8-L-2・3	182×104×43/N-65°-E			15 2
20	8-K-L-2	452×140×52/N-60°-E			15 2
21	8-K-L-1	243×150×56/N-63°-E			16 2
22	98-K-L-25, 8-K-L-1	405×125×55/N-65°-E			16 2
23	98-K-25	345×130×49/N-59°-E			16 2

第2面

平坦面 No	グリッド	長軸×短軸(m)	遺物等	挿図	Pl.
1	98-Y-25	(1.76)×(1.60)			116
2	98-X-Y-22・23	1.98×1.90			116 20
3	98-X-19	2.12×2.08			116 20
4	98-X-15・16	2.05×2.00			116
5	98-W-12・13	1.78×1.62			116 20
6	98-V-W-9・10	(1.60)×(0.55)			
7	98-V-W-24	1.98×1.93			117 20
8	98-U-V-20	2.06×(1.80)			117 20
9	98-T-U-16	1.92×1.65			118 21
10	98-T-U-12・13	1.84×1.80			118 21
11	8-T-1	(1.65)×(1.62)			21
12	98-S-23	(1.70)×(0.75)			21
13	98-R-20	2.05×1.83			118 22
14	98-Q-R-16・17	2.15×1.95			118 22
15	98-P-Q-13	(1.88)×(0.55)			
16	8-Q-R-2	(1.80)×(1.45)			
17	98-Q-24・25	2.18×2.15			119
18	98-P-21	(1.85)×(1.80)			
19	98-O-18・19	1.93×1.70			119
20	8-N-O-2・3	(0.75)×-			
21	98-M-24	(1.32)×(1.10)			
22	98-L-19・20	1.62×1.60			119
23	8-F-C-3・4	(1.66)×(0.80)			
24	8-F-1	(1.76)×(1.65)			
25	98-E-23	(2.00)×1.90			119

26	8-C-10・11	(0.75)×-			
27	7-T-1	1.50×(0.66)			
28	7-Q-1, 97-Q-25	2.25×(2.10)			119
29	7-M-1, 7-K-L-1, 97-M-25	2.00×1.90			119
30	7-K-L-1, 97-K-L-25	(1.95)×(1.79)			119 22
31	7-H-1-1・2	1.90×1.90			119
32	7-H-1, 97-H-25	2.02×(1.60)			
33	7-E-F-7	(2.30)×2.05			120
34	7-C-D-1	1.98×(1.75)			120 22
35	7-B-2・3	2.75×2.70			120
36	6-W-X-6	1.80×(0.85)			120
37	6-W-3	1.78×1.72			120
38	98-N-O-7・8	3.00×2.80			120
39	98-M-N-4・5	2.25×(1.70)			120
40	98-L-M-9	(2.27)×(1.00)			120 22
41	98-J-K-3・4	2.42×2.26			121
42	98-I-J-11・12	2.40×2.35			121 22
43	98-G-13	2.02×(1.70)			121 23
44	98-F-8	1.70×(1.25)			121
45	98-D-15	2.02×1.80			121 11
46	98-C-11	2.00×1.90			122
47	98-B-C-7	2.35×(2.25)			122
48	97-Y-20, 98-A-20	1.65×(1.00)			122
49	97-Y-15	1.92×1.90			122 11
50	97-X-Y-11・12	1.92×1.87			122
51	97-X-7・8	1.95×1.85			122
52	97-W-5	2.29×2.00			122
53	97-U-V-5・6	2.42×2.02			123
54	97-U-V-19	2.12×2.02			123 11
55	97-T-9・10	2.35×2.28			123
56	97-S-2	2.53×2.10			123
57	97-S-T-21・22	1.83×1.80			123
58	97-T-16	(1.40)×-			124
59	97-R-9	2.42×2.39			124
60	97-Q-2・3	2.28×2.04			124
61	97-P-19・20	1.80×(1.60)			124
62	97-O-16・17	1.93×1.88			124
63	97-O-13	2.25×1.99			124
64	97-N-O-10・11	2.30×2.18			124
65	97-N-6・7	1.95×1.78			125
66	97-N-3	1.96×1.63			125
67	97-M-20・21	1.66×1.66			125
68	97-K-19	(1.96)×1.80			125
69	97-J-K-11	1.9×1.75			125
70	97-J-7	1.95×1.81			125
71	97-I-J-4	1.93×1.65			125
72	97-G-H-15	2.38×(2.05)			126
73	97-F-8	1.66×1.50			126
74	97-F-4・5	2.15×2.05			126
75	97-B-23	2.05×1.95			126
76	96-X-22	2.00×1.86			126 23
77	6-R-1, 96-R-25	2.10×(1.50)			126
78	97-C-16・17	2.25×2.25			126
79	96-X-Y-12・13	1.60×1.43			126
80	96-Y-11, 97-A-11	2.33×2.30			127
81	96-Y-8	1.93×1.65			127
82	96-Y-5	1.55×(0.73)			127
83	96-W-X-18	1.95×(1.15)			127
84	96-W-16・17	2.06×1.90			127
85	96-V-14	1.96×1.90			127
86	96-U-V-12	(1.30)×1.48			127
87	96-U-9・10	1.65×1.50			127
88	96-S-T-20	1.76×1.58			128
89	96-R-5・16	1.76×1.66			128
90	96-R-14	1.9×1.9			128

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

91	96-Q-10	1.86×(1.55)		128	
92	96-O-P-17	1.65×1.55		129	
93	96-O-15	1.7×1.72		129	
94	96-N・O-13・14	2.03×1.64		129	
95	96-M-12・13	1.71×1.63		129	
96	96-M-N-19	1.80×1.70		129	
97	96-H-12	1.68×(1.43)		129	
道	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	検出	PL.
2	7-A~F-6、 G・H-5・6、 1-5	0.35~0.4×41.5		131	25
3	98-F・G-23~25、 8-G~J-1~9	0.28~0.5×49.45		132	26
4	97-G~H-18~21	0.7~2.2×134.3		133	25
5	97-J~L-18-19	0.3~0.45×12		143	30
6	97-B~F-20	0.3~0.45×12		143	30
7	96-W~Y-25、 97-A~Y-24・25、 98-A~T-9~24	0.7~1.8×281		144	30
8	6-N・O-2~ 96-J-11	1.7~2×70		165	33
9	97-A-3・4	0.8~1.1×9.0		133	28
水路	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	検出	PL.
1	96-W~Y-25、 97-A~Y-24・25、 98-A~T-9~24	0.75~1.3×281	月	144	30
2	97-D-14~ 6-L-2	0.6~0.65×108.3		168	33
石垣	グリッド	高さ×長さ(cm)	遺物等	検出	PL.
2	96-D~F-25/T ~Y-25/F~H- 24・97-A~D- 25・6-T/U-1	0.7×98		159	31
4	6-J・K-5	0.7×6.6		163	30
建物	グリッド	長軸×短軸(cm)	遺物等	検出	PL.
2	98-S・T-10~12	4.0×3.72		183	31
7	97-X-25・98-A-25	5×(3.3)		188	39
8	98-K~M-15・16	(5.48)×5.4		189	40
19	6-K~M-1・2	8.4×5.88		190	41
掘立柱 建物	グリッド	長軸×短軸(cm)	遺物等	検出	PL.
20	97-S・T・U -24・25	14.2×9		192	42
土坑	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	検出	PL.
380	97-G-23	185×156×78/N-35°-W			
ピット	グリッド	長軸×短軸(cm)	遺物等	検出	PL.
348	98-J-25	15×11×22	杭跡	158	
349	98-K-25	32×(12)×14	杭跡	158	
350	98-J-25	8×6×13	杭跡	158	

第3面

掘立柱 建物	グリッド	長軸×短軸(m)	遺物等	検出	PL.
21	98-P-1~8、 98-G・H-19・20	4.76×2.94		216	53
欄列	グリッド	長さ(m) 柱数	遺物等	検出	PL.
5	97-J-23/24	4.36 4本		218	54
6	97-K-23/24	4.28 4本		218	54
ピット 列	グリッド	長さ(m) 柱数	遺物等	検出	PL.
98-L・M-14・15		7.4 6本		219	55
小竈	グリッド		遺物等	検出	PL.
98-H~J-23・24		10箇所の凹み、焼土 土製羽 口・甕 水通貫		221	56

溝	No	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	検出	PL.
1		96-U~Y-25、 97-A~G-25、 H-22~25	0.9~1.46×66	陶磁器 片・甕 水通貫・ 雁首瓦	223	59
2		96-V・W-25、 6-T~V-1	0.45~0.5×8		223	
4		96-R-8~11	0.55~0.8×10.5		225	60
16		96-M-5~L-9	0.3~0.4×16		226	60
22			0.5~0.6×37.4		227	60
23			0.5~0.6×23.4		227	60
石列	No	グリッド	長さ(m) 石数	遺物等	検出	PL.
1		97-H-23	1.6 4石		223	
焼土	No	グリッド	長軸×短軸×厚さ(cm)	遺物等	検出	PL.
26		7-D-4	35×21×2		228	61
41		96-N-16	82×72×6		228	61
42		96-N-15	45×45×1		228	61
集石	No	グリッド	長軸×短軸×深さ(m)	遺物等	検出	PL.
11		98-L-17~N-16	12.2×1.6×0.12		228	62
12		98-N・O-14	1.2×0.78×0.14		228	62
19		96-R・S-20	2.2×0.8×0.37		228	62
復旧溝	No	グリッド	長軸×短軸×深さ(m)/ 長軸方位	遺物等	検出	PL.
67		97-K・L-9	1.95×0.4×32/ N-23°-E		214	52
土坑	No	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	検出	PL.
507		98-J-23・24	195×90×19/ N-10°-W	甕・土 水通貫	221	58
147		7-Q-11	223×66×78/N-10°-W		234	62
150		7-N-11・12	151×60×37/N-5°-W	台石・ 磨石	234	63
158		7-K-12	294×63×70/N-1°-W	64	234	
160		7-I-11	254×50×28/N-4°-E		234	63
180		7-Q-10	376×48×34/N-10°-W		234	63
181		7-Q-9・10	280×62×19/N-10°-E		234	63
184		7-R-9	248×64×31/N-3°-W		234	63
185		7-S-10	172×80×33/N-13°-W		234	63
186		7-S-9・10	255×70×37/N-20°-W		234	63
187		7-P-8	166×50×33/N-6°-W		234	63
200		97・7-R-25、 R・S	(540)×(60)×5/ N-23°-W		234	63
201		97・7-R-25、 R-1・2	(802)×77×71/ N-11°-W		234	64
202		7-Q-2、 R-1・2	268×66×42/N-78°-E		234	64
203		7-Q-2、 R-1・2	406×55×40/N-78°-E		234	64
204		7-Q-2	183×62×47/N-76°-E		234	64
205		7-Q-2	229×53×20/N-17°-W		234	64
210		7-O-2	224×48×10/N-21°-W		234	64
223		7-K-3	245×64×62/N-11°-W		236	64
242		7-P-2・3	237×84×61/N-8°-W		236	64
244		7-Q-4	186×52×16/N-7°-W		236	64
245		7-P-4・5	(228)×70×7/ N-2°-W		236	64
249		7-O-4・5	195×56×33/N-5°-W		236	64
263		7-P-6・7	282×79×33/N-0°		236	64
264		7-S・T-9	291×46×54/N-11°-W		236	65
267		7-I-4	235×47×16/N-0°		236	65
269		7-Q-7、 R-7・8	370×74×36/N-12°-W		236	65
273		7-V-8	136×44×5/N-2°-W		236	65
275		7-W-9	213×76×64/N-13°-W	縄文土 器片	236	65
276		7-X-8	138×50×13/N-9°-N		236	65
277		7・8・Y・A・8	291×53×52/N-83°-E	赤生土 器片	236	65
289		7-U-5	(77)×41×63/N-89°-W		236	65
290		7-U-5	214×46×15/N-78°-E		237	65
291		7-U・V-5	382×51×37/N-70°-E		237	65
292		7-W-2	136×46×34/N-74°-E		237	66

第2章 調査された遺構と遺物

293	7-X-4	199×91×48/N-5 ⁺ -W	237	66
294	7-X-Y-5・6	171×56×65/N-5 ⁺ -W	237	66
300	98-W-X-12	340×76×93/N-81 ⁺ -E	237	66
301	98-W-X-12・13	206×67×149/N-88 ⁺ -E	237	66
302	98-X-17・18, Y-17	(266)×68×78/ N-13 ⁺ -W	237	66
303	98-X-18, Y-17・18	(220)×68×103/ N-13 ⁺ -W	237	66
304	98-W-15	226×72×91/N-75 ⁺ -E	237	66
305	98-U-V-13・14	77×71×42/N-86 ⁺ -E	237	66
306	98-U-13・14	77×64×8/N-20 ⁺ -W	237	66
307	98-U-14	85×75×11/N-52 ⁺ -E	237	66
308	98-T-14	75×58×7/N-22 ⁺ -W	237	66
309	98-T-14	93×80×9/N-37 ⁺ -E	237	66
310	98-U-14・15, V-14	86×80×6/N-28 ⁺ -E	239	67
311	98-V-15・16	82×77×7/N-7 ⁺ -E	239	67
312	98-S-14	154×84×12/N-51 ⁺ -E	239	67
313	98-R-14	228×100×11/N-38 ⁺ -W	239	67
314	98-R-16, S-15・16	244×76×18/N-72 ⁺ -E	239	67
315	98-U-V-16	136×111×41/N-70 ⁺ -E	239	67
316	98-U-16・17, V-17・18	464×80×50/N-16 ⁺ -W	239	68
326	98-Q-16	85×70×67/N-38 ⁺ -W	239	68
327	98-Q-15	75×71×10/N-65 ⁺ -W	239	68
328	98-P-Q-15・16	83×66×9/N-26 ⁺ -W	239	68
329	98-P-15	81×76×8/N-89 ⁺ -W	239	68
330	98-Q-14	84×54×8/N-32 ⁺ -W	239	68
331	98-P-17	75×67×6/N-14 ⁺ -E	239	68
332	98-P-17・18	77×71×9/N-3 ⁺ -W	239	68
333	98-O-17	70×67×4/N-19 ⁺ -W	239	68
334	98-O-18	65×53×7/N-58 ⁺ -E	239	68
335	98-O-18	71×64×8/N-49 ⁺ -W	239	68
336	98-N-O-18	73×71×8/N-37 ⁺ -E	239	68
337	98-O-18	54×50×4/N-8 ⁺ -E	239	68
338	98-O-18	64×49×9/N-47 ⁺ -E	239	68
339	98-N-O-18	65×56×4/N-7 ⁺ -E	239	68
340	98-M-20	125×54×4/N-68 ⁺ -E	239	68
341	8-H-11	80×50×51/-	240	68
344	8-T-8・9	383×52×58/N-18 ⁺ -W	240	68
348	98-Q-R-17・18	202×55×47/N-12 ⁺ -W	240	68
355	98-I-20～22, J-22	803×65×9/N-9 ⁺ -W	240	68
363	98-I-21	250×78×90/N-2 ⁺ -W	240	69
364	98-C-22～24	744×62×15/N-15 ⁺ -W	240	69
370	8-F-25・1	253×48×69/N-73 ⁺ -E	240	69
376	98-R-14	200×50×21/N-78 ⁺ -E	240	69
377	98-S-14	193×49×20/N-10 ⁺ -W	240	69
387	97-G-H-18・19	(276)×106×19/ N-21 ⁺ -W	240	69
388	97-H-18, I-18・19	(220)×148×82/ N-19 ⁺ -W	240	69
389	97-H-19～22, I-22	843×88×76/N-8 ⁺ -W	242	69
390	97-Q-23・24	543×90×72/N-12 ⁺ -W	242	69
391	97-Q-23・24	492×73×85/N-23 ⁺ -W	242	69
392	97-M-N-20・ 21, N-22	798×76×91/N-16 ⁺ -W	242	70
393	97-N-18	130×129×127/ N-88 ⁺ -E	242	70
394	97-J-21	56×48×38/N-68 ⁺ -W	242	70
395	97-R-20	80×71×10/N-20 ⁺ -W	242	70
396	97-O-20・21, P-21・22	803×78×9/N-18 ⁺ -W	242	70
397	97-L-19・20	463×82×93/N-9 ⁺ -W	242	71
398	97-L-18・19	(367)×55×102/ N-22 ⁺ -W	243	71
399	97-L-18・19	(387)×51×56/ N-19 ⁺ -W	243	71

400	98-I-16, J-15・16	138×77×113/N-64 ⁺ -W	243	71	
401	98-J-K-15	236×56×29/N-47 ⁺ -W	243	71	
402	98-G-14～16, H-16	814×58×53/N-18 ⁺ -W	243	71	
403	98-D-17・18	(221)×56×111/ N-10 ⁺ -W	243	71	
417	97-R-18～20	839×72×77/N-20 ⁺ -W	243	71	
418	97-S-17・18, T-17～20	1014×80×107/ N-15 ⁺ -W	243	71	
419	97・98-Y-20～ 22, A-21・22	792×62×88/N-15 ⁺ -W	245	71	
420	97-Y-22	100×55×95/N-57 ⁺ -W	245	72	
422	97-U-21・22	286×44×12/N-13 ⁺ -W	245	71	
449	7-Q-12	130×66×56/N-4 ⁺ -W	陶器片	245	72
450	7-Q-12・13	160×50×53/N-0 ⁺	245	72	
454	7-P-13	(138)×60×/N-5 ⁺ -W	245	72	
459	7-N-12	192×73×20/N-2 ⁺ -W	245	72	
476	97-X-Y-25	(113)×(105)×89/ N-4 ⁺ -W	245	72	
477	7-P-Q-25	338×57×14/N-22 ⁺ -E	245	72	
478	7-O-25, O-1	184×72×64/N-75 ⁺ -E	245	72	
480	98-K-15	162×63×58/N-75 ⁺ -W	245	73	
484	98-M-14	118×68×18/N-64 ⁺ -E	245	73	
487	97-S-T-24・25	463×84×45/N-18 ⁺ -W	245	73	
500	98-U-9	(92)×47×68/N-4 ⁺ -W	245	73	
501	97-T-12・13	148×66×49/N-9 ⁺ -W	245	73	
502	97-S-T-12	482×49×54/N-76 ⁺ -E	245	73	
504	97-F-G-24	186×57×11/N-82 ⁺ -E	245	73	
505	97-96Y-24/25, 97A-25	323×62×27/N-21 ⁺ -W	247	73	
508	97-K-22	156×62×19/N-16 ⁺ -W	247	74	
509	97-K-23	148×107×43/N-74 ⁺ -E	石鏝	247	74
510	97-K-23	(136)×(76)×10/ N-71 ⁺ -E	247	74	
511	97-I-23	95×57×9/N-80 ⁺ -E	247	74	
513	6-T-8/9	391×61×26/N-12 ⁺ -W	247	74	
514	6-T-8/9	214×68×19/N-14 ⁺ -E	247	74	
517	6-T-7	197×75×25/N-9 ⁺ -W	247	74	
521	6-S/T-7	433×54×27/N-85 ⁺ -E	247	74	
522	6-S/T-7	448×85×18/N-78 ⁺ -E	247	74	
523	6-R/S-6	531×83×12/N-83 ⁺ -E	247	75	
524	6-S-6	358×59×28/N-83 ⁺ -E	247	75	
525	6-R-4/5	(82)×47×22/N-73 ⁺ -E	247	75	
526	6-S-4	221×50×5/N-81 ⁺ -E	247	75	
527	6-S/T-5	514×68×15/N-77 ⁺ -E	247	75	
532	6-W-10/11	198×54×41/N-12 ⁺ -W	247	75	
533	6-W-10/11	161×56×40/N-5 ⁺ -W	247	75	
538	6-V-9/10	277×70×36/N-1 ⁺ -E	248	75	
542	6-W-11	202×52×47/N-6 ⁺ -W	248	75	
548	7-D/E-2	144×114×31/N-87 ⁺ -W	248	75	
550	97-H-25	(304)×102×54/ N-79 ⁺ -W	248	76	
551	7-C-3	81×76×55/N-75 ⁺ -W	248	76	
552	6-Y-3	83×77×10/N-87 ⁺ -E	248	76	
553	7-B-11/12	266×50×14/N-13 ⁺ -W	248	76	
563	7-A-12	224×72×61/N-78 ⁺ -E	248	76	
572	6-X-9/10	184×62×29/N-2 ⁺ -W	248	76	
577	6-X/Y-6/7	551×90×52/N-20 ⁺ -W	248	76	
579	6-S-11	224×68×40/N-3 ⁺ -E	248	77	
580	7-C-10	140×47×44/N-5 ⁺ -E	248	77	
620	6-P-5	63×58×56/N-11 ⁺ -W	248	77	
621	6-O/P-6	140×92×6/N-87 ⁺ -E	248	77	
626	6-O/P-6	153×130×/N-28 ⁺ -E	陶器片	248	77
627	6-P-7	84×50×32/N-58 ⁺ -W	248	77	
628	6-R-7/8	84×63×45/N-12 ⁺ -W	250	77	
629	6-O-6	(100)×63×50/ N-57 ⁺ -W	250	77	
630	6-O-6	72×67×19/N-85 ⁺ -E	250	77	
631	6-M/N-7	64×54×18/N-73 ⁺ -E	250	77	
632	6-N-8	73×70×30/N-81 ⁺ -E	250	77	

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

633	6-L/M-7/8	104×72×27/N-13°-E	250	77
634	6-O/P-11	88×70×16/N-46°-W	250	
635	6-M/N-7	148×110×17/N-67°-E	250	78
636	6-O/P-6	262×70×47/N-82°-E	250	78
637	6-O-10	103×79×25/N-3°-W	250	78
638	6-N-9	87×78×23/N-26°-W	250	78
639	6-L-9/10	156×110×19/N-56°-E	250	78
640	6-N-8/9	126×72×45/N-88°-E	250	78
641	6-M-9	112×75×11/N-85°-E	250	
644	7-A-13	350×66×24/N-5°-W	250	78
788	6-M・N-17	430×32×88/N-84°-E	251	78
795	6-M-1	75×72×13/N-8°-E	251	78
796	6-L・M-1	67×61×8/N-30°-W	251	78
797	97-K-2	75×58×11/N-50°-W	251	78
820	97-B-13	108×92×7/N-60°-E	251	78
ビット №	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)	遺物等	挿入 PL.
311	98-J・K-15	68×62×11		253 79
343	97-K-23	30×24×30		253 79
344	97-K-23	32×30×18		253 79
499	6-O-6	64×44×35		253 79
500	6-O-6	47×40×38		253 79
501	6-O-6	41×40×15		253 79
502	6-O-6	53×46×23		253 79
503	6-P-6	38×32×13		253 79
504	6-P-6	37×32×15		253 79
505	6-O-5	41×28×10		253 79
506	6-N・O-6	65×47×25		253 79
507	6-N-6	53×52×33		253
508	6-O-6	49×37×27		253
510	6-M-5	45×38×21		253
511	6-M-5	29×21×20		253
512	6-L・M-5	(32)×(20)×15		253
513	6-L・M-5	37×34×22		253
514	6-L・M-5	29×26×26		253
515	6-M-5	31×25×19		253
522	6-O・P-6	36×(30)×33		253
523	6-M・N-5・6	81×60×43		253
527	6-N-6・7	50×47×28		253
528	6-N-7	32×26×20		253
529	6-N-6・7	40×(30)×15		253
530	6-P-7	36×33×21		253
531	6-P-7	54×41×28		253
532	6-P-6	42×38×21		253
533	6-O・P-6	47×33×22		253
534	6-O-6	52×38×27		253
535	6-O-6	50×43×27		253
539	6-O-6	50×38×24		253
540	6-N-6	31×30×31		253
541	6-N・O-7	37×32×22		253
542	6-O-6・7	48×42×19		253 79
543	6-O-6・7	45×40×28		253
544	6-N-7	72×(61)×66		253 79
545	6-N-7	54×49×27		253
546	6-O-6・7	41×37×24		253
548	6-P-7	44×40×18		253
555	6-N-7	31×26×19		253
556	6-P・Q-8	47×42×19		254
557	6-O・P-6	39×(30)×36		253
558	6-M-6	25×22×25		254
559	6-M-6	37×34×20		254
560	6-M-6	32×27×25		254
561	6-O-7・8	54×51×27		254
562	6-P-7	74×60×41		254
563	6-M-7	37×34×14		254
564	6-O-6	34×29×24		254
565	6-N・O-6	49×(22)×15		253
566	6-L・M-7	28×24×21		254
567	6-M-7	28×26×12		254
568	6-Q-9	50×34×20		254

569	6-P-9	41×33×34	254	
570	6-O-9	46×41×25	254	
571	6-Q-10	48×45×32	254	
572	6-P-8	76×68×46	254	80
573	6-P-9	34×30×36	254	
574	6-P・Q-6	59×51×25	254	
575	6-P-7	54×45×28	254	
576	6-P-9	39×26×29	254	
577	6-P-9	48×38×24	254	
578	6-P-10	41×34×18	254	
579	6-O-6	58×34×25	254	
580	6-P-10	33×30×38	254	
581	6-P・Q-10	55×41×27	254	
582	6-P-10	40×38×20	254	
583	6-P-9	54×48×38	254	80
584	6-P-6	66×49×20	254	80
585	6-P-9	49×35×26	254	
586	6-P-9	33×30×24	254	
588	6-O-9	69×60×46	254	80
589	6-O-9	39×30×20	254	
590	6-O-10	28×21×27	254	80
591	6-P-10	37×35×31	254	
592	6-P-10	33×28×26	254	
593	6-O-10	43×35×18	254	
594	6-O-10	30×27×14	256	
601	6-P-7	47×46×32	256	
602	6-L-7	62×38×38	256	80
603	6-N-8	46×35×22	256	
605	6-N-8	38×32×30	256	
606	6-M-8・9	55×47×34	256	
607	6-M-8	56×49×29	256	
608	6-O-9	52×43×32	256	
609	6-N-10	81×73×28	256	80
610	6-N-10	70×65×30	256	80
611	6-M-10・11	80×66×35	256	80
612	6-M-10・11	86×64×41	256	80
613	6-M・N-8・9	78×67×52	256	80
615	6-L・M-9	68×63×35	256	80
617	6-L-10・11	104×68×23	256	80
618	6-L-10・11	88×80×18	256	80
619	6-K-10・11	75×68×18	256	81
620	6-M-10	77×67×41	256	
621	6-K-10	88×67×39	台石	256 81
622	6-L・M-10	107×70×39	256	
623	6-K・L-9	77×65×24	256	
624	6-M-9	40×38×13	256	
625	6-P-7	61×(32)×20	256	
630	6-O-9	72×70×33	256	
631	6-O-9	104×73×40	256	
633	6-M・N-10	72×66×44	256	
634	6-K-10	(60)×(54)×18	256	81

第2章 調査された遺構と遺物

第4面

復旧調査 No	グリッド	長軸×短軸×深さ(m)/ 長軸方位	遺物等	検出 PL
75	98-L-8・9	2.94×0.82×0.68/ N-20°-W		260 82
76	98-J・K-5	2.98×0.80×0.67/ N-81°-E		260 82
77	98-J・K-5	3.14×0.96×0.70/ N-81°-E		260 82
78	98-G・H-8	1.64×1.64×0.39		261 83
79	98-F-8・9	2.02×1.18×0.39/ N-45°-E		261 83
80	98-A-11	2.6×2.6×2.44		261 83
81	98-K-6	3.1×0.85×0.4/ N-18°-W		261
道 No	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	検出 PL
8	97-X-15～ 98-J-11	0.38～0.96×52.1		282 89
溝 No	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	検出 PL
1	97-F・G-18～ 97-T-2	1.36～2.46×89.2		286 90
3	7-A-13～C-14	0.4～0.46×6.7		284 91
17	7-B-5～C・D -16	0.3～0.48×33.5	陶器片	286 90
18	97-C-6・7	0.38～0.44×4.52		286 91
19	96-P-11～T-21	0.2×4.4		292 92
20	96-P-11～T-21	0.3～0.8×44.5		292 92
21	96-Q-15～T-21	0.25～0.4×19.5	渡米銭	292 92
24	7-D-13～9	0.18～0.22×18		286 90
25	7-D-4～ 97-K-3	0.64～1.0×55		286 90
33	96-V-12～ 97-B-11	0.4～0.7×4.18		294 92
35	97-C・D-5	幅1.7 断面確認のみ		286
40	97-F-17～ 96-U-21	1.7～2.1×44.5		294 92
縦立柱 建物 No	グリッド	長軸×短軸(m)	遺物等	検出 PL
2	7-W-14	3.2×3.2		296 93
3	7-X-11	3.28×3.28		296 94
4	7-Y-11～13・ 8-A-11～13	4.7×3.66		296 95
5	7-Y-13・14～ 8-A-13・14	2.07×3.64		296 95
6	8-C-12・13	5.32×3.88		296 96
7	7-L～N-1～3	7.56×4.04		307 97
8	7-L～O-2～4	7.3×7.73		307 97
9	7-L～N-4～5	4.84×4.03		307 97
10	7-I～K-9～10	7.05×5.01		307 100
11	7-I～L-7～10	12.41×12.34	埴貫・ 石臼	307 100
12	7-K～M-9～10	4.96×4.94	すり鉢 片	307 100
13	7-K～M-9～11	9.69×4.72		307 100
15	7-L～N-4～6	6.76×6.09		307 97
16	98-1～J-19～ 20	5.02×2.33		330 103
17	98-1～J-19～20	5.0×3.3		330 103
18	98-K～M-21～23	7.1×4.89		330 105
24	97-R～S-2～4	3.48×4.7	789～ 794号 ビット を含む。	337 106
25	96-P～R-24～ 25、6-P～R-1	4.66×6.63	837・ 844・ 857・ 864・ 869・ 871号 ビット を含む。	339 106

25	96-O-25、 6-O・P-1・2	3.06×3.58	884～ 886号 ビット を含む。	339 107	
種別 No	グリッド	長さ(m)	柱数	遺物等	検出 PL
1	7-L-7～11	9.7	8本		307
3	8-B～D-13	6.25	5本		296 96
壁穴建 物 No	グリッド	長軸×短軸(m)	遺物等	検出 PL	
1	97-V・W-23・24	3.27×(4.18)		344 83	
列石 No	グリッド	長さ(m)	石数	遺物等	検出 PL
4	97-B-4・5	1.8×2列 2.4 9石		360 115	
5	97-D・E-4	2.4×2列 3 5石		360 115	
礎上 No	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)	遺物等	検出 PL	
27	7-D-4	27×30×3		348 108	
28	6-X-4	50×50×9		348 108	
29	7-H-10	45×50×7		348 108	
30	7-F-10	50×50×-		349 108	
31	7-F-10	75×55×10		349 108	
32	7-F-10	35×35×-		349 108	
33	7-F-11	40×40×9		349 108	
34	7-I-9・10	45×32×4		348 109	
47	97-C-5	100×100×-		350 109	
集石 No	グリッド	長軸×短軸×深さ(m)	遺物等	検出 PL	
2	7-L-6・7	1.8×1.8×0.34	石臼・ 内耳銅 片	351 109	
3	7-L・M-6・7	2.1×2.1×0.54	内耳銅 片・石 臼・礎 石	351 109	
4a	7-L・M-6・7	1.92×1.92×0.36	石鉢	351 109	
4b	7-L・M-6・7	1.5×1.14×0.71		351 109	
4c	7-L・M-6・7	1.5×1.5×-		351 109	
5	7-K・L-6・7	2.5×2.0×0.66		351 109	
6	7-K・L-6・7	1.5×1.5×0.52		351 109	
7	7-K・L-6・7	1.4×1.4×0.21		351 109	
8	7-N-6	1.4×1.4×0.26		351 111	
9	7-I・J-5・6	2.5×8.9×0.48		351 112	
10	98-Q-14	0.96×1.2×0.09		355 112	
13	7-F-6・7	1.48×1.48×0.25		351 112	
14	7-F・C-6・7	1.00×1.00×0.18		351 113	
15	7-G・H-6・7	1.29×1.29×0.26		351 113	
16	7-H・I-6	1.00×1.00×0.22		351 114	
17	7-H-6・7	0.93×0.93×0.11		351 114	
18	7-H-6・7	0.96×0.96×0.23		351 113	
土坑 (堀坑) No	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	検出 PL	
191	7-O・P-7	116×75×36/N-4°-W	骨・歯・ 渡米銭	366 116	
248	7-O-5	94×70×15/N-14°-W	骨・歯	368	
255	7-M・N-4	126×72×37/N-14°-W	骨・ 石臼・ 縄文土 器片	370 116	
266	7-P・Q-8	124×91×21/N-16°-W	骨・歯・ 鏡小片	373 117	
272	7-Q・R-6	126×82×7/N-9°-W	骨・歯	374 117	
287	7-I・J-3・4	162×72×11/N-10°-W	骨・歯・ 渡米通 貨	376 118	
288	7-L-8	105×83×39/N-7°-W	骨・ 渡米銭	380 118	
453	7-P・Q-12	118×83×23/N-1°-W	骨・ 渡米銭	383	
465	7-L-13	103×48×16/N-8°-W	骨・ 渡米銭	386 119	
466	7-K-13	126×84×51/N-15°-E	骨・歯・ 石臼	388 120	

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

547	6-X-11	132×79×37/N-28°-E	骨・歯・ 渡来銭	391	120
571	6-W-10, X-10/11	109×68×22/N-32°-W	骨	394	121
871	97-G-13・14	123×74×24/N-13°-W	骨・ 渡来銭	396	122
土坑 №	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	挿図	Pl.
146	7-Q・R-11・12	130×91×59/N-10°-W		400	123
148	7-P-11	137×125×22/N-19°-W		400	123
149	7-O-12	82×59×14/N-9°-E		400	123
151	7-N-11	223×217×39/N-4°-E		400	123
152	7-M・N-10・11	116×115×36/N-10°-W	礎石	400	123
153	7-M・N-11	130×76×63/N-13°-W		400	123
154	7-L-11	243×206×23/N-90°-E		400	123
155	7-L-11・12	-		400	124
156	7-K-L-11	194×98×26/N-5°-E	釘	400	124
157	7-K-11	125×85×28/N-89°-E	縄文土器片	400	124
159	7-1・J-12	198×192×38/N-2°-W	礎石	400	124
161	7-O-10	226×111×20/N-3°-W		400	124
162	7-1・J-10	144×140×21/N-10°-E	渡来銭	402	124
163	7-J-10・11	204×123×36/N-85°-E	内耳銅片・磨石	402	124
164	7-K-11	113×43×23/N-6°-W		402	125
165	7-M-11	72×60×13/N-65°-E		402	125
166	7-M-11	88×50×13/N-87°-W		402	125
167	7-M-10・11	(64)×40×13/N-66°-W		402	125
168	7-L-11	97×50×34/N-0°		400	123
169	7-J・K-8・9	108×84×24/N-13°-W		402	125
170	7-N-8	95×83×13/N-89°-W		402	125
171	7-N・O-8・9	120×112×13/N-25°-E		402	125
172	7-Q-9	104×57×21/N-74°-E		402	126
173	7-O・P-9	120×117×32/N-65°-E		402	126
174	7-P-9	138×88×11/N-1°-E		402	126
175	7-P-9	87×62×19/N-16°-W		402	126
176	7-O・P-10	100×93×14/N-79°-E		402	126
177	7-L-10	163×137×16/N-88°-W		402	126
178	7-P-10	150×106×5/N-25°-E		402	126
179	7-Q-10・11	98×(73)×9/N-35°-W		402	126
182	7-Q-9	89×45×6/N-32°-W		402	126
183	7-Q-9	88×54×9/N-3°-E		402	126
188	7-N・O-7・8	214×148×17/N-86°-W		404	127
189	7-N-11	104×58×27/N-11°-W		402	127
190	7-N-8・9	83×75×8/N-2°-E		404	127
192	7-L-9	(80)×60×12/N-82°-W		404	127
193	7-M・N-9	135×(128)×37/ N-41°-W		404	127
194	7-N-9	(172)×150×61/ N-42°-W		404	127
195	7-N-9	130×118×40/N-52°-W		404	127
196	7-M・N-9・10	110×106×61/N-14°-E		404	127
197	7-N-9・10	133×116×45/N-3°-W		404	128
198	7-N-10	188×134×19/N-1°-W	礎石白	400	128
199	7-O-10	183×144×36/N-75°-E		400	128
206	7-N・O-2	102×96×14/N-12°-W		404	128
207	7-N・O-2・3	285×158×21/N-20°-W		404	128
208	7-M-1・2	188×132×13/N-56°-E		404	128
209	7-J-2	72×64×15/N-14°-E		404	129
211	7-O-2	126×(64)×22/ N-20°-W		404	129
212	7-K-4	104×78×22/N-9°-W	弥生土器片	404	129
213	7-J・K-4・5	109×74×18/N-5°-W		404	129
214	7-K-5	110×105×23/N-2°-W		406	129
215	7-J-5	100×83×13/N-24°-W		406	129
216	7-J・K-6	134×91×23/N-26°-W		406	129
217	7-K-4	80×68×16/N-17°-E		406	129
218	7-L・M-5・6	142×116×32/N-83°-W		406	130
219	7-L・M-5・6	114×109×36/N-12°-W		406	130

220	7-N-3	(110)×58×8/ N-79°-E		404	130
221	7-O-2・3	113×105×17/N-24°-W		406	130
222	7-O-2	126×54×13/N-18°-W		406	130
224	7-K-3	155×83×19/N-15°-W	縄文土器片	406	130
225	7-L-11	158×52×31/N-15°-W		406	130
226	7-L・M-9	232×100×17/N-80°-E		406	130
227	7-J-8	152×111×32/N-4°-W	内耳銅片	406	130
228	7-J・K-10	74×68×9/N-77°-E		406	
229	7-M・N-6	85×76×19/N-50°-W		406	131
230	7-N-8・9	194×154×45/N-28°-W		404	131
231	7-P・Q-7	116×84×33/N-17°-W		406	131
232	7-K-4	84×72×13/N-75°-W		406	131
233	7-L-3	(94)×92×12/N-86°-E		406	131
234	7-L-3	71×51×27/N-89°-E		406	131
235	7-M-3	120×86×8/N-12°-W		406	131
236	7-M-3	69×62×17/N-89°-E		406	131
237	7-M・N-3	188×104×18/N-75°-E		407	131
238	7-M・N-3	100×80×3/N-79°-W		407	132
239	7-M・N-3	90×80×16/N-90°-E		407	132
240	7-N-2	89×68×14/N-42°-W		407	
241	7-P・Q-2	167×102×22/N-10°-W		407	132
243	7-Q-3	99×64×29/N-65°-W		407	132
246	7-O-3・4	130×74×18/N-80°-E		407	132
247	7-O-4	167×100×9/N-69°-E		407	132
250	7-O-5	82×60×15/N-3°-W		407	132
251	7-J・K-3	73×68×18/N-32°-E		407	133
252	7-J-3	140×68×19/N-24°-W		407	133
253	7-O-5	154×113×18/N-5°-W		407	133
254	7-N-5	71×(64)×8/N-34°-W		407	133
256	7-M-4	119×111×20/N-10°-W		407	133
257	7-L・M-4	163×99×46/N-79°-E		407	133
258	7-M-5	119×(82)×20/ N-88°-E		407	133
259	7-M-5	180×165×25/N-1°-E		407	133
260	7-M・N-5	(70)×70×7/N-39°-E		407	
261	7-P-6	176×124×8/N-81°-E		408	134
262	7-P-6	112×83×18/N-68°-E		408	134
265	7-P・Q-7・8	291×282×13/N-82°-E		408	134
268	7-K-8・9	201×156×39/N-2°-W		408	134
270	7-L・M-3・4	145×132×11/N-90°-E		408	134
271	7-J-3・4, K-3	185×122×24/N-34°-E		408	134
274	7-V・W-9	140×60×8/N-89°-E		408	134
278	7-Y-10	114×62×15/N-77°-E		408	134
279	7・8-Y・A- 10・11	(320)×151×18/ N-87°-E		408	
280	7-U-2	91×90×17/N-14°-W		408	135
281	8-B-11	122×99×21/N-7°-W		408	135
282	7-Y-11	80×67×21/N-77°-E		408	135
284	7-W-11・12	154×112×40/N-10°-E		408	
285	7-Q-7・8	118×104×31/N-87°-W		408	135
286	7-Y-10	128×63×10/N-88°-W		408	135
295	8-A-12	87×60×10/N-16°-W		410	135
296	7-M-6	124×96×35/N-89°-W		410	135
297	7-L-4・5	220×(134)×27/ N-19°-W		410	136
298	7-L-4・5	222×152×62/N-90°-E		410	136
299	7-J-5・6	169×117×25/N-25°-W		410	136
318	7-L-5	198×150×43/N-90°-E		410	136
319	7-L-5	160×54×8/N-81°-E		410	136
320	7-M-8	112×(109)×42/N-0°		410	136
321	7-M-8	100×(76)×27/N-0°	内耳銅片	410	136
322	7-K-10	114×68×20/N-67°-E		410	136
323	7-K-10	110×89×22/N-12°-W		410	136
324	7-N-10	126×85×25/N-78°-E	礎石	404	136
325	7-N-10	84×70×50/N-25°-W	石籬	410	137
342	8-1-9・10	160×72×67/N-13°-W		410	137

第2章 調査された遺構と遺物

343	8-H-1-9	(150)×106×30/ N-67°-E		410	137
345	98-P-15	90×74×26/N-4°-W		410	137
346	98-Q-17	74×56×33/N-37°-W	縄文土 器片	410	137
349	98-Q-18・19	80×71×46/N-59°-E		410	137
350	98-Q-18・19	76×51×14/N-43°-W		412	137
351	98-O・P-18・19	72×69×14/N-52°-E		412	138
352	98-1-24・25	206×108×34/N-64°-W		412	138
353	98-1-23・24	144×106×43/N-53°-W	縄文土 器片	412	138
354	98-H-22・23	170×130×27/N-64°-W		412	138
356	98-1-23	102×65×16/N-34°-W		412	138
357	98-J-23・24	78×67×22/N-29°-W		412	
358	8-J・K-8	203×120×23/N-56°-W		412	138
359	8-J・K-9	150×98×39/N-79°-W		412	
360	8-J-9・10	159×108×35/N-82°-W	縄文土 器片	412	138
361	8-I-5	130×66×56/N-14°-W (109)×(62)×29/ N-70°-W		412	139
362	98-J-21			412	139
365	98-K-25	65×51×17/N-30°-E		412	139
366	98-O-23	234×100×31/N-8°-W		412	139
367	8-H・I-1	188×86×21/N-53°-E		412	139
368	8-G・H-1	110×97×26/N-65°-E		412	139
369	8-F-1	69×65×24/N-1°-W		412	139
371	8-E・F-1	231×128×23/N-82°-W		414	139
372	8-G-25・1	207×124×17/N-85°-W		414	140
373	8-1-8・9	(80)×58×14/N-52°-E		414	
374	98-R-21	136×119×43/N-1°-E	磨石	414	140
375	98-S-20	110×99×43/N-66°-W		414	140
378	98-N-20	(68)×65×21/N-62°-E		414	140
379	98-N・O-21	79×40×24/N-32°-E		414	140
381	98-L-22	160×112×22/N-79°-W	縄文土 器片	414	140
382	98-M-22	66×62×14/N-54°-E		414	141
386	98-R-16	170×110×18/N-90°-W		414	141
404	97-E-19	97×47×1/N-5°-W		414	141
455	7-O-12	77×54×19/N-1°-W		414	141
457	7-O・P-13	(86)×84×45/N-1°-W		414	141
458	7-N-13, O-12・13	149×66×16/N-3°-E		414	141
460	7-M・N-12	123×78×22/N-1°-W		414	141
461a	7-M-13	104×58×33/ N-13°-E		414	142
461b	7-M-13	97×(78)×27/ N-2°-E		414	142
462	7-L-12	91×51×18/N-86°-E		414	142
463	7-L-13	85×74×19/N-36°-E		414	142
464	7-L-12・13	122×49×56/N-2°-E		414	142
467	7-J・K-13	130×97×9/N-36°-E		416	142
468	7-J・K-12・13	96×55×26/N-0°		416	142
469	7-K-12・13	176×159×48/N-16°-E	内耳 器片	416	142
470	7-J-12	92×67×65/N-8°-E	石臼	416	143
471	7-J-13	211×101×24/N-1°-E		416	143
472	7-J-13	232×128×15/N-3°-E		416	143
473	7-K-12・13	126×77×31/N-84°-E	陶器片	416	143
474	7-Q-12・13	182×104×36/N-86°-E		416	144
475	98-A-25	168×91×11/N-15°-W		416	144
479	97-X-24・25	60×50×6/N-13°-E		416	144
506	97-G-24	104×49×20/N-12°-W		416	144
512	6-S-9	120×115×19/N-66°-E		416	144
515	6-T/U-10	127×58×21/N-9°-W		416	144
516	6-S-8	143×127×29/N-70°-W		416	144
518	6-T/U-9	109×51×33/N-85°-E		417	145
519	6-T-9/10	317×149×23/N-1°-E		416	145
520	6-T-10	207×120×64/N-81°-E	陶器片	416	145
528	6-R-5	95×62×12/N-28°-W		417	145
529	6-S-9	101×77×24/N-90°-W		417	145
530	6-T-9/10	165×80×19/N-1°-W		417	145

531	6-W-10/11	130×78×17/N-15°-W		417	145
534	6-W-11	163×58×38/N-85°-E		417	145
535	6-W-12	170×(101)×36/ N-89°-E		417	146
536	6-U-10/11	120×55×50/N-89°-E		417	146
537	6-V-9/10, W-9	214×71×17/N-71°-E		417	
539	6-U-11	142×66×37/N-81°-W		417	146
540	6-R/S-8・9	289×142×47/N-3°-W		417	146
541	6-U-11	159×78×23/N-20°-E		417	146
543	6-Y-12	76×63×58/N-41°-W		417	146
544	7-B-11/12	138×133×19/N-0°		417	146
545	7-A-12/13, B-12	206×90×47/N-4°-E		419	146
546	7-B-1	87×(43)×55/N-89°-E	縄文土 器片	419	146
549	6-W-12/13	212×138×14/N-10°-E		419	147
554	6-U-10	150×126×7/N-89°-E		419	147
555	7-B-11	156×87×48/N-87°-E	縄文土 ・鉄器片	419	146
556	6-U-5・6, V-5	202×128×28/N-31°-E		419	147
557	6-T/U-4/5	218×(161)×26/ N-86°-E		419	147
558	6-V-2	132×60×34/N-4°-W		419	147
559	6-U-2	166×79×38/N-9°-W		419	147
560	7-C-12	130×76×43/N-12°-E		420	148
561	7-A-12	152×142×19/N-68°-E	石臼	419	148
562	6-Y-12	158×(76)×50/ N-2°-E		420	148
564	7-B/C-11/12	266×106×28/N-90°-W (146)×78×30/ N-3°-E		419	148
565	7-C-12/13			419	148
566	7-B-13	191×176×61/N-15°-E	煙管・ 石臼	420	148
567	7-A-13	336×223×78/N-87°-E (340)×236×68/ N-75°-E		420	149
568	7-A-13			420	
569	6-X-11/12	116×98×13/N-15°-W (135)×68×52/ N-5°-E		420	150
570	7-C-12			419	
573	7-A-10	91×90×29/N-82°-E		420	
574	6-Y-7/8	168×140×20/N-14°-E		420	
575	6-Y-8	109×103×40/N-0°		420	
576	7-A-7	150×86×8/N-81°-E		420	
578	6-Y-8	104×92×17/N-45°-E		420	
581	7-D-7	120×70×31/N-5°-W		420	150
582	7-H/I-4	83×74×8/N-27°-W		420	151
583	7-C-11	185×93×39/N-5°-W		420	151
584	7-I-12	114×68×21/N-25°-E		422	
585	7-1-12	178×(79)×19/ N-4°-E		422	151
586	7-1-13	135×58×56/N-11°-E	石皿	422	151
587	7-D/E-10	170×145×14/N-17°-W		422	151
588	7-D/E-10	188×(144)×21/ N-89°-W		422	151
589	7-G-11/12	245×67×51/N-6°-E		422	151
590	7-1-11	(159)×(135)×12/ N-5°-E		422	152
591	7-1-11/12	(238)×122×28/ N-18°-E		422	152
592	7-F-9	112×88×14/N-0°		422	152
593	7-G-10/11	113×106×16/N-83°-E		422	152
594	7-G/H-12/13	300×(49)×41/ N-76°-W		422	152
595	7-F-10	72×64×11/N-19°-W		422	152
596	7-G-8/9	232×148×32/N-1°-E		422	152
597	7-H/I-8	234×130×64/N-0°		422	152
598	7-F/G-9/10	90×81×11/N-75°-W		422	152
599	7-D-7/8	179×140×15/N-9°-E		423	152
600	7-E/F-10/11	-	陶器片	423	153
601	7-E-10	113×101×31/N-89°-E	磨石	423	153

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

602	7-G-11	(176)×81×18/ N-11°-E		423	153
603	7-F-11, G-11/12	(240)×(230)×34/ N-88°-E	陶器片	423	153
604	7-G-10	185×181×31/N-86°-E	陶器片・ 鉄片	423	153
605	7-B/C-3	91×78×16/N-82°-E		423	153
606	7-C-2	124×70×56/N-8°-W		423	154
607	7-F-2	113×74×19/N-15°-E		423	154
608	7-F-8	95×82×19/N-80°-W	骨片	423	154
609	7-G/H-7/8	282×167×25/N-2°-W		423	154
610	7-B/C-6	160×(150)×14/ N-81°-E		423	154
611	7-G-11/12	397×(230)×32/ N-1°-W		423	154
612	7-H-7	152×95×15/N-80°-W		425	154
613	7-C-9	70×43×46/N-74°-E		425	155
617	7-G-6/7	120×105×22/N-73°-E		425	155
618	7-F/G-7	66×60×8/N-55°-W		425	155
619	7-G/H-5	81×66×19/N-9°-W		425	155
623	7-G-11	(82)×(80)×11/ N-48°-W	煙管	425	155
624	6-R-6	56×55×21/N-80°-E		425	155
642	7-F-10/11	75×52×22/N-83°-E		425	155
643	7-B/C-12	123×83×17/N-80°-E	渡来銭	425	155
789	97-R-S-3	95×84×13/N-40°-W		425	156
790	97-S-3	108×57×70/N-9°-W		425	156
791	97-P-9-10	184×108×61/N-23°-W		425	156
792	97-Q-5-6	140×71×15/N-85°-E		425	156
793	97-Q-8-9	136×70×10/N-20°-E		425	156
794	97-Q-8-9	157×84×19/N-32°-E		425	157
808	97-F-7-8	373×143×61/N-13°-E		425	157
809	96-M-N-13-14	467×79×45/N-13°-E		425	157
810	96-M-N-17	430×42×33/N-84°-E		425	157
811	96-O-20-21	294×51×37/N-7°-W		426	157
812	96-M-20-21	266×65×25/N-17°-W		426	157
817	96-Q-22-23	192×58×41/N-16°-W		426	157
818	96-R-22	76×47×16/N-19°-W		426	157
819	96-R-S-22	170×52×35/N-16°-W		426	158
821	96-M-N-23-24	192×83×20/N-22°-W		426	158
822	96-U-V-16-17	226×52×40/N-27°-W		426	158
826	96-S-16-17	746×72×122/N-16°-W		426	158
827	97-C-D-6-8	492×174×77/N-8°-W		426	158
839	97-A-B-13-15	(500)×64×99/ N-27°-W		426	158
840	97-A-13-15	672×62×112/N-13°-W		426	158
841	97-A-B-12-13	388×290×37/N-80°-E		426	159
842	96-W-X-12	(260)×124×18/ N-29°-W		427	159
843	96-W-X-13	136×52×80/N-16°-W		427	159
844	96-V-W-15-16	252×52×90/N-17°-W		427	159
845	96-S-T-13-16	1138×66×141/ N-16°-W		427	159
846	96-N-17-18	190×170×27/N-63°-W		425	159
847	96-N-18	108×106×20/N-73°-E		425	159
848	96-P-18-19	232×74×75/N-13°-W		427	159
849	6-P-2	64×44×19/N-17°-W		427	159
850	6-O-1-2	93×83×22/N-62°-W		427	159
851	96-O-24	155×53×17/N-36°-W		427	160
852	96-N-O-20-22	785×57×121/N-31°-W		427	160
853	96-N-20	116×53×20/N-24°-W		427	160
854	96-S-T-22	132×52×14/N-69°-E		427	160
867	97-H-17-18	(100)×57×24/ N-16°-W		427	160
868	97-K-L-17	(112)×55×19/ N-12°-W		427	160
869	97-Q-15	52×52×19/N-11°-W		427	161
870	97-I-15	108×76×26/N-16°-W		427	161
875	97-E-12	226×77×35/N-18°-W		427	161
887	97-C-18	142×54×30/N-21°-W		428	161
888	97-B-C-15	338×62×84/N-33°-W		428	-

889	96-X-Y-17	(226)×120×42/ N-49°-E		428	161
890	96-X-21	258×64×74/N-18°-W		428	161
891	96-V-21-22	496×86×74/N-28°-W		428	161
913	6-N-O-2	351×48×49/N-64°-E		428	161
914	6-N-O-2	388×46×44/N-74°-E		428	161
915	6-N-2	274×32×28/N-64°-E		428	161
916	6-M-N-2-3	(208)×200×28/ N-6°-E		428	161
917	6-O-P-2	(413)×65×29/ N-74°-E		428	161
918	96-T-21-22	160×75×7/N-34°-W		428	161
919	6-M-N-3	473×50×29/N-72°-E		428	161
920	6-M-N-3	358×103×26/N-73°-E		428	161
921	6-N-O-2	(230)×37×28/ N-85°-E		428	161
923	96-Q-22-23	98×74×12/N-48°-W		426	161
ビット No	グリッド	長軸×短軸×深さ (cm)	遺物等	検出 PL	
229	7-K-9	(54)×49×64		430	162
230	7-K-9	54×46×61		430	162
231	7-L-M-4	40×(26)×7		430	162
232	7-N-4	44×41×30		430	162
233	7-M-3	43×32×49		430	162
235	7-I-10	30×(27)×16	内耳 陶片	430	162
236	7-L-5	40×34×-	砥石	430	162
237	7-K-4	-	天 元 瓦	430	162
238	7-K-8	35×33×-		430	162
239	7-J-8	36×26×-		430	162
240	7-J-9	38×30×-		430	162
241	7-J-10	56×36×-		430	162
242	7-J-10	46×34×-		430	162
243	7-K-9	20×19×-		430	162
244	7-L-10	26×19×31	鉄片	430	162
245	7-M-9	25×21×-	内耳 陶片	430	162
246	7-O-P-9	25×24×-	鉄片	430	162
247	7-N-7	33×29×-	渡来銭	430	163
248	7-L-11	28×24×-		430	163
249	98-Q-15	33×28×48		430	163
250	98-P-20	48×42×37		430	163
251	98-Q-20	44×37×23		430	163
252	98-Q-20	44×42×20		430	163
253	98-P-19	51×40×19		430	163
254	98-P-Q-21	43×39×21		430	163
255	98-P-20	48×39×47		430	163
256	98-O-21	48×39×53		430	163
257	98-O-21	51×44×40		430	163
258	98-O-21	40×38×29		430	163
268	7-I-1-J-12	29×27×20		430	163
269	7-I-1-J-12	34×26×44		430	164
270	7-L-13	31×24×42		430	164
271	7-L-13	34×29×25		430	164
272	7-L-13	31×28×38		430	164
273	7-M-13	29×25×31		430	164
274	7-L-12	30×29×32		430	164
275	7-L-12	33×29×41		430	164
276	7-L-12	28×23×24		430	165
277	7-M-12	36×29×40		430	165
278	7-L-13	25×23×17		430	165
279	7-M-13	36×18×18		430	165
280	7-M-13	29×28×33		432	165
281	7-M-12	29×27×17		432	165
282	7-N-13	25×24×21		432	165
283	7-N-13	17×16×18		432	165
284	7-L-13	30×27×14		432	166
285	7-L-13	25×22×17		432	166
286	7-L-13	36×28×36		432	166
287	7-L-12	29×27×15		432	166

第2章 調査された遺構と遺物

288	7-L-12	22×16×7		432	166
289	7-N-13	26×20×19		432	166
290	7-J-13	25×22×-		432	
291	7-J-13	28×24×21		432	
292	7-K-13	20×15×-		432	
293	7-K-12	23×21×-		432	
294	7-K-12	21×(17)×-		432	
295	7-M-13	25×24×19		432	
296	7-M-13	20×16×10		432	
297	7-K-13	29×25×-		432	
298	7-L-12	17×14×4		432	
299	7-K-13	30×21×38		432	
300	7-J-12	32×31×12		432	
301	98-A-25	49×47×32		432	166
302	98-A-25	45×42×22		432	166
303	98-A-25/ 8-A-1	52×36×8		432	167
304	98-Y-1	27×21×15		432	167
305	97-Y-25	36×27×44		432	167
306	97-W-25	38×31×8		432	167
307	7-O-1	67×(32)×35		432	167
308	7-N-1	57×47×16		432	167
309	7-M-1	22×21×30		432	167
310	7-M-1	26×24×26		432	167
312	98-S-T-13	70×58×33		432	168
313	97-A-24×25	30×26×19		432	168
314	97-B-24	33×29×34		432	168
315	97-B-25	29×28×20	礎	432	168
316	97-C-24×25	29×27×24		432	168
317	97-C-D-24	22×19×15		432	168
318	97-D-24	29×24×27		432	168
319	97-D-24	31×25×30		432	169
320	97-E-24	22×18×14		432	169
321	97-E-24	22×21×15		432	169
351	6-T-11	57×54×43		432	169
352	6-T-11	60×52×55		432	169
353	6-S-10	79×55×19		432	169
354	6-S-10	32×23×31		432	
355	6-S-8	40×36×26		432	169
356	6-S-8	40×35×23		432	170
357	6-S-8	39×38×19		433	170
358	6-T-9	29×28×24		433	170
359	6-S-10	31×30×30		433	170
360	6-S-10	38×30×32		433	170
361	6-S-T-10	34×30×34		433	170
362	6-T-10	37×34×35		433	170
363	6-T-10	37×28×20		433	170
364	6-T-11	29×26×26		433	171
365	6-T-11	36×28×21		433	171
366	6-T-11	35×29×38		433	171
367	6-S-10	21×19×22		433	171
368	6-S-11	32×30×32		433	171
369	6-S-11	31×28×19		433	171
370	6-S-11	48×35×40		433	171
371	6-T-11	41×38×53		433	172
372	6-S-11	23×21×34		433	172
373	6-S-10	29×27×20		433	172
374	6-S-10	26×23×17		432	172
375	6-S-8	31×29×26		433	172
376	6-U-11	30×28×29		433	172
377	6-S-11	33×(28)×34		433	172
378	6-T-11	21×(8)×37		433	172
379	6-U-11	46×38×47		433	173
380	6-U-11	48×42×37		433	173
381	6-U-10	37×34×30		433	173
382	6-U-8×9	43×38×29		433	173
383	6-U-9	32×29×30		433	173
384	6-U-9	36×33×33		433	173
385	6-U-10	31×26×32		433	173
386	6-W-9	36×26×29		433	173
387	6-W-11	32×28×26		433	173

388	6-T-10	44×31×24		433	174
389	7-B-11	50×44×45		433	174
390	7-A-11	43×40×40		433	174
391	7-A-11	48×47×39		433	174
392	6-X-11	34×30×27		433	174
393	6-X-11	40×34×31		435	174
394	7-Y-11	37×32×37		435	174
395	6-X-11	26×24×25		435	174
396	6-Y-11	32×30×23		435	175
397	6-Y-11	34×28×25		435	175
398	7-B-11	50×35×30		435	175
399	7-B-11	31×29×37		435	175
400	7-B-10	32×28×30		435	175
401	7-B-10	36×32×52		435	175
402	7-B-10	38×34×35		435	175
403	7-B-10	36×32×25		435	175
404	6-X-11	34×29×42		435	176
405	6-Y-11	31×28×29		435	176
406	7-B-9	40×32×30		435	176
407	7-A-10	38×33×32		435	176
408	6-S-11	(24)×20×31		435	
409	7-D-E-10	32×26×38		435	176
410	7-D-10	27×25×45		435	176
411	7-B-11	42×33×36		435	176
412	7-B-11	38×29×30		435	176
413	7-B-10	42×38×45		435	176
414	7-G-9×10	33×28×37		435	
415	7-F-9×10	31×29×30		435	
416	7-D-10	29×26×32		435	177
417	7-D-10	33×30×36		435	177
418	7-D-10	34×30×49		435	177
419	7-D-10	36×32×57		435	177
420	7-D-9	38×32×39	跡	435	177
421	7-D-E-9	32×29×35		435	177
422	7-E-9	35×31×39		435	177
423	7-E-10	28×26×67		435	178
424	7-E-10	34×28×32		435	178
425	7-E-10	36×28×24		435	178
426	7-E-F-9	33×30×44		435	178
427	7-E-9	45×39×39		436	178
428a	7-E-9	34×29×49		436	178
428b	7-E-9	27×(18)×21		436	178
429	7-F-9	28×26×28		436	178
430	7-F-10	38×36×53		436	178
431	7-F-9	35×27×37		436	179
432	7-F-9	21×19×50		436	179
433	7-F-10	39×36×55		436	179
434	7-G-9×10	34×27×64		436	179
435	7-G-9	34×30×34		436	179
436	7-G-9	33×29×55		436	179
437	7-D-9	37×34×30		436	179
438	7-F-10	31×29×53		436	179
439	7-G-10	41×35×69		436	180
440	7-E-10	29×26×39		436	180
441	7-F-10	34×26×39		436	180
442	7-F-10	37×(26)×32		436	180
443	7-G-9	38×30×44		436	180
444	7-H-9	36×33×42		436	180
445	7-H-9	34×31×36		436	180
446	7-H-9	41×34×46		436	180
447	7-C-2×3	42×40×37		436	180
448	7-A-2	25×21×25		436	181
449	7-B-2×3	35×29×46		436	181
450	7-C-3×4	29×26×22		436	181
451	7-C-3	42×37×30		436	181
452	7-B-2	21×(18)×32		436	181
453	7-B-2	38×28×48		436	181
454	7-B-C-2	36×34×33		436	181
455	7-C-1	37×33×26		436	181
456	7-C-1	26×20×23		436	182
457	7-C-2	33×30×42		436	182

第6節 遺構一覽表・遺物観察表

458	7-C-3	36×32×30		436	182
459	7-D-2	40×36×37		436	182
460	7-D-2	31×29×41		436	182
461	7-F-3	32×30×37		436	182
462	7-F-2・3、 G-2	30×24×58		436	182
463	7-G-2	27×22×20		436	182
464	7-G-1	36×32×55		437	183
465	7-G・H-1	30×26×39		437	183
466	7-D-1	32×28×32		437	183
467	7-D-1	27×26×31		437	183
468	7-C・D-1	36×34×29		437	183
469	7-E-1	36×31×22		437	183
470	7-C-3	30×27×25		437	183
471	7-F-3	41×33×30		437	184
472	7-E-2	31×27×33		437	184
473	7-F-3	23×20×14		437	184
474	7-F-1	35×31×38		437	184
475a	7-A-10	36×(22)×14		437	184
475b	7-A-10	34×28×29		437	184
475a	7-C-10	32×30×57		437	184
475b	7-C-10	22×(14)×13		437	184
477	7-C-10	32×29×34		437	184
478	7-C-11	34×29×53		437	184
479	7-C-10	33×31×32		437	185
480a	7-C-10	31×27×53		437	185
480b	7-C-10	30×(20)×33		437	185
481	6-X-10	30×29×39		437	185
482	6-X-10	35×28×32		437	185
483	6-X-9	36×30×24		437	185
484	6-Y-10	48×42×37		437	185
485	7-C-10	37×30×31		437	185
486	7-C-9	36×33×38		437	186
487	7-C-9	40×34×43		437	186
488	7-G-11	35×32×47		437	186
489	7-G-11	33×28×48		437	186
490	7-H-10	35×33×50		437	186
491	7-H-10	44×38×53		437	186
492	7-G-10	27×(22)×39		437	186
493	7-G・H-9	37×35×44		437	186
494	7-G-10	50×40×65		437	187
495	7-G-9	28×26×55		437	187
496	7-G・H-10	35×34×49		437	187
497	7-H・I-9	39×33×63		437	187
498	7-C-10	48×31×58		437	187
500a	7-F-10	33×28×15		438	187
500b	7-F-10	36×30×37		438	187
516	7-G-12	30×27×28		438	187
517	7-G-12	41×(31)×25		438	187
518	7-G-11	34×31×37		438	187
519	7-G-10	41×34×51	須恵器 片	438	187
520	7-G-10	30×27×37		438	188
521	6-R・S-7	71×64×22		438	
524	7-H・I-9	51×46×58		438	188
525	7-I-9	39×36×46		438	188
526	6-R-8	45×38×37		438	188
536	7-F-10	37×34×61		438	188
537	7-F-10	47×37×60		438	188
538	7-F-10	38×30×65		438	188
549a	7-H-10	34×27×31		438	188
549b	7-H-10	34×32×51		438	188
550	7-H・I-10	42×38×53		438	189
551	7-H・I-10	35×32×43		438	189
552	7-H-11	47×34×44		438	189
553	7-G-11	43×41×48		438	189
554	7-F-10	41×30×59		438	189
587	7-G-10	53×47×65	内口圓 片・流 米銭	438	189

595	7-G-12	33×25×-		438	189
596	7-35-6-F-10	28×27×37		438	189
597	7-F-11	30×29×-		438	190
598	7-F-10	35×29×32		438	-
599	7-H-9	39×33×20		438	190
600	7-I-10	34×31×29		438	190
604	7-H・I-10	41×35×49		438	190
614	7-G-10	40×(33)×60		438	190
616	7-H-11	25×18×3	渡米銭	438	190
626	6-X-10	25×24×23		438	
627	7-H-9	35×33×48		438	190
628	7-H-10	28×23×34		438	190
629	7-G-11	36×31×23		438	190
632	7-I-9	39×28×33		438	190
635	7-I-10	38×36×25	砥石	438	
636	7-H-10	38×34×-		438	
637	7-G-11	30×28×-		438	
638a	7-F-10	29×26×-		438	
638b	7-F-10	28×(20)×-		438	
639	7-D・E-10	28×25×34		438	
641	7-I-10	34×28×-		438	
642	7-H-10	35×30×-		438	
643	7-H-11	36×31×48		438	191
827	96-R-24	(34)×28×21		438	191
828	96-R-24	38×34×30		438	191
829	96-Q・R-24	49×38×47		438	191
830	96-Q・R-25	27×22×15		440	191
834	6-R-1	29×(20)×37		440	191
835	96-Q・R-25	(30)×30×20		440	191
838	96-Q-25	46×37×28		440	191
839	96-R-25	40×30×16		440	191
840	96-Q-25	31×27×20		440	191
841	96-Q-24・25	32×30×16		440	191
842	96-Q-25	52×34×61		440	191
843	96-Q-24	35×32×31		440	191
845	96-Q-24	36×(26)×28		440	191
846	96-Q-24	36×33×35		440	191
847	96-Q-24	23×21×19		440	192
848	96-Q-25	35×34×66		440	192
849	96-Q-25	37×37×62		440	192
850	96-Q-1	36×29×28		440	192
851	96-Q-25	35×29×32		440	192
852	6-Q-25	34×29×14		440	192
853	96-Q-25	33×31×37		440	192
854	96-Q-25	31×26×36		440	192
855	96-P-24	31×27×30		440	192
856	96-P-25	27×21×19		440	
858	96-P-25	30×29×31		440	192
859	96-P-25	32×23×24		440	192
860	96-P-25	28×26×56		440	192
861	96-P・Q-25	40×36×53		440	192
862	96-Q-25	21×15×40		440	192
863	96-P-24	28×23×30		440	192
865	96-P-25	44×35×50		440	193
866	96-P-25	35×27×44		440	
867	96-P-25、 6-P-1	34×27×42		440	
868	96-P-25、 6-P-1	34×(22)×36		440	
870	6-Q-1	41×36×24		440	193
872	6-Q-1	36×35×34		440	193
873	96-P-25	34×34×31		440	193
874	96-P-25	39×36×28		440	193
875	96-P-25	28×24×22		440	193
876	96-P-25	33×32×32		440	193
877	6-P-1	32×24×33		440	193
878	6-P-1	34×25×33		440	193
879	6-P・Q-1	54×39×28		440	193
880	6-Q-1	25×24×29		440	193
881	96-P-25	28×21×18		440	193
882	96-O-25	29×24×27		440	193

第2章 調査された遺構と遺物

883	6-O-1	32×31×46		440	193
969	96-Q-25	49×45×17		400	193
970	96-Q-25	44×37×21		440	193

第4-2面

溝 No	グリッド	幅×長さ(m)	遺物等	探掘	PL
30	6-L-2~V-20	1.0~1.4×5.5		447	195
31	97-D~M-2~4	1.8×37	銅製小束	455	197
36	97-D-3	0.45×12.5		457	197
37	97-B-C-3・4	0.33~0.5×1.3		457	197

41	6-N-1~U-22 ~W-20	0.46×40.3		447	195
42	96-F-17~V-20	0.56×34.5		446	195
43	96-U-21~ 97-D-18	0.55~0.6×35		446	195
土坑 No	グリッド	長軸×短軸×深さ(cm)/ 長軸方位	遺物等	探掘	PL
884	97-F-C-15・16	245×65×37 N-19°-W		448	195
885	97-B-C-17・18	300×44×54 N-15°-W		448	196
886	96-Y-18	202×69×69 N-21°-W		448	196
872	97-A-3	164×51×43 N-8°-W		452	197
935	98-C-11・12	111×64×63 N-20°-W		444	

第28表 遺物観察表

2面遺構外	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	探掘	PL
1	瀬戸・美濃陶器 水化瓶? 破片	口径- 底径- 器高-	胎土は夾雑物少量。灰白色。残存部分は球形を呈する。胴部に粘土粒を密付。灰輪。貫入入。江戸時代。	195	46
2	肥前磁器 碗 高台部	口径- 底径3.9 器高1.7	胎土は夾雑物無し。灰白色。体部を7割欠いて二次加工を施す。外面の高台部と高台に磨練。高台内の周縁部にも1重の磨練。江戸時代。	195	46
3	肥前磁器 碗 ほぼ完形	口径10.0 底径4.1 器高5.1	胎土は夾雑物無し。灰白色。体部に青輪梅文。高台外面に2重の磨練。高台内に不明路。18C中頃~後半。	195	46
4	石製品 砥石 4/5	長(11.6) 幅3.1 厚2.0 重量134.3	砥石質。表面は非常に滑らかでありほぼ平坦である。主要な砥面と考えられる。裏面はわずかに凹凸が認められる。部分的に滑らかな面が認められ便宜的な面が考えられる。左右両側面は節理面(自然面)であり板状節理の石材を露頭採取していると考えられる。	195	46
5	石製品 火打石 完形	長2.9 幅2.7 厚2.0 重量18.3	流紋岩。稜上に微細割離とつぶれが顕著に認められ火打石と判断した。各面は節理面で構成され剥片素材と考えられる。	195	46
6	石製品 火打石 完形	長2.6 幅2.3 厚1.1 重量5.3	流紋岩。稜上及び縁部に微細割離とつぶれが集中し火打石と判断した。	195	46
7	銅製品 古銭 完形	縦2.827 横2.823 厚さ0.152 重量5.2	寛永通寶11文。筋系の色調が異なる。面の筋は深く、字、輪、郭が明瞭。背の筋が浅く、やや文様。輪、郭が見づらい。	195	46
8	鉄製品 刀 ほぼ完形	長さ57.1 幅3.4 厚さ1.1 重量416.4	1号水路内。本体が可なり曲面がついている。全体にさびが覆っており、銘などの詳細は不明。	195	46
9	銅製品 煙管吸口 2/3以下	長さ4.4 幅1.0 厚さ1.0 重量2.8	羅字が残存し、羅字の周囲に有機物が付着する。吸口は劣化が激しく、さびの付着。欠けが多数見られる。	195	46
10	銅製品 煙管煙首 一部欠損	長さ5.1 幅0.9 厚さ1.5 重量5.2	火皿部分が欠損。小口は残存か。全体がさびに覆われている。	195	46
11	銅製品 煙管煙首 一部欠損	長さ5.0 幅1.8 厚さ1.7 重量9.2	真鍮製。火皿が変形してしまっている。肩が六角形になり、底部につなぎ目を有する。	195	46
12	銅製品 煙管吸口 一部欠損	長さ8.1 幅1.2 厚さ1.1 重量4.8	表面に植物物が残存するが、遺物には伴わないと考えられる。破片が多く接合する。	195	46
13	銅製品 煙管吸口 ほぼ完形	長さ4.35 幅0.5 厚さ1.3 重量4.5	全体がさびに覆われ、詳細は不明。小口方面の端部が潰れ、楕円形になる。	195	46
14	銅製品 箆筒引き手 完形	長さ3.3 幅2.3 厚さ0.6 重量5.7	裏につなぎ目が見られる。	195	46
15	鉄製品 鋤 一部破損	長さ37.2 幅14.3 厚さ3.6 重量1225.7	柄の一部の木材が残存する。劣化により地金が薄くなり、もろくなっている。また、刃先から3.5cmのところやや外側に彫りむ。	195	46

小観台	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	探掘	PL
1	土製品 羽口 破片	長軸3.9 短軸3.6 厚さ3.9 重量36.1	胎土は白い細い塵が若干混じる。表面に黒色ガラス質津が広い範囲で見られる。非常にもろく劣化が激しい。	222	58
2	銅製品 煙管吸口 破片	長さ3.3 幅0.9 厚さ0.7 重量1.6	両端部が欠損する。全体的に劣化が認められる。内部には土が詰まっている。	222	58
3	銅製品 古銭 一部欠損	縦2.248 横2.345 厚さ0.102 重量0.8	古寛永。4片に破損。ひびにより、弱くなっている。面の筋はやや浅いが、字、輪、郭は明瞭。背も筋は浅いが、輪、郭は明瞭。		58
4	銅製品 古銭 完形	縦2.535 横2.532 厚さ0.141 重量1.3	新寛永。背文。5片に破損。面、背ともに筋は深く、字、輪、郭ともに明瞭。劣化により全体的に弱くなっている。		58

1号溝	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	探掘	PL
1	製作地不詳陶器 合子身 1/4	口径(5.0) 底径(5.0) 器高1.6	胎土は夾雑物無し。淡黄色。口縁部は合わせ口。底部は平底。体部への立ち上がり部分は面取りされる。体部外面と内に灰輪。貫入入。底部内外面に上総具状の付着物。製作時期不詳。	223	59
2	瀬戸陶器 すり鉢 口縁部破片	口径(31.0) 底径- 器高-	胎土は夾雑物微量。淡黄色。口縁部は短く内輪が屈曲。内面に14本1単位の小ケジ目。磨練。19C。	223	59
3	肥前磁器 染付蓋 天井部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は夾雑物無し。灰白色。焼成不良。柄杓部は欠損。その基部と天井部中に磨練。口縁部寄りに染付文。江戸時代。	224	59

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

4	銅製品 古銭 完形	縦2.170 横2.206 厚さ0.094 重量1.8	新貨水。背の上部が盛り上がり字の可能性もあるが、彫が浅く、厚減しているため判断不可。面は彫はやや浅いが、字、輪、郭は明瞭。下部が背側にややゆがむ。	224	59
5	銅製品 古銭 完形	縦2.454 横2.441 厚さ0.121 重量2.4	古貨水。面の彫は深く、字、輪、郭が明瞭。背はやや彫が浅いが、輪、郭は明瞭。両面に細かな傷が見られ、面は上下方向背は右上から右下方向に傷が見られる。	224	59
6	銅製品 古銭 完形	縦2.531 横2.537 厚さ0.114 重量2.0	新貨水。背文。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭ともに明瞭。	224	59
7	銅製品 古銭 完形	縦2.433 横2.442 厚さ0.160 重量3.5	古貨水。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。全体にやや劣化が見られる。背の郭が太い。	224	59
8	銅製品 古銭 完形	縦1.9 横1.8 厚さ0.2 重量1.3	雁首銭。椎管の雁首をつぶした銭状の遺物。孔は破損し広がり、外形も欠損している。	224	59
150号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	礫石器 台石 1/4	長(19.1) 幅(18.9) 厚(5.8) 重量3261.1	粗粒輝石安山岩。表表面の中央に黒色物質がやや厚く付着し炭化物の可能性はある。板状の角礫を利用していると考えられ石材を露頭採取している可能性がある。	233	63
2	礫石器 磨石 完形	長10.7 幅8.3 厚5.1 重量580.8	粗粒輝石安山岩。表面の右半分に磨面が認められる。表面の下方及び無面に最打痕が散在する。凹溝を利用してのと考えられる。	233	63
275号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	縄文土器 深鉢 胴部片	口径- 底径- 器高-	砂と繊維を含むやや粗雑な胎土。器口の粗雑な0段多条の直前段合図縄文を横位施文。内面やや被熱風化。陶山目式。	235	65
277号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	弥生土器 甕 胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色・黒色岩片や少量の石英・結晶片岩の粗・細砂を含む緻密な胎土。やや粗雑な縄文を横位施文。内面横位磨き。弥生中期。	235	65
312号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	須恵器 杯 2/3	口径12.6 底径7.3 高さ3.1	胎土は粗砂粒・細砂粒を含む。ロコU型。回転は右回り。底部は回転軸を切り離した後、無調整。	238	67
392号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 すり鉢 体部下位～底部破片	口径- 底径(12.0) 器高-	胎土に白色・黒色微物粒を含む。褐色。外面はナデ。底部は回転軸を切り離した後周縁部にヘラ調整。内面にはクシ目は見られない。良く使用されており、器面は平滑になっている。中世。	241	70
449号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	古瀬戸陶器 おろし皿 破片	口径- 底径- 器高-	胎土は夾雑物微量。灰白色。内面にはクシ状工具により矢羽根状におろし面が付けられている。灰種。中世。	244	72
509号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	割片石器 石鏃	長(1.6) 幅1.4 厚0.4 重量0.4	黒曜石。凹基無茎鏃。押圧剥離による両面加工が認められる。	246	74
626号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	瀬戸・美濃陶器 白天目碗 体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は黒色微物粒微量を含む。灰黄色。体部中位の破片。口径部直下で大きく波打つ。半透明の白い釉が掛かる。貫入する。17世紀中頃。	249	77
542号ピロ	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	鉄製品 釘 一部欠損	長6.4 幅0.9 厚0.5 重量0.6	釘頭部。全体が劣化しており、錆が付着している。	252	79
621号ピロ	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	礫石器 台石 完形	長33.5 幅24.5 厚3.7 重量3674.1	粗粒輝石安山岩。表面の中央に黒色物質がやや厚く付着し炭化物の可能性はある。板状の角礫を利用していると考えられ石材を露頭採取している可能性がある。	255	81
3面道構外	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	陶胎染付陶 体部～底部破片	口径- 底径(4.6) 器高-	胎土は夾雑物無し。灰色。体部外面に染付文。体部下位に1重。高台段から高台外面に3条の磨線。18C前半～中頃。	257	81
2	在地系土器 円板 完形	横3.2 縦3.4 厚さ0.6	胎土は細砂粒を含む。褐色。内耳縁あるいは鉢の底部破片の周縁部を二次加工している。	257	81
3	石製品 砥石 2/3	長(8.4) 幅(2.9) 厚1.9 重量69.4	砥石。砥面は1面認められる。正面は研ぎ減りにより内湾しており斜め方向の細かい縦条筋が多数認められる。左右両側面にはいくつもの作出面が認められタガネ等工具による加工単位と考えられる。	257	81

第2章 調査された遺構と遺物

4	銅製品 煙管吸い口 ほぼ完成	長さ4.6 幅0.8 厚さ0.8 重量3.2	吸口は2部分からなり、それぞれのつなぎ目の位置がずれる。内部には羅字の一部が残存する。	257	81
5	銅製品 古銭 完成	縦2.527 横2.519 厚さ0.134 重量3.3	新貨水。背文、面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。やや面に反っている。	257	81
6	銅製品 古銭 完成	縦2.189 横2.183 厚さ0.131 重量2.1	寛永通寶。背文か。彫はやや浅く、字は厚感とさびの付着で見えづらい。輪、郭は一部判別可能。背は彫が浅く、字、輪、郭が不明瞭。	257	81
7	銅製品 古銭 ほぼ完成	縦2.537 横2.541 厚さ0.157 重量3.5	新貨水。背文、面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。一部さびが付着する。やや背側に反る。	257	81
17号溝	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	瀬戸・美濃陶器 碗 高台部	口径- 底径5.8 器高1.5	胎土は夾雑物少量。黄灰色。体部は打ち欠いて二次加工している。内面に胎輪がたまる。18C前半~中頃。	286	91
21号溝	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	銅製品 古銭 ほぼ完成	縦2.477 横2.480 厚さ0.176 重量3.2	元禄通寶。全体的に劣化しており、字がつぶれ見えづらい。彫は深く、輪、郭は明瞭。背の彫はやや浅く、輪、郭は一部判別可能。		92
11号掘立柱建物	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	銅製品 煙管首 一部欠損	長さ2.8 幅1.4 厚さ3.2 重量3.8	火皿部分に上が詰まっており、詳細不明。小口が欠損する。全体的に劣化が見られる。	319	101
2	銅製品 煙管吸口 一部欠損	長さ5.3 幅0.8 厚さ0.9 重量2.3	羅字が残存しており、羅字に吸い口の痕跡が残る。両端に欠損し、劣化により堅固になり破損した部分も残る。	319	101
3	銅製品 煙管吸口 破片	長さ4.5 幅0.9 厚さ0.9 重量1.5	小口付近のみ状態が良く、その他は円周1/4程度のみが残存。また小口から1/3のところで折れる。	319	101
4	石製品 石臼(上) 4/5	直径34.2 幅- 厚10.5 重量11580	粗粒輝石安山岩。底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡が明瞭に認められる。裏面に挽き手孔が2箇所認められる。そのうちの1箇所はすり合わせ面に露出した状態である。底面の厚減に伴い挽き手孔が露出し別の挽き手孔に作り替えたと考えられる。裏面に円錐形の軸受孔が認められる。供給孔は矩形である。細分された状態で出土しており故意に打割された可能性がある。	319	101
12号掘立柱建物	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 すり鉢か 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粘含む。灰色。口縁部端部は平坦面をなす。内側はわずかに肥厚する。器面はヨコナデ。製作時期不明。	319	102
2号集石	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 石臼(下) 1/3	直径32.0 幅- 厚(11.4) 重量4752.1	粗粒輝石安山岩。表面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに認められる。すり合わせ面は著しく片減している。	358	111
2	在地系土器 内耳鍋 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粘含む。にぶい褐色。器内薄。口縁部端部は平坦面をなす。内面は、口縁部と体部の間に狭い段をなす。器面、ヨコナデ。中世か。	358	111
3号集石	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 内耳鍋 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粘含む。にぶい褐色。器内薄。口縁部端部は平坦面をなす。内面は、口縁部と体部の間に狭い段をなす。器面、ヨコナデ。中世か。	358	112
2	石製品 火打石 完成	長6.7 幅6.6 厚3.9 重量160.5	流紋岩。稜上に微細離離とつぶれが認められ火打石と判断した。裏面に自然面を残し小形垂円鑿を利用してはいる。	358	112
3	石製品 石製品 不明	長(5.8) 幅(3.1) 厚(2.9) 重量102.2	粗粒輝石安山岩。矩形に整形されており各面は比較的滑らかである。四つの角は面取り加工されており非常に滑らかである。	358	112
4	石製品 石臼(上) 1/4	長(20.1) 幅(14.2) 厚(11.0) 重量3196.5	粗粒輝石安山岩。底面には挽き目の痕跡が認められ非常に滑らかである。供給孔は中央付近が狭くっており両面穿孔と考えられる。供給孔の直径約4cm。	358	112
4号集石	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 石鉢 1/4	長(21.5) 幅(13.0) 厚9.5 重量2199.4	粗粒輝石安山岩。内面は比較的滑らかである。外面の加工は粗く凹凸が認められる。底面は比較的平らであり黒色物質が付着する。口縁部には断面J字状の浅い溝が刻まれ、溝以外の部分は非常に滑らかである。	358	112
15号集石	器種・器形・残存	法量(cm)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 茶臼(下) 1/2	径32.0 高16.0	6目10刻み。受け面の一部欠損。	358	114
191号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	銅製品 古銭 一部破損	縦2.372 横2.370 厚さ0.166 重量2.8	享寧元寶。彫は深い。面は摩滅しており字は読みにくい。背は彫が浅い。背の輪、郭の位置が左上にずれている。3片に破損している。	367	116

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

2	銅製品	古銭	完形	縦2.489 横2.485 厚さ0.138 重量3.4	永楽通寶。面の字、輪、郭ともに明瞭。背は彫がやや浅く、一部輪が見えづらい。	367	116
3	銅製品	古銭	一部欠損	縦2.300 横2.321 厚さ0.168 重量1.6	〇〇元貨か。全体の劣化が激しく、詳細不明。面の字はほとんど見えない。面、背ともに輪、郭不明瞭。	367	116
4	銅製品	古銭	完形	縦2.529 横2.417 厚さ0.183 重量3.3	元祐通寶。全体にゆがみがある。彫が一部深い。ゆがみにより不明瞭。背も同様にゆがみにより不明瞭。	367	116
5	銅製品	古銭	完形	縦2.487 横2.491 厚さ1.91 重量2.9	聖本元貨。面は摩滅しているが、彫は深く、輪、郭が明瞭。背も輪、郭が明瞭。	367	116
255号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	石製品	石臼(下)	完形	直径28.6 幅- 厚11.1 重量11500.0	粗粒輝石安山岩。表面のすり合わせ面には挽き目がわずかに認められ、特に外縁部が非常に滑らかである。底面には棒状の工具痕が認められる。軸孔の直径約2cm。	372	117
287号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	完形	縦2.518 横2.520 厚さ0.187 重量3.0	新寛永。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。やや字が細い。	378	118
2	銅製品	古銭	完形	縦2.558 横2.557 厚さ0.120 重量2.9	新寛永。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。背が磨着していた。2から6は磨着出上	378	118
3	銅製品	古銭	完形	縦2.511 横2.510 厚さ0.139 重量3.5	新寛永。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。2から6は磨着出上	378	118
4	銅製品	古銭	ほぼ完形	縦2.286 横2.205 厚さ0.103 重量1.7	新寛永。輪の一部が欠損。彫は浅いが、字、輪、郭は明瞭。背は彫が浅く、郭が不明瞭。2から6は磨着出上	379	118
5	銅製品	古銭	ほぼ完形	縦2.248 横2.266 厚さ0.115 重量1.4	新寛永。輪の一部が欠損。面の彫が深く、字、輪、郭は明瞭。背の彫は浅いが明瞭。2から6は磨着出上	379	118
6	銅製品	古銭	完形	縦2.344 横2.326 厚さ0.112 重量2.4	新寛永。輪の一部が欠損。面、背ともに彫は浅いが、字、輪、郭は明瞭。2から6は磨着出上	379	118
7	銅製品	古銭	完形	縦2.484 横2.483 厚さ0.115 重量2.5	古寛永。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。8と磨着出上	379	118
8	銅製品	古銭	一部欠損	縦2.444 横- 厚さ0.120 重量1.3	古寛永か。劣化が激しく、脆弱。劣化の影響が彫は全体的に浅く、字は見えづらい。7と磨着出上		
288号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	破片	縦- 横- 厚さ0.249 重量0.6	開〇〇貨。劣化しており、破片のみ残存。開元通寶または開禧通寶が該当する。破片が付着。	382	119
453号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	完形	縦2.514 横2.489 厚さ0.155 重量3.5	天聖元貨。面は彫が深く、字、輪、郭が明瞭。背は一部彫が浅く、やや輪郭が左上にずれているか。	385	119
465号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	一部欠損	縦2.468 横2.501 厚さ0.178 重量1.4	嘉祐通寶か。面の彫は深く、輪、郭は明瞭。字は摩滅し不明瞭。背は彫が浅く不明瞭。	387	119
2	銅製品	古銭	完形	縦2.503 横2.498 厚さ0.157 重量2.9	宋元通寶。面、背ともに彫が深く、字、輪、郭は明瞭。一部にさびが付着している。	387	119
466号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	石製品	石臼(上)	4/5	直径29.2 幅- 厚12.1 重量13450.0	粗粒輝石安山岩。表面のすり合わせには挽き目の痕跡がわずかに認められる。側面には棒状の工具痕が認められる。底面の加工は粗く棒状と平ノミ状の工具痕が認められる。軸孔は矩形である。	390	120
2	石製品	茶臼(下白)	1/4	長(14.3) 幅(22.2) 厚13.7 重量3240.0	粗粒輝石安山岩。表面のすり合わせ面は非常に滑らかである。軸孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。	390	120
547号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	ほぼ完形	縦2.505 横2.585 厚さ0.188 重量2.1	元祐通寶か。3片に割れ、字全体にさびが多く付着している。X線透過撮影により、文字の一部を判断。破片が付着する。	393	121
2	銅製品	古銭	ほぼ完形	縦2.311 横2.288 厚さ0.141 重量1.7	銭種不明。全体が劣化し、摩滅している。背は彫は浅そうであるが、詳細不明。	393	121
3	銅製品	古銭	完形	縦2.359 横2.386 厚さ0.182 重量3.3	元祐通寶。面の彫は深く、字、輪、郭ともに明瞭。背は彫が浅いが、輪と郭は明瞭。やや背の輪、郭が右下にずれる。	393	121
4	銅製品	古銭	完形	縦2.387 横2.378 厚さ0.146 重量1.7	聖朝元貨か。一部摩滅およびさびの付着で字の一部が見えづらい。背の下方に痕跡が残存か。背の彫はやや浅いが、輪、郭は明瞭。	393	121
871号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)		材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL	
1	銅製品	古銭	完形	長さ2.511 幅2.583 厚さ0.279 重量5.5	景徳元貨、開元通寶。2枚の背が磨着している。2枚とも劣化は見られるが、彫は深く、字、輪、郭が明瞭。	398	122
2	銅製品	古銭	完形	縦2.473 横2.479 厚さ0.182 重量2.3	政和通寶。さびが付着している部分が多い。面の彫はやや深く、字、輪、郭は明瞭。背は彫はさびにより不明瞭だが、輪は明瞭。破片が付着する。	398	122

第2章 調査された遺構と遺物

3	銅製品 古銭 完形	縦2.464 横2.452 厚さ0.119 重量2.2	祥瑞通貨。2片にわかれる。面の字はつぶれており、やや見えづらい。形は深く輪、郭は明瞭。背の形は浅いが、輪、郭は判別可能。	398	122
4	銅製品 古銭 完形	縦2.415 横2.401 厚さ0.139 重量2.8	元祐通貨。面の形は深く、字、輪、郭ともに明瞭。背の形は浅く、輪、郭が一部明瞭。5と施着。	398	122
5	銅製品 古銭 完形	縦2.466 横2.482 厚さ0.105 重量2.5	至道元寶。面の形は深く、字、輪、郭ともに明瞭。背の形は浅いが、判別可能。4と施着。	398	122
151号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	礫石器 磨石 完形	長11.9 幅6.7 厚33.6 重量495.3	粗粒輝石安山岩。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。垂円礫を利用していると考えられる。	399	123
152号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 火打石 完形	長3.9 幅2.1 厚0.9 重量7.1	流紋岩。稜上に微細網織とつぶれが顕著に認められ火打石と判断した。剥片素材であり裏面に主要剥離面を大きく残す。	399	124
156号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	鉄製品 釘 完形	長さ3.3 幅1.4 厚さ1.7 重量5.1	頭部を薄くのぼし折り曲げる。脚部から1/3の部分から「し」の字状に曲がる。	399	124
157号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	縄文土器 深鉢 胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円筒度の進んだ長石・灰白色岩片や輝石の粗・細砂及び繊維を含むやや緻密な胎土。内外面共に横位の条痕を施文。横位・多段の連続斜交文と区画交点に円形竹管文を施す斜格子状沈線文を施文。轆ヶ島式。	399	124
159号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 砥石 2/3	長(9.6) 幅3.6 厚2.6 重量162.9	粗粒輝石安山岩。表裏面に砥面が認められほぼ平坦である。	399	124
162号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	銅製品 古銭 ほぼ完形	縦2.576 横2.516 厚さ0.159 重量2.3	永楽通貨。輪の一部が欠損。形は深く字、輪、郭ともに明瞭。	401	125
2	銅製品 古銭 ほぼ完形	縦2.487 横2.429 厚さ0.145 重量1.8	永楽通貨。輪の一部が欠損。面の形は深く字、輪、郭ともに明瞭。背の形は浅いが、輪、郭は判断可能。	401	125
163号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 内耳鍋 体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒を含む。黒褐色。器内は薄い。口縁部は体部から屈曲後内湾気味に立ち上がる。内面に弱い段が見られる。器面はココナデ。炭素吸着が、中世。	401	125
2	在地系土器 内耳鍋 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒を含む。暗褐色。器内は薄い。口縁部と体部の境に弱い段をなす。器面はココナデ。中世。	401	125
3	礫石器 磨石 完形	長5.5 幅5.4 厚4.6 重量183.1	粗粒輝石安山岩。全面が滑らかであり磨面と判断される。	401	125
197号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 砥	長(7.0) 幅(5.0) 厚(0.5) 重量28.5	頁岩。残存部分の縁及び裏側は滑らかであり丁寧に研磨整形される。砥面は非常に滑らかである。	403	128
198号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	石製品 石白(土) 1/2	長(14.0) 幅(29.0) 厚(13.8) 重量4781.9	粗粒輝石安山岩。底面のすり合わせ面に焼き目の跡が認められ片減りする。底面は非常に滑らかである。側面に形勢の焼き手孔が認められる。	399	128
212号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	弥生土器 甕 胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円筒度の進んだ赤色岩片や少量の珪質乳白色・灰白色岩片、長石・輝石の粗・細砂を含む緻密な胎土。やや細密な縦線を斜位施文。外面一部に炭化炭化物付着。内面は平砥の横位磨き。弥生中世。	403	129
224号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	縄文土器 深鉢 胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円筒度の進んだ長石・灰白色岩片や輝石の粗・細砂及び繊維を含むやや緻密な胎土。0段多糸の縦織文を横位施文。内外面共にやや被熱風化。岡山Ⅱ式。	405	130
227号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 内耳鍋 口縁部・体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒を含む。暗褐色。底部は平砥。砂状斑。外面に炭素吸着。中世。	405	131
2	在地系土器 内耳鍋 体部・底部破片	口径(36.0) 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒を含む。にぶい赤褐色。口縁部の屈曲は強い。内面は、口縁部と体部の間に弱い段をなす。1か所、内耳が残存する。器面はナデ。外面に炭素吸着。中世。	405	131
321号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出	PL
1	在地系土器 内耳鍋 体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒を含む。暗褐色。内は、口縁部と体部の間に弱い段をなす。器面はナデ。外面の下部にヘラケズⅡ。中世。	409	136

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

324号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	石製品 砥石 2/3	長(11.8) 幅(3.2) 厚2.7 重量159.9	粗粒輝石安山岩。砥面は4面認められる。正面は上方に向かい研ぎ減りする。左側面の上方には比較的幅の広い浅い線条痕が認められる。砥面は滑らかな面が形成されているが凹凸が認められ便易的な砥面と考えられる。	409 137
325号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	銅片石器 石鏃 完形	長2.7 幅0.6 厚0.4 重量0.5	赤碧玉。押圧割離による両面加工により器形を整形する。	409 137
346号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	縄文土器 深鉢 底部片	口径- 底径- 器高-	中量の円磨度の進んだ灰白色岩片・角閃石や少量の長石と黒色・赤色岩片の粗・細砂を含む緻密な胎土。外底面に副文。内外面共にやや被熱風化。後期中Ⅲ。	409 137
353号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	縄文土器 深鉢 口縁部片	口径- 底径- 器高-	多量の長石・珪質乳白色岩片や円磨度の進んだ中～少量の灰白色・赤色岩片と輝石の粗・細砂を含む緻密な胎土。く字状に内折する口縁部にC字状の沈線文を、下位には縄文を充満した横線区画文を施す。内面口縁部に内凹状の横線沈線文を2条施す。外面縁へく字状の黒色研磨で光沢を帯びる。内面横位施で、加賀川B 2式。	411 138
360号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	縄文土器 深鉢 口縁部片	口径- 底径- 器高-	少量の円磨度の進んだ灰白色・赤色岩片や長石・角閃石の粗・細砂と繊維を含むやや緻密な胎土。0段多条の粗縄文を横位施す。内外面共にやや被熱風化。関山II式。	411 138
374号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	礫石器 磨石 完形	長7.9 幅7.5 厚2.9 重量216.3	粗粒輝石安山岩。表面面のはほぼ全面に磨面が認められる。磨面以外の部分は自然面であるか判断できない。	413 140
381号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	縄文土器 深鉢 口縁部-胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円磨度の進んだ結晶片岩・長石粗・細砂や雲母細砂と少量の珪質乳白色岩片・輝石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。口縁部に橋脚区画文を施し、角押文を充満的に施す。頸部から胴部にも角押文を平行・扇状に施す。内面横位施で、一部に煤状炭化付着。磨版1式。	413 141
469号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	在地系土器 内耳鍋 口縁部-体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土に白色鉱物粒含む。褐色～暗褐色。口縁部の断面は薄い。1か所、内耳が残存する。器面はナズ。外面に灰素焼着。中世。	415 143
2	在地系土器 内耳鍋 口縁部-底部破片	口径- 底径(22.6) 器高-	胎土に白色鉱物粒含む。暗褐色。底部は平底。砂状圧痕跡。器面はナズ。底部との接合部分高りにココナテ。外面に灰素焼着。中世。	415 143
470号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	石製品 石臼(上) 1/8	直径30.0 幅- 厚11.3 重量2404.4	粗粒輝石安山岩。底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに認められる。上面及び側面は滑らかな。供給口の一部が認められる。	415 143
473号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	常滑陶器 壺か 口縁部破片	口径(12.0) 底径- 器高-	胎土に白色・黒色鉱物粒含む。暗灰色。口縁部は外側に折り返したように肥厚する。頸部は締まる。口縁部外面に自然釉付着。中世終末～江戸時代初期。	415 143
520号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	瀬戸・美濃陶器 皿 口縁部破片	口径(10.8) 底径- 器高-	胎土は夾雑物少量。灰白色。長石軸。貫入入る。17C中頃。	415 145
546号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	縄文土器 深鉢 胴部片	口径- 底径- 器高-	中量の円磨度の進んだ赤色・灰白色岩片や輝石と少～中量の長石・珪質乳白色岩片の粗・細砂を含む緻密な胎土。単沈線文を横・斜位に施し、やや緻密なL形縄文を充満的に施す。屈内1式か。	418 147
555号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	瀬戸・美濃陶器 丸皿 1/4	口径(11.3) 底径(6.4) 器高2.6	胎土は夾雑物少量含む。灰白色。口縁部端外に、体部下外面にヘラケズリ。口縁部に灰軸。546坑出土片と接合。16C前半～中頃。	418 147
2	鉄製品 一部欠損	長さ12.9 幅1.0 厚さ0.7 重量20.2	詳細不明。一方の端部は2本に分かれ、もう一方の端部は1本になる。中心部分がさびによる膨れと劣化によって不明。	418 147
561号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 Pt.
1	石製品 石臼(上) 1/2	径32.0 高16.0	6日8割みか。割み目が粗い。	421 148

第2章 調査された遺構と遺物

566号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	銅製品 キセル(雁首)一部欠損	長さ3.5 幅1.5 厚さ3.7 重量5.0	煙管の雁首。小口が欠損。全体的に劣化がみられ、表面が剥離している部分もある。	421 149
2	石製品 石臼(上)一部欠	径27.0 高11.0	6目。欠損が激しい。	421 149
3	石製品 石臼(上)1/4	径27.0 高11.0	1/4残存。	421 149
4	石製品 石臼(下)1/2	径29.0 高13.0	6目8刻みか。刻目の残りが悪い。	421 149
5	石製品 石臼(下)完形	径27.0 高13.0	6目。作業面周縁の欠損が激しい。	421 149
586号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	石製品 石鉢 2/3	径32.0 高13.0		421 151
600号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	瀬戸・美濃陶器 皿 1/4	口径(11.1) 底径6.0 器高1.9	胎土は夾雑物少量含む。灰黄色。高台は低いノズリ出し高台。高台内も含め器面に長石釉。貫入入る。高台外面に重ね焼きの痕跡が認められる。17C中頃。	421 153
601号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	石製品 火打石 完形	長4.5 幅2.8 厚3.2 重量46.2	胎土は流紋岩。粒上に微細な孔とつぶれが認められ火打石と判断した。裏面に自然面を残しパーカッションマークが数多く認められ川原石を利用している。	421 153
603号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	瀬戸・美濃陶器 丸皿 完形	口径10.4 底径5.9 器高2.4	胎土は夾雑物少量。灰黄色。高台内も含め器面に灰釉。貫入入る。焼成不良。16C中頃～末。	421 153
604号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	製作地不詳 天目碗 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は夾雑物少量。灰白色。内外面に鉄釉。製作時期不詳。	421 153
2	在地系土器 皿 ほぼ完形	口径11.2 底径6.2 器高2.8	胎土に粗砂粒含む。黒褐色。底部は左右軸系切り離し後無調整。内面は炭素吸着。中世か。	421 153
3	鉄滓	長軸3.3 短軸3.3 厚さ2.4 重量25.7	滓質はやや密。色調は黒褐色。垂れが生じ土塊痕が見られる。厚さは2.4cmでやや薄手。	421 153
623号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	銅製品 煙管吸口 破片	長さ1.7 幅0.4 厚さ0.4 重量0.4	口付部分か。端部でやや膨らみを持ったあとにすずみ、穴が小さくなる。	424 156
643号土坑	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	銅製品 古銭 完形	縦2.408 横2.414 厚さ0.119 重量2.3	太平通寶。面の那は深く、字、輪、郭が明瞭。背は那が浅く、一部の輪のみ明瞭。	424 156
2	銅製品 古銭 完形	縦2.473 横2.470 厚さ0.167 重量3.1	皇宋通寶。面の那は深く、字、輪、郭が明瞭。背は那が浅く、不明瞭。孔が郭に対して90度傾いている。	424 156
3	銅製品 古銭 完形	縦2.448 横2.420 厚さ0.137 重量3.2	紹聖元寶。面の那は深い、字はつぶれてしまい見えづらい。輪と郭は明瞭。背は那が浅く、不明瞭。	424 156
4	銅製品 古銭 完形	縦2.439 横2.442 厚さ0.139 重量3.0	開元通寶。一部背郭からのへこみにより変形。面の那は深く、字、輪、郭が明瞭。背は那が浅く一部輪が不明瞭。	424 156
5	銅製品 古銭 完形	縦2.480 横2.448 厚さ0.117 重量1.8	皇宋通寶か。面の字が摩滅により、判読困難。那は浅めだが、輪、郭は明瞭。背は那が浅く、輪、郭は不明瞭。	424 156
235号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	在地系土器 内耳銅 体部-底部破片	口径- 底径- 器高-	胎土に白色鉱物粒含む。明褐色。底部は平底。砂状粒痕。器面はナデ。炭素吸着。中世か。	429 162
236号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	石製品 砥石 完形	長11.7 幅3.4 厚2.4 重量108.7	砥沢石。砥面は4面認められるが右側面は滑らかな部分がモザイク状に分布し便宜的な砥面と考えられる。表裏面の下方には階段状のわずかな段差が連続して認められる。	429 162
244号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	鉄滓	長軸4.5 短軸244.9	滓質はやや密。放射線が激しく、酸化土砂が見られる。一部に有機物の残存。本底値あり。厚さはやや厚め。	429 162
245号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	在地系土器 内耳銅か 口縁部-体部破片	口径- 底径- 器高-	胎土に粗砂粒含む。にぶい、黄色。口縁端部は磨滅している。器面はヨコナデ、ナデ。中世。信濃型。	431 162
246号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出 PL
1	鉄滓	長軸4.0 短軸5.8 厚さ2.2 重量62.8	滓質はやや密。上面部は全体に弱く磁着がある。一部に有機物、酸化土砂が付着する。	431 162

第6節 遺構一覧表・遺物観察表

247号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	銅製品 古銭 完形	縦2.495 横2.523 厚さ0.174 重量2.7	大型元貨。面の形は深く、字、輪、郭が明瞭である。背は形が浅く、一部の輪と郭が判別できる。	429 163
315号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	石製品 碗 2/3	長(12.8) 幅9.1 厚1.9 重量335.6	頁岩。表面、側面、裏面は全体的に滑らかであり丁寧に研磨整形される。裏面には斜め方向の細かき擦痕が多数認められ加工痕と考えられる。	431 168
420号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	銅製品 古銭 ほぼ完形	縦2.424 横2.430 厚さ0.155 重量3.2	紹聖元貨。やや字がつぶれており、判読しづらい。形は深く、輪、郭は明瞭。背はやや形が浅いが、輪、郭が明瞭。	434 177
519号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	須恵器 甕 胴部下位～底部片	口径- 底径- 器高-	胎土に3粗砂粒・白色鉱物粒。紐づくり整形。外面は平行引き具痕。内面はナ字調整。底部外面はヘラ削り。	439 188
587号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	在地系土器 内耳鍋 口縁部破片	口径- 底径- 器高-	胎土は白色鉱物粒含む。明黄褐色。口唇端部は弱い凹面状をなす。器面はヨコナデ、ナデ。中世。	439 189
2	礫石器 石皿 完形	長7.7 幅7.0 厚3.6 重量123.0	粗粒輝石安山岩。表面の中央に浅鉢状の窪みが認められ底部付近が非常に滑らかである。外面は全体的に比較的滑らかであり自然面か加工面が判断できない。	439 189
3	銅製品 古銭 完形	縦2.401 横2.381 厚さ0.174 重量2.0	至和元貨。3片にわかれる。	439 189
616号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	銅製品 古銭 ほぼ完形	縦2.372 横2.346 厚さ0.172 重量1.9	至大通寶。輪の一部が欠ける。面の形は深く、字、輪、郭ともに明瞭。背は形がやや浅いが輪、郭が明瞭。	439 190
635号ビット	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	石製品 砥石 完形	長11.8 幅3.2 厚2.9 重量112.4	砥沢石。表面は上方及び下方に研ぎ減りし主要な砥面と考えられる。左右両側面には櫛歯タガネ痕がわずかに認められる。左側面と裏面には部分的な砥面が認められ便宜的な砥面ととらえられる。	439 190
31号溝	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	銅製品 ほぼ完形	長さ9.5 幅1.4 厚さ0.5 重量11.9	小柄。2片にわかれ上面の一部が欠損している。表面の裝飾は確認できない。	455 197
4面遺構外	器種・器形・残存	法量(cm・g)	材質/胎土・色調・特徴等	検出
1	肥前窑器 碗 体部下位～底部	口径- 底径(4.4) 器高-	胎土は夾雑物無し。白色。体部に雪輪梅樹文。外面の高台境と高台に圈線。高台内にも1重の圈線。内面、靨の目輪割ぎ。重ね焼き痕跡。18C前半。	441 197
2	瀬戸・美濃陶器 碗 高台部	口径- 底径5.0 器高1.6	胎土は夾雑物少量。灰白色。内面に輪飾。体部を打ち欠いて二次加工。18C後半。	441 197
3	銅製品 古銭 完形	縦2.575 横2.562 厚さ0.104 重量2.0	祥符通寶。通の字の右側に小さな穴がある。面の形は深く、字、輪、郭が明瞭。背は形はやや浅いが輪、郭が明瞭。背の輪、郭が右下方面にずれている。	441 197

第3章 自然科学分析

今回の報告対象範囲では、墓坑および人骨または獣骨が出土した集石遺構、獣角が出土した建物などを調査した。この中で、土坑墓被葬者の性別、年齢や獣種の判別など基礎的情報の把握について、大妻女子大学博物館橋崎修一郎氏に鑑定、分析を委託した。なお、墓坑のうち871号土坑については骨の残存が非常に悪く、取り上げることができなかったため、鑑定分析の対象となっていない。また、鹿角を出土した6区5号建物の遺構としての記載は他の寺院関連遺構とともに次報で行う。

石川原遺跡出土人骨

はじめに

石川原遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯に所在する。(公財)群馬県埋蔵文化財調査団による発掘調査が平成26(2014)年度～27(2015)年度まで実施された。

本遺跡の6区・7区・97区・98区の4つの区から人骨が出土したので以下に報告する。

1. 6区出土人骨

6区では、547号土坑・571号土坑・5号建物の3つの遺構から人骨が出土している。5号建物は獣骨である。

(1) 547号土坑[中世?]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸132cm・短軸79cm・深さ37cmの規模の長方形土坑から出土している。



写真1. 547号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨が検出されている。

④人骨の出土部位

残存状態は非常に悪いが、ほぼ全身が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、あきらかな重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値は比較的小さいため、被葬者の性別は女性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状に露出する程度のマルティンの2度の状態であるため、被葬者の死亡年齢は約30歳代～40歳代であると推定される。



写真2. 547号土坑出土人骨(右M1) (第1大臼歯)

(2) 571号土坑[中世?]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸109cm・短軸68cm・深さ22cmの規模の楕円形土坑から出土している。

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。



写真3. 571号土坑人骨の出土状況

③副葬品

副葬品は、検出されていない。

④人骨の出土部位

残存状態は非常に悪いが、ほぼ全身が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、あきらかな重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

頭蓋骨は薄く、四肢骨も小さく華奢であるため、被葬者の性別は女性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

年齢推定指標となる部位が検出されていないため、被葬者の死亡年齢は成人であると推定される。しかしながら、破片ながら歯の検出が少ないため、生前脱落が多かった老齢の可能性もある。

(3) 5号建物[近世]

建物から出土しているため、詳細な出土状況は不明である。なお、骨は一見、人骨の左大腿骨に似通っているが実際はニホンジカの角(鹿角)である。鹿の場合、オス(♂)のみに認められるため、性別はオスとなる。なお、写真4の内、左側は切断した痕であると推定される。シカでは、春に生え変わるため、落角した角を加工目的で保管していた可能性もあるが、角座部分が出土していないため、落角したものかどうかの判定はできなかった。



写真4. 5号建物出土鹿角

2. 7区出土人骨

7区では、191号土坑・248号土坑・255号土坑・266号土坑・272号土坑・287号土坑・288号土坑・453号土坑・465号土坑・466号土坑・608号土坑・1・2号集石の12の遺構から人骨が出土している。

(1) 191号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸116cm・短軸75cm・深さ36cmの規模の長方形土坑から出土している。



写真5. 191号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

被葬者の頭位と埋葬状態は不明である。

③副葬品

副葬品は、銭貨が出土している。

④人骨の出土部位

人骨の残存状態は非常に悪い。遊離歯及び四肢骨片が出土している。

⑤被葬者の個体数

恐らく被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の計測値が比較的小さいため、被葬者の性別は女性(女児)であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土遊離歯のエナメル質表面は、ザラザラとしている。このような状態は、まだ未萌出か萌出して間もない場合が多い。被葬者の死亡年齢は、幅を持たせて約6歳から8歳であると推定される。未成年で、四肢骨は薄くもろいために歯しか残らなかったと考えられる。



写真6. 191号土坑人骨の出土状況

(2) 248号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸94cm・短軸70cm・深さ15cmの規模の楕円形土坑から出土している。

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。



写真7. 248号土坑人骨の出土状況

③副葬品

副葬品は、検出されていない。

④人骨の出土部位

頭蓋骨・四肢骨が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

歯の歯冠計測値が比較的小さく、四肢骨も小さく華奢であるため、被葬者の性別は女性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状に露出する程度のマルティンの2度の状態であるため、被葬者の死亡年齢は約30歳代であると推定される。



写真8. 248号土坑人骨

(3) 255号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸126cm・短軸72cm・深さ37cmの規模の長



写真9. 255号土坑人骨の出土状況

方形土坑から出土している。

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして仰臥屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、石臼が出土している。

④人骨の出土部位

ほぼすべての部位が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

四肢骨は大きく頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

歯がほとんど検出されないため、被葬者の死亡年齢は老齢であると推定される。

⑧人骨の特徴

本人骨の脛骨は左右に扁平である、いわゆる「扁平脛骨」である。この扁平脛骨は、縄文時代人によく認められる形質である。この成因として、筋肉の発達による説や栄養不良による説がある。しかしながら、現在では、筋肉の発達による説が優勢である。本遺跡は、山岳部に位置するため、よく歩くことで発達したのであろう。



写真10.248号土坑人骨

(4) 266号土坑〔近世〕

①人骨の出土状況

人骨は、長軸124cm・短軸91cm・深さ21cmの規模の方形土坑から出土している。



写真11.266号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の残存量が非常に少ないため、被葬者の頭位及び埋葬状態は不明である。しかしながら、歯は北部から出土しているため、頭位は北であると推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨が検出されている。

④人骨の出土部位

人骨の出土部位は、遊離歯及びわずかな骨片である。

⑤被葬者の個体数

出土遊離歯には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値は、比較的小さいため、被葬者の性別は女性(女兒)であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土遊離歯のエナメル質表面は、まだ完全に完成しておらずザラザラとしている。経験則であるが、このような状態は、まだ未萌出か萌出して間もない場合が多い。したがって、被葬者の死亡年齢は、幅を持たせて約6歳から8歳であると推定される。未成年であるために、四肢骨は薄くもろいために残存しなかったと考えたと出土状況と一致する。



写真12. 266号土坑人骨

(5) 272号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸126cm・短軸82cm・深さ7cmの規模の楕円形土坑から出土している。



写真13. 272号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、検出されていない。

④人骨の出土部位

頭蓋骨片・四肢骨片が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値は比較的小さいため、被葬者の性別は女性(女児)であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土遊離歯の咬耗度を観察すると、ほとんど咬耗が認められないマルティンの0度の状態である。しかしながら、乳歯は認められないため、被葬者の死亡年齢は、永久歯が生えそろうた時期である約11歳～12歳と推定される。このことは、歯だけではなく、四肢骨もある程度残存していることと合致する。

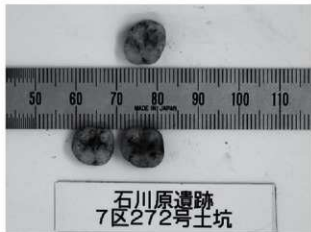


写真14. 272号土坑人骨

(6) 287号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸162cm・短軸72cm・深さ11cmの規模の長方形土坑から出土している。



写真15. 287号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨が検出されている。

④人骨の出土部位

ほぼすべての部位が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値は比較的大きく、四肢骨も大きく頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土遊離歯の咬耗度を観察すると、象牙質が面状に露出する程度のマルティンの3度の状態である。被葬者の死亡年齢は、約50歳代であると推定される。



写真16. 272号土坑人骨

(7) 288号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸105cm・短軸83cm・深さ39cmの規模の方形土坑から出土している。



写真17. 288号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨が検出されている。

④人骨の出土部位

人骨の残存状態は写真で見るとよくはないが、全身骨格が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

歯の歯冠計測値は比較的大きく、四肢骨も大きく頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状あるいは線状に露出する程度のマルティンの2度の状態である。被葬者の死亡年齢は約30～40歳代であると推定される。

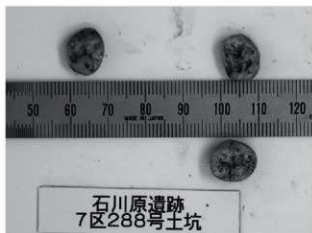


写真18. 288号土坑人骨

(8) 453号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸118cm・短軸83cm・深さ23cmの規模の方形土坑から出土している。

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨が検出されている。



写真19. 453号土坑人骨の出土状況

④人骨の出土部位

残存状態は悪いが、ほぼ全身骨格が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

四肢骨は比較的小さく華奢であるため、被葬者の性別は女性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

年齢指標となる部位が出土していないが、歯が検出されていないため、老齢の可能性が高い。

(9) 465号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸103cm・短軸48cm・深さ16cmの規模の楕円形土坑から出土している。



写真20. 465号土坑人骨の出土状況

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の残存状態が非常に悪いため、被葬者の頭位及び埋葬状態は不明である。

③副葬品

キセル(煙管)が検出されている。

④人骨の出土部位

遊離歯の歯冠部2点が出土している。

⑤被葬者の個体数

出土歯には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土乳臼歯は、比較的大きいため、被葬者の性別は男性(男児)であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

出土乳臼歯及び大臼歯(永久歯)から、被葬者の死亡年齢は幅をもたせて、約3～5歳であると推定される。未成年であるため、歯のみが残存し脆い四肢骨が残存しなかったと推定される。

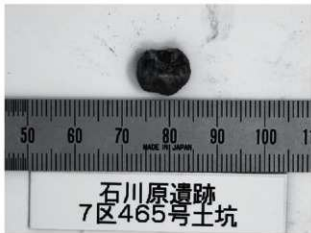


写真21. 465号土坑人骨

(10) 466号土坑[近世]

①人骨の出土状況

人骨は、長軸126cm・短軸84cm・深さ51cmの規模の楕円形土坑から出土している。

②被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者は頭位を北にして右側を下にした横臥(側臥)屈葬で埋葬されたかと推定される。

③副葬品

副葬品は、銭貨と石臼が検出されている。

④人骨の出土部位

人骨の残存状態は写真で見るとほどよくはないが、頭蓋骨片・四肢骨片が出土している。



写真22. 466号土坑人骨の出土状況

⑤被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

⑥被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値が比較的大きいため、被葬者の性別は男性であると推定される。

⑦被葬者の死亡年齢

歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状に露出する程度のマルティンの2度の状態である。被葬者の死亡年齢は、約30歳代～40歳代であると推定される。



写真23. 465号土坑人骨

(11) 608号土坑[中世?]

人骨は、長軸95cm・短軸82cm・深さ19cmの規模の円形土坑から出土している。人骨の残存状態が非常に悪いため、頭位及び埋葬状態は不明である。副葬品は検出されていない。わずかな骨片が出土しており、四肢骨片と推定されるが、人骨か獣骨かの区別もつかない。



写真24. 608号土坑人骨の出土状況

(12) 1・2号集石[近世]

集石から出土しているため、詳細な出土状況は不明である。出土骨は、わずかな四肢骨片が出土しているのみである。人骨ではないかと推定されるが、決定的なことは不明である。



写真25. 1・2号集石

3. 97区出土人骨

97区からは、507号土坑から人骨が出土している。

(1) 507号土坑[近世]

骨は、長軸200cm・短軸90cm・深さ19cmの規模の楕円形土坑から出土している。焼骨片が数点検出されている。骨の色は、白色から灰白色を呈しており、高温で焼成されたことが推定される。小片であるため、人骨か獣骨かの区別もつかない。



写真26. 507号土坑全景



写真27. 507号土坑出土焼骨

4. 98区出土人骨

98区からは、443号土坑から人骨が出土している。

(1) 443号土坑

人骨は、長軸148cm・短軸81cm・深さ120cmの規模の楕円形土坑から出土している。

骨は、焼骨が2点出土している。焼骨は、白色を呈しており、高温で焼成されたと推定される。実体顕微鏡観察では、表面の状態が人骨に似ているが、確定はできない。



写真28. 443号土坑全景

まとめ

群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯に所在する石川原遺跡から、中近世の人骨及び獣骨が出土した。以下の第29表に、まとめを示した。

第29表 石川原遺跡出土骨まとめ

区名	遺構名	時代	個体数	性別	死亡年齢	備考
6区	547号土坑	中世?	1個体	女性	30～40歳代	-
	541号土坑	中世?	1個体	女性	老齢	-
	5号建物	近世	1個体	ニホンジカの角(鹿角)		-
7区	191号土坑	近世	1個体	女性(女児)	6～8歳	-
	248号土坑	近世	1個体	女性	30歳代	-
	255号土坑	近世	1個体	男性	老齢	扁平胫骨
	266号土坑	近世	1個体	女性(女児)	6～8歳	-
	272号土坑	近世	1個体	女性(女児)	11～12歳	-
	287号土坑	近世	1個体	男性	50歳代	-
	288号土坑	近世	1個体	男性	30～40歳代	-
	453号土坑	近世	1個体	女性	老齢	-
	465号土坑	近世	1個体	男性(男児)	3～5歳	-
	466号土坑	近世	1個体	男性	30～40歳代	-
	608号土坑	中世?	1個体	人骨か獣骨かも不明		-
	1・2号集石	近世	1個体	人骨か獣骨かも不明		-
	97区	507号土坑	近世	1個体	人骨か獣骨かも不明	
98区	443号土坑	中世?	1個体	人骨か獣骨かも不明		-

第4章 小結

本報告で扱ったのは石川原遺跡の東半部に当たる。ハツ場ダム地域の天明泥流下遺跡の例に漏れず、泥流に覆われた畑や道、水路などの遺構群が特徴的であるのだが、調査の進行に伴って、ここが天明泥流災害以前にも度重なる洪水災害を受けた地域でもあったことが明らかにされてきた。泥流や洪水砂層に覆われて重層する畑遺構や災害復旧痕跡の有様は、度重なる災害をたくましく乗り越えた先人の営みを眼前にする思いがある。と同時に、天明泥流下に、異様さを感じるほどの広がりを見せて、延々と延びる畑の畝、畝間溝群が、どのように形成されていったかを理解する手がかりを得ることができるようにも感じる。10万平米に及ぶかという石川原遺跡全体からすれば未だごく一部の調査成果に過ぎないが、畑調査の要点をまとめて小結とする。

1 天明三年浅間山噴火災害への対応

天明泥流は新暦8月5日頃にこの地に到達したと考えられている。これに先んじて、新暦7月27日から29日にかけてAs-A降下軽石が、さほどの厚みはないものの、この地を覆った。ここに一週間ほどの時間差がある。当時の農民は無為はこの時を過ごしたわけではなかった。3区南拡張区の東寄りでは、下位の灰褐色～暗灰褐色土にAs-A降下軽石が踏み込まれた状態がよく観察されている。

天明泥流は彼らの努力を飲み込んでしまうのだが、泥流の堆積が比較的薄かったと見られる調査区北西部の一部では、泥流を掘り抜いて下位土壌を地表に反転させるための復旧溝が作られている。利根川沿いの遺跡の中には、定期的に掘削された復旧溝が整然と、一面に広がる光景が見られることもあるのだが、本遺跡では、天明泥流の堆積があまりに厚いためであろうか、広域に渡る耕地をこの方法によって復旧するという状況は認められない。本遺跡における復旧溝の特徴は、泥流堆積が薄く、ごく狭い範囲に限定的に見られるにとどまることにある。

復旧溝の掘削は特に天明災害に対してのみ行われたも

のではない。本調査区内の第3面、4面でも、天明噴火以前に生じた洪水災害からの復旧に当たって掘削された復旧溝や、復旧溝とは命名されていないものの同機能を果たしたであろう、砂礫層が充填された細長い土坑がいくつも見られた。天明泥流の復旧溝とは形状や規則性が全く異なるものではあるが、復旧溝の掘削は、いわば災害復旧の伝統的な基本技術であったのだろう。こうした点からも、ここでの復旧溝は組織的、計画的な復旧事業の所産ではなく、畑の耕作者が私的な耕地復旧を目指して、伝統的な方法で作業を始めたもののように思える。一人一人の農民の、災害に立ち向かうという強い意思を感じさせる遺構である。

2 天明泥流下畑の調査

天明泥流下には広い区画に長い畝・畝間溝を切り、「平坦面」が点在する畑が見られる。これについては、文献、民俗資料等からアサ(Cannabis sativa)を栽培したものと考えられている。調査時に旧地表面に残された腐植痕跡は葉の長い植物を示しており、アサとの想定と矛盾しない。ただし、アサは開花結実を待たずに収穫する作物であるため、花粉や種実資料は望めないし、イネのように植物珪酸体を得ることも困難である。調査担当者が目にする腐植痕跡についても、図にせよ写真にせよ、客観的、可視的な資料とすることはすこぶる難しい。植物としてのアサを同定できる資料には未だ恵まれていないことは一定の留意が必要であろう。

現在アサを商業的に生産している栃木県鹿沼市の例では、3月中旬に地ごしらえをして、同月下旬から4月上旬にかけて播種する。そして梅雨明けの7月下旬に、高さ2～3mになった頃に収穫している。先述の通り浅間山噴火-降灰は7月末、泥流の発生は8月初旬であるから、この時には収穫が終わっていて良い時期ではある。収穫後の、後作に備えた施肥の準備に際して形成されるのが円形、方形の平坦面との想定もある。

ところが、アサの収穫手順を見ると、先の鹿沼市例でも、あるいは遺跡にほど近い東吾妻町岩島地区のアサ栽

壇に切りおとす。この場合、畑面は抜根によって攪乱され、畝や畝間溝が天明泥流下畑のように残されていることは考えにくい。抜根ではなく根刈りするような収穫技術が採用されていた可能性はないだろうか。あるいは天明朝の気候不順が原因で、アサが未だ収穫されていない状態であったという可能性を考えることもできないではない。こうした場合には、平坦面の解釈を再考する必要が生じる。

アサ畑の実証および実相解明にはさらに良好な植物遺存体の検出や、平坦面を含めた個々の畑面の、より詳細な分析が必要である。

3 重層する畑面と集落景観の変化

山よりの部分では谷に沿って流下した土砂が扇状地形を形成しており、また傾斜面からの崩落土も厚く堆積していて、暗褐色ないし黒褐色土と黄褐色砂礫が交互に堆積する複雑な堆積状況を示す。複数層の崩落土、洪水堆積土を介して、複数の遺構面が確認されている。第3面は、第2面の耕作土である灰褐色土の最下部に伴う細砂のブロックによって分界される。砂礫を含む暗褐色土がこの面の畑耕作土である。第4面は、黄灰色のラミナ構造を持つシルトや砂で分界され、さらに南側山よりの部分では黄白色シルトによって第4-2面が画される。いずれの面の畑も第2面畑のように残りは良くないものの、一定の広がりを持つ畑の状況が把握できる。

第2面畑と下面畑では、畝間溝の方向等若干の違いがあるものの、比較的大きな区画を持っていて、長い畝・畝間溝を有するという形状のものが主体を占めるという基本は変わらない。第2面で見られた平坦面は確認できないが、これは旧地表面の保存度合いが第2面より不良である事に起因するものと判断する。第4面は江戸時代前期までは潤ると思われるから、そのころからは天明と同様の土地利用、営農形態が見られたものと考えて良いのではないだろうか。

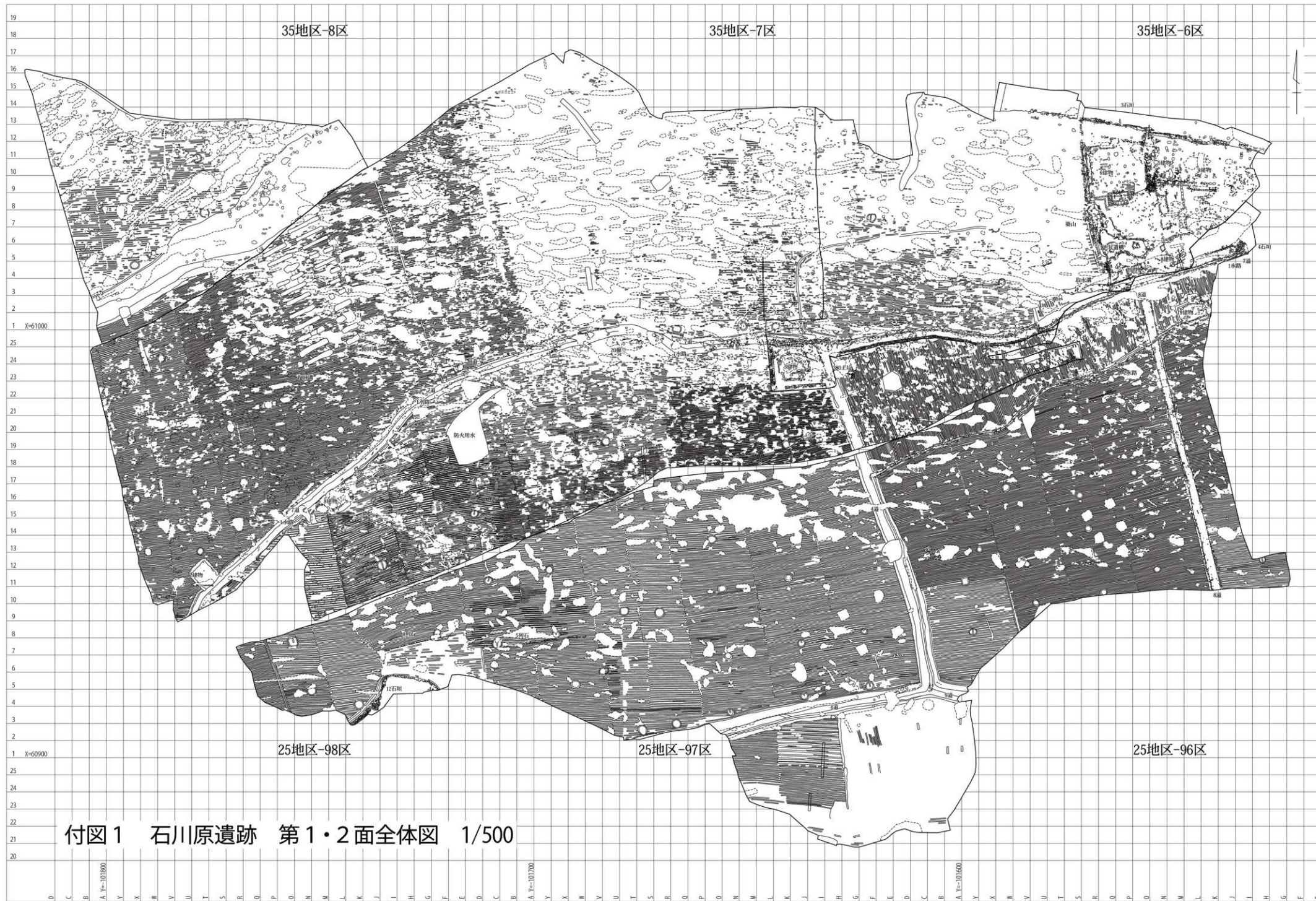
一方、第2面畑とそれ以下の畑の最も大きな違いは、7号道、1号水路以北への展開状況である。第4面では掘立柱建物や墓坑、集石、土坑群などが北部にあって、畑は南部に限られる。川寄りに居住域が構えられ、山寄りに耕地が開かれたという景観が想起される。第3面では

土坑ピットがありつつも畝間溝痕跡や耕作具痕跡が北部でも見られるようになり、第2面では東端の寺院部分を除いては全面が畑地化される。

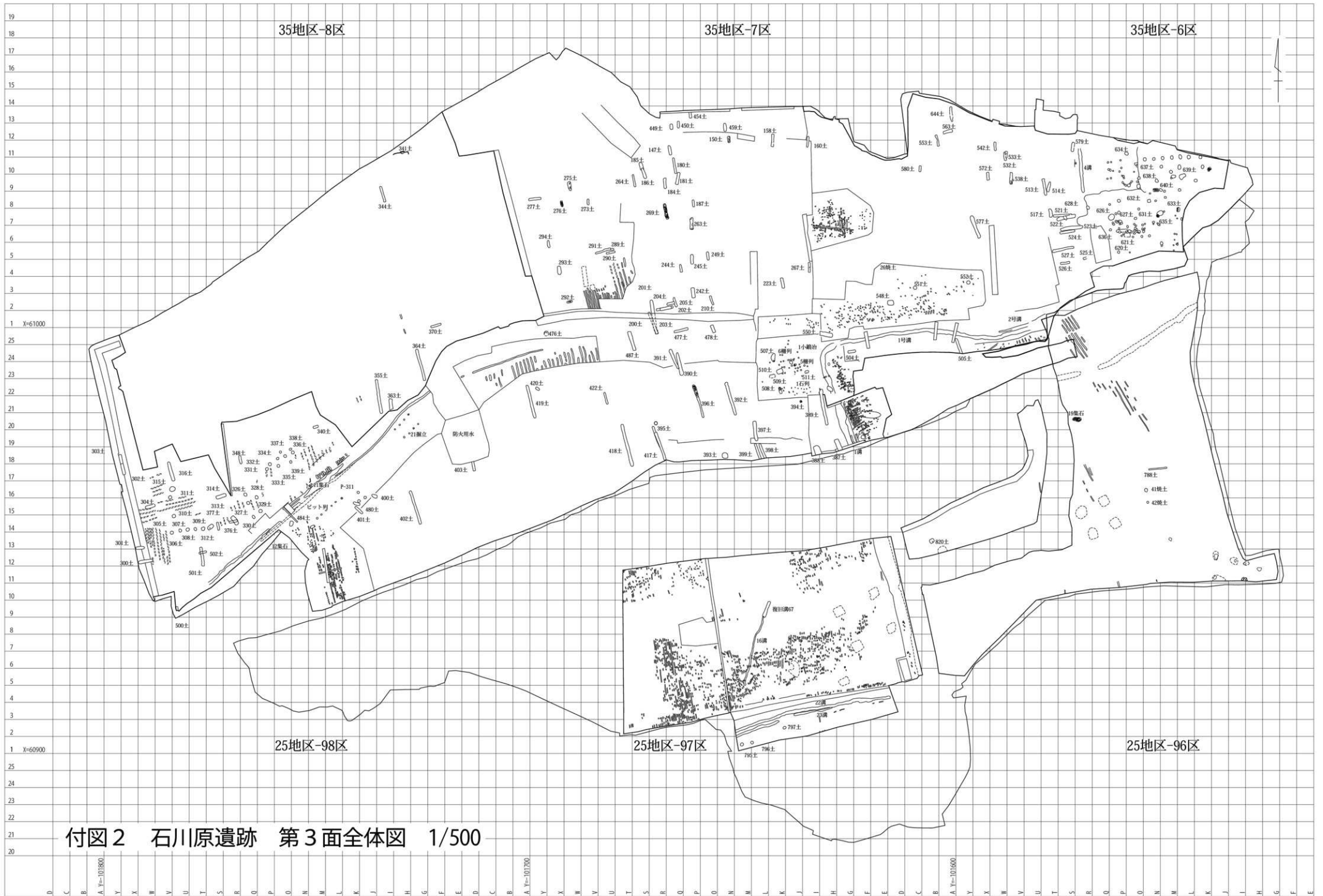
この変化は第4面相当時点での主要水路であった1号溝が埋められた事と連動するようである。1号溝は4号道に姿を変え、水路機能はより南側に東に折れる2号水路に引き継がれるものの、主要水路としての地位は1号水路に置き換えられたものと思われる。

4号道と1号道の交点に堂宇が設けられ、それまでは土坑、ピット程度しか見られなかった調査区東端に、寺院が建立されるのも、これらの変化と軌を一にするものではないだろうか。1号溝の埋没を機に、この地の景観は大きな変化を遂げたのである。

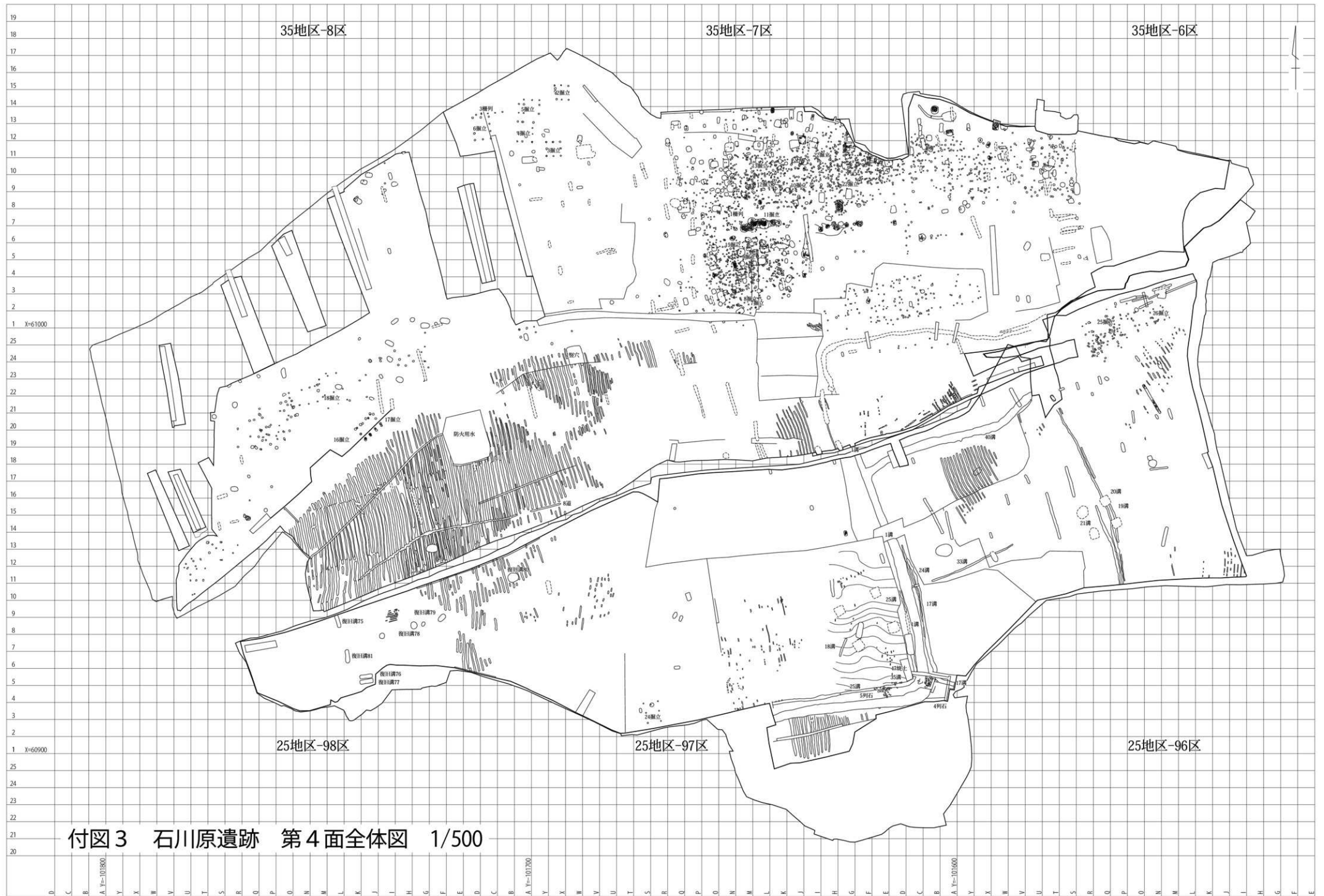
1号溝について調査担当者は、中世段階からラインを継承する主要水路と考えられ、江戸時代前半段階までには大溝としての形態が完成していたとしている。さらにおそらく江戸前半期のある時期(例えば寛保年間)に一気に埋没したものであるとのメモを残している。江戸時代でも最大級の災害の一つといわれる寛保二(1742)年夏の洪水がイメージされているもので、直接年代を対比できる資料は得られていないものの、蓋然性の高い仮説といえる。ここでも我々の眼前には、巨大災害に立ち向かって、新たな地域開発を成し遂げた先人の姿が浮かび上がってくるのである。



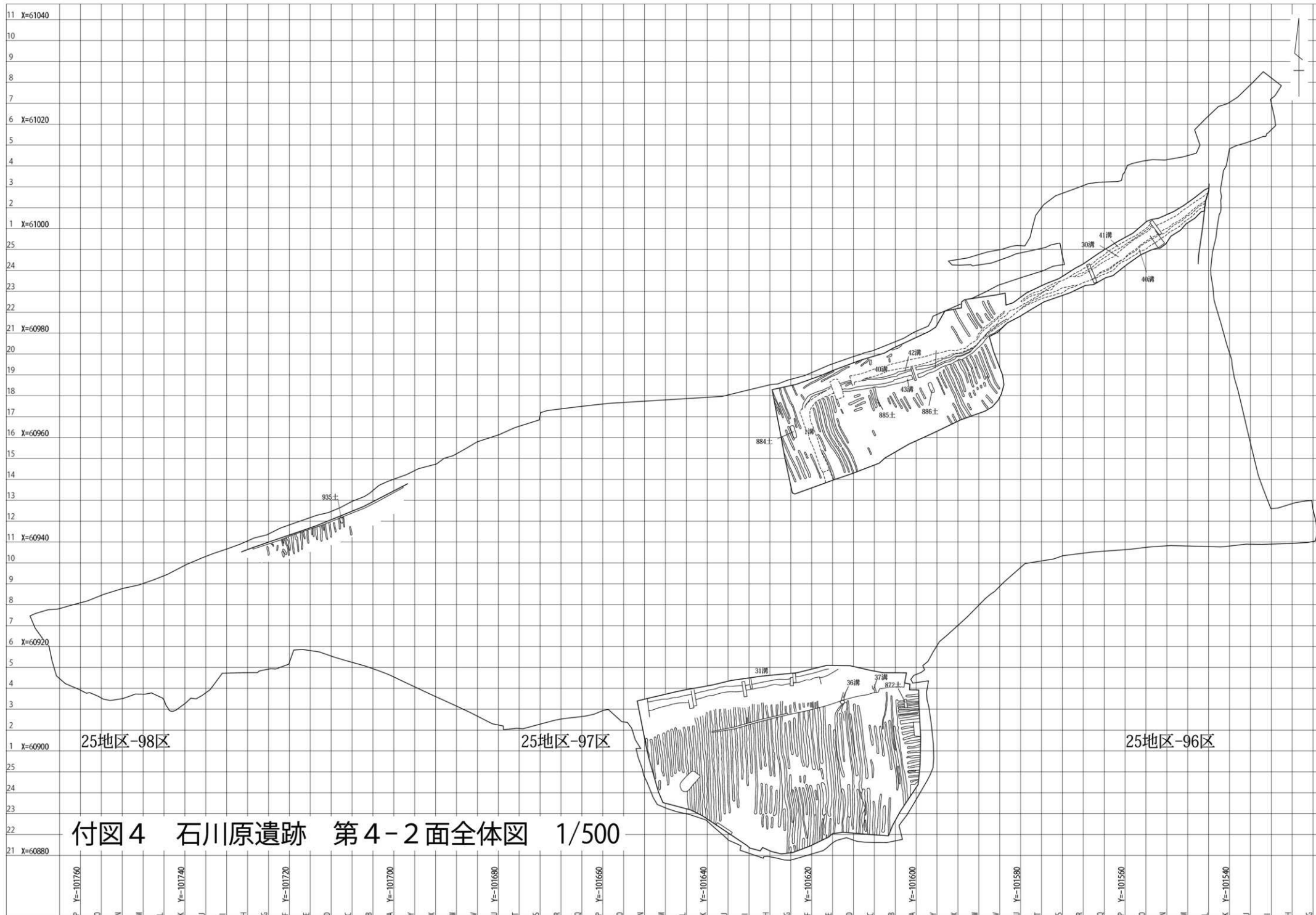
付図1 石川原遺跡 第1・2面全体図 1/500



付図2 石川原遺跡 第3面全体図 1/500



付図3 石川原遺跡 第4面全体図 1/500



付図4 石川原遺跡 第4-2面全体図 1/500